

公示用

設 計 書

工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事

工事内容説明書

1. 工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事

2. 施工場所 札幌市南区芸術の森2丁目

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和6年12月20日 まで

5. 工事内容 屋上防水改修、外壁タイル部改修、外壁塗装部改修、鉄部塗替え、シーリング打ち替え、

建具改修、バリアフリー改修を行なう。

共通費の算定に用いる工期 T=7.1月

※令和5年8月単価適用

※「令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価について」（令和5年2月14日付け国不建キ第27号）における措置を踏まえた「官庁営繕工事に適用する市場単価（令和5年度単価）の運用について（試行）」（令和5年3月29日付け国営積第16号）を適用する。

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		契約保証費含む
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

芸術の森センター		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 平場 - -		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 立上り - -		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 平場 - -		m ²			ブローン庫
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 立上り - -		m ²			ブローン庫
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 平場 - -		m ²			厨芥庫
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3 立上り - -		m ²			厨芥庫
改質アスファルトシート防水(改修)	露出防水絶縁工法 トチ工法 AS-T3 平場 保護防水非撤去 -		m ²			ROOF庇
改質アスファルトシート防水(改修)	露出防水絶縁工法 トチ工法 AS-T3 立上り - -		m ²			ROOF庇
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁断熱工法 ASI-T1 平場 断熱材t100 飛び火認定品		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁断熱工法 ASI-T1 立上り 断熱材t100 飛び火認定品		m ²			
改質アスファルトシート防水	屋根露出防水絶縁断熱工法 ASI-T1 天端 断熱材t75 飛び火認定品		m ²			
アスファルト防水	AI-1(保護密着断熱) 平場 絶縁シート含 押出ボリスチレン3種bAスキン付 断熱材 t 50		m ²			
アスファルト防水	AI-1(保護密着断熱) 平場 絶縁シート含 押出ボリスチレン3種bAスキン付 断熱材 t 100		m ²			
アスファルト防水	AI-1(保護密着断熱) 立上り部		m ²			
アスファルト防水	AI-1(保護密着断熱) 立上り部 絶縁シート含 押出ボリスチレン3種bAスキン付 断熱材 t 90 (40+50)		m ²			
アスファルト防水	AI-1(保護密着断熱) 立上り部 絶縁シート含 押出ボリスチレン3種bAスキン付 断熱材 t 100		m ²			
常温改質アスファルト塗膜防水	立上り		m ²			
塗膜防水	ウレタンゴム系 X-2(X-1) 密着 平場 100㎡未満		m ²			風除室屋上、梁天端
塗膜防水	ウレタンゴム系 X-2(X-1) 密着 立上り -		m ²			風除室屋上
仮防水	ボリマーセメント系		m ²			見積

芸術の森センター		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
下地調整	樹脂モルタル t3		m ²			
成形伸縮目地材	25×80 付着層タイプ		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×10		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 30×30/2		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 35×10 オーバーラップ		m			
撥水性塗料塗布	特殊変性シリコン樹脂		m ²			見積
耐候性塗料塗り(DP)(改修用)	鉄鋼面 B種 3級 錆止め含む 下地調整RB種		m ²			
捨て笠木	カラーガルバリウム鋼板 t0.8 W100		m			風除室
アルミ製笠木	W200 t2.0 焼付塗装		m			見積 風除室
アルミ製笠木 (コーナー)	W200 t2.0 焼付塗装		か所			見積 風除室
アルミ製笠木	W225 t2.0 焼付塗装		m			見積
アルミ製笠木 (コーナー)	W225 t2.0 焼付塗装		か所			見積
アルミ製笠木	W450 t2.0 焼付塗装		m			見積
アルミ製笠木	W450 t2.0 山形 焼付塗装		m			見積
アルミ製笠木 (コーナー)	W450 t2.0 焼付塗装		か所			見積
アルミ製笠木 (T字接続)	W450 t2.0 焼付塗装		か所			見積

芸術の森センター		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ製笠木	W650 t2.0 焼付塗装		m			見積
アルミ製笠木 (立上り)	W650 H500 t2.0 焼付塗装		か所			見積
アルミ製笠木	W750 t2.0 焼付塗装		m			見積
アルミ製笠木 (コーナー)	W750 t2.0 焼付塗装		か所			見積
アルミ製笠木 (コーナー)	W750+W650 t2.0 焼付塗装		か所			見積
アルミ製笠木	W250 t2.0 焼付塗装		m			見積 厨芥庫
アルミ製笠木 (コーナー)	W250 t2.0 焼付塗装		か所			見積 厨芥庫
アルミ製笠木	W275 t2.0 焼付塗装		m			見積 プロハン庫
アルミ製笠木 (コーナー)	W275 t2.0 焼付塗装		か所			見積 プロハン庫
アルミ製水切	W65 t2.0 焼付塗装		m			見積 風除室
アルミ製水切	W100 t2.0 焼付塗装		m			見積 風除室
既製アルミ水切(シルバ ー)	一般部 厚1.2mm以上 幅30mm		m			ROOF
防水押え金物	アルミ 既製品		m			ROOF
防水押え金物	アルミ 既製品 L-65×40		m			ROOF
アルミ製防水押え 嵌合型金物	t=1.8 122×110		m			見積 ROOF
止水発泡シール材貼 付	アルミ製防水押え嵌合型金物裏面 t 5 W100 独立気泡テープ		m			見積 ROOF
アルミ製防水押え 嵌合型金物小口フタ			か所			見積 ROOF
アルミ製防水押え 嵌合型金物 (コーナー)	t=1.8 122×110		か所			見積 ROOF
EXP. J水切	W300 焼付塗装		m			見積
水切 取外し、再取付け	W200		m			SSW-1

芸術の森センター		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ルーフトレンキャップ			か所			
既設トレン洗浄 (基本料金)	洗浄料金別途 -	1	式			
既設トレン洗浄 (洗浄料金)	トレン金物から第1雨水枡まで 5階程度 (基本料金別途) -		か所			
グレーチング	W150 SUS 枠付		m			
グレーチング	600×600 SUS 枠付		か所			
スチールフェンス 取外し、再取付け	フレーム CT-75×75×5×7 金網 φ1.9×30mm目 あと施工アンカー M10 新設 タッチアップ		m			見積
室外機廻りルーバー 取外し、再取付け	2260×2260×H2010 基礎共		か所			見積
配管基礎 取外し、再取付け	100×100×150		か所			
配管基礎 取外し、再取付け	120×120×600		か所			
コンクリート木コテ仕上			m ²			テラス(通路)床 建施 2024/春 P326
コンクリート金コテ仕上			m ²			プロパン庫
防水モルタル塗り (排水溝)	厚20 (糸幅250mm程度) 金こて		m			
ラスモルタル塗り	t40 立上り		m ²			
天端モルタル	t30 W220		m			
床タイル張り	磁器質 150mm角 下地モルタル含む		m ²			
床タイル張り	磁器質 150mm角 下地モルタル含む 垂れ付き段鼻 ノスリッパ		m			
階段巾木タイル張り	磁器質 150mm角		m ²			
磁器点字タイル	t13 400×400		か所			見積
視覚障害者用警告 ブロック	t10 300×300		か所			見積
床モルタル塗り	木こて 視覚障害者用警告ブロック下地 厚30		m ²			

芸術の森センター		防水改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共		m ²			
既存防水層撤去	屋上防水層 アスファルト防水層 集積共		m ²			
塗膜防水撤去	集積共		m ²			
ストレッチルーフینگ [※] 撤去			m ²			1F階段
人工芝撤去	集積共		m ²			屋上カーテン
断熱材撤去	FP板・発泡ウレタン等		m ²			
伸縮目地キャップ [※] 撤去	集積共		m			テラス、屋上カーテン
伸縮目地撤去	集積共		m			通路
笠木撤去	集積共		m			
水切撤去	集積共		m			
防水押え金物 撤去	集積共		m			
EXP. J水切撤去	集積共		m			
シーリング [※] 撤去	集積共		m			
グレーチング [※] 撤去	W150 集積共		m			
グレーチング [※] 撤去	600×600 集積共		か所			
グレーチング [※] 枠撤去	集積共		m			
水抜管撤去	集積共		m			
ルーフ [※] レンキャップ [※] 撤去			か所			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm		m			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm		m			

芸術の森センター		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
根切り	人力士工 -		m3			
埋戻し(B種)	- 発生土		m3			
カラーガルバリウム鋼板	t0.4 一文字葺き 十文字4つ切 (561×138)		m ²			見積
構造用合板	特類 針葉樹 t12 二重張り		m ²			
透湿防水シート張り	透湿防水シートB		m ²			
見切カラーガルバリウム鋼板	t0.4 糸尺150		m			
建具廻りカラーガルバリウム鋼板	t0.4 糸尺150		m			
水切カラーガルバリウム鋼板	t0.4 糸尺150		m			
捨て板カラーガルバリウム鋼板	t0.35 糸尺150		m			
青木製材 (えぞ松、とど松、スプルース)	ひき割類 2級 長さ3.64m 乾燥材		m3			
木工事施工手間	水切、見切下地		m			
軒天 フレキシブルボード張り	ノンアスタフレキシブル板 厚6mm 突付け		m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	凹凸外部用 厚15 不燃 下張GB-S 厚9.5共		m ²			
外壁磁器質タイル張り	改良圧着張り I類 施ゆう 二丁掛 平 227×60 下地モルタル含む		m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 外壁 厚25		m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 外壁 厚30		m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450		m ²			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 インサート含む		m ²			
外壁用塗膜防水	アクリルゴム系 吹付 凹凸仕上 パターンなし目地あり		m ²			見積
外壁用塗膜防水	アクリルゴム系 ローラー ゆず肌仕上		m ²			見積

芸術の森センター		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
アクリルシリコン樹脂塗装	打放し仕上		m ²			見積
下地調整費	コンクリート面 屋内外 C-1		m ²			
撥水性塗料塗布	特殊変性シリコン樹脂		m ²			見積
E P - G 塗り 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)		m ²			
E P 塗り 改修仕様	ボード面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)		m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	ボード面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)		m ²			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10		m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修		m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修		m ²			
ひび割れ部カットシー ル材充填	コンクリート面		m			
ひび割れ部樹脂注 入	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 コンクリート面		m			
欠損部充填	コンクリート面 100×100程度		か所			
欠損部充填	コンクリート面 100×200程度		か所			
欠損部充填	コンクリート面 100×500程度		か所			
欠損部充填	コンクリート面 100×1000程度		か所			
欠損部充填	ラジカセ洗い仕上げ 100×100程度		か所			
欠損部充填	コンクリート面 研り仕上 100×500程度		か所			
樹脂モルタル補修 外壁鉄筋露出部	100×100程度 鉄筋エポキシ樹脂塗布, 周囲ハツリ出 樹脂モルタル(フレミックスタイプ) 金コ仕上		か所			
樹脂モルタル補修 外壁鉄筋露出部	100×200程度 鉄筋エポキシ樹脂塗布, 周囲ハツリ出 樹脂モルタル(フレミックスタイプ) 金コ仕上		か所			

芸術の森センター		外壁改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁タイル撤去	乾式タイル 集積共		m ²			
壁下地板撤去	集積共		m ²			
アスファルトルーフィング ^o 撤去	集積共		m ²			
天井合板・ボード ^o 撤去	一重張り 石綿含有 集積共		m ²			
天井合板・ボード ^o 撤去	二重張り 石綿含有 集積共		m ²			
シート状天然砕石装飾材撤去	集積共		m ²			
既存塗膜除去	塗膜剥離剤工法 環境対応型		m ²			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm		m			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm		m			タイル廻り
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共		m ²			
壁モルタル・プ ^o ラスター撤去	集積共		m ²			
コンクリート撤去	無筋 人力 集積共		m ³			
シーリング ^o 撤去	集積共		m			
天井下地撤去	集積共		m ²			LGS
壁下地撤去	集積共		m ²			LGS
タラップ ^o 撤去	集積共		か所			見積
非飛散性アスベスト処理防塵処理費 (塗膜除去)	防塵マスク、フィルター、防護メガネ、保護衣、真空掃除機	1	式			
非飛散性アスベスト処理防塵処理費 (軒天改修)	防塵マスク、フィルター、防護メガネ、保護衣、真空掃除機	1	式			
計						

芸術の森センター		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建具調整	SSD-4 開閉調整、フラス落し交換		か所			見積
建具調整	SW-1 開閉調整、エアタイトゴム交換		か所			見積
建具調整	SW-2 開閉調整、エアタイトゴム交換		か所			見積
建具調整	SW-3 開閉調整、エアタイトゴム交換		か所			見積
建具調整	SW-7 開閉調整、エアタイトゴム交換、重量窓用調整器交換		か所			見積
建具調整	SW-8 開閉調整、エアタイトゴム交換		か所			見積
建具調整	SD-2 開閉調整、エアタイトゴム交換		か所			見積
建具調整	SD-4 開閉調整、フラス落し交換		か所			見積
外倒し窓廻り 浸水補修	SSW-1外倒し窓部 水切PL-1.6、ゴム取付		か所			見積
建具調整	AW-21 開閉調整		か所			見積
建具調整	AW-22 開閉調整		か所			見積
建具調整	AW-23 開閉調整		か所			見積
建具調整	AW-24 開閉調整		か所			見積
D P 塗り	鋼製建具焼付塗装面 1級 錆止め塗り 下地調整RB種		m ²			
D P 塗り	アルミ建具焼付塗装面 1級 錆止め塗り 下地調整RB種		m ²			
錆止め塗料塗り	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料A種 現場1回塗り 下地調整RB種		m ²			
透湿防水シート張り	透湿防水シートB		m ²			
水切ガラスハリウム鋼板 包み	ガラスハリウム鋼板 t0.4 糸尺450		m			SW-1, 3, 4, 7, 10
水切ガラスハリウム鋼板 包み	ガラスハリウム鋼板 t0.4 糸尺600		m			SW-1, 2, 11
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			建具廻り

工事概要及び特記仕様書

I. 工事概要

1	工事名称	札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事
2	工事場所	札幌市南区芸術の森2丁目
3	しゅん功期限	契約に示す着手日から 令和 6年12月20日まで
4	工事内容	屋上防水改修、外壁改修工事を行う。 本工事は建設リサイクル法が適用される。

用途	美術館	用途地域等	なし（市街化調整区域）
構造／階数	R C造 2階建	敷地面積	389,665.82 m ²
改修部分	階	施工内容	
屋上	－	屋上防水の改修	
外部	－	外壁の改修、シーリングの打替え、建具調整	
		バリアフリー改修	

- 5 別途工事
本工事に関係のある工事は下記のとおりである。
- 電気設備工事（ ）令和 年 月 旬着手予定
 - 機械設備工事（ ）令和 年 月 旬着手予定
 - 外構工事（ ）令和 年 月 旬着手予定

- 6 部分引渡し
部分引渡しの時期：令和 年 月 日まで
部分引渡しの範囲：

II. 建築工事仕様

- 1 本工事は、公共工事に準じるものとする。

- 2 図面及びこの特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)〔令和4年5月改定) 」または、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)〔令和4年5月改定) 」による。

- 3 特記仕様
(1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2)特記事項は、◎印のついたものを適用する。
●印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と◎印のついた場合は、両方共に適用する。

- 4 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書または、公共建築工事標準仕様書（標 ）の当該項目、当該図または当該表を示す。

1章 一般事項

01	適用基準類	◎建築工事標準詳細図 <p>【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)】</p> ◎工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編） <p>【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成30年版)】</p> ◎建築工事標準仕様書・同解説 JASS 11 木工事 <p>【日本建築学会】</p> ・寒中コンクリート施工指針・同解説 【日本建築学会】 ◎(参考資料) 建築改修工事監理指針 上巻・下巻 <p>【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)】</p> ◎(参考資料) 建築工事監理指針 上巻・下巻 <p>【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)】</p>
02	施工条件	(1. 3. 5) <p>◎施工時間：施設運営上、制約される場合があるので監督員と協議のこと</p> ◎施工順序：工程表に基づき監督員と協議のこと ◎工事用車両駐車場：監督員と協議のこと ◎その他施工条件：土、日、祭日の音出し作業はおこなわないこと ・ ・

- 03 公共建築物の環境配慮

- 04 グリーン購入

「札幌市グリーン購入ガイドライン」により環境負荷の低減を考慮した材料等を選定し、グリーン購入の推進に努める。(1. 4. 1)

また、当該材料等を購入した場合、種別、数量等を監督員に報告する。
加えて、資材（材料及び機材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の環境負荷低減に配慮されたものを使用するよう努める。
(1) 再生クラッシュヤランの購入施設名（以下の章共通）
札幌リサイクル骨材㈱（東区中沼町45番地26）
小橋北豊㈱（南区石山230番地）
札幌環境資材センター（手稲区曙5条5丁目110番地18）
㈱松原産業（白石区川下2111番地3）
野田工業㈱（中央区盤渓264番地）
(2) 汚泥再生材の購入施設名（以下の章共通）
㈱大伸（厚別区厚別町山本1064番72）
オデッサ・テクノス㈱（東区北丘珠1条3丁目654番地）
(協) 公清企業（東区中沼町45番地23）

購入条件、購入時期等については、当施設と事前に協議する。

- 05 建築材料等

「建築材料・設備機材等品質性評価事業 建築材料等評価名簿」（(社)公共建築協会編集)により評価を受けた材料を使用する場合は、評価書の添付により品質等資料の提出を省略することができる。(1. 4. 2)

- 06 道産材の使用

本工事に使用する主要資材のうち、道内で産出、生産または製造される資材等で、規格品質等が適正である場合は、これを優先的に使用するよう努めるものとする。(木材及び木材製品は除く)

- 07 地域材の使用

本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地域材(道内の森林で産出され、道内で加工された木材)を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、産地等を監督員に報告すること。

- 08 特別な材料の工法

公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)または公共建築工事標準仕様書(建築工事編)に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受けて当該製品の指定工法によることができる。(1. 5. 1)

- 09 石綿含有建材の事前調査等

(1) 調査範囲 ※全建材（解体等の作業に係る部分に限る。）・その他（ ）

(2) 既存設計図書等の貸与

 - 既存設計図書
 - 成分分析調査報告書（含有建材は図示による）
◎石綿事前調査等結果報告書(アスベスト調査票)

- (3) 調査方法
※書面調査及び現地での目視調査
・成分分析調査
調査部位（ ）(ヶ所)
・JIS A 1481-1 ・JIS A 1481-2 ・JIS A 1481-3 ・JIS A 1481-4

- (4) 調査時の注意
構造上目視により確認することが困難な建材については、目視により確認することが可能となった段階で事前調査を行うこと。
石綿含有建材の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着するとともに必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらして行うこと。

新たに石綿含有建材と疑わしきものを発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督員に報告及び必要な措置について協議すること。

- (5) 調査結果の報告等
事前調査が完了した際は、石綿則及び大防法に基づき、以下のとおり各種報告等を行うこと。

- (7) 監督員に事前調査の結果等を書面で交付し、説明すること。

- (4) 労働基準監督署及び札幌市（環境局）に事前調査の結果等について報告すること。

- (9) 事前調査の結果等については、公衆にみやすいように掲示すること。

- (6) 変更の協議等
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議する。また、石綿事前調査等結果報告書の内容を更新し、監督員に提出すること。

- (7) 作業完了の報告
大防法に基づき、特定粉じん排出等作業の完了後、監督員に作業結果を書面で報告すること。

- 10 技能士

技能士の適用は以下とする。ただし、作業が軽易な場合は監督員の承諾を受けて省略することができる。(標1. 5. 2) (1. 7. 2)

工事種目	技能検定職種
仮設工事	とび
鉄筋工事	鉄筋施工
コンクリート工事	型枠施工 <p>コンクリート圧送施工</p>
鉄骨工事	鉄工 <p>とび</p>
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形むね板工事	ブロック建築 <p>ALCパネル施工</p>
防水工事	防水施工 <p>建築板金（内外装板金作業）</p> <p>スレート施工</p>
石工事	石材施工
タイル工事	タイル張り
木工事	建築大工
屋根及びとい工事	建築板金（内外装板金作業） <p>スレート施工</p>
金属工事	内装仕上施工(鋼製下地工作業) <p>建築板金（内外装板金作業）</p>
左官工事	左官
建具工事	サッシ施工 <p>ガラス施工</p>
塗装工事	塗装
内装工事	建築大工 <p>内装仕上施工（鋼製下地工作業）</p> <p>建築板金（内外装板金作業）</p> <p>内装仕上施工(床、壁・下仕上)</p> <p>表装(壁装作業)</p>
	左官 <p>タイル張り</p> <p>1級ガラス用フィルム施工技能士（建築フィルム作業）</p> <p>熟練録施工</p>
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 <p>左官</p> <p>タイル張り</p>
舗装工事	路面標示施工
植栽工事	造園

- 11 特許権等

特許権等の出願を行う場合は、あらかじめ発注者と協議する。(1. 1. 11)

一般財団法人 札幌市住宅管理公社建設工事請負契約約款第8条に基づく特許権、実用新案等、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利(以下「特許権等」という)の対象となっている工事材料及び施工方法等。

- 特許権等の種類()

- 12 火災保険等

付保する保険：工事の内容により、火災保険、建設工事保険、組立保険等の一以上の保険を付す。

保険の期日：始期－保険の目的物が工事現場に搬入される日
終期－しゅん功期限＋14日以上

- 13 法定外の労災保険の付保
(1)受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するため、法定外の労災保険を付す。

(2)前項で定める保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものの写しを速やかに監督員へ提出する。

- 14 公衆災害の防止及び安全管理
受注者は工事にあたって安全施工を図り公衆災害を防止するため、「建築工事安全施工技术指針」及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」を遵守しなければならない。また、有害ガス又は引火性ガスの発生の恐れある場合は、安全を確認し作業を行う。

- 15 交通安全及び公害対策

(1)ダンプトラック等、大型貨物運搬車両による土砂及び工事用資材の輸送に当たっては、踏切、スクールゾーン等、工事車両が人命等に影響を及ぼす区間が輸送路になる場合、または埃、振動、騒音等の害をおよぼす区間が輸送路になる場合は、必要に応じて地域住民及び関係機関等の連絡を密にして交通安全の確保、公害等の対策に万全を期さねばならない。

(2)工事期間中は、交通誘導警備員を以下の条件に沿って配置し、現場内における安全確保に努めなければならない。なお、必要となる交通誘導警備員の人数は、作業形態に応じた配置計画等とともに、あらかじめ監督員と協議すること。
【配置条件】
・()
※ 図示による

(3)北海道公安委員会の認定する路線における工事現場については、一級又は二級検定合格警備員を配置する。(1. 3. 9)

- 16 揮発性有機化合物対策

本工事に使用する化学物質を放散（発散）させる建築材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有するとともに、揮発性有機化合物の放散（発散）が少ない材料の使用に努めるほか、以下を満たすものとする。(1. 4. 1)

- (1)ホルムアルデヒド放散(発散)建築材料に指定されている材料は、F☆☆☆☆等の規制対象外材料とする。
(2)接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、1)のほか、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(3)保温材、緩衝材、断熱材は、1)のほか、スチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(4)屋内に使用する塗料は、厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」で指定された13物質(以下、13物質)を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(5)木質建材、家具、建具類及び二次製品は、(1)のほか、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(6)ワックスは有機りん系化合物を含有していないものを使用し、13物質を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

※施工時・施工後引渡し前には、揮発性有機化合物の放散（発散）を促進するため、繰り返し換気を行うこと。

- 17 揮発性有機化合物の室内濃度測定
受注者は、揮発性有機化合物の室内濃度測定を行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認の上、測定結果を監督員に提出しなければならない。(1. 7. 9)

- (1)測定物質
ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

- (2)測定方法（※拡散方式 ・吸引方式）
(7)居室の窓及び扉（造付け家具、押入れその他これらに類するものの扉を含む）を30分間開放し、窓及び扉を5時間以上閉鎖した後、その状態で採取を行うこと。また連続的な運転が確保できる換気設備がある場合は稼働させ、当該換気設備の給排気口は開放することができる。

- (4)居室の中央付近の床から概ね1.2mから1.5mまでの高さにおいて採取を行うこと。（学校の教室等については、机上の高さで行うこと。）

- (9)採取時間は、吸引方式では30分以上継続して、同時に又は連続して2回以上行うこと。また、拡散方式では8時間以上とする。(拡散方式とは、測定パッチ・パッシブサンプラー)

- (エ)ホルムアルデヒドは、DNPH誘導体化固相吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法によること。

- (ウ)その他の揮発性有機化合物は、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法または、容器採取法とガスクロマトグラフ／質量分析法の組合せによること。

- (3)測定箇所（ 1箇所 ※測定位置は監督員と協議のこと)

- (4)測定時期 ※工事施工前、工事施工後の2回
・工事施工後の1回

(一財)札幌市住宅管理公社	課長	係長	設計主任	製図	令和 年 月 日	工事名	札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事			図番
						図面名	特記仕様書 1			A-01
							縮尺			

3章 土工事	
01 排水	排水工法 (標3.2.2) 排水処理の方法
02 埋戻し及び盛土	種別 (・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・汚泥再生材) C種の発生場所： 受入れ量： m3 (標3.2.3)(標表3.2.1)
03 建設発生土の処理	※指定地へ搬出 (⊙堆積 ・敷均し) (標3.2.5) 搬出先 () 運搬距離 (km) 住 所： ・構内指示の場所に運搬 (・堆積 ・敷均し)
04 山留め	工法 () 施工範囲(※図示による) 構造 () 土質(※図示の柱状図による) 山留め周囲の上載圧 (t /㎡) 地下水位 (GL- m) 山留めの撤去 (※撤去 ・存置) (標3.3.1)(標3.3.2)(標3.3.3)

4章 地業工事

01 試験	試験杭(※行う ・行わない) (標4.2.2) 位置は図示によるほか監督員との協議による。 杭の本数(※最初の1本 ・本) 杭の種類(※本杭と同じ ・) 杭長(※本杭と同じ ・ m) 杭径(※本杭と同じ ・ mm) 杭の載荷試験 (・行う ※行わない) (標4.2.3) 種類 (・鉛直載荷 ・水平載荷) 位置、本数、載荷荷重又は報告書の記載事項は図示による 地盤の平板載荷試験 (・行う ※行わない) (標4.2.4) 試験方法(※段階式載荷 ・段階式繰返し載荷) 位置、載荷荷重及び報告書の記載事項は図示による。																														
02 既製コンクリート杭及び鋼杭地業	杭種 (標4.3.2)(標4.3.4)(標4.3.5)(標4.3.6) (標4.4.2)(標4.4.4)(標4.4.5)																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>杭の種類</th> <th>・空心コンクリート杭</th> <th>・鋼 杭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・PHC杭 (JIS A 5373) ・RC杭</td> <td>・先端羽付回転貫入鋼管杭</td> </tr> <tr> <td>規格・区分</td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭 長 (m)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断面寸法(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計支持力(kN)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>先端形状</td> <td>・閉塞形 (平たん) ・開放形 ・半開放形 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>継手工法</td> <td>・アーク溶接 ・機械式継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 法</td> <td>・セメントミルク工法 (標4.3.4) アースオーガの支持地盤への掘削深さ (・1.5m程度) 杭の支持地盤への根入れ深さ (・1m以上) ・建築基準法に基づく(認定)特定埋込杭工法 (標4.3.5) (工法：)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	杭の種類	・空心コンクリート杭	・鋼 杭		・PHC杭 (JIS A 5373) ・RC杭	・先端羽付回転貫入鋼管杭	規格・区分	・A種 ・B種 ・C種		杭 長 (m)			断面寸法(mm)			設計支持力(kN)			本数			先端形状	・閉塞形 (平たん) ・開放形 ・半開放形 ・		継手工法	・アーク溶接 ・機械式継手		工 法	・セメントミルク工法 (標4.3.4) アースオーガの支持地盤への掘削深さ (・1.5m程度) 杭の支持地盤への根入れ深さ (・1m以上) ・建築基準法に基づく(認定)特定埋込杭工法 (標4.3.5) (工法：)	
杭の種類	・空心コンクリート杭	・鋼 杭																													
	・PHC杭 (JIS A 5373) ・RC杭	・先端羽付回転貫入鋼管杭																													
規格・区分	・A種 ・B種 ・C種																														
杭 長 (m)																															
断面寸法(mm)																															
設計支持力(kN)																															
本数																															
先端形状	・閉塞形 (平たん) ・開放形 ・半開放形 ・																														
継手工法	・アーク溶接 ・機械式継手																														
工 法	・セメントミルク工法 (標4.3.4) アースオーガの支持地盤への掘削深さ (・1.5m程度) 杭の支持地盤への根入れ深さ (・1m以上) ・建築基準法に基づく(認定)特定埋込杭工法 (標4.3.5) (工法：)																														
	支持地盤は図示による。 (標4.3.4)(標4.3.5)(標4.4.4) 杭の水平方向の位置ずれの精度(標4.3.4)(標4.3.5)(標4.4.4) (・100mm以下 ・図示による) 杭頭の処理は図示による。 (標4.3.8)(標4.4.6) 施工記録の管理・報告 電流値等の施工データ(アナログ式記録機械においては記録紙の原本)について、1日の作業終了時に杭施工業者よりそのコピーを受け取り、施工報告書に疑義が生じた場合には照合を行えるよう管理する。 関連告示等の順守 (1)基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置について【国土交通省告示第四百六十八号(平成28年3月4日)】 (2)基礎ぐい工事における工事監理がト'rain【国土交通省住宅局】 (3)既製コンクリート杭施工管理指針【一般財団法人日本建設業連合会】																														
03 砂利及び砂地業	材料 (・砂 ⊙切込砂利 ・切込碎石 ※再生クラッシュ) (標4.6.2) 厚さ (500 mm) 施工箇所 (土間) (標4.6.3)																														
04 捨コンクリート地業	設計基準強度 (・15 N/mm2 ・18 N/mm2) スランブ (・15cm ・18cm) (標4.6.4)(標6.14.1) 厚さ (※50mm ・ mm)																														
05 床下防湿層	材料(※ポリエチレンフィルム厚0.15mm)範囲は図示による (標4.6.2)(標4.6.5)																														

5章 鉄筋工事																			
01 鉄筋の種類	鉄筋の種類 (標表5.2.1)																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>JIS G 3112</th> <th>径</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⊙S D295</td> <td></td> <td>D 13 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S D345</td> <td></td> <td>D 以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S D345</td> <td></td> <td>D</td> <td>アンカー差し筋</td> </tr> </tbody> </table>	種別	JIS G 3112	径	備 考	⊙S D295		D 13 以下		・S D345		D 以上		・S D345		D	アンカー差し筋		
種別	JIS G 3112	径	備 考																
⊙S D295		D 13 以下																	
・S D345		D 以上																	
・S D345		D	アンカー差し筋																
	適用箇所は図示による																		
02 溶接金網	網目の形状 (※レギュラー溶接金網 ・デザイン溶接金網) 網目の寸法 (mm) (⊙100×100 ・150×150) (標5.2.2) 鉄線の径 (・3.2mm ⊙6.0mm) 規格番号JIS G3551																		
03 加工	90°未満の折り曲げの内法直径(※構造特記による)(標5.3.2)																		
04 継手及び定着	継手 (標5.3.4)																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⊙重ね継手</td> <td>・D16以下</td> </tr> <tr> <td>・ガス圧接継手(標5.5.4節)</td> <td>・D19以上</td> </tr> <tr> <td>・機械式継手(標5.5.2)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・溶接継手(標5.5.3)</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>		適用箇所	⊙重ね継手	・D16以下	・ガス圧接継手(標5.5.4節)	・D19以上	・機械式継手(標5.5.2)	・	・溶接継手(標5.5.3)	・								
	適用箇所																		
⊙重ね継手	・D16以下																		
・ガス圧接継手(標5.5.4節)	・D19以上																		
・機械式継手(標5.5.2)	・																		
・溶接継手(標5.5.3)	・																		
	継手位置 ※構造特記による ・公共建築工事標準仕様書各部配筋参考図による 柱及び梁の主筋及び耐力壁の鉄筋重ね継手の長さ (※構造特記による)																		
	耐力壁の鉄筋重ね継手の長さ (※40dと(標表5.3.2)のうち大きい値 ・構造特記による)																		
	鉄筋の定着長さ (※標表5.3.4による ・図示による) 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 (・図示による ・) 種類 (・図示による ・)																		
	ガス圧接継手の抜取試験 (標5.4.10) (※超音波探傷試験 ・引張試験) ・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による)																		
	ガス圧接継手の抜取試験(※超音波探傷試験 ・引張試験) (標5.4.10) ・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による)																		
	機械式継手及び溶接継手 (標5.5.3)(標5.6.3) 種類 (※図示による) 品質の確認方法 (※図示による) 継手部の試験工法 (標5.5.5)(標5.6.5) (・外観試験 ・超音波探傷試験) 不合格となった継手の修正方法等 (※図示による)																		
05 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	軽量コンクリートの最小かぶり厚さは構造特記による。 特殊な継手の鉄筋間隔は構造特記による。 (標5.3.5) ・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による)																		
06 各部配筋	※構造図、構造特記仕様書による (標5.3.7) ・公共建築工事標準仕様書 各部配筋参考図による(図中の【その他記載すべき事項】は図示による)																		
07 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔																			
08 各部配筋																			
09 各部配筋																			
10 各部配筋																			
11 各部配筋																			
12 各部配筋																			

6章 コンクリート工事														
01 コンクリートの種類等	コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・軽量コンクリート ・特殊コンクリート(構造特記による) ・建築基準法第37条第二号に規定されたコンクリート(構造特記による) (標6.2.1) コンクリートの種別(※Ⅰ類 ・Ⅱ類)(標6.2.1)(標表6.2.1) 所要気乾単位容積質量 (標6.10.2) 軽量コンクリート (※標表6.10.1による ・)													
02 コンクリートの強度及びスランブ	コンクリートの強度及びスランブ (標6.2.2)(標6.2.4)(標表6.2.2)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm2)</th> <th>スランブ (c m)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 21(N/mm2)</td> <td>・15 ・18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⊙ 18(N/mm2)</td> <td>⊙15 ・18</td> <td>保護コンクリート、立上り</td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度 (N/mm2)	スランブ (c m)	施工箇所	※ 21(N/mm2)	・15 ・18		⊙ 18(N/mm2)	⊙15 ・18	保護コンクリート、立上り				
設計基準強度 (N/mm2)	スランブ (c m)	施工箇所												
※ 21(N/mm2)	・15 ・18													
⊙ 18(N/mm2)	⊙15 ・18	保護コンクリート、立上り												
03 構造体コンクリートの仕上り	合板せき板の打放し仕上げ (標6.2.5)(標表6.2.4)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⊙B種</td> <td>保護コンクリート、立上り</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	施 工 箇 所	・A種		⊙B種	保護コンクリート、立上り	・C種						
種 別	施 工 箇 所													
・A種														
⊙B種	保護コンクリート、立上り													
・C種														
	コンクリートの仕上りの平坦さは(標表6.2.5)を標準とする。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>スランブ (c m)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⊙a種</td> <td>化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り</td> <td>合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリアッシュセメント (置敷式)</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>仕上塗材塗り</td> <td>カーペット張り 防水下地 セムフルベ'リ'ング'材塗り</td> </tr> <tr> <td>⊙c種</td> <td>セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 胴縁下地</td> <td>タイル張り モルタル塗り 二重床</td> </tr> </tbody> </table>	種類	スランブ (c m)	適用箇所	⊙a種	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリアッシュセメント (置敷式)	・b種	仕上塗材塗り	カーペット張り 防水下地 セムフルベ'リ'ング'材塗り	⊙c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 胴縁下地	タイル張り モルタル塗り 二重床	
種類	スランブ (c m)	適用箇所												
⊙a種	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリアッシュセメント (置敷式)												
・b種	仕上塗材塗り	カーペット張り 防水下地 セムフルベ'リ'ング'材塗り												
⊙c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 胴縁下地	タイル張り モルタル塗り 二重床												
04 コンクリートの材料	セメント (標6.3.1)(標表6.3.1)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ポ'ルトランド'セメント又は、混合セメントA種</td> <td>下記以外のすべて</td> </tr> <tr> <td>・早強ポルトランドセメント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高炉セメントB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フライアッシュセメントB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通エコセメント</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	適用箇所	※普通ポ'ルトランド'セメント又は、混合セメントA種	下記以外のすべて	・早強ポルトランドセメント		・高炉セメントB種		・フライアッシュセメントB種		・普通エコセメント		
種類	適用箇所													
※普通ポ'ルトランド'セメント又は、混合セメントA種	下記以外のすべて													
・早強ポルトランドセメント														
・高炉セメントB種														
・フライアッシュセメントB種														
・普通エコセメント														
	骨材の種類及び品質は、JIS A5308の付属書 Aによるほか、以下による。 (標6.3.1)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フェロニッケルスラグ細骨材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・銅スラグ細骨材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・電気炉酸化スラグ骨材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・再生骨材H</td> <td>・無筋コンクリート</td> </tr> </tbody> </table>	種類	適用箇所	・フェロニッケルスラグ細骨材		・銅スラグ細骨材		・電気炉酸化スラグ骨材		・再生骨材H	・無筋コンクリート			
種類	適用箇所													
・フェロニッケルスラグ細骨材														
・銅スラグ細骨材														
・電気炉酸化スラグ骨材														
・再生骨材H	・無筋コンクリート													
	アルカリシリカ反応性の区分(※A ・B) 高炉スラグ粗骨材の絶乾密度、吸水率及び単位容積質量による区分(※N ・L) 電気炉酸化スラグ粗骨材の絶乾密度の区分(※N ・L)													
	混和材料 (標6.3.1)(標6.3.2) ・特記による混和材料 種類 ()、使用方法 ()、使用量 () ※種類は(標6.3.1)、使用方法及び使用料は(標6.3.2)による。 レディミクストコンクリート工場の選定は、「全国品質管理監査会議」が策定した「全国統一品質管理監査基準」に基づく監査に適合した工場を優先的に選定する。 (標6.4.1)													
05 構造体強度補正值	普通ポ'ルトランド'セメント、高炉セメントA種、シリセメントA種、フライアッシュセメントA種の構造体強度補正值 (標6.3.2)(標表6.3.2)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>構造体強度補正值 (S)</th> <th>適用期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 N/mm2</td> <td>4/11~10/10</td> </tr> <tr> <td>6 N/mm2</td> <td>10/11~4/10</td> </tr> </tbody> </table>	構造体強度補正值 (S)	適用期間	3 N/mm2	4/11~10/10	6 N/mm2	10/11~4/10							
構造体強度補正值 (S)	適用期間													
3 N/mm2	4/11~10/10													
6 N/mm2	10/11~4/10													
	ただしラップルコンクリート、捨てコンクリートは除く													
06 普通エコセメント	普通エコセメント 養生期間 () (標6.7.2) 型枠の最小存置期間 () (標6.8.4)													
07 軽量コンクリート	適用は構造特記による (標6.10節) スランブ (※構造特記による ・)													

08 寒中コンクリート	適用期間 11月1日から4月10日の間に打設する部分とする。 (標6.11節) 調査管理強度及び調査強度 (※標6.3.2(ア)による ・積算温度を基に定める)																		
09 暑中コンクリート	適用期間 ※適用なし () (標6.12節) 構造体強度補正 (※6N/mm ² ・)																		
10 無筋コンクリート	(標6.14.1)(標6.14.2)(標6.14.3)																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>スランブ (c m)</th> <th>粗骨材の最大寸法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※18N/mm²</td> <td>⊙15 ・18</td> <td>※25mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度	スランブ (c m)	粗骨材の最大寸法	適用箇所	※18N/mm ²	⊙15 ・18	※25mm											
設計基準強度	スランブ (c m)	粗骨材の最大寸法	適用箇所																
※18N/mm ²	⊙15 ・18	※25mm																	
	捨てコンクリート及び保護コンクリートの場合は25mm以下とする																		
11 打継目地	寸法 (※図示による ・) (標6.6.4)																		
12 型枠	打増し厚さ(※20mm ・ mm ・図示による)(標6.8.1) ひび割れ誘発目地 (※位置、形状及び寸法は図示による。) スリーブに用いる材料 材種 (※標6.8.2 (9) (イ)による ・) (標6.8.2) 規格 (※標6.8.2 (9) (イ)による ・) せき板の材料																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>厚さ等</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⊙合板 表面加工品</td> <td>※12mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・合板 B-C種</td> <td>※12mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・床型枠用鋼製'プレ'グレート</td> <td>・ mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・断熱材兼用型枠材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MCR工法用シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		厚さ等	施 工 箇 所	⊙合板 表面加工品	※12mm		・合板 B-C種	※12mm		・床型枠用鋼製'プレ'グレート	・ mm		・断熱材兼用型枠材			・MCR工法用シート		
	厚さ等	施 工 箇 所																	
⊙合板 表面加工品	※12mm																		
・合板 B-C種	※12mm																		
・床型枠用鋼製'プレ'グレート	・ mm																		
・断熱材兼用型枠材																			
・MCR工法用シート																			

7章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

01 補強コンクリートブロック造	種類 (標8.2.2) ※空洞ブロック16 ・空洞ブロック12 ・空洞ブロック08 厚さ (・100mm ・120mm ・150mm) 各部の配筋 (※図示による ・) (標8.2.5)																								
02 コンクリートブロック帳壁及び塀	・種類 空洞ブロック16 (標8.3.2)(標表8.3.1) (・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁 ・塀 ・)																								
	・種類 空洞ブロック08 (・衛生配管用裏積みブロック ・) 厚さ (・100mm ・120mm ・150mm ・190mm) 各部の配筋 (※図示による ・)																								
03 ALCパネル	ALCパネルはJIS A5416による 種類、工法 (標8.4.2~5)(表8.4.2)(表8.4.3)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法(mm)W×D×t</th> <th>単位荷重(kN)</th> <th>種別</th> <th>耐火性能</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁用パネル</td> <td></td> <td></td> <td>・種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・間仕切用パネル</td> <td></td> <td></td> <td>・種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋根用パネル</td> <td></td> <td></td> <td>※F種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	寸法(mm)W×D×t	単位荷重(kN)	種別	耐火性能	備 考	・外壁用パネル			・種			・間仕切用パネル			・種			・屋根用パネル			※F種		
種 類	寸法(mm)W×D×t	単位荷重(kN)	種別	耐火性能	備 考																				
・外壁用パネル			・種																						
・間仕切用パネル			・種																						
・屋根用パネル			※F種																						
	外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (標8.4.3)(標8.4.5) 耐風圧性能 () 耐震性能 () 外壁用パネルの出隅入隅の目地幅 (mm)(標8.4.3)(標8.4.4) ・伸縮目地への耐火目地材の充填 (標8.4.3)(標8.4.4) 外壁用パネルの幅 (※300mm ・) (標8.4.3)																								
04 押出成形セメント板	押出成形セメント板はJIS A5441による 種類 (標8.5.2)(標表8.5.1)(標表8.5.2)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>表面形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>取付工法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁用パネル</td> <td>・フラット ・デザイン</td> <td></td> <td></td> <td>・種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・間仕切用パネル</td> <td>・フラット ・デザイン</td> <td></td> <td></td> <td>・種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	表面形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付工法	備 考	・外壁用パネル	・フラット ・デザイン			・種		・間仕切用パネル	・フラット ・デザイン			・種							
種 類	表面形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付工法	備 考																				
・外壁用パネル	・フラット ・デザイン			・種																					
・間仕切用パネル	・フラット ・デザイン			・種																					
	外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (標8.5.3) 耐風圧性能 () 耐震性能 () 外壁用パネルの相互の目地幅 (※長辺10mm以上 短辺15mm以上)(標8.5.3)(標8.5.4) 外壁用パネルの出隅入隅の目地幅(※15mm)																								
	外壁パネルの欠き込み(開口限度 mmとする) (標8.5.5) 目地及び隙間 (※パネル製造所 ・図示による)																								
	間仕切壁パネル工法 (標8.5.4) 耐震性能 ()																								

(一財)札幌市住宅管理公社	課 長	係 長	設計主任	製 図	令和 年 月 日	工事名	札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事			図 番
						図 面 名	特記仕様書 3	縮 尺		A-03

8章 防水改修工事

<p>01 降雨に対する養生方法</p> <p>02 改修工法の種類</p> <p>03 アスファルト防水</p> <p>04 改質アスファルトシート防水</p>	<p>(※3.1.3による) (3.1.3)</p> <p>改修工法の種類 (3.1.4) (表3.1.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>既存防水工法による区分</th> <th>既存保護層及び防水層の撤去、非撤去による区分</th> <th>新規防水工法の種別による区分</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・P(保護マス・改質マス) ・M(露出マス・改質マス) ・S(シート) ・L(ウレタン) ・() </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1(保護及び防水撤去) ・2(保護撤去、防水非撤去) ・3(露出防水撤去) ・4(露出防水非撤去) ・0(保護及び防水非撤去) ・() </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・AS(改質マス) ・ASI(改質絶縁断熱) ・S(シート) ・SI(シート断熱) ・X(ウレタン) ・() </td> </tr> </table> <p>既存防水層等の撤去及び既存下地の処理 (3.2節) (※図示による)</p> <p>新規防水層の種別、施工箇所 (3.3.3) (表3.3.3～表3.3.10)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>① AI-1</td> <td>テラス、階段</td> </tr> </table> <p>①立上り部における保護層の工法 (※場所打ちコン ・乾式保護材 ・保護れんが)</p> <p>・脱気装置 種類、設置数量 (・図示による ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による)</p> <p>材料、施工 (3.3.2) (3.3.4) (3.3.5) アスファルトは、JIS K2207防水工事用アスファルト3種</p> <table border="1"> <tr> <td>改質アスファルトルーフィングシート</td> <td>種類 ※非露出複層防水用R種</td> <td>厚さ ※1.5mm</td> </tr> <tr> <td>押え金物</td> <td colspan="2">※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ・図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">断熱材</td> <td>工法</td> <td>材料</td> </tr> <tr> <td>①保護防水断熱工法</td> <td>JIS A9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA</td> </tr> <tr> <td>・露出防水断熱工法</td> <td>JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)</td> </tr> </table> <p>※露出防水断熱工法におけるルーフィングの回り及び立上り部周辺の張りじまいは図示による</p> <table border="1"> <tr> <td>①絶縁用シート</td> <td>※ 3.3.2.(10)による</td> </tr> <tr> <td>①保護コンクリート</td> <td>設計基準強度 (※18N/mm²) スランプ(①15cm ・18cm) 仕上・厚さ(①こて仕上 80mm以上 ②仕上あり 60mm以上)</td> </tr> <tr> <td>・保護れんが</td> <td>※普通れんが (JIS R 1250)</td> </tr> <tr> <td>・屋上排水溝</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・仕上塗料</td> <td>種類 使用量</td> </tr> </table> <p>新規防水層の種別、施工箇所 (3.4.3) (表3.4.1～表3.4.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>① AS-T3 ② ASI-T1</td> <td>屋上</td> </tr> </table> <p>①脱気装置 種類、設置数量 (※改質アスファルトシート製造所の仕様による ・図示による)</p> <p>・ASIにおける防湿層</p> <p>材料、施工 (3.4.2) (表3.4.1～表3.4.3) 改質アスファルトシート、粘着層付改質アスファルトシート、部分粘着層付アスファルトシートはJIS A6013により種類及び厚さは以下による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>区分</th> <th>施工部位</th> </tr> <tr> <td>①非露出複層防水用(下層)</td> <td>1.5以上</td> <td>※R種 ・N種</td> <td>①平部 ・立上り</td> </tr> <tr> <td>②露出複層防水用(上層)</td> <td>2.5以上</td> <td>※R種 ・N種</td> <td>・平部 ①立上り</td> </tr> <tr> <td>③露出複層防水用(上層)</td> <td>3.0以上</td> <td>※R種 ・N種</td> <td>①平部 ①立上り</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>①押え金物</td> <td colspan="3">※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ①図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">①断熱材</td> <td>種類</td> <td>JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・改質アスファルトシート製造所の仕様による (2種1号) ①硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>①50 ②90 (40+50) ③100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">①仕上塗料</td> <td>種類</td> <td>①トップコート、改質アスファルトシート製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>①改質アスファルトシート製造所の使用による</td> </tr> </table>	既存防水工法による区分	既存保護層及び防水層の撤去、非撤去による区分	新規防水工法の種別による区分	<ul style="list-style-type: none"> ・P(保護マス・改質マス) ・M(露出マス・改質マス) ・S(シート) ・L(ウレタン) ・() 	<ul style="list-style-type: none"> ・1(保護及び防水撤去) ・2(保護撤去、防水非撤去) ・3(露出防水撤去) ・4(露出防水非撤去) ・0(保護及び防水非撤去) ・() 	<ul style="list-style-type: none"> ・AS(改質マス) ・ASI(改質絶縁断熱) ・S(シート) ・SI(シート断熱) ・X(ウレタン) ・() 	種別	施工箇所	① AI-1	テラス、階段	改質アスファルトルーフィングシート	種類 ※非露出複層防水用R種	厚さ ※1.5mm	押え金物	※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ・図示による		断熱材	工法	材料	①保護防水断熱工法	JIS A9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA	・露出防水断熱工法	JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)	①絶縁用シート	※ 3.3.2.(10)による	①保護コンクリート	設計基準強度 (※18N/mm ²) スランプ(①15cm ・18cm) 仕上・厚さ(①こて仕上 80mm以上 ②仕上あり 60mm以上)	・保護れんが	※普通れんが (JIS R 1250)	・屋上排水溝	※図示による	・仕上塗料	種類 使用量	種別	施工箇所	① AS-T3 ② ASI-T1	屋上	種類	厚さ(mm)	区分	施工部位	①非露出複層防水用(下層)	1.5以上	※R種 ・N種	①平部 ・立上り	②露出複層防水用(上層)	2.5以上	※R種 ・N種	・平部 ①立上り	③露出複層防水用(上層)	3.0以上	※R種 ・N種	①平部 ①立上り	①押え金物	※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ①図示による			①断熱材	種類	JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・改質アスファルトシート製造所の仕様による (2種1号) ①硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)	厚さ	①50 ②90 (40+50) ③100	①仕上塗料	種類	①トップコート、改質アスファルトシート製造所の仕様による	使用量	①改質アスファルトシート製造所の使用による
既存防水工法による区分	既存保護層及び防水層の撤去、非撤去による区分	新規防水工法の種別による区分																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・P(保護マス・改質マス) ・M(露出マス・改質マス) ・S(シート) ・L(ウレタン) ・() 	<ul style="list-style-type: none"> ・1(保護及び防水撤去) ・2(保護撤去、防水非撤去) ・3(露出防水撤去) ・4(露出防水非撤去) ・0(保護及び防水非撤去) ・() 	<ul style="list-style-type: none"> ・AS(改質マス) ・ASI(改質絶縁断熱) ・S(シート) ・SI(シート断熱) ・X(ウレタン) ・() 																																																																		
種別	施工箇所																																																																			
① AI-1	テラス、階段																																																																			
改質アスファルトルーフィングシート	種類 ※非露出複層防水用R種	厚さ ※1.5mm																																																																		
押え金物	※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ・図示による																																																																			
断熱材	工法	材料																																																																		
	①保護防水断熱工法	JIS A9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA																																																																		
	・露出防水断熱工法	JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)																																																																		
①絶縁用シート	※ 3.3.2.(10)による																																																																			
①保護コンクリート	設計基準強度 (※18N/mm ²) スランプ(①15cm ・18cm) 仕上・厚さ(①こて仕上 80mm以上 ②仕上あり 60mm以上)																																																																			
・保護れんが	※普通れんが (JIS R 1250)																																																																			
・屋上排水溝	※図示による																																																																			
・仕上塗料	種類 使用量																																																																			
種別	施工箇所																																																																			
① AS-T3 ② ASI-T1	屋上																																																																			
種類	厚さ(mm)	区分	施工部位																																																																	
①非露出複層防水用(下層)	1.5以上	※R種 ・N種	①平部 ・立上り																																																																	
②露出複層防水用(上層)	2.5以上	※R種 ・N種	・平部 ①立上り																																																																	
③露出複層防水用(上層)	3.0以上	※R種 ・N種	①平部 ①立上り																																																																	
①押え金物	※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ①図示による																																																																			
①断熱材	種類	JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・改質アスファルトシート製造所の仕様による (2種1号) ①硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)																																																																		
	厚さ	①50 ②90 (40+50) ③100																																																																		
①仕上塗料	種類	①トップコート、改質アスファルトシート製造所の仕様による																																																																		
	使用量	①改質アスファルトシート製造所の使用による																																																																		

05 合成高分子系ルーフィングシート防水	06 塗膜防水	07 ケイ酸質系塗布防水	08 施工票	09 防水保証	10 シーリング
----------------------	---------	--------------	--------	---------	----------

新規防水層の種別、施工箇所 (3.5.3) (表3.5.1～3)

種別	施工箇所
・	

・脱気装置 種類、設置数量 (※ルーフィングシート製造所の仕様による ・図示による)

材料、施工 (3.5.2) (3.5.4)
合成高分子系ルーフィングシートはJIS A6008により種類及び厚さは以下による

ルーフィングシート種類	厚さ(mm)
・加硫ゴム系	・1.2 ・1.5
・塩化ビニル樹脂系	・1.5 ・2.0
・エチレン酢酸ビニル樹脂系	・1.0
・熱可塑性エラストマー系	・1.2

・絶縁用シート (可塑剤移行防止用シート) ※発泡ポリエチレンシート 厚さ(・1.5mm)

・固定金物 ※図示による

・断熱材

工法	材料	厚さ(mm)
・機械的固定	JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)	・
・接着工法	JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 (透湿係数の規定は除く)	・
・仕上げ塗料	種類 使用量	

PCコンクリート下地及びALCパネル下地の場合の目地処理、入隅の増張りは図示による

・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする

新規防水層の種別、施工箇所 (3.6.3) (表3.6.1～3)

種別	施工箇所
①ウレタン塗膜防水(X-2)	屋上
②常温改質アスファルト塗膜防水	基礎、架台

・脱気装置の種類、設置数量： (・図示による ※主材料製造所の仕様による)

①仕上げ塗料	種類	①主材料製造所の仕様による
	使用量	①主材料製造所の仕様による

・種別 Y-2の保護層：絶縁用シートの材料 () 保護コウ又は保護モルタル (※図示による) (MOCA (3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン) が含まれている) カタ塗膜防水材を使用する場合、特定化学物質障害予防規則に基づく措置を適切に講じること。)

種別、施工箇所 (標9.6.1) (標9.6.3) (標9.6.1)

種別等	施工箇所	備考
・C-SUI	※図示	
・C-SUP		

壁、天井の防水下地 (※コンクリート打放し仕上りB種 ・) コンクリートの打継箇所の処理 (※幅、深さ30mm程度の目地棒を用い、ポリマセメントモルタル充填 ・)

工事完了後、監督員の指示する場所に取りつける。施工票の形状等：真鍮板、黒字、UV焼付塗り(85mm×125mm) 施工票の記入項目：タイトル、施工年月日、種別、施工業者

保証開始日【①当該工事のしゅん功日の翌日 ・ 】 保証期間 (※10年間 ・)

改修工法の種類 (3.1.4) (表3.1.2)

種別	施工箇所
①シーリング充填工法	図示による
②シーリング再充填工法	図示による
・拉幅シーリング再充填工法	
・ブリッジ工法	

シーリング材はJIS A5758より、有効期限を過ぎたものは使用しない

01 あと施工アンカー	02 軽量鉄骨天井下地	03 軽量鉄骨壁下地
-------------	-------------	------------

材料、目地寸法 (3.7.2) (3.7.3) (表3.7.1)

シーリングの種類	目地寸法(mm)	施工箇所
シリコーン系	1成分形	図示による
	2成分形	
変成シリコーン系	1成分形	
	2成分形	図示による
ポリサルファイド系	1成分形	
	2成分形	
ポリウレタン系	1成分形	
	2成分形	
アクリルウレタン系	1成分形	
	2成分形	

上記以外のものは表9.7.1による。

外部に面するシーリング材の接着試験 (3.7.8)
簡易接着性試験 (※行う ・行わない) (適用箇所：)
引張接着性試験 (・行う ※行わない) (適用箇所：)
注：同材の組合せで実施した試験成績表がある場合は行わない

9章 金属工事

01 あと施工アンカー

あと施工アンカーの種類 (8.2.4)

①金属拉張アンカー	※打込み方式	・芯棒打ち打込式 ・内部コーン打込式 ※本体打込式 ・スリーブ打込式
	・締付け方式	・コーンナット式 ・テーパーボルト式 ・ダブルコーン式 ・ウェッジ式
・接着系アンカー	※カプセル型	・ポリエステル系 ・エポキシアクリレート系 ・エポキシ系 ・ビニルウレタン系 ・無機系 ()
	・注入型	・カートリッジ ・現場調合

あと施工アンカーの耐力(※以下による ・図示による) (8.2.4)

アンカー径	埋込長さ (mm以上)	引張耐力 (kN以上)	せん断耐力 (kN以上)	確認強度 (kN以上)
D10	40			
以上				

適用箇所は図示による

・製品取付用あと施工アンカー (※製造所の仕様による)

埋込み配管等の探査 範囲、方法(・ ※図示による) (8.12.2)
施工後の確認試験(※行う ・行わない) (標14.1.3) 方法(※引張試験機による試験 ・)

野縁等の種類 屋内(※19形) 屋外(※25形) (標14.4.2) (標14.4.1)
屋外の野縁、野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 (※図示による) (標14.4.3)

新規天井下地のつりボルト受け (6.6.4)	確認試験の箇所数	確認強度
・既存の埋込みインサート	※当該階において3箇所	※400N程度
・あと施工アンカー	※当該階において3箇所	※400N程度

・つりボルトの間隔が 900mmを超える場合 補強方法(・図示による) (標14.4.4)

・天井ふところが 3.0mを超える場合 補強方法(・図示による) (標14.4.4)

・耐震性を考慮した補強 補強方法(・図示による) (標14.4.4)

・耐風圧性を考慮した補強 補強方法(・図示による) (標14.4.4)

スタッド、ランナーの種類 (標14.5.3) (標14.5.1) (※高さの区分による ・)

・スタッドの高さが 5.0mを超える場合 種類() (標14.5.1)

・出入口・開口部の補強(※14.5.4による ・) (標14.5.4)

04 金属成形板張り(天井)	05 アルミニウム製笠木	06 長尺金属板葺	07 折板葺	08 その他金属製品	09 とい
----------------	--------------	-----------	--------	------------	-------

(標14.6.2)

	材料の種類	表面処理等	その他
・金属成形板	・	・	塗装等は図示

取付用下地(※軽量鉄骨天井下地による ・)
伸縮調整継手(・設ける ・設けない)

部材の種類 (3.9.2) (表3.9.1)

①オープン形式	・押し出し250形	・押し出し300形	・押し出し350形
・板材折曲げ形	幅(①図示)	板厚(※2.0mm)	

表面処理(・AB-1種 ※BB-1種 ・) (表5.2.2)

避雷導体(・あり ・なし (板厚 mm以上))

①建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具、固定方法等とする

既存笠木等の撤去及び新規アルミニウム製笠木の地下補修工法 (※図示による) (3.9.3)

材料及び葺形式 (標13.2.1～3) (標13.2.1)

種類	塗膜	めっき付着量	厚さ(mm)	屋根葺形式
※JIS G3322 3070アルミニウム鋼板及び鋼帯			①0.4	・横葺 ・蟻掛葺 ・瓦棒葺 ①一文字葺

下葺材料 ・JIS A60057アスファルトルーフィング940
・改質アスファルトルーフィング下葺材

・建築基準法に定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法とする
設計図書に定めのない工法は専門業者の仕様による。

折板は JIS A6514による (標13.3.2) (標13.3.3) (標13.2.1)

長尺金属板	板厚(mm)	山高記号	山ピッチ記号	形式
・JIS G3318 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板	・0.6	・09 ・11	・20 ・25	・重ね形 ・はぎ絡め形
・JIS G3322 3070アルミニウム鋼板	・0.8	・15 ・17	・35 ・40 ・45 ・50	

耐力区分(・2種(200kgf/m²) ・3種(300kgf/m²) ・)

・軒先面戸板

・断熱材張り 種別() 厚さ(mm) 防火性能()

・建築基準法に定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法とする
設計図書に定めのない工法は折板製造所の仕様による。
雪止め (・設ける ・設けない) (標13.2.3)

(標14.2.1) (標14.2.2) (標14.2.1) (標14.2.3) (標14.2.2)

	材料の種類	表面処理等	その他
・手すり	・SUS304	・HL	塗装等は図示
①タラップ	・亜鉛めっき	※C種	塗装等は図示
	①SUS304	①HL	
・フード	・SUS304	※N o 2B仕上り	
①グレーチング	①SUS304	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

記載のない事項は、図示によるほか、製造所の仕様による。
ステンレス材の表面処理 (※HL仕上り程度とする ・)
アルミニウム材の表面処理の陽極酸化被膜(被膜 2種)の着色方法 (※2次電解着色(色合いは監督員と協議による))

材種 ※配管用炭素鋼鋼管(白) (JIS G3452) (3.8.2)
工法 降雨に対する養生 ・行う ・行わない (3.8.3)
防露巻き ・行う ・行わない (表3.8.4)
たてどい受金物の取付け (※図示による ・)
ルーフィングの取付け (※図示による ・)
防露材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。

10章 左官工事

01 モルタル塗り	仕上げの種類 (標15.3.5) (標表15.3.4) (標表15.6.3)												
	<table border="1"> <tr> <td>○金ゴテ仕上げ</td> <td>施工箇所：自立壁</td> </tr> <tr> <td>・木ゴテ仕上げ</td> <td>施工箇所：</td> </tr> <tr> <td>・はけ引き仕上げ</td> <td>施工箇所：</td> </tr> </table> <p>○材料 (○現場調合材料 ・既調合材料) (標15.3.2)</p> <p>・既製目地材 形状、位置は図示による。 (標15.3.2)</p> <p>・床目地の設置 (標15.3.5)</p> <p>工法 (※押し目地 ・) ()</p> <p>位置 (※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度) ・) ()</p> <p>○外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 (○行う ・行わない) (標15.3.5)</p>	○金ゴテ仕上げ	施工箇所：自立壁	・木ゴテ仕上げ	施工箇所：	・はけ引き仕上げ	施工箇所：						
○金ゴテ仕上げ	施工箇所：自立壁												
・木ゴテ仕上げ	施工箇所：												
・はけ引き仕上げ	施工箇所：												
02 防水モルタル塗り	施工箇所：排水溝												
03 床コンクリート直均し仕上げ	仕上げの種類 (標15.4.1)												
	<table border="1"> <tr> <td>・金ゴテ仕上げ</td> <td>施工箇所：</td> </tr> <tr> <td>○ホコテ仕上げ</td> <td>施工箇所：防水保護コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・塗物、敷物、張物等の下地</td> <td>施工箇所：</td> </tr> </table>	・金ゴテ仕上げ	施工箇所：	○ホコテ仕上げ	施工箇所：防水保護コンクリート	・塗物、敷物、張物等の下地	施工箇所：						
・金ゴテ仕上げ	施工箇所：												
○ホコテ仕上げ	施工箇所：防水保護コンクリート												
・塗物、敷物、張物等の下地	施工箇所：												
04 セルフレベリング材塗り	種類 (標15.5.2) (標表15.5.1) (標15.5.3)												
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>塗り厚さ</td> <td>施工箇所</td> </tr> <tr> <td>・セッコウ系</td> <td>※10.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セメント系</td> <td>※10.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		塗り厚さ	施工箇所	・セッコウ系	※10.0mm		・セメント系	※10.0mm				
	塗り厚さ	施工箇所											
・セッコウ系	※10.0mm												
・セメント系	※10.0mm												
05 仕上塗材仕上げ	仕上塗材は、11章 外壁改修工事の 塗り仕上げ外壁等の改修を参照すること。												
06 ロックウール吹付け	吹付け材の種類 (標15.12.3)												
	<table border="1"> <tr> <td>種 類</td> <td>色 彩</td> <td>厚 さ (mm)</td> </tr> <tr> <td>・一般用</td> <td>・着色 ・原色</td> <td>・10 ・15 ・20</td> </tr> </table> <p>ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (標15.12.2)</p>	種 類	色 彩	厚 さ (mm)	・一般用	・着色 ・原色	・10 ・15 ・20						
種 類	色 彩	厚 さ (mm)											
・一般用	・着色 ・原色	・10 ・15 ・20											

11章 外壁改修工事

01 外壁改修工法の種類	○コンクリート打放し仕上げ外壁 (4.1.4)								
	<table border="1"> <tr> <td>○ひび割れ部改修工法</td> <td>○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法</td> </tr> <tr> <td>○欠損部改修工法</td> <td>○充填工法 ・</td> </tr> </table> <p>・モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>・ひび割れ部改修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法 <p>・欠損部改修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充填工法 ・モルタル塗替え工法 <p>・浮き部改修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンカーピンニング工法(注入口アンカーピンニング工法) ・充填工法 ・モルタル塗替え工法 	○ひび割れ部改修工法	○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法	○欠損部改修工法	○充填工法 ・				
○ひび割れ部改修工法	○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法								
○欠損部改修工法	○充填工法 ・								
	○タイル張り仕上げ外壁								
	<table border="1"> <tr> <td>・ひび割れ部改修工法</td> <td>※樹脂注入工法</td> </tr> <tr> <td>○欠損部改修工法</td> <td>○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>○浮き部改修工法</td> <td>・アンカーピンニング工法(注入口アンカーピンニング工法) ○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>・目地改修工法</td> <td>・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法</td> </tr> </table>	・ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法	○欠損部改修工法	○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法	○浮き部改修工法	・アンカーピンニング工法(注入口アンカーピンニング工法) ○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法	・目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法
・ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法								
○欠損部改修工法	○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法								
○浮き部改修工法	・アンカーピンニング工法(注入口アンカーピンニング工法) ○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法								
・目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法								

02 工法別使用材料

材料	エポキシ樹脂(JIS A6024)		
工法		注入間隔	注入量
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	※200~300mm	・
	・手動式エポキシ樹脂注入工法	・	・
	・機械式エポキシ樹脂注入工法	・	・
確認	○コア抜き取りによるひび割れ部の注入状況の確認 ・その他の方法 () 抜き取り箇所数 (1 箇所) 抜き取り部分の補修方法(○監督員との協議による。)		
	○Uカットシール充填工法 (4.2.4) (4.2.6) (4.3.5) (4.3.7)		
材料	・シーリング(・1成分形ポリウレタン系 ・2成分形ポリウレタン系)		
	○可とう性エポキシ樹脂 ○ポリマーセメントモルタル		
工法	シーリング材の試験 ※同材の組合せで実施した試験成績表がある場合は行わない ・試験を行う (※簡易接着性試験 ・引張接着性試験) 試験の適用箇所()		

・シール工法 (4.2.4) (4.2.6) (4.3.5) (4.3.7)

材料	・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂
----	------------------------

○充填工法 (4.2.4) (4.2.8) (4.3.5) (4.3.9)

材料	・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル
----	---------------------------

※モルタル塗り仕上げ外壁の場合はポリマーセメント(4.3.7(3))による

・モルタル塗り替え工法 (4.3.5) (4.3.10)

材料	・現場調合材料 ・既調合材料 (・)
	・既製目地材 形状(※図示による ・)
工法	モルタル塗厚が 25mmを超える場合の処理(・)

・アンカーピンニング工法(4.3.5) (4.3.11~16) (4.4.5) (4.4.9~15)

材料	アンカーピン 材質(※SUS304 4mmφ丸棒全ネジ切り加工) 長さ(・50 ・70 ・100)
	注入口付アンカーピン 材質(※SUS304 6mmφ) 長さ(・)
	ポリマーセメントスラリー(※実績等の資料を提出する)

工法	アンカーピン本数(本/㎡)		注入口箇所数(箇所/㎡)		充填量注入量(m ³)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・部分エポキシ樹脂注入	※16	※25	/	/	※25
・全面エポキシ樹脂注入	※13	※20	※12	※20	※25
・全面ポリマーセメントスラリー注入	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付部分エポキシ樹脂注入	※9	※16	/	/	※25
・注入口付全面エポキシ樹脂注入	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付全面ポリマーセメントスラリー注入	※9	※16	※9	※16	※50
・注入口付エポキシ樹脂注入	・	・	・	・	※25

○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) (4.4.8) (表4.4.4)

適用 (・0.25㎡超え ・下地モルタル無)						
張付材料の種類						
○リマーセメントモルタル						
・JIS A 5557による一液反応硬化型変性アクリル樹脂系又はメタクリル樹脂系						
タイルの品質はJIS A5209によるほか、次による						
形状寸法(mm)	吸水率	釉薬	役物	耐凍害性	耐滑り性	色
60×227	○I類	・施	○有	○有	・0.4	○標準
60×210	・II類 ・III類	○無	・無	・無	・	・特注

参考 吸水率による区分は、I類は旧規格の磁器質、II類はせつ器質、III類は陶器質にほぼ該当する。
試験張り (・行う ○行わない) (4.4.8)
見本焼き (・行う ○行わない)

○塗り仕上げ外壁等の改修

・壁タイル張りの工法 (標表11.2.3) (標表11.3.2) (標表4.4.5) (標表4.4.6)	
・内外装タイル	・密着張り ・改良圧着張り ・接着剤張り
・内装タイル以外のユニットタイル	・マスク張り ・モザイクタイル張り ・接着剤張り
・下地モルタルの接着力試験 有機系接着剤による陶磁器質タイル張りにおける目地のシーリング材打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地(※ボリウレタン系 ・) 伸縮調整目地、その他の目地(※変成シリコン系 ・) ※目地の位置は図示による	
・目地改修工法 (4.4.16)	
伸縮調整目地	位置(※図示による) 寸法(・)

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (4.5.4) (4.5.5)

工法	・サンダー工法 ・高圧水洗工法 ○塗膜はく離削工法 ・水洗い工法
処理範囲	※既存仕上面全体 ○図示による
下地調整塗材の種類	※セメント系下地調整材 ・ポリマーセメントモルタル

仕上塗材はJIS A6909により種類等は以下による (4.5.2) (表4.5.1) (表4.5.2)

名 称	種類(呼び名)	仕上げの形状及び工法
薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状(・吹付 ・こて塗)
	・内装塗材E	・砂壁状じゅらく ・
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・ひき起し
	・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・上塗り材 (・セメント系)
複層仕上塗材	・複層塗材E	・ゆず肌
	・複層塗材RE	・凸部処理
	・防水形複層塗材E	・凹凸状
その他の仕上塗材		

複層仕上塗材の上塗材の耐候性、種類 (4.5.2)

耐候型	・耐候形3種 ・耐候形2種 ・耐候形1種
種類	・水性アクリル系つやあり ・アクリルシリコン系 ・ポリアクリル系 ・フッ素系
・機能性塗料 (・透湿性 ・)	

防火材料の指定(※あり ・なし)

仕上塗材のホルムアルデヒド放散量は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (4.5.2)

○外壁用塗膜防水材はJIS A 6021による外壁用アクリル系とし、種類等は以下による (表4.7.1) (4.7.3) (4.7.4)
仕上げの形状 (○凹凸状 ・凸部処理 ○ゆず肌状 ・さざ波状)
下地挙動緩衝材 (・あり ○なし)
※防水保証に関しては8章09による

・マステック塗材塗り (4.6.2)

使用部位	塗り種別	下地調整種別
コンクリート、押出成型セメント板、モルタル、ALC [®] 外面	・A種 ・B種	・RA種 ※RB種 ・RC種

押出成型セメント板面の下地調整はRB種とする

05 マステック塗材塗り

課 長	係 長	設計主任	製 図	令和 年 月 日
工 事 名 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事				
図 面 名 特記仕様書 5				

12章 建具改修工事

01 改修方法	工法 (・かぶせ工法 ・撤去工法) (5.1.3) 新規建具の開け方及び建具周囲の補修工法並びにその範囲は図示による。 建具周囲のシーリング材は「8章 防水改修工事」による。						
02 防火戸	適用箇所 ※図示による (5.1.4) ヒューズ装置、熱感知器等との連動 ※図示による						
03 建具見本の製作等ほか	見本製作(・行う ※行わない) (5.1.5) 仮組 (・行う ※行わない) 防犯建物部品の適用(・あり(図示) ・なし) (5.1.7)						
04 防音、断熱、耐震性能	防音、断熱、耐震性能 (5.2.2) (5.3.2) (5.4.2) (5.5.2)						
	<table border="1"> <tr> <td>・防音ドアセット、サッシ</td> <td>遮音性の等級 T-</td> </tr> <tr> <td>・断熱ドアセット、サッシ</td> <td>断熱性の等級 H-</td> </tr> <tr> <td>・耐震ドアセット、サッシ</td> <td>耐震性の等級 D-</td> </tr> </table>	・防音ドアセット、サッシ	遮音性の等級 T-	・断熱ドアセット、サッシ	断熱性の等級 H-	・耐震ドアセット、サッシ	耐震性の等級 D-
・防音ドアセット、サッシ	遮音性の等級 T-						
・断熱ドアセット、サッシ	断熱性の等級 H-						
・耐震ドアセット、サッシ	耐震性の等級 D-						
05 アルミニウム製建具	適用箇所は図示による アルミニウム製建具の性能 (5.2.2)						

・外部	耐風圧性	気密性	水密性	
	・A種	※S-4	※A-3	※W-4
	・B種	※S-5	※A-3	※W-4
	・C種	※S-6	※A-4	※W-5
	・	・	・	・
・屋内	・	・	・	

表面処理 外部(※B-1 ・) 内部(※C-1 ・) (5.2.4)
・常温乾燥形の塗装 (5.2.4)
表面色 (※標準色 ・特注色)
建具の枠の見込み寸法(※70mm ・図示による) (5.2.2)
ステン鋼板の種類 (5.2.3) (5.6.3)
(※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・)
ステン製くつずりの仕上げ (5.2.4) (5.4.4)
(※HL ・)
結露水の処理 (※図示による ・) (5.2.4)
水切り板、ぜん板等の適用、材料等は図示による。 (5.2.5)

06 樹脂製建具

・外部	耐風圧性	気密性	水密性	
	・A種	※S-4	※A-4	※W-4
	・B種	※S-5	※A-4	※W-5
	・C種	※S-6	※A-4	※W-5
	・	・	・	・
・屋内	・	・	・	

使用ガラス (※複層ガラス ・) (5.3.3)
複層ガラスのスペーサー (・アルミ ・樹脂)
建具の枠の見込み寸法 (※図示による ・) (5.3.4)
ステン製くつずりの仕上げ (5.3.4) (5.4.4)
(※HL ・)
表面色 (・標準色 ・特注色)
水切り板、ぜん板等の適用、材料等は図示による (5.3.5)

07 鋼製建具

鋼製建具の性能 (5.4.2)			
	耐風圧性(注)	気密性	水密性
・簡易気密型	※指定なし	※A-3	※W-1
・指定性能	・	・	・

(注)外部に面する建具は S-4、S-5、S-6のいずれかとする
ステン鋼板の種類 (5.4.3) (5.6.3)
種類 (・SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1)
鋼板の厚さ(※表5.4.2による ・図示による) (5.4.4)
ステン製くつずりの仕上げ (5.4.4)
(※HL ・)

08 鋼製軽量建具

鋼製軽量建具の性能 (5.5.2)			
	耐風圧性	気密性	水密性
・簡易気密型	※指定なし	※A-3	※指定なし
・指定性能	・	・	・

鋼板(※亜鉛めつき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カー鋼板) (5.5.3)
ステン鋼板の種類 (5.4.3) (5.6.3)
(※SUS304 ・SUS430J1L又はSUS443J1 ・)
ステン製くつずりの仕上げ (5.5.4) (5.4.4)
(※HL ・)
鋼製軽量建具の召合せ、縦小口包み板等の材質 (※鋼板 ・) (5.5.3)
鋼板の厚さ(※表5.5.1による ・図示による) (5.5.4)

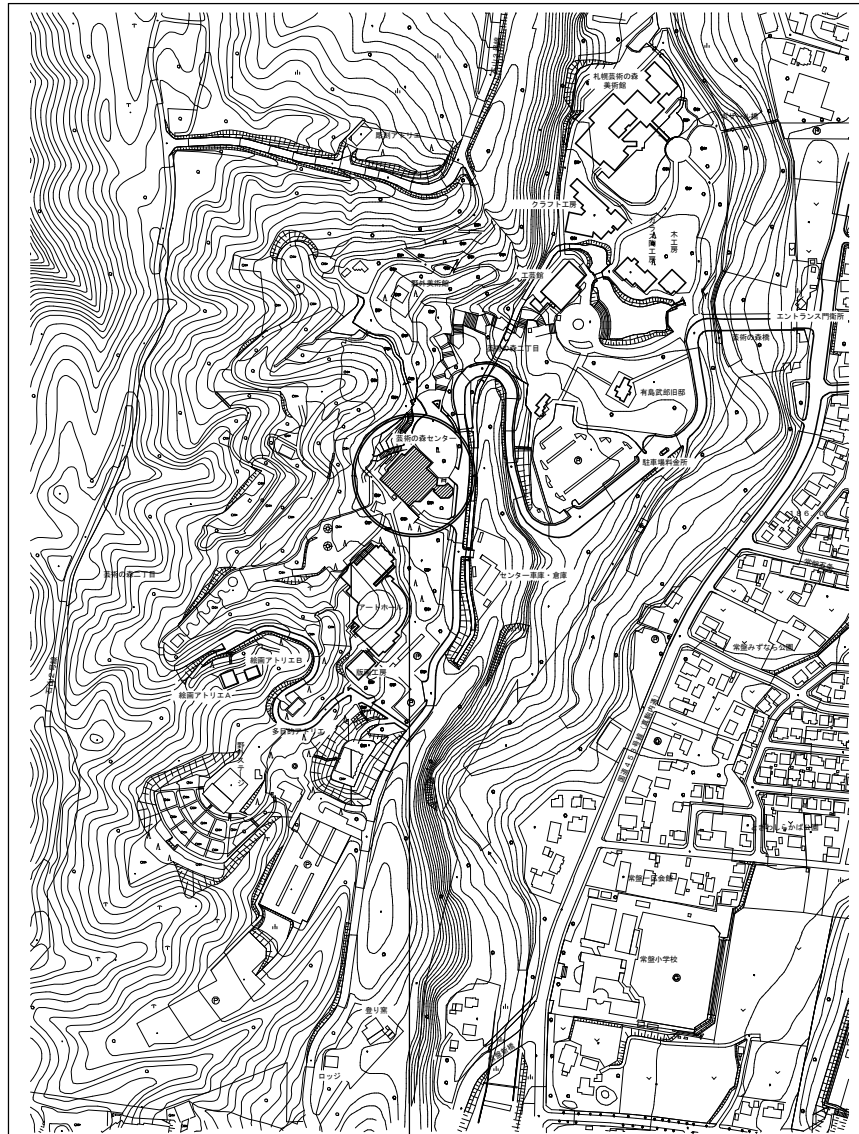
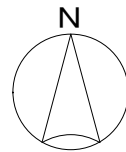
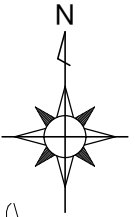
14 ビニル床シート張り等	(6.8節)			
	品名	種類等	厚さ(mm)	特殊機能
	・ビニル床シート	種類(※FS・色柄(※無地))	※2.0mm	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性
	・ビニル床タイル	種類(※KT・色柄(※無地))	※2.0mm ・3.0mm	・帯電防止 ・防滑性
	・ゴム床タイル	種類(・色柄(・))	厚さ(・3mm・4.5mm) 寸法(・)	
	・ビニル幅木	※軟質・硬質	厚さ(※1.5mm) 高さ(※60mm・75mm・100mm)	
	・視覚障害者用床タイル		寸法() 厚さ()	
	<p>・接合部の処理(ビニル床シート張り) (※熱溶接工法)</p> <p>施工箇所(・便所)</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.8.2)</p> <p>下地の種類は図示による</p>			
15 カーペット敷き	(6.9節)			
	種類	種別、寸法(mm)等		
	・織じゅうたん	・A種・B種・C種 色柄(※模様のない無地)	・ループパイル ・カットパイル	
	・タフタカーペット	※全面接着 ・グリッパー	・ループパイル ・カットパイル	パイル長さ (・)
	・ニードルパンチカーペット	・ラバー付 ・ラバー無	厚さ(・)	
	・タイルカーペット	※1種 ・2種	※ループパイル ・カットパイル	寸法(※500角・) 厚さ(※6.5・)
	<p>・帯電防止(3kV以下)</p> <p>タイルカーペットの敷き方(※6.9.3による・図示による)</p> <p>見切り、押え金物の材質、種類及び形状は図示による</p> <p>グリッパー工法の下敷き材(※反毛フェルト第2種第2号、呼び厚さ8mm)</p> <p>下地の種類は図示による</p>			
	<p>接着材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.9.3)</p>			
16 合成樹脂塗床	(6.10節)			
	床仕上げ	床材	表面仕上げ	
	・厚膜型塗床材	・弾性ウレタン樹脂系 ・エポキシ樹脂系	※平滑 ・防滑	・つや消し ・薄膜流しのべ(・平滑・防滑) ・厚膜流しのべ(・平滑・防滑) ・樹脂モルタル(・平滑・防滑)
	・薄膜型塗床材	エポキシ樹脂系	平滑	
	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (6.10.2)			
17 フローリング張り	(6.11節)			
	品名	工法	厚さ×幅×長さ(mm)	
	・フローリングブロック等	・接着	・	
	・フローリングボード等	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り)	・	
	・複合フローリング	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り)	・A種・B種・C種 ・	
	・単層フローリング	・特殊張り	・t18	
	<p>樹種(・) (※地域材・)</p> <p>・複合フローリングの防湿処理</p> <p>・下張り材料: (・合板(712mm)・パーティクルボード(715mm)・図示による)</p> <p>・不陸緩衝材(接着工法) 材料(※合成樹脂発泡シート)</p> <p>・塗装の塗り替え 下地調整(※図示による・)</p> <p>塗装 (※図示による・)</p>			
	<p>フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.11.2)(6.11.5)</p>			
18 畳敷き	(6.12節)			
	種類:	・A種・B種・C種 ・D種(・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)		

19	せつこうボード、その他ボード及び合板張り	(6.13節)			
		種類(記号)	種別	厚さ(mm)	備考
	せつこうボード (GB-R)		壁 天井	・9.5 ・12.5・15 ・9.5 ・12.5・15 (準不燃) (不燃) (準不燃)	
	化粧せつこうボード (GB-D)	・トパーチン模様 ・455×910・910×910		・9.5 ・12.5 (不燃)	
	強化せつこうボード (GB-F)	・木目模様 (システム下地)		・9.5 ・12.5 (準不燃) (不燃)	
	シーリングせつこうボード(GB-S)			・9.5・12.5 ・15 (準不燃)	
	ロックウール化粧吸音板(DR)	・普通 ◎立体模様		・9.0・12.0 ・12.0◎15 (不燃) (不燃)	
	フレキシブル板(F)			◎6・	
	けい酸カルシウム板	・普通(※0.8FK) ・化粧(着色)・穴あけ		・6・	
	木毛セメント板	※難燃・断熱		・20・25	
	合板				
	種類	樹種(加工方法)	厚さ(mm)	処理	
	・普通合板	・	・	・防虫	
	・天然木化粧合板	・	・	・防虫	
	・特殊加工化粧合板	・	・	・防虫	
	MDF、パーティクルボード、合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.13.2)				
	<p>合板の張付け(・A種 ※B種)</p> <p>合板の表面性能() 接着の程度()</p> <p>せつこうボードの目地処理(・継目処理・突付け・目透かし)</p> <p>継目処理のエッジの種類(・テーパエッジ・ヘアエッジ)</p> <p>突付け、目透かしのエッジの種類(・ヘアエッジ・スクエアエッジ)</p>				
20	吸音材	吸音材の材質、工法(JIS A6301)			
		材質	品質・規格	厚さ(mm)	
	・ロックウール吸音材	※ロックウール吸音ボード1号	・25・50・40		
	・グラスウール吸音材	※グラスウール吸音ボード2号	・25・50 ・32K・48K・60K		
	工法				
	<p>・グラスクロス(JIS R3414EP)にて額縁張りしたもの、インサールビン留め化粧ワッシャー押え、又は断熱ファスナー留め</p> <p>・グラスクロス(JIS R3414EP)にて片面張りしたもの、インサールビン留め化粧ワッシャー押え、又は断熱ファスナー留め</p>				
21	壁紙張り	壁紙の品質はJIS A6921による (6.14節)			
		種類	程度	施工箇所	防火性能
	※塩化ビニル樹脂系	※普及品	・壁 ・天井	・不燃・準不燃 ※難燃	
	モルタル、プaster面下地調整(・RA種 ※RB種・RC種)(表7.2.4)				
	コンクリート面下地調整(・RA種 ※RB種・RC種)(表7.2.5)				
	せつこうボード面下地調整(・RA種 ※RB種・RC種)(表7.2.7)				
	壁紙、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による。また、壁紙はTVOCが、ISM、SV規格又は同等の基準のものとする。 (6.14.2)				
22	モルタル塗り	材料(・現場調合材料・既調合材料())			
		コンクリート素地面の処理(・目荒し工法・)			
	既製目地材の適用(・)				
	既製目地材の形状(・) (6.15.3)				
	床の目地の目地割り(※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度・) (6.15.6)				
	床の目地の種類(※押し目地・) (6.15.6)				
23	セラミックタイル張り	11章 外壁改修工事 03 タイル改修を参照すること。			

24	断熱・防露改修工事	打込工法及び後張り工法の断熱材 JIS A9521による。 (9.3.2)(9.3.4)			
		材質	種類	厚さ(mm)	施工箇所
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・特号 ・1号 ・3種a ◎3種b			
	◎押出法ポリスチレンフォーム断熱材	◎3種b	50、100 90(50+40)	テラス(通路)、階段	
	◎硬質ウレタンフォーム断熱材 A種	・1種 ◎2種1号	50、100 90(50+40)	ROOF	
	・フェノールフォーム断熱材	・1種1号 ・2種1号			
	フェノールフォーム断熱材又は保温材並びに接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (9.3.2)(9.3.4)				
	現場発泡工法の断熱材は JIS A9526による (9.3.3)				
	吹付け硬質ウレタンフォーム種類(※A種1・) 難燃性を有するものとする 吹付け厚さ(mm)				
	火気及び有害ガス等に対する安全衛生対策は、関係法令等に従い十分に行う。				
	その他の断熱材				
	材質	厚さ(mm)	施工箇所	規格	
	・グラスウール	・16K品(・高性能) ・24K品(・高性能)		JIS A9504 JIS A9521	
	・				
	ホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による				
14章 塗装改修工事					
01	材料	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (7.1.3)			
		防火材料の指定(・あり◎なし・図示による) 工程、使用量については、各メーカー仕様による。			
02	下地調整	(7.2節)			
		下地面等	種別		
	木部	不透明塗料塗り 上記以外	※RB種・RA種・RC種 ・RA種・RB種・RC種		
	鉄鋼面		※RB種・RA種・RC種		
	亜鉛めっき鋼面		※RB種・RA種・RC種		
	モルタル面、せつこうプaster面		※RB種・RA種・RC種		
	コンクリート面(DP以外)、ALC® 材面		※RB種・RA種・RC種		
	コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面		・RA種・RB種・RC種		
	せつこうボード面、その他ボード面		※RB種・RA種・RC種		
	RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 (・図示による・)				
03	素地ごしらえ	新規に塗装を行う場合に適用 (7.3節)			
		下地面等	種別		
	木部	不透明塗料塗り 上記以外	※A種・B種 ※B種・A種		
	鉄鋼面	DP 上記以外	※B種・A種・C種 ※C種・A種・B種		
	亜鉛めっき鋼面		※A種・B種		
	モルタル面、せつこうプaster面		※B種・A種		
	コンクリート面(DP以外)、ALC® 材面		※B種・A種		
	コンクリート面(DP)		※A種・B種		
	押出成形セメント板面		※B種・A種		
	せつこうボード面、その他ボード面	目地：継目処理工法 目地：上記以外	※A種・B種 ※B種・A種		

04	錆止め塗料塗り	鉄鋼面 (7.4節)			
		下地面等	錆止め塗料の種類	工程の種類	
	見掛け部分(新規塗装)	SOP DP	A種 1回目 C種 2, 3回目 D種	※A種・B種・C種 ※A種・B種・C種	
	見隠れ部分(新規塗装)	SOP DP	A種 1回目 C種 2, 3回目 D種	※A種・B種・C種 ※A種・B種・C種	
	塗替え	SOP DP	A種 1回目 C種 2, 3回目 D種	※B種・A種・C種 ※A種(RA)	
		E P-G	※B種(水系)・A種	※B種・A種・C種	
		E種		※B種(RB)・C種(RC)	
		E P-G	※B種(水系)・A種	※C種・A種・B種	
亜鉛メッキ鋼面 (7.4節)					
	下地面等	錆止め塗料の種類	工程の種類		
	鋼製建具等(新規塗装)	SOP DP	※A種・B種 B種	※A種・B種・C種	
		E P-G	C種	※A種・B種・C種	
	上記以外(新規塗装)	SOP DP	※A種・B種 B種	※B種・A種・C種 (表7.4.6)	
		E P-G	C種	※B種・A種・C種	
	塗替え	SOP	※A種・B種	※C種(RB) ・A種(RA)・B種(RA)	
		DP	B種	(表7.4.6)	
		E P-G	C種	・C種(RB) ・A種(RA)・B種(RA)	
(7.4節)					
	塗装		塗り種別		
	SOP	木部(新規塗装)	屋外 屋内	※A種・B種・C種 ※B種・A種・C種	
		木部(塗替え)		※B種・A種・C種	
		鉄鋼面		※B種・A種・C種	
		亜鉛めっき鋼面(新規塗装)		※B種・A種・C種	
		亜鉛めっき鋼面(塗替え)	鋼製建具 上記以外	※A種・B種・C種 ※B種・A種・C種	
	DP	鉄鋼面		(表7.8.1)	
		亜鉛めっき鋼面		(表7.8.2)	
		コンクリート面、押出成形セメント板面		・A-1種・A-2種 ・B-1種・B-2種 ・C-1種・C-2種	
	E P-G	コンクリート面、モルタル面等		※B種・A種・C種	
		木部(新規塗装)		※A種・B種・C種	
		木部(塗替え)		※B種・A種・C種	
		鉄鋼面(屋内)		※B種・A種・C種	
		亜鉛めっき鋼面		※A種・B種	
	EP			※B種・A種・C種	
	DP 上塗り塗料の等級 鉄鋼面(◎1級・2級◎3級) 亜鉛めっき鋼面(・1級・2級・3級)				
	EP-G, EP 塗替えの場合のしみ止め(・)				
	・水性珪酸エポキシ塗り (標18.11節準用)				
	使用部位	塗り種別	素地ごしらえ		
	・床	※4回塗り キット-掛け5回	※B種・A種		
	・一般木部	※A種・B種	※B種・A種		
	塗料等のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。				
	◎その他塗装：二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料 アクリルシリコン樹脂塗料(打放し仕上) 撥水性塗料				
	・図示による 素地ごしらえ、下地調整、錆止め塗料塗り等は公共建築工事標準仕様書又は公共建築改修工事標準仕様書を参照すること。 塗料は施工前に施工計画書により監督員の承諾を得ること。 工程、塗布量については各メーカー仕様による。				

(一財)札幌市住宅管理公社	課長	係長	設計主任	製図	令和 年 月 日	工事名	札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事		図番
						図面名	特記仕様書 7		A-07
								縮尺	



改修建物（芸術の森センター）

札幌芸術の森：札幌市南区芸術の森2丁目

付近見取図



配置図 1/5,000

 本工事施設を示す

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	概図	製図	特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
				札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	付近見取図、配置図		A-09
					縮尺 1/5,000	区分	

■ 仕上表 ■

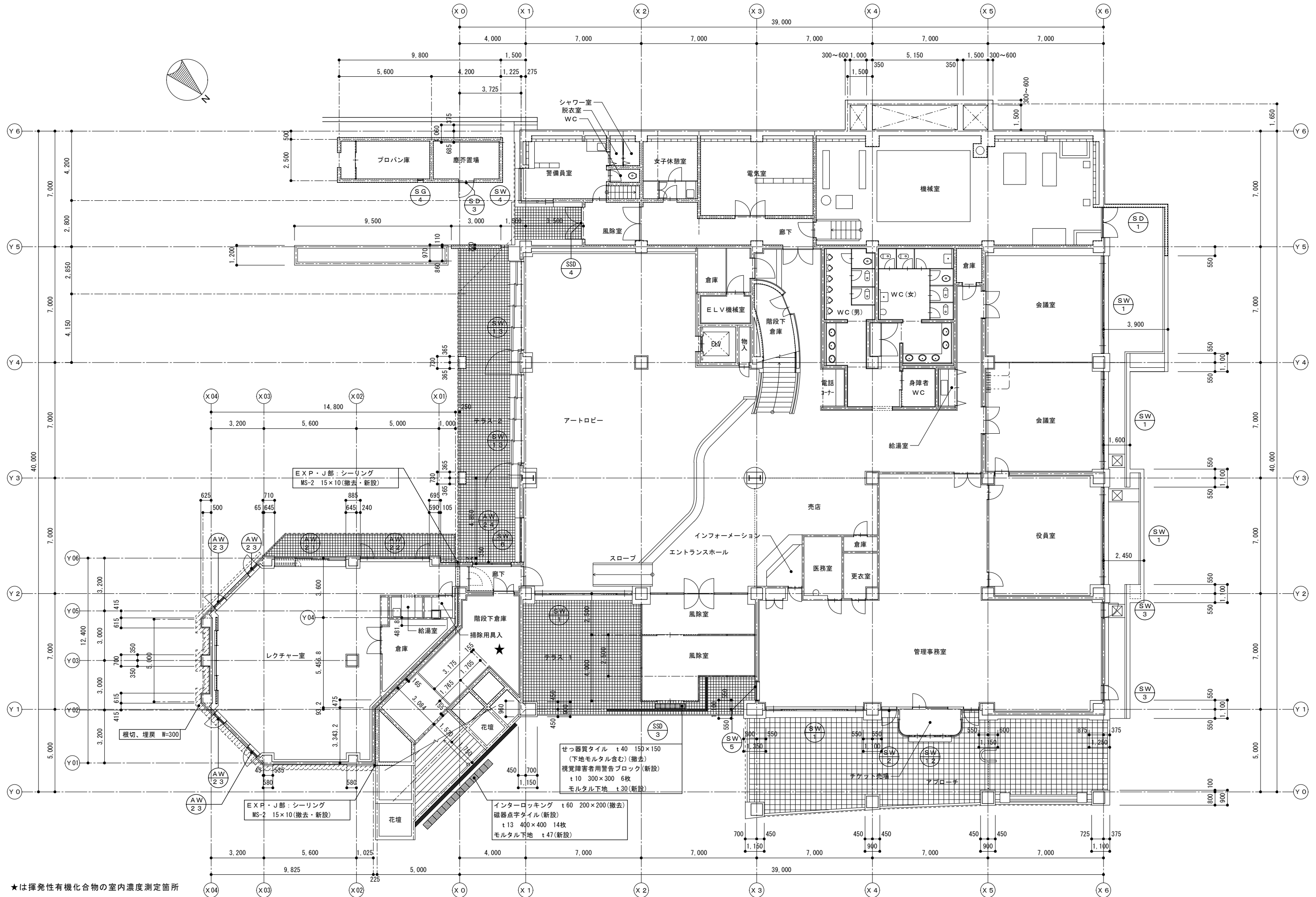
階	名称	改修前	改修後	階	名称	改修前	改修後
防水改修							
R階	ROOF	平面 : シート防水 t1.3(絶縁工法)(撤去)、F P板 t100(撤去) シート防水 t1.3 (撤去) の上、ストレッチルーフ(撤去) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 立上り : シート防水 t1.3(絶縁工法)(撤去) F P板 t130(t100+t30)(撤去) シート防水 t1.3 (撤去) の上、ストレッチルーフ(撤去) 笠木 : 耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=950、=750、=650、=450(撤去) シート防水巻込み t1.3(撤去) F P板 t25(撤去) 防水シート押工金物(ビス止め)(撤去) 片持スラブ : シート防水 t1.3(撤去) 室外機基礎 : 700×1,050×H170 4ヶ所 シート防水 t1.3(絶縁工法)(撤去)	平面 : 改質アスファルトシート防水(AS1-T1)(新設) 断熱材 t100(新設) 仮防水(新設) 立上り : 改質アスファルトシート防水(AS1-T1)(新設) 断熱材 t100(新設) 仮防水(新設) 笠木 : アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (裏面止水発泡シール材貼付 t=5 W=100、端部:小口フタ付)(新設) 立上げ部 : アルミ製端押え金物 L-65×40(新設) 改質アスファルトシート防水(AS1-T1)(新設) 断熱材 t75(新設) 仮防水(新設) 煙突部 : アルミ水切(既製品)W=30(新設) アルミ防水押え金物(既製品)W=37(新設) 片持スラブ : 下地調整の上、改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 室外機基礎 : 環境対応型常温改質アスファルト塗膜防水(新設)、仮防水(新設)	防水改修	笠木 : 耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=500、600(既存のまま) F P板 t25(既存のまま) シーリング MS-2 15×10(撤去) ジョイント部シーリング MS-2 15×10(撤去) スチールフェンス : D P塗装 H-1,010(既存のまま)	笠木 : D P塗り(新設) シーリング MS-2 15×10(新設) ジョイント部シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ)(新設)	
R階	屋根	平面 : カラー鉄板 t0.4 横葺(既存のまま)、野地板(既存のまま) 立上り : カラー鉄板 t0.4 横葺(既存のまま)、野地板(既存のまま)	平面 : 水洗い、下地調整の上、二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料(新設) 立上り : 水洗い、下地調整の上、二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料(新設)	2階	テラス(通路)	平面 : コンクリート押工 平均 t80 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(撤去) F P板 t50(撤去) F P板 t100(撤去) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 伸縮目地(25×80)(撤去) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(撤去) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート(既存のまま)	平面 : コンクリート押工 平均 t80 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(新設) 断熱材 t50(新設) 断熱材 t100(新設) アスファルト防水(A1-1)(新設) アスファルト防水(A1-1)(新設) 視覚障害者用警告ブロック(新設)t10 300×300 3枚 成形伸縮目地(25×80)(新設) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(新設) 撥水性塗料塗布(新設) アスファルト防水(A1-1)(新設)
R階	ROOF(風除室)	平面 : シート防水 t1.3(撤去) P L鋼板下地 t2.3(既存のまま) 立上り : シート防水 t1.3(撤去) P L鋼板下地 t2.3(既存のまま)、鉄骨下地(既存のまま) 笠木 : ボンデ鋼板 t1.6 W=175(撤去) 水切 : ボンデ鋼板 t1.6 W=65、=100(撤去)	平面 : ウレタン塗膜防水(X-2)(新設) 立上り : ウレタン塗膜防水(X-2)(新設) 笠木 : アルミ笠木 t2.0(焼付塗装)W=200(端部:小口フタ付)(新設) 捨て笠木 : ガルバリウム鋼板 t0.8 W=100(新設) 水切 : アルミ t2.0(焼付塗装)W=65、=100(端部:小口フタ付)(新設)	2階	階段(通路部)	平面 : 150角せつ器質タイル(蹴上も含む)(撤去) モルタル下地 t30(撤去) コンクリート押工 平均 t60 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(蹴上も含む)(撤去) F P板 t50(撤去) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(一部 撤去) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート(既存のまま)	平面 : 150角磁器質タイル(蹴上も含む)(新設) 垂れ付き段鼻 : 150角磁器質タイル(ノンスリップ)(新設) モルタル下地 t30(新設) コンクリート押工 平均 t60 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(蹴上も含む)(新設) 断熱材 t50(新設) アスファルト防水(A1-1)(新設) 視覚障害者用警告ブロック(新設)t10 300×300 24枚 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(新設) 撥水性塗料塗布(新設) アスファルト防水(A1-1)(新設)
2階	屋上ガーデン(X3×X6、Y0~Y1)	平面 : 人工芝貼(撤去) コンクリート押工 平均 t130 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(既存のまま) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 伸縮目地キャップ(25×15)(撤去) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(既存のまま) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) 笠木 : 耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=450、=700(既存のまま) F P板 t25(既存のまま) シーリング MS-2 15×10(撤去) ジョイント部シーリング MS-2 15×10(撤去) スチールフェンス : D P塗装 H-1,010(既存のまま) フェンス基礎 : コンクリート(既存のまま)	シーリング MS-2 25×15(新設) 笠木 : D P塗り(新設) シーリング MS-2 15×10(新設) ジョイント部シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ)(新設)	2階	階段	平面 : 150角せつ器質タイル(蹴上も含む)(撤去) モルタル下地 t30(撤去) コンクリート押工 平均 t60 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(蹴上も含む)(撤去) F P板 t50(撤去) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 立上り : コンクリート打放シ(ハツリ仕上)(カッター入れ 一部撤去) E X P・J部 : シーリング MS-2 15×10(撤去) 手摺 : スチール D P塗装(既存のまま)	平面 : 150角磁器質タイル(蹴上も含む)(新設) 垂れ付き段鼻 : 150角磁器質タイル(ノンスリップ)(新設) モルタル下地 t30(新設) コンクリート押工 平均 t60 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(蹴上も含む)(新設) 断熱材 t50(新設) アスファルト防水(A1-1)(新設) 視覚障害者用警告ブロック(新設)t10 300×300 23枚 立上り : コンクリート打放シ(ハツリ仕上)(カッター入れ 一部撤去) コンクリート打放シ t60 (溶接金物入100×100×φ6)(新設) アスファルト防水(A1-1)(新設)
2階	屋上ガーデン(X3×X6、Y1~Y2)	平面 : 人工芝貼(撤去) コンクリート押工 平均 t80 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(既存のまま) F P板 t100(既存のまま) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 伸縮目地キャップ(25×15)(撤去) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(既存のまま) F P板 t100(既存のまま) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) 笠木 : 耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=700(既存のまま) F P板 t25(既存のまま) シーリング MS-2 15×10(撤去) ジョイント部シーリング MS-2 15×10(撤去) スチールフェンス : D P塗装 H-1,010(既存のまま) フェンス基礎 : コンクリート(既存のまま)	シーリング MS-2 25×15(新設) 笠木 : D P塗り(新設) シーリング MS-2 15×10(新設) ジョイント部シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ)(新設)	1階	階段	平面 : 150角せつ器質タイル(蹴上も含む)(撤去) モルタル下地 t30(撤去) ストレッチルーフ(撤去) 立上り : コンクリート打放シ(ハツリ仕上)(カッター入れ 一部撤去) E X P・J部 : シーリング MS-2 15×10(撤去) 手摺 : スチール D P塗装(既存のまま)	平面 : 150角磁器質タイル(蹴上も含む)(新設) 垂れ付き段鼻 : 150角磁器質タイル(ノンスリップ)(新設) モルタル下地 t30(新設) 立上り : 150角磁器質タイル(新設) コンクリート打放シ t60 (溶接金物入100×100×φ6)(新設)
2階	テラス(X1~X3、Y2~Y5)	平面 : コンクリート押工 平均 t80 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(一部 撤去) F P板 t100(一部 撤去) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 伸縮目地キャップ(25×15)(撤去) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(既存のまま) F P板 t100(既存のまま) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) 笠木 : 耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=450、700、950(既存のまま) F P板 t25(既存のまま) シーリング MS-2 15×10(撤去) ジョイント部シーリング MS-2 15×10(撤去) スチールフェンス : D P塗装 H-1,010(既存のまま) フェンス基礎 : コンクリート(既存のまま) スロープ・階段 : 磁器質タイル(既存のまま)	平面 : コンクリート押工 平均 t80 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(一部 新設) 断熱材 t100(一部 新設) アスファルト防水(AI-1)(一部 新設) アスファルト防水(AI-1)(一部 新設) 視覚障害者用警告ブロック(新設)t10 300×300 5枚 シーリング(MS-2 25×15)(新設) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上 t230(一部新設) 撥水性塗料塗布(一部新設)	2階	ROOF	平面 : 合成高分子ルーフィングシート防水 t1.3(絶縁通気工法)(撤去) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 立上り : 合成高分子ルーフィングシート防水 t1.3(絶縁通気工法)(撤去) コンクリート(既存のまま、一部撤去) 笠木 : アルミ既製品 アクリル焼付塗装 W=200(撤去) E X P・J部 : アルミ加工 t2.0(焼付塗装)W=175(撤去) 水切 : アルミ加工 t2.0(焼付塗装)W=90(撤去) 室外機基礎 : 1,200×1,300×H200 合成高分子ルーフィングシート防水 t1.3(絶縁通気工法)(撤去) 室外機ルーバー(取外し) 室外機部 配管基礎 : W120×H120×L600(取外し)3ヵ所 配管基礎 : W100×H100×L150(取外し)8ヵ所	平面 : 改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 仮防水(新設) 立上り : 改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 仮防水(新設) 笠木 : アルミ笠木 t2.0(焼付塗装)W=225(新設) アルミE X P・J水切(焼付塗装)W=300(新設) 室外機基礎 : 環境対応型常温改質アスファルト塗膜防水(新設) 室外機ルーバー(再取付) 室外機部 配管基礎 : W120×H120×L600(再取付)3ヵ所 配管基礎 : W100×H100×L150(再取付)8ヵ所
2階	テラス(Y5~Y6)	平面 : コンクリート押工 平均 t80 (溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(既存のまま) F P板 t100(既存のまま) アスファルト防水(A-1)+アスファルト防水(A-1)(既存のまま) コンクリート金ゴテ押工(既存のまま) 伸縮目地キャップ(25×15)(撤去) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上(一部撤去)	シーリング MS-2 25×15(新設) 立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6) 打放シ仕上 t230(一部新設) 撥水性塗料塗布(一部新設)				

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録(五)第5207号 管理建築士 一級建築士 第168408号 佐久間 清尚	棟名	製図	特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 仕上表(1)	設計年月日	図番番号 A-10
					縮尺 NO SCALE	区分	

■ 仕上表 ■

階	名称	改修前	改修後	階	名称	改修前	改修後
防水改修				外壁改修			
R階	ROOF (厨芥庫)	平面 : アスファルト露出防水(既存のまま) コンクリート下地(既存のまま) 立上り : アスファルト露出防水(撤去) 笠木 : 耐候性鋼板 t1.2 W=250 ウェザーコートプレバリン処理(撤去)	平面 : 改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 立上り : 下地調整の上、改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 笠木 : アルミ笠木 t2.0(焼付塗装)W=250(新設)		軒天	シート状天然砕石装飾材貼 t3(撤去) コンクリート打放シ(既存のまま) 岩綿吸音板 t15 リブ付(外部用)(一部 撤去) 耐水PB捨貼 t9.5(一部 撤去) フレキシブルボード t6.0(撤去) リシン吹付(撤去) 天井軽量鉄骨下地(一部撤去)	ひび割れ・欠損等補修、 下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(吹付凸凹仕上)(新設) ロックウール化粧吸音板 t15 リブ付(外部用)(一部 新設) 耐水PB捨貼 t9.5(一部 新設) 一部 EP(新設) フレキシブルボード t6.0(新設) EP-G塗装(新設) 天井軽量鉄骨下地(一部新設)
2階	ROOF (プロバン庫・塵芥置場)	平面 : 塗布防水(撤去) コンクリート金ゴテ押エ(既存のまま) 平面 : 折板 t1.2 面戸付(既存のまま) 立上り : 塗布防水(撤去) コンクリート打放シ(既存のまま) パラベット天端 : 樹脂モルタル仕上(既存のまま) コンクリート(既存のまま)	平面 : 改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 仮防水(新設、下地調整を兼ねる。) 平面 : 水洗い、下地調整の上、二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料(新設) 立上り : 改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 仮防水(新設、下地調整を兼ねる。) パラベット天端 : アルミ笠木 t2.0(焼付塗装)W=275(新設) 改質アスファルトシート防水(AS-T3)(新設) 天端モルタル t30(新設)		その他改修内容		
外壁改修				タラップ			
外壁	プレキャスト貼(テラゾー洗出し仕上)(既存のまま) FP板 t100(既存のまま) 目地シーリング MS-2 15×10(撤去) 御影石 t25(バーナー仕上)(既存のまま) 目地シーリング MS-2 10×10(撤去) テラゾーブロック洗出し仕上(既存のまま) 目地シーリング MS-2 15×10(撤去) せつ器質タイル(乾式工法)(撤去) アスファルトルーフィング(撤去) 下地板 t12(撤去) 軽量鉄骨下地(既存のまま、一部撤去) せつ器質タイル(乾式工法)(既存のまま) 下地板 t12(既存のまま) 軽量鉄骨下地(既存のまま) 周囲壁、軒天取合い : シーリング MS-2 15×10(撤去) せつ器質タイル(60×210)割れ・ひび・浮き部(撤去) モルタル下地(既存のまま) コンクリート(溶接金物入100×100×φ6)(既存のまま) FP板 t100(既存のまま) コンクリート打放シ(ハツリ仕上)(既存のまま) コンクリート打放シ(既存のまま) コンクリート打放シ EP(既存のまま) せつ器質特殊レンガ(既存のまま) 打継箇所 目地切(既存のまま) シート状天然砕石装飾材貼 t3(撤去) コンクリート打放シ(既存のまま) せつ器質タイル貼(二丁掛)割れ・ひび・浮き部(撤去) 吹付タイル(塗膜除去) 環境対応型 コンクリート打放シ(既存のまま) リシン吹付(既存のまま) コンクリート打放シ(既存のまま) リシン吹付(塗膜除去) 環境対応型 コンクリート打放シ(既存のまま) コンクリート打放シ(撤去) 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(既存のまま)	プレキャスト貼(テラゾー洗出し仕上)欠損部補修(テラゾー洗出し仕上)(新設) 目地シーリング MS-2 15×10(新設) 目地シーリング MS-2 10×10(新設) 目地シーリング MS-2 10×10(新設) テラゾーブロック洗出し仕上 欠損部補修(テラゾー洗出し仕上)(新設) 目地シーリング MS-2 15×10(新設) カラーガルバリウム鋼板 t0.4(一文字葺)(新設) 透湿防水シート(新設) 構造用合板 t12(二重張)(新設) 軽量鉄骨下地(一部新設) 一部立上り : コンクリート(溶接金物入100×100×φ6)打放し仕上(新設) 撥水性塗料塗布(新設) 周囲壁、軒天取合い : シーリング MS-2 15×10(新設) 割れ・ひび・浮き部 磁器質タイル(60×210)(新設) 見切・水切 : カラーガルバリウム鋼板 t0.4(新設) 木下地(18×30、25×30)(新設) 鉄筋等爆裂・欠損等補修(ハツリ仕上)(新設) ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装(打放し仕上)(新設) ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 EP-G(新設) — ひび割れ・欠損等補修、 下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(吹付凸凹仕上)(新設) 割れ・ひび・浮き部(新設) ひび割れ・欠損等補修、 下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(ローラーゆず肌仕上)(新設) コンクリート打放シ(新設) 下地調整の上、DP塗り(新設)	ステンレスタラップ(新設) 植込砂利 (一時撤去) 植込土 t560(一時撤去) 樹木 H-700(掘取り) 笠木 : 耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=420(撤去) PB t9.5 素地(撤去) インターロッキング t60 200×200(一部撤去) アスファルト舗装 t40(撤去) コンクリート t100(溶接金物入100×100×φ6)木コテ仕上(撤去) グレーチング W=150(SUS)(取外し) グレーチング枠(SUS)(撤去) 内部 防水モルタル t20(撤去) 御影石 t25(バーナー仕上) MS-2 10×10(撤去) プレキャスト貼(テラゾー洗出し仕上) MS-2 15×10(撤去) テラゾーブロック洗出し仕上 MS-2 15×10(撤去) カラーガルバリウム鋼板 t0.4(一文字葺) 見切部 MS-2 10×10(新設) せつ器質特殊レンガ 打継目部 MS-2 15×10(撤去) 階段立上り 150角磁器質タイル~ コンクリート打放シ(ハツリ仕上) 取合部 MS-2 20×10(新設) 笠木取合部 耐候性鋼板 t1.2 DP塗り MS-2 15×10(撤去) 笠木ジョイント部 MS-2 15×10(撤去) EXP・J部 MS-2 15×10×2(撤去) MS-2 15×10(撤去) MS-2 30×30/2(新設) 屋上ガーデン・テラス 床 押エコンクリート 伸縮目地キャップ 25×15(撤去) MS-2 25×15(新設) 建具廻り MS-2 15×10(撤去) MS-2 10×10(撤去) MS-2 10×10(新設) MS-2 20×10(新設) MS-2 30×10(新設) 外部面ガラス止めシーリング SR-1 10×10(撤去) SR-1 10×10(新設)				
軒天				【 注記事項 】			
プレキャスト貼(テラゾー洗出し仕上)(既存のまま) FP板 t100(既存のまま) 目地シーリング MS-2 15×10(撤去) 御影石 t25(バーナー仕上)(既存のまま) 目地シーリング MS-2 10×10(撤去) テラゾーブロック洗出し仕上(既存のまま) 目地シーリング MS-2 15×10(撤去) せつ器質タイル(乾式工法)(撤去) 下地板 t12(撤去) 軽量鉄骨下地(既存のまま) せつ器質タイル(60×210)割れ・ひび・浮き部(撤去) モルタル下地(既存のまま) コンクリート(溶接金物入100×100×φ6)(既存のまま) FP板 t100(既存のまま) コンクリート打放シ(ハツリ仕上)(既存のまま) コンクリート打放シ(既存のまま) 吹付タイル(塗膜除去) 環境対応型 コンクリート打放シ(既存のまま) リシン吹付(既存のまま) コンクリート打放シ(既存のまま)				プレキャスト貼(テラゾー洗出し仕上)欠損部補修(テラゾー洗出し仕上)(新設) 目地シーリング MS-2 15×10(新設) 目地シーリング MS-2 10×10(新設) テラゾーブロック洗出し仕上 欠損部補修(テラゾー洗出し仕上)(新設) 目地シーリング MS-2 15×10(新設) 外壁 : カラーガルバリウム鋼板 t0.4(一文字葺)(新設) 透湿防水シート(新設) 構造用合板 t12(二重張)(新設) 割れ・ひび・浮き部 磁器質タイル(60×210)(新設) 鉄筋等爆裂・欠損等補修(ハツリ仕上)(新設) ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装(打放し仕上)(新設) ひび割れ・欠損等補修、 下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(ローラーゆず肌仕上)(新設) —	芸術の森センター及びレストランは工事期間中も営業しているため、十分配慮し工事をおこなうこと。 1階の風除室前、アプローチ周囲、テラス-1周囲及び、2階風除室前の作業は営業時間(9:45~17:30)外におこなうこと。 工事資材搬入、大型車両の乗り入れは営業時間(9:45~17:30)外におこなうこと。 カラーガルバリウム鋼板 t0.4(一文字葺)は十文字4つ切(561×138)とする。(中光沢鋼板又は低光沢鋼板とする) 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系 JIS A 6021)(吹付凸凹仕上)は、タテ、ヨコ共ピッチ900程度に目地(凹凸なし部)をいれる。(目地幅は打合せによる。) 外壁用塗膜防水、及びカラーガルバリウム鋼板(一文字葺き)の色選定時は1m×1m程度の見本を作成し、色決定時は2m×2m程度の試作品を作成すること。 磁器質タイル(60×210)は二丁掛タイル(既製品)をサイズ調整の上張り付けること。 注記なきRDは既存ルーフドレンキャップ・血板を撤去の上、改修用ルーフドレン・キャップ(形状はメーカー仕様による)を新設し、ドレン洗浄をおこなう。 ルーフドレン洗浄は第一樹までおこなう。 下地調整はセメント系C-1、コテ塗りとする。 仮防水はポリマーセメント系とする。 新設するアルミ笠木はオープン形とする。 新設するアルミ笠木、水切のコーナー、立上り、小口フタ等役物の溶接接合部分は表裏全周溶接(ビート残し)とする。 改質アスファルトシート防水(AS1-T1)は、飛び火認定品とする。 塗膜除去は塗膜はく離剤工法とし、環境対応型とする。		

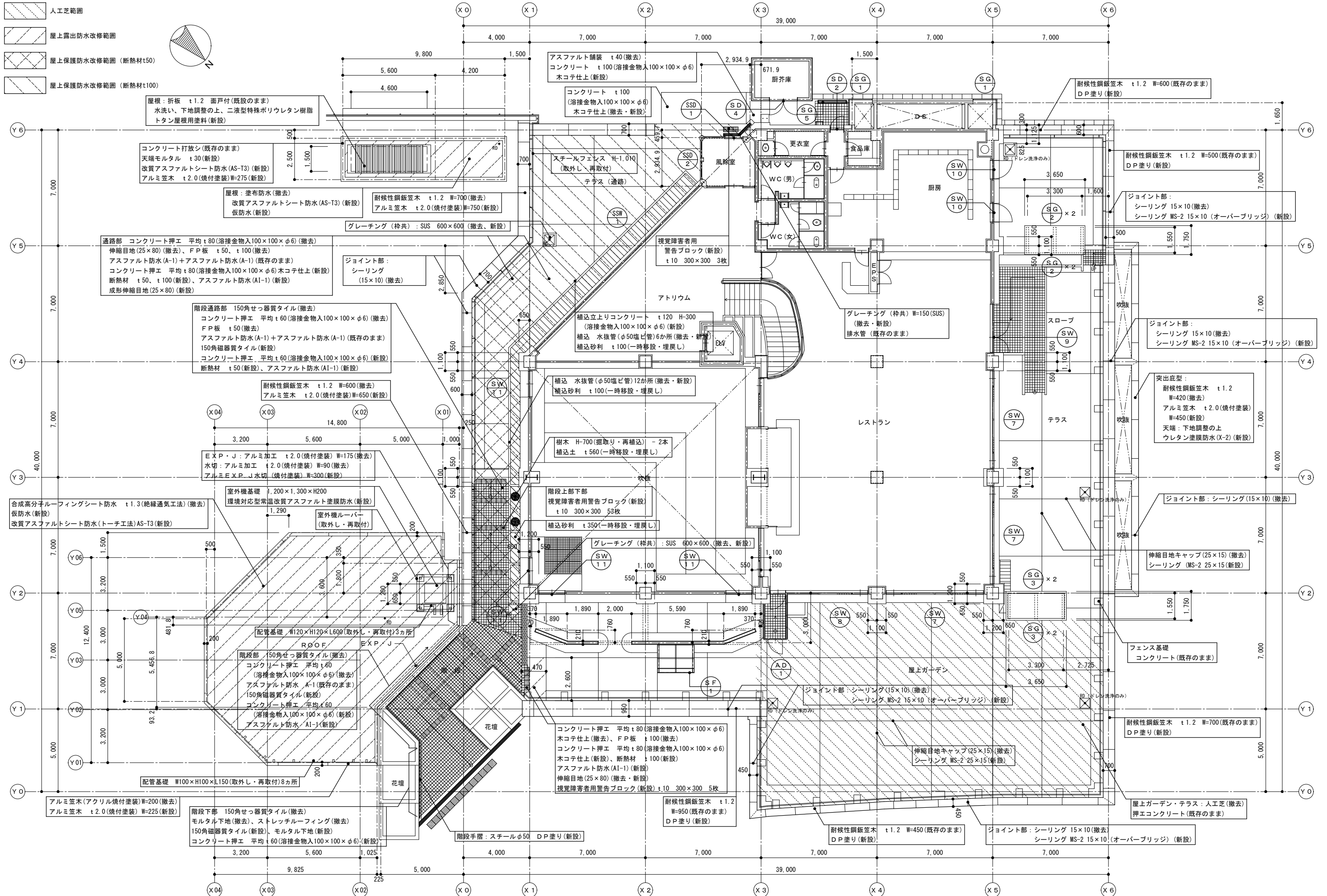
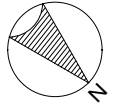
<p>有限会社 佐久間設計</p> <p>Architects Design Office</p> <p>一般建築士事務所 北海道知事登録(五)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚</p>	<p>種別</p> <p>製図</p> <p>特記</p>	<p>工事名称</p> <p>札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事</p>	<p>図面名称</p> <p>仕上表(2)</p> <p>縮尺 NO SCALE</p>	<p>設計年月日</p> <p>図面番号</p> <p>A-11</p>
--	-------------------------------	---	--	--------------------------------------



★は揮発性有機化合物の室内濃度測定箇所

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	棟名 製図 特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 1階平面図 縮尺 1/200	設計年月日 図面番号 A-12
--	----------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------

- 人工芝範囲
- 屋上露出防水改修範囲
- 屋上保護防水改修範囲 (断熱材t50)
- 屋上保護防水改修範囲 (断熱材t100)



有限会社 佐久間設計

Architects Design Office
 一般建築士事務所 北海道知事登録(五)第5207号
 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚

種別	製図	特記

工事名称

札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事

図面名称

2階平面図

縮尺

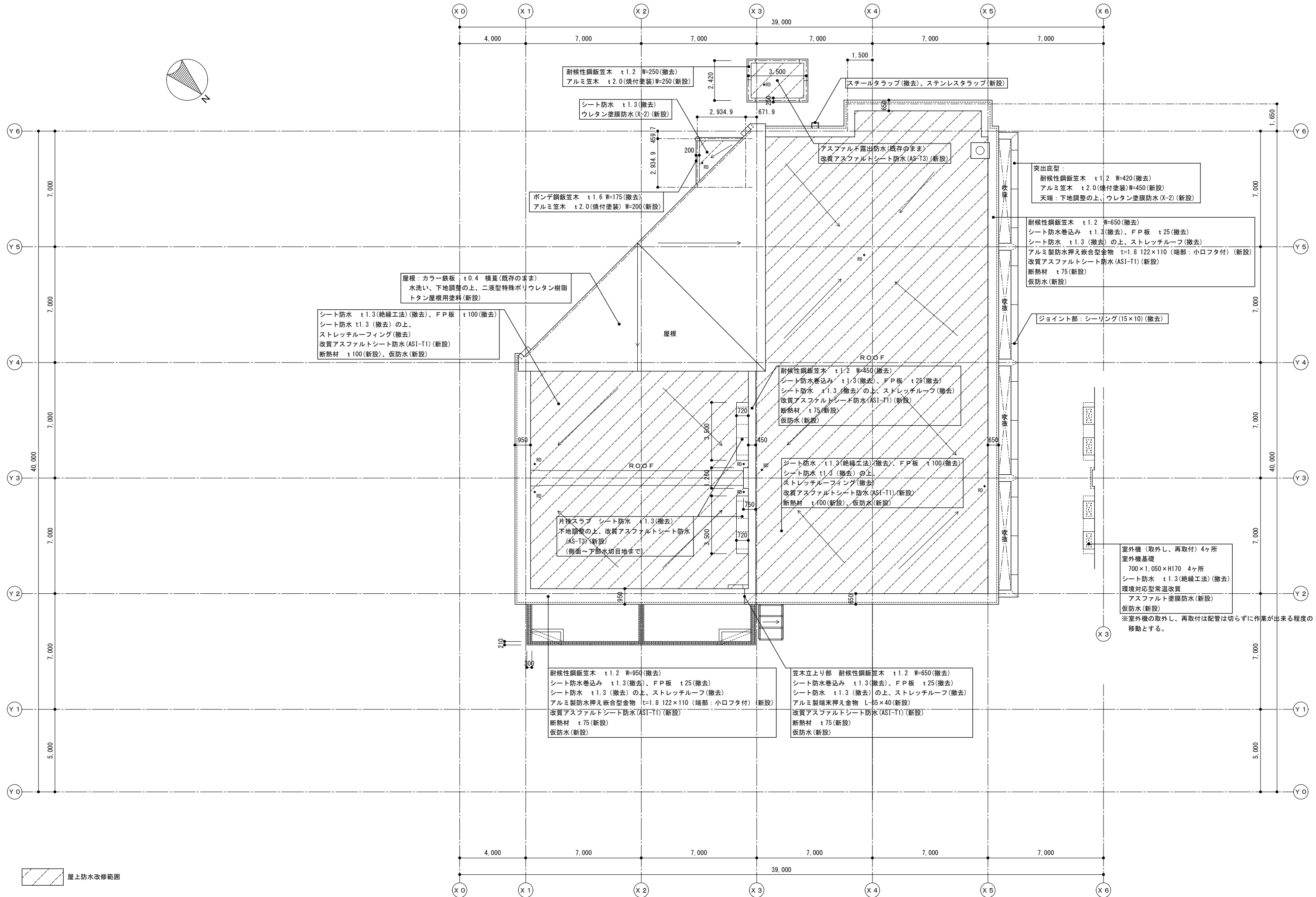
1/200

設計年月日

図面番号

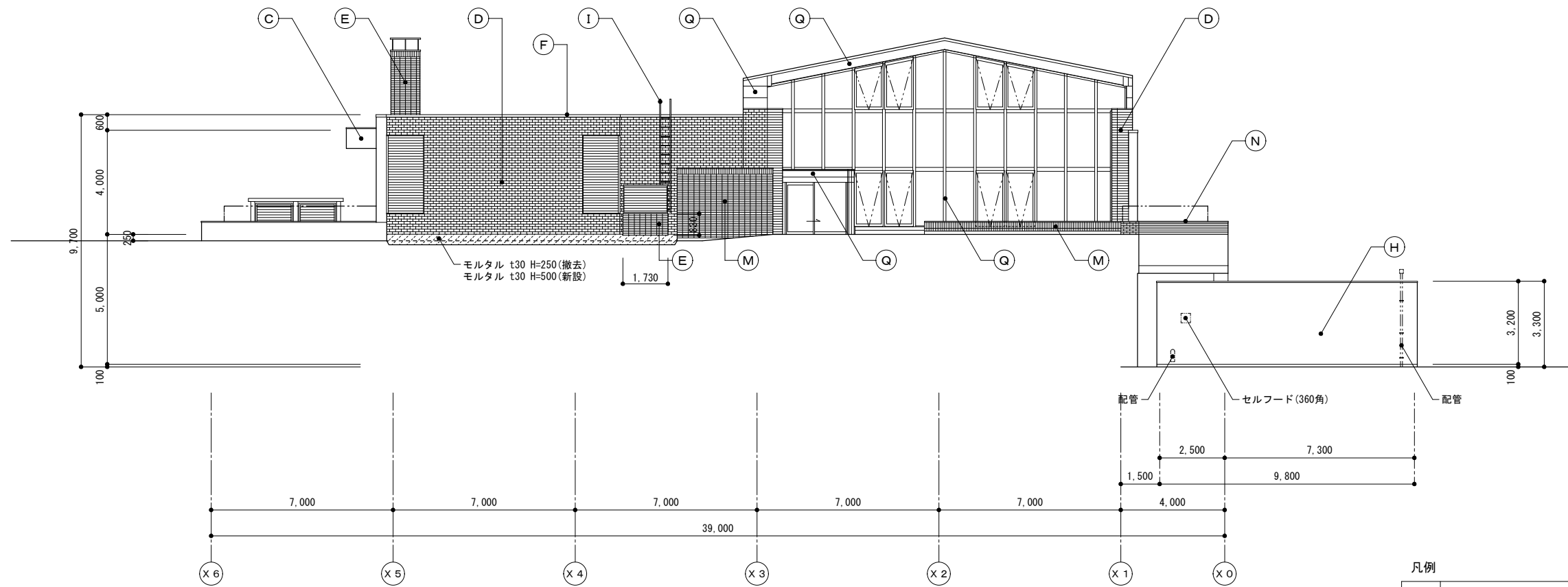
A-13

区分

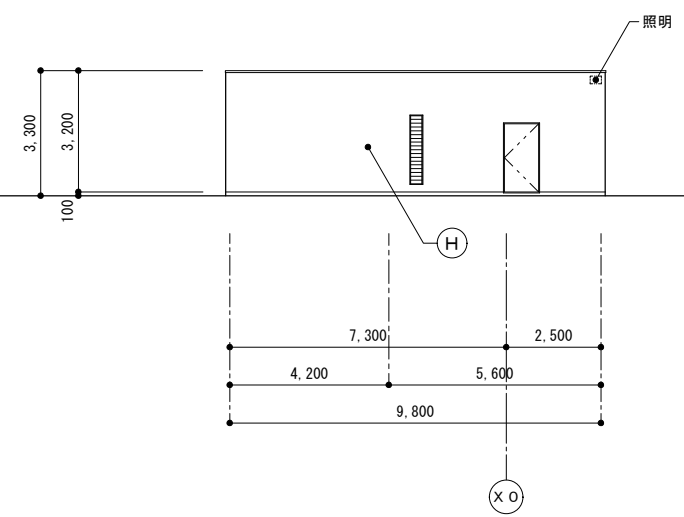


屋上防水改修範囲

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	概図	製図	特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
				札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	R階平面図		A-14
				縮尺	1/200	区分	



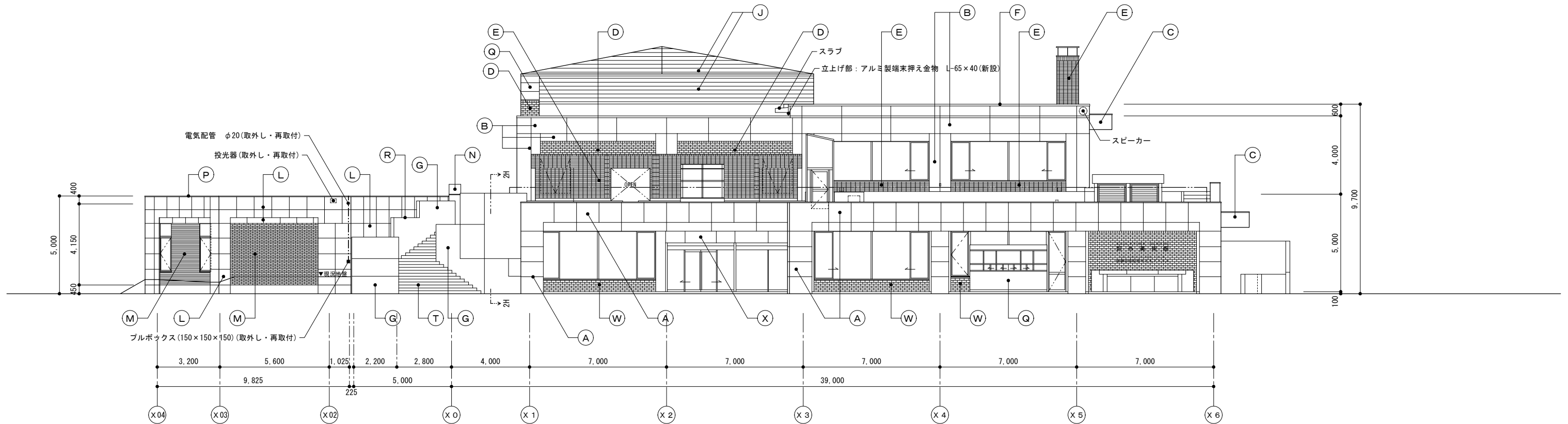
南西 立面図



北東 立面図

凡例

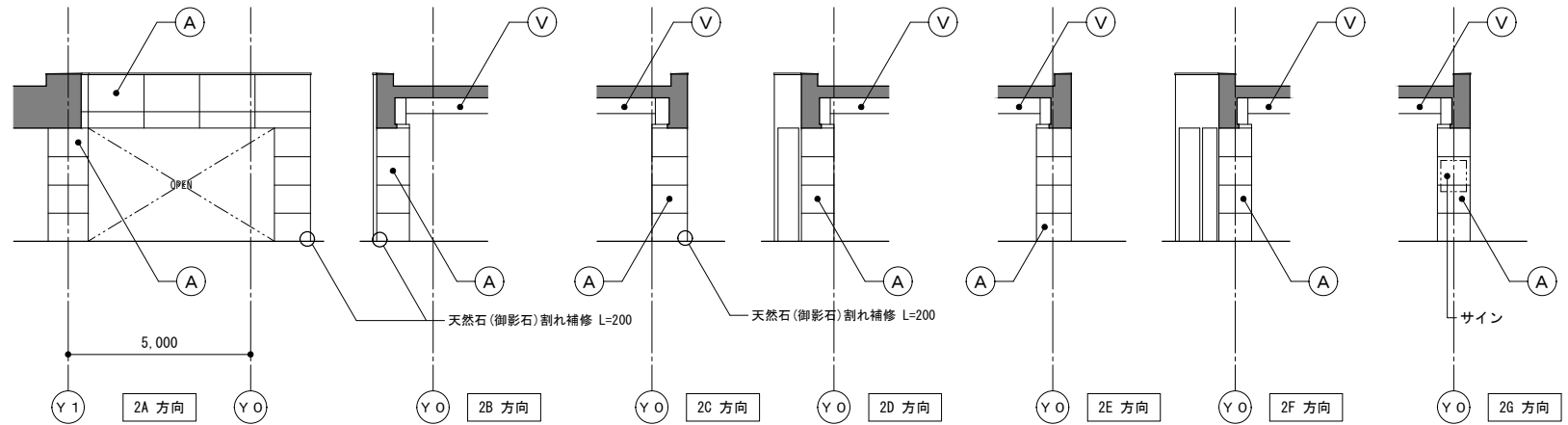
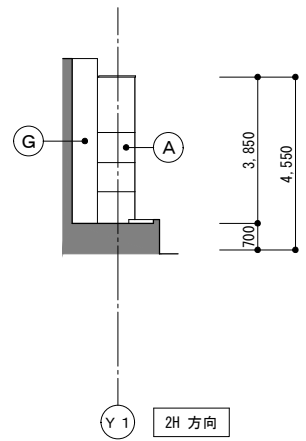
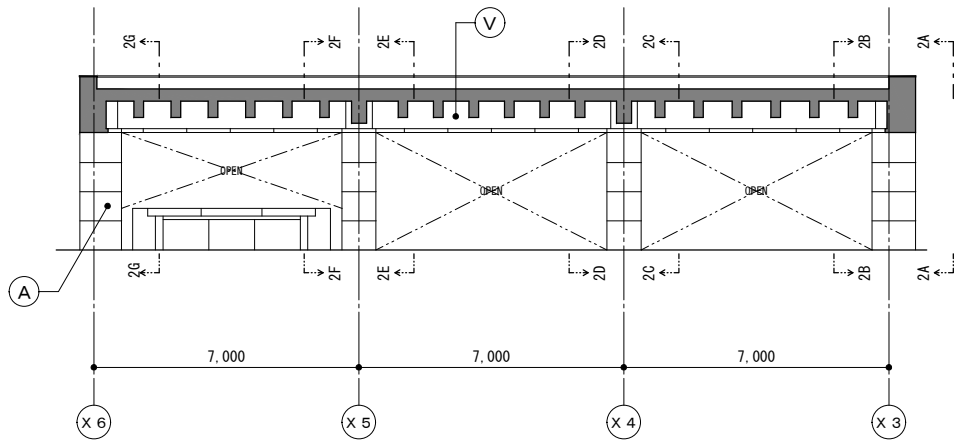
	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せっき質タイル(乾式工法) (撤去) アスファルトルーフィング (撤去) 下地板 t12 (撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4 (新設) 透湿防水シート (新設)、構造用合板 t12(二重張) (新設) 見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設) 木下地 30×30、36×65 (新設)
(E)	せっき質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) シート防水巻込み (撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小口フタ付) (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等爆裂・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(I)	スチールタラップ (撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料 (新設)
(K)	せっき質特殊レンガ (既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去) 下地コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(M)	せっき質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、DP塗り (新設) ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225 (新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)	-
(R)	E X P ・ J ステンレスH L (既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10 (撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(T)	150角磁器質タイル (撤去)	150角磁器質タイル (新設)
(U)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(V)	リシン吹付 (既存のまま)	-
(W)	せっき質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(Y)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(Z)	コンクリート打放シ (撤去)	コンクリート打放シ (新設) 撥水性塗料塗布 (新設)
(1)	コンクリート打放シ E P (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 E P-G (新設)

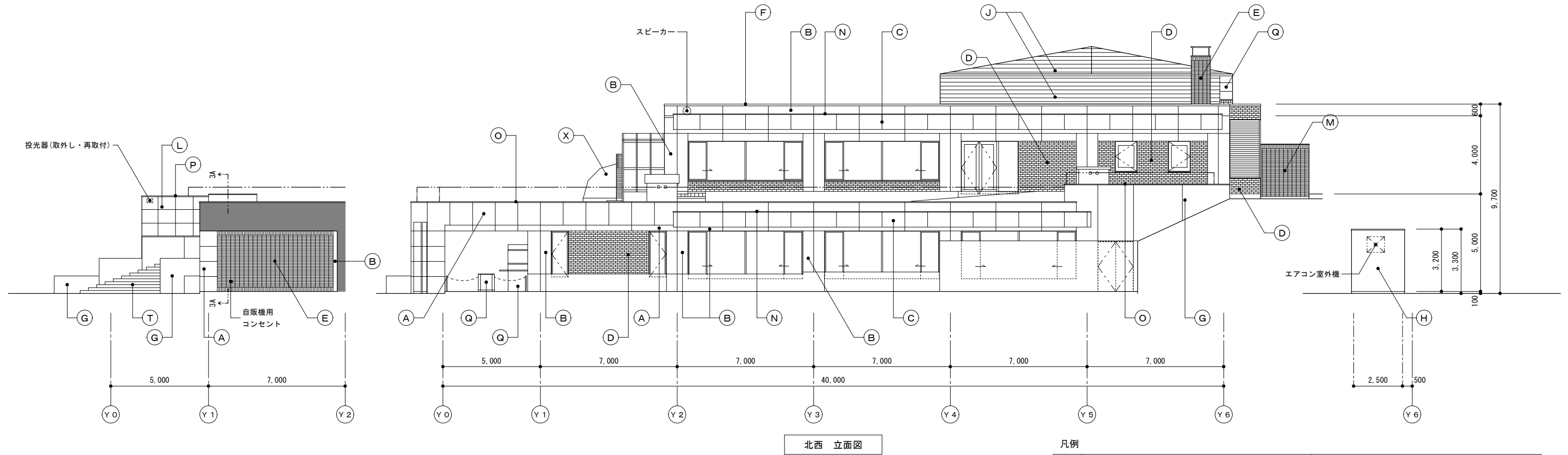


北東 立面図

凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	セラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法) (撤去) アスファルトルーフィング (撤去) 下地板 t12 (撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4 (新設) 透湿防水シート (新設)、構造用合板 t12(二重張) (新設) 見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設) 木下地 30×30、36×65 (新設)
(E)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) シート防水巻込み (撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小口フタ付) (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等腐蝕・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(I)	スチールタラップ (撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂トン屋根用塗料 (新設)
(K)	せつ器質特殊レンガ (既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去) 下地コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(M)	せつ器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、DP塗り (新設) ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225 (新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)	-
(R)	E X P・J ステンレスHL (既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10 (撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(T)	150角磁器質タイル (撤去)	150角磁器質タイル (新設)
(U)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(V)	リシン吹付 (既存のまま)	-
(W)	せつ器質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(Y)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(Z)	コンクリート打放シ (撤去)	コンクリート打放シ (新設) 撥水性塗料塗布 (新設)
(1)	コンクリート打放シ EP (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 EP-G (新設)

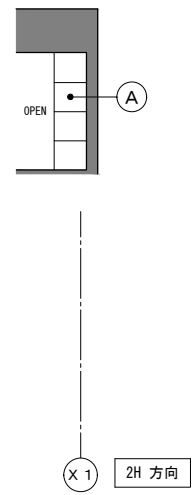


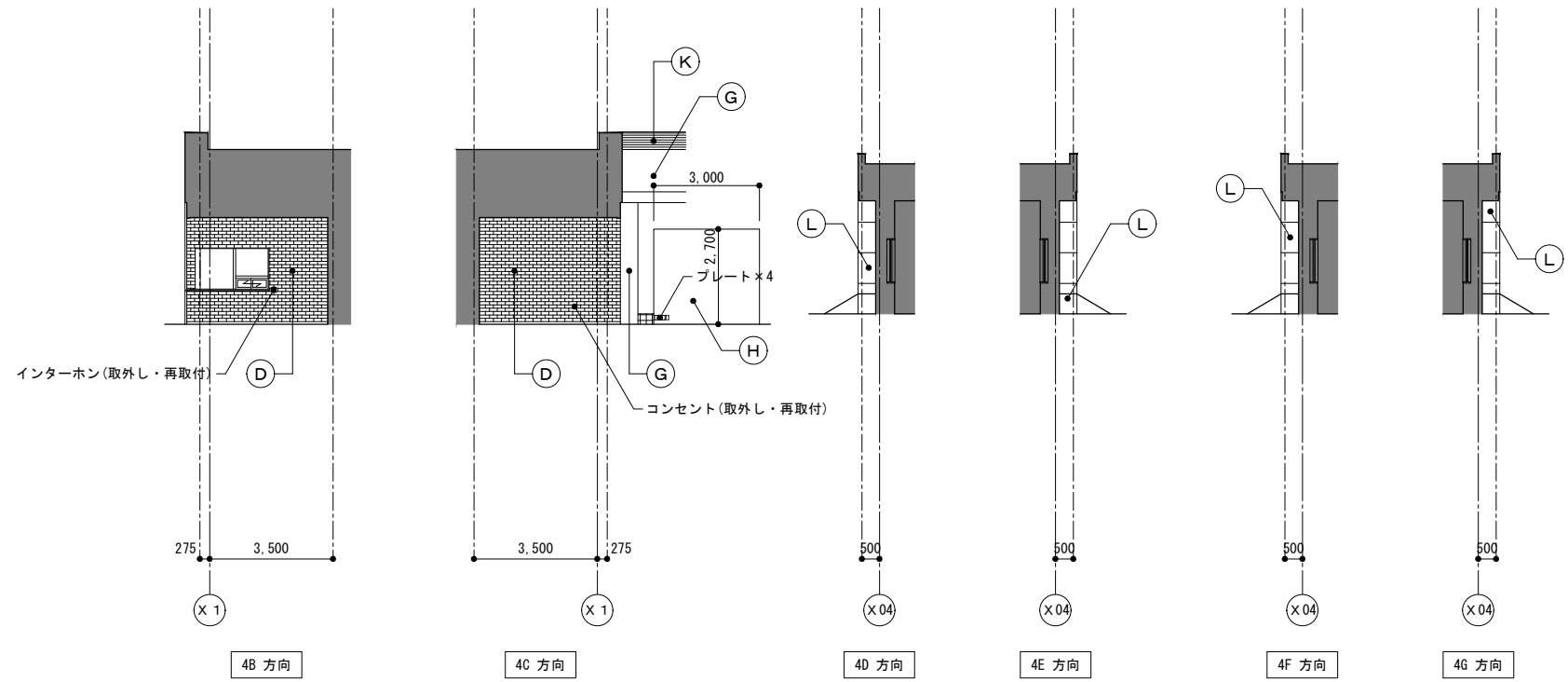
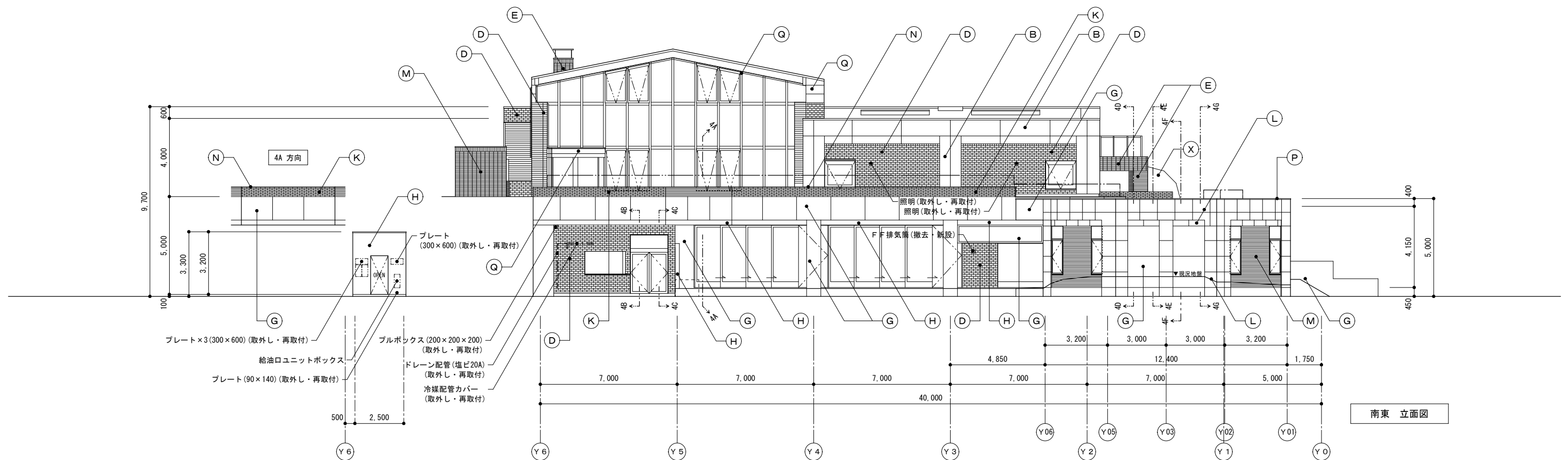


北西 立面図

凡例

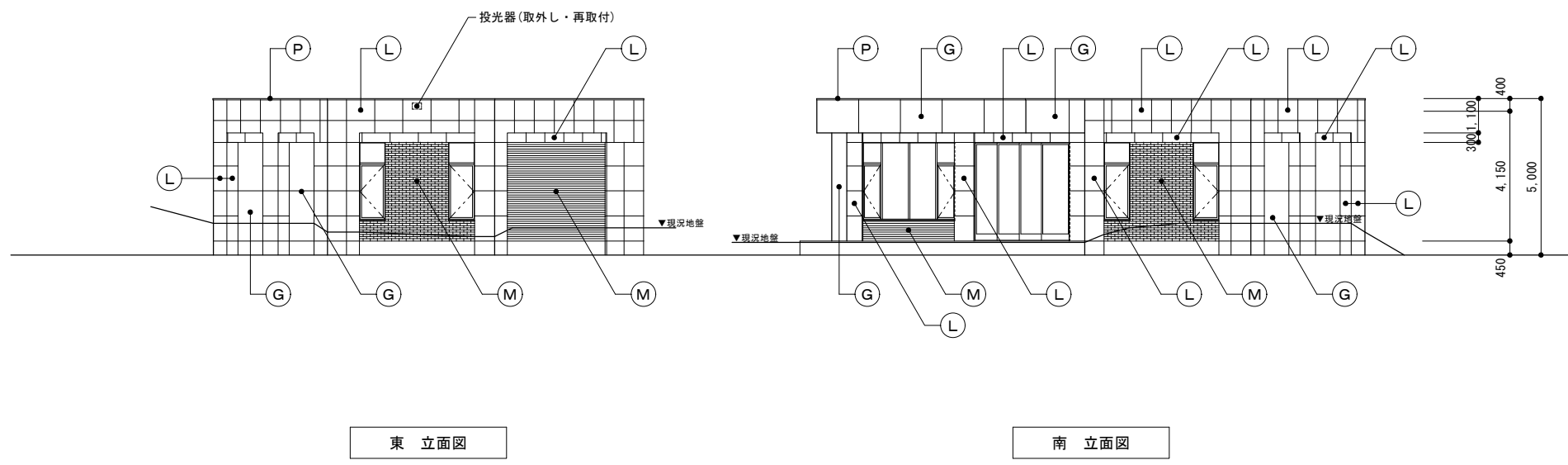
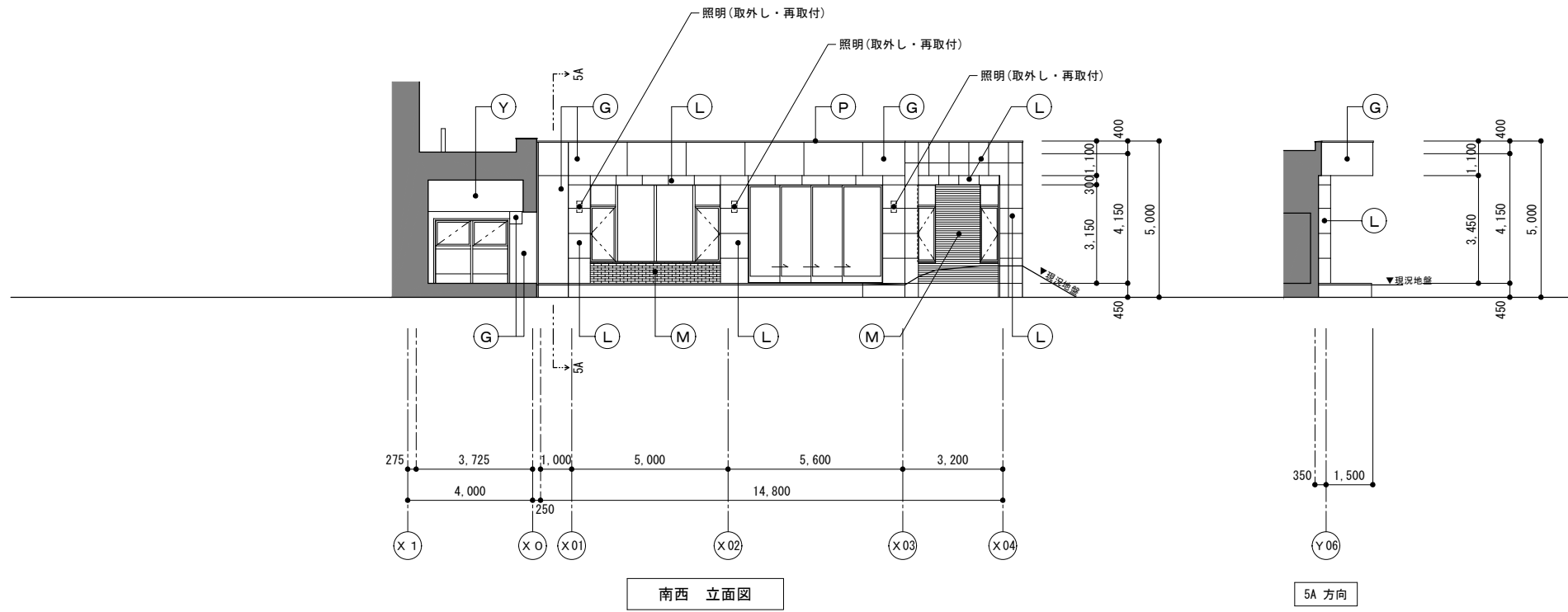
	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 10×10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法) (撤去) アスファルトルーフィング (撤去) 下地板 t12 (撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4(新設) 透湿防水シート(新設)、構造用合板 t12(二重張)(新設) 見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設) 木下地 30×30、36×65 (新設)
(E)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) シート防水巻込み (撤去)	アルミ製防水押嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小口フタ付) (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等腐蝕・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(I)	スチールタラップ (撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料 (新設)
(K)	せつ器質特殊レンガ (既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去) 下地コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(M)	せつ器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、DP塗り (新設) ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225 (新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)	-
(R)	EXP-J ステンレスHL (既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10 (撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(T)	150角磁器質タイル (撤去)	150角磁器質タイル (新設)
(U)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(V)	リシン吹付 (既存のまま)	-
(W)	せつ器質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(Y)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(Z)	コンクリート打放シ (撤去)	コンクリート打放シ (新設) 撥水性塗料塗布 (新設)
(1)	コンクリート打放シ EP (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 EP-G (新設)





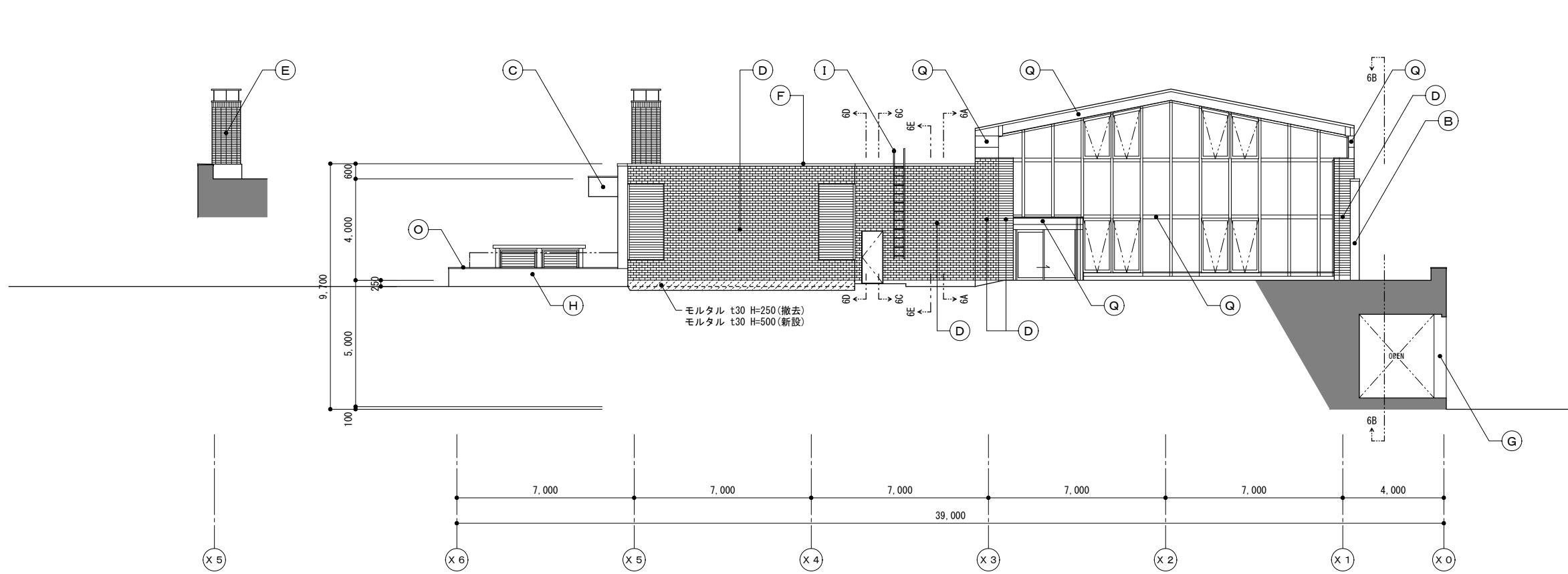
凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上(既存のまま)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	目地: シーリング 10×10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上(既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	テラゾーブロック 洗出し仕上(既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(E)	目地: シーリング 15×10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(F)	せっき器質タイル(乾式工法)(撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4(新設)
(G)	アスファルトルーフィング(撤去)	透湿防水シート(新設)、構造用合板 t12(二重張)(新設)
(H)	下地板 t12(撤去)	見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4(新設)
(I)	木下地 30×30、36×65(新設)	木下地 30×30、36×65(新設)
(J)	せっき器質タイル(60×210)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210)(新設)
(K)	(既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210)(新設)
(L)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110(端部: 小ロフタ付)(新設)
(M)	シート防水巻込み(撤去)	シート防水巻込み(新設)
(N)	コンクリート打放シ(ハツリ仕上)(既存のまま)	鉄筋等腐蝕・欠損等補修(ハツリ仕上)
(O)	コンクリート打放シ(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(P)	コンクリート打放シ(既存のまま)	アクリルシリコン樹脂塗装(打放し仕上)(新設)
(Q)	ステンレスタラップ(撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL(新設)
(R)	カラー鋼板 t0.4 横葺(既存のまま)	水洗い、下地調整の上、
(S)	せっき器質特殊レンガ(既存のまま)	二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料(新設)
(T)	シート状天然砕石装飾材貼り t3(撤去)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(U)	下地コンクリート打放シ(既存のまま)	外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(吹付凸凹仕上)(新設)
(V)	せっき器質タイル(二丁掛)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛)(新設)
(W)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(撤去)	アルミ笠木(焼付塗装)(新設)
(X)	ジョイント部: シーリング 15×10(撤去)	ジョイント部: シーリング MS-2 35×10(オーバーブリッジ)(新設)
(Y)	ジョイント部: シーリング 15×10(撤去)	ジョイント部: シーリング MS-2 35×10(オーバーブリッジ)(新設)
(Z)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200(撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225(新設)
(1)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板(既存のまま)	-
(2)	E X P・J ステンレスHL(既存のまま)	-
(3)	シーリング MS-2 15×10、10×10(撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10(新設)
(4)	手摺 φ50 DP塗装(既存のまま)	下地調整の上、DP塗り(新設)
(5)	150角磁器質タイル(撤去)	150角磁器質タイル(新設)
(6)	吹付タイル(塗膜除去)環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(7)	リシン吹付(既存のまま)	外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(ローラーゆず肌仕上)(新設)
(8)	せっき器質タイル(乾式工法)(既存のまま)	-
(9)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(既存のまま)	下地調整の上、DP塗り(新設)
(10)	リシン吹付(塗膜除去)環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(11)	コンクリート打放シ(撤去)	外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(ローラーゆず肌仕上)(新設)
(12)	コンクリート打放シ E P(既存のまま)	コンクリート打放シ(新設)
(13)	コンクリート打放シ E P(既存のまま)	撥水性塗料塗布(新設)
(14)	コンクリート打放シ E P(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(15)	コンクリート打放シ E P(既存のまま)	E P-G(新設)

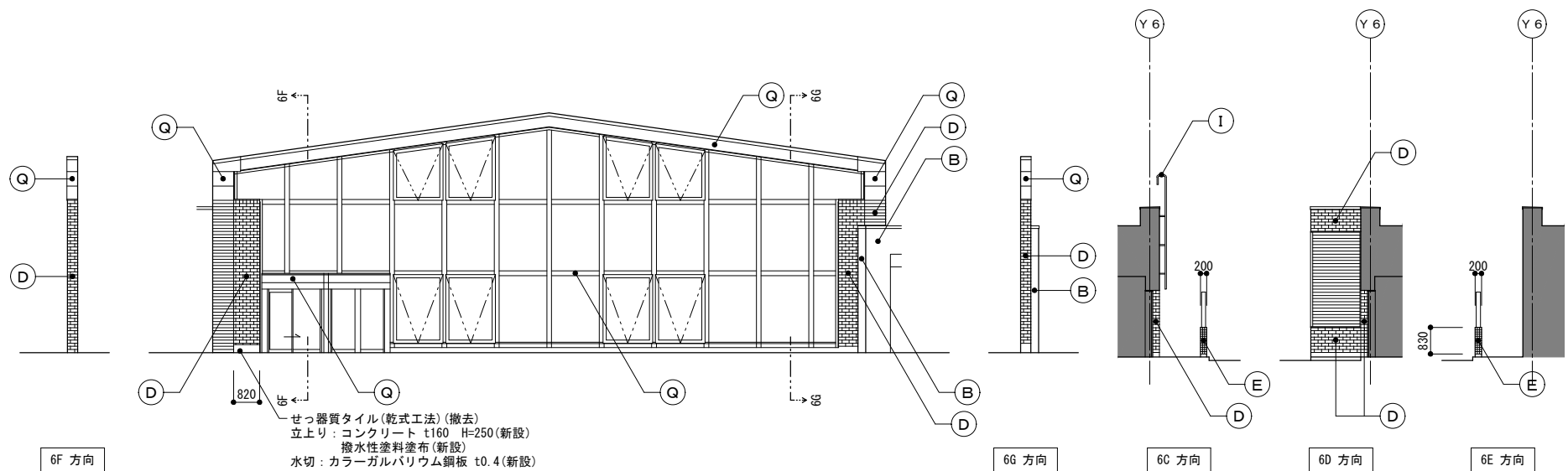
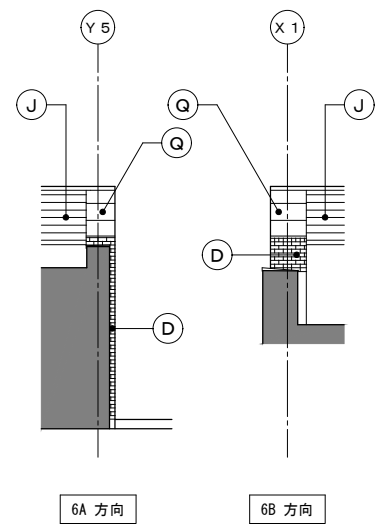


凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上(既存のまま) 目地:シーリング 10×10(撤去)	目地:シーリング MS-2 10×10(新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上(既存のまま) 目地:シーリング 15×10(撤去)	欠損部補修(テラゾー洗出し仕上) 目地:シーリング MS-2 15×10(新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上(既存のまま) 目地:シーリング 15×10(撤去)	欠損部補修(テラゾー洗出し仕上) 目地:シーリング MS-2 15×10(新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法)(撤去) アスファルトルーフィング(撤去) 下地板 t12(撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4(新設) 透湿防水シート(新設)、構造用合板 t12(二重張)(新設) 見切・水切:カラーガルバリウム鋼板 t0.4(新設) 木下地 30×30、36×65(新設)
(E)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部:磁器質タイル(60×210)(新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(撤去) シート防水巻込み(撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110(端部:小口フタ付)(新設)
(G)	コンクリート打放シ(ハツリ仕上)(既存のまま)	鉄筋等爆裂・欠損等補修(ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装(打放し仕上)(新設)
(I)	スチールタラップ(撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL(新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺(既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂タン屋根用塗料(新設)
(K)	せつ器質特殊レンガ(既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3(撤去) 下地コンクリート打放シ(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(吹付凸凹仕上)(新設)
(M)	せつ器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部:磁器質タイル(二丁掛)(新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(撤去) ジョイント部:シーリング 15×10(撤去)	アルミ笠木(焼付塗装)(新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(既存のまま) ジョイント部:シーリング 15×10(撤去)	下地調整の上、DP塗り(新設) ジョイント部:シーリング MS-2 35×10(オーバーブリッジ)(新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200(撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225(新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板(既存のまま)	-
(R)	E X P・J ステンレスHL(既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10(撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10(新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装(既存のまま)	下地調整の上、DP塗り(新設)
(T)	150角磁器質タイル(撤去)	150角磁器質タイル(新設)
(U)	吹付タイル(塗膜除去)環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(ローラーゆず肌仕上)(新設)
(V)	リシン吹付(既存のまま)	-
(W)	せつ器質タイル(乾式工法)(既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(既存のまま)	下地調整の上、DP塗り(新設)
(Y)	リシン吹付(塗膜除去)環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系)(ローラーゆず肌仕上)(新設)
(Z)	コンクリート打放シ(撤去)	コンクリート打放シ(新設) 撥水性塗料塗布(新設)
(1)	コンクリート打放シ EP(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 EP-G(新設)

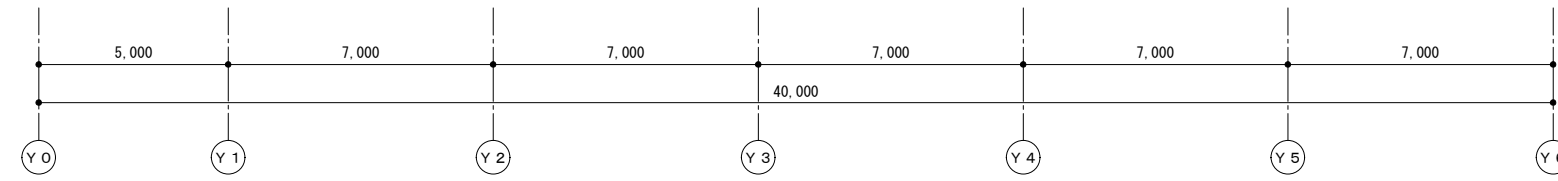
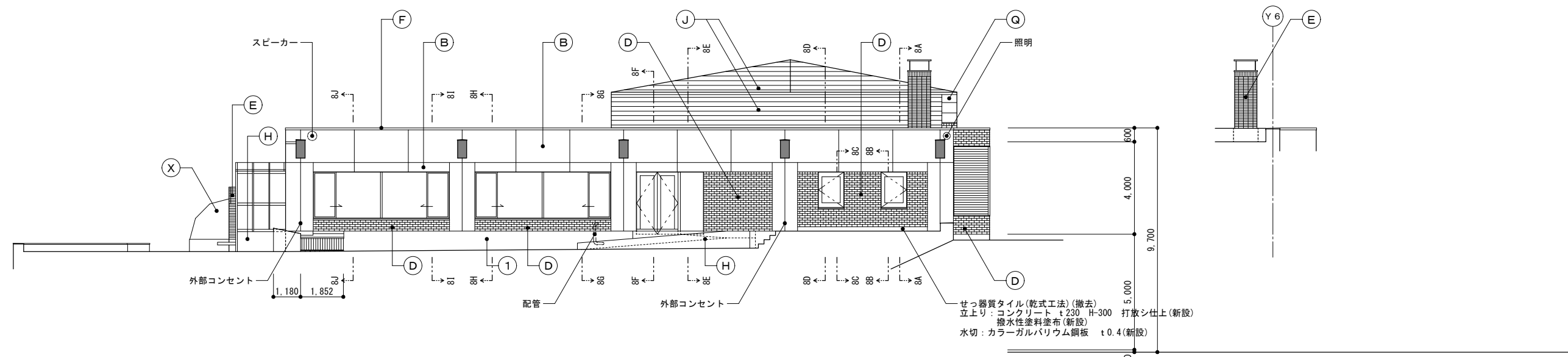


南西 立面図

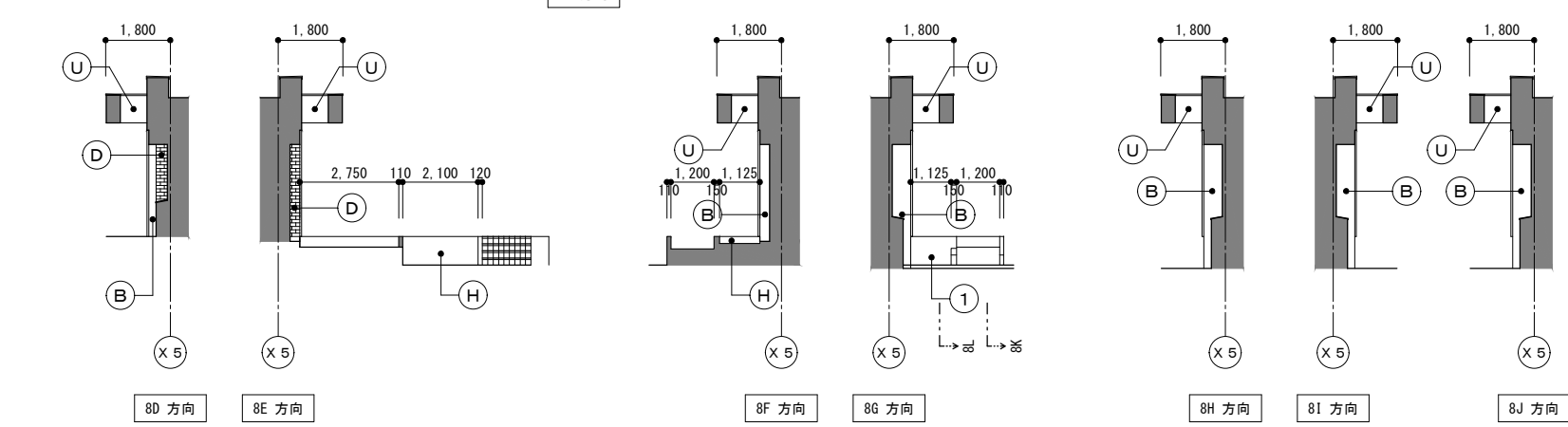
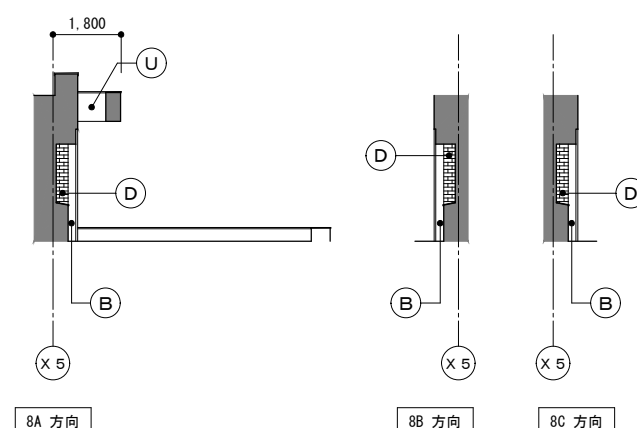
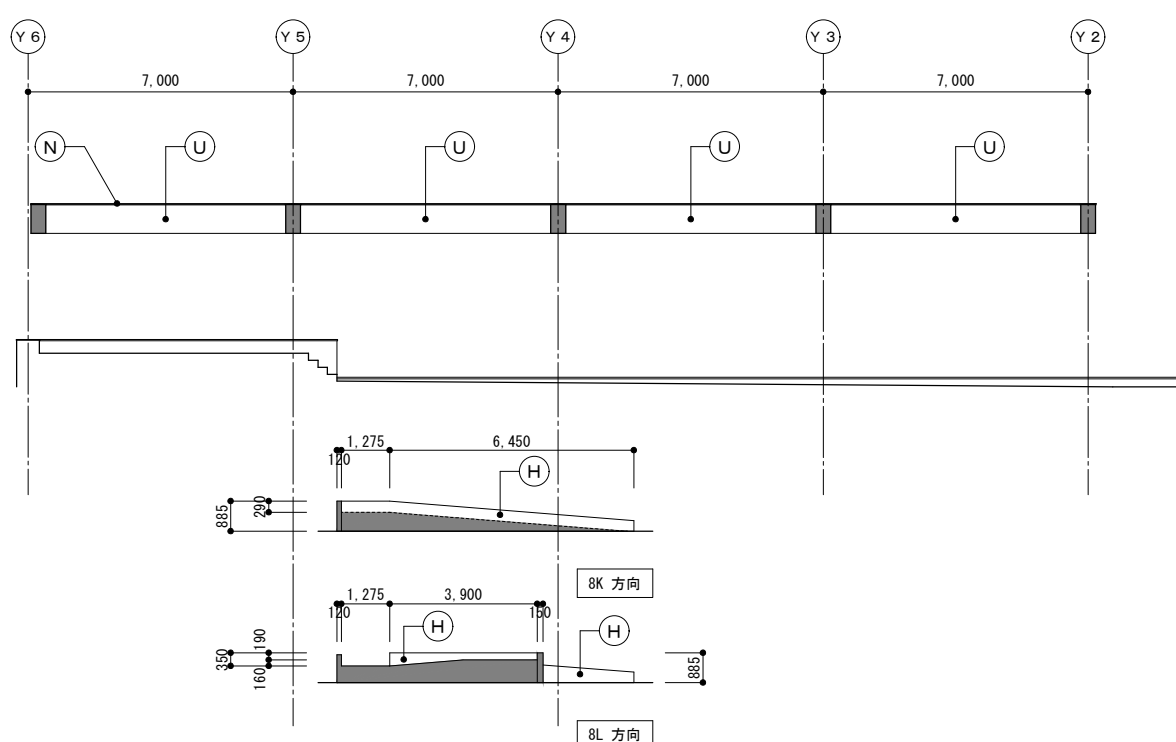


凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	セラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法) (撤去) アスファルトルーフィング (撤去) 下地板 t12 (撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4 (新設) 透湿防水シート (新設)、構造用合板 t12(二重張) (新設) 見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設) 木下地 30×30、36×65 (新設)
(E)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) シート防水巻込み (撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小ロフタ付) (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等爆裂・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(I)	スチールタラップ (撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂トン屋根用塗料 (新設)
(K)	せつ器質特殊レンガ (既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去) 下地コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(M)	せつ器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、DP塗り (新設) ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225 (新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)	-
(R)	E X P ・ J ステンレスHL (既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10 (撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(T)	150角磁器質タイル (撤去)	150角磁器質タイル (新設)
(U)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(V)	リシン吹付 (既存のまま)	-
(W)	せつ器質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(Y)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(Z)	コンクリート打放シ (撤去)	コンクリート打放シ (新設) 撥水性塗料塗布 (新設)
(1)	コンクリート打放シ E P (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 E P-G (新設)

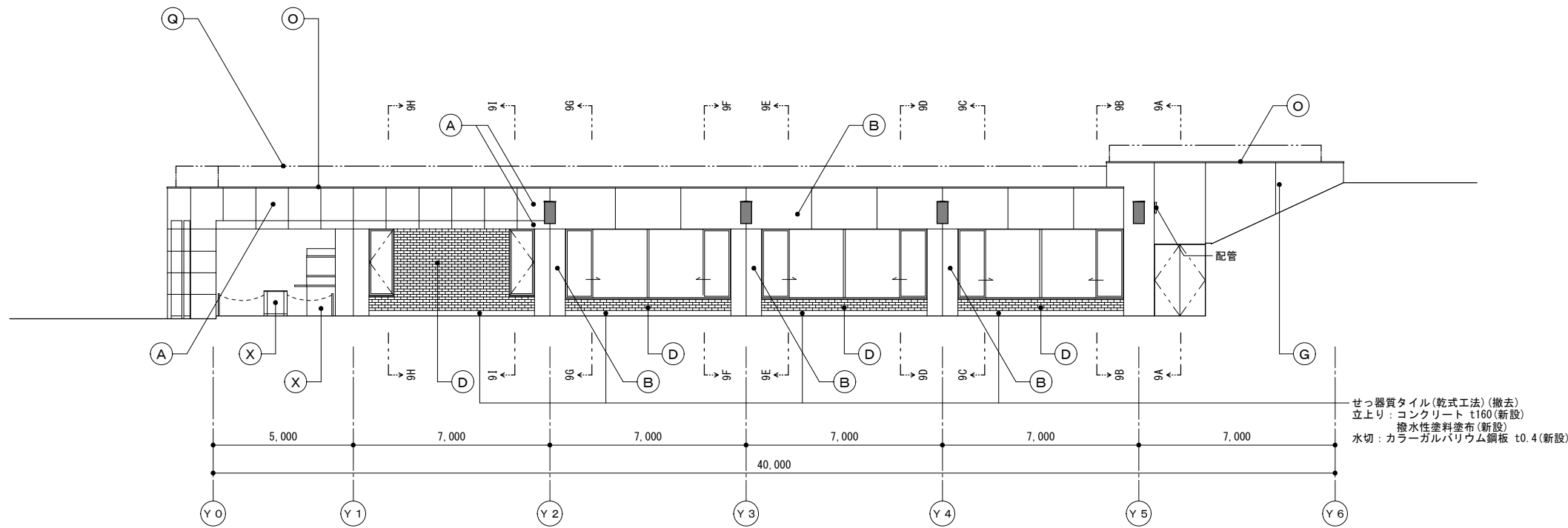


北西 立面図

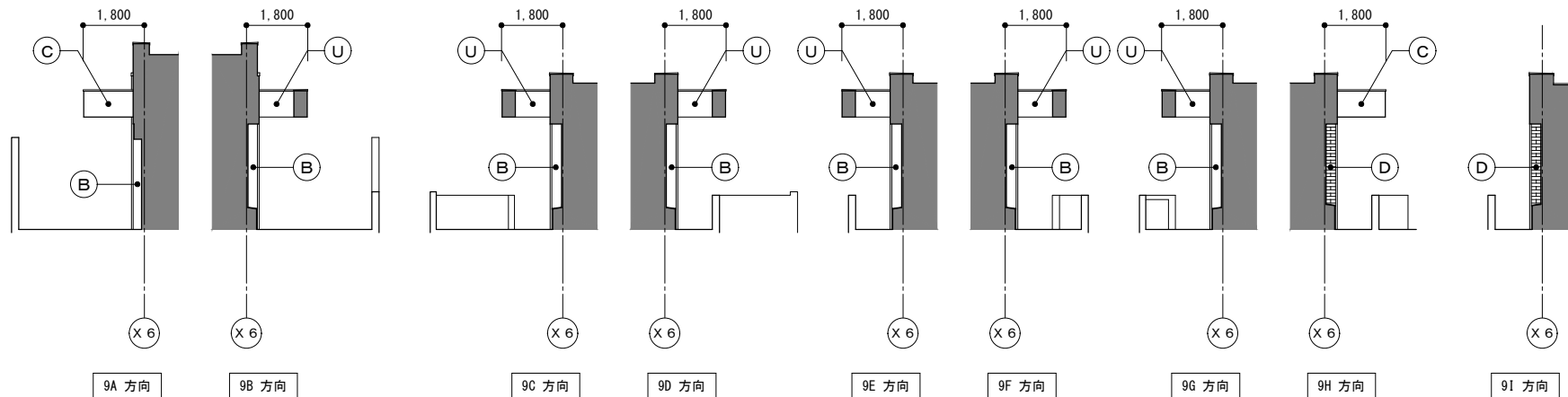
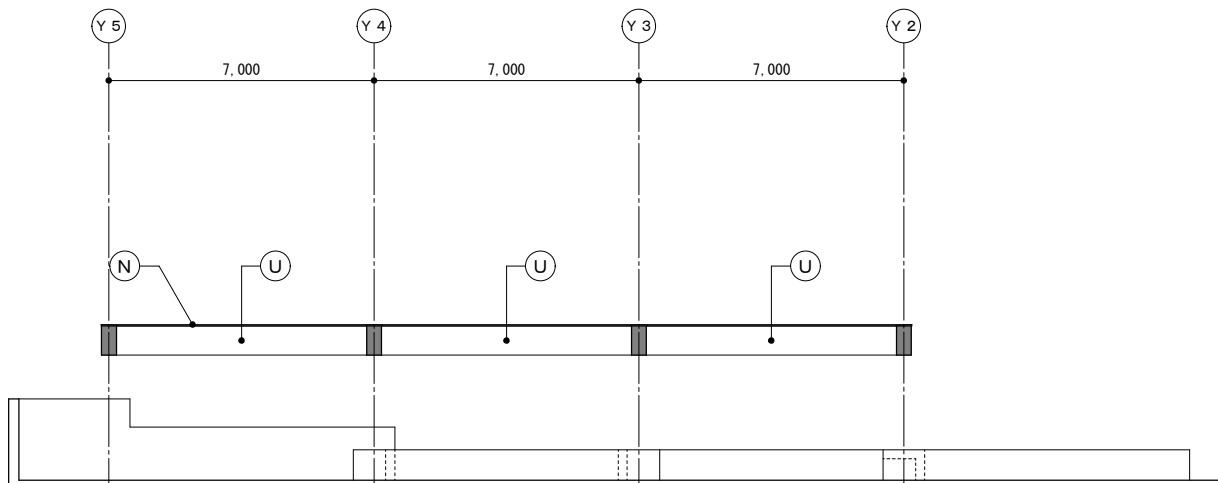


凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法) (撤去)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上)
(E)	アスファルトルーフィング (撤去)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(F)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4(新設)
(G)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去)	透湿防水シート(新設)、構造用合板 t12(二重張)(新設)
(H)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)
(I)	コンクリート打放シ (既存のまま)	木下地 30×30、36×65 (新設)
(J)	コンクリート打放シ (既存のまま)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(K)	コンクリート打放シ (既存のまま)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小ロフタ付) (新設)
(L)	コンクリート打放シ (既存のまま)	シート防水巻込み (撤去)
(M)	コンクリート打放シ (既存のまま)	鉄筋等腐裂・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(N)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(O)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(P)	コンクリート打放シ (既存のまま)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)
(Q)	コンクリート打放シ (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、
(R)	コンクリート打放シ (既存のまま)	二液型特殊ポリウレタン樹脂トン屋根用塗料 (新設)
(S)	コンクリート打放シ (既存のまま)	せつ器質特殊レンガ (既存のまま)
(T)	コンクリート打放シ (既存のまま)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去)
(U)	コンクリート打放シ (既存のまま)	下地コンクリート打放シ (既存のまま)
(V)	コンクリート打放シ (既存のまま)	外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(W)	コンクリート打放シ (既存のまま)	せつ器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)
(X)	コンクリート打放シ (既存のまま)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(Y)	コンクリート打放シ (既存のまま)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去)
(Z)	コンクリート打放シ (既存のまま)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(1)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)
(2)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(3)	コンクリート打放シ (既存のまま)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)
(4)	コンクリート打放シ (既存のまま)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225 (新設)
(5)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ボンド鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)
(6)	コンクリート打放シ (既存のまま)	E X P ・ J ステンレスHL (既存のまま)
(7)	コンクリート打放シ (既存のまま)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(8)	コンクリート打放シ (既存のまま)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (撤去)
(9)	コンクリート打放シ (既存のまま)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)
(10)	コンクリート打放シ (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(11)	コンクリート打放シ (既存のまま)	150角磁器質タイル (撤去)
(12)	コンクリート打放シ (既存のまま)	150角磁器質タイル (新設)
(13)	コンクリート打放シ (既存のまま)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型
(14)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(15)	コンクリート打放シ (既存のまま)	外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(16)	コンクリート打放シ (既存のまま)	リシン吹付 (既存のまま)
(17)	コンクリート打放シ (既存のまま)	せつ器質タイル(乾式工法) (既存のまま)
(18)	コンクリート打放シ (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(19)	コンクリート打放シ (既存のまま)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型
(20)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(21)	コンクリート打放シ (既存のまま)	外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(22)	コンクリート打放シ (既存のまま)	コンクリート打放シ (新設)
(23)	コンクリート打放シ (既存のまま)	撥水性塗料塗布 (新設)
(24)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上
(25)	コンクリート打放シ (既存のまま)	E P - G (新設)

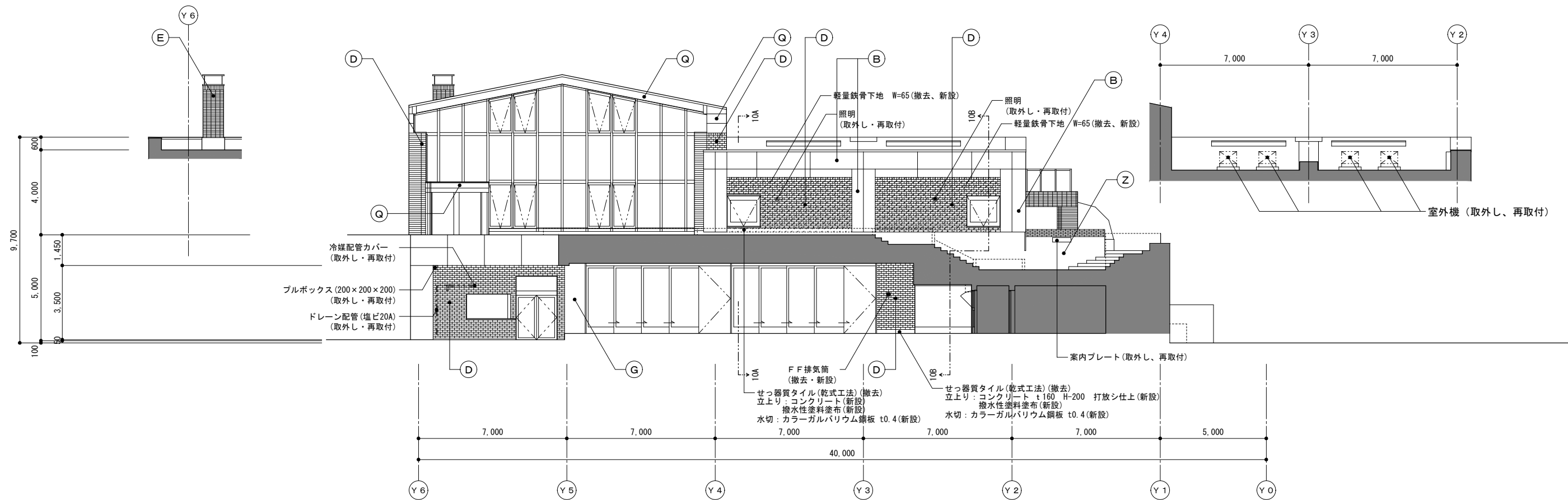


せつ器質タイル(乾式工法) (撤去)
 立上り: コンクリート t160 (新設)
 撥水性塗料塗布 (新設)
 水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)



凡例

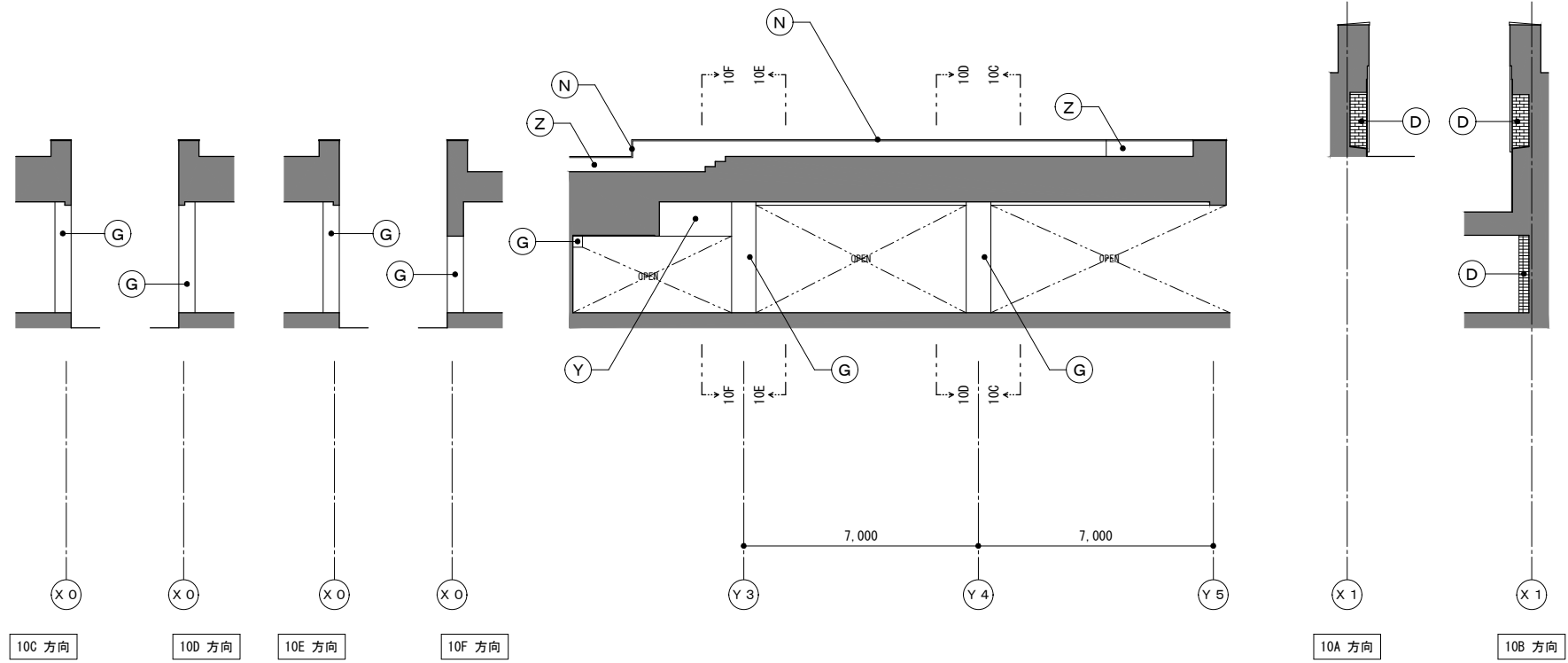
	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 10×10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法) (撤去) アスファルトルーフィング (撤去) 下地板 t12 (撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4 (新設) 透湿防水シート (新設)、構造用合板 t12(二重張) (新設) 見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設) 木下地 30×30、36×65 (新設)
(E)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) シート防水巻込み (撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小口フタ付) (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等腐蝕・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(I)	スチールタラップ (撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料 (新設)
(K)	せつ器質特殊レンガ (既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去) 下地コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(M)	せつ器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	アルミ笠木 (焼付塗装) (新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、DP塗り (新設) ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)	アルミ笠木 (焼付塗装) W=225 (新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)	-
(R)	E X P - J ステンレスH L (既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10 (撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(T)	150角磁器質タイル (撤去)	150角磁器質タイル (新設)
(U)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(V)	リシン吹付 (既存のまま)	-
(W)	せつ器質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(Y)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(Z)	コンクリート打放シ (撤去)	コンクリート打放シ (新設) 撥水性塗料塗布 (新設)
(1)	コンクリート打放シ E P (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 E P-G (新設)

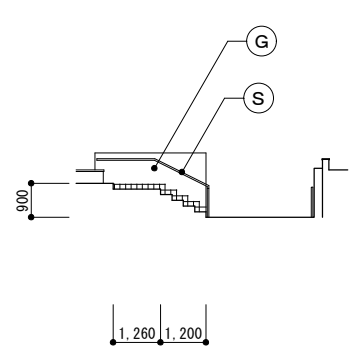
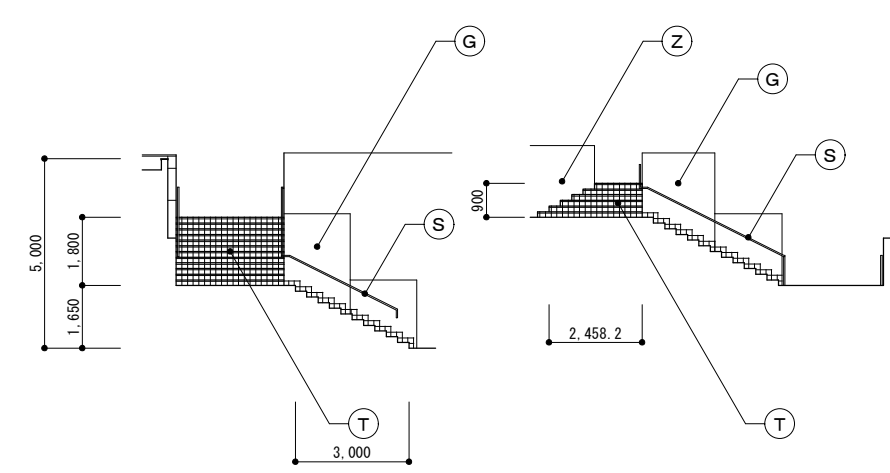
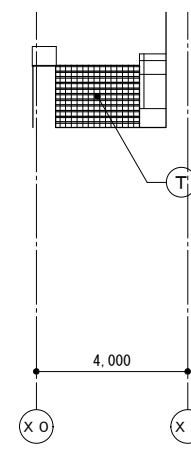
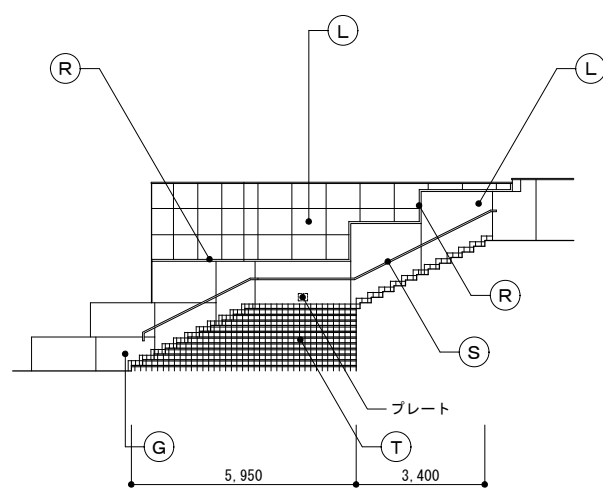
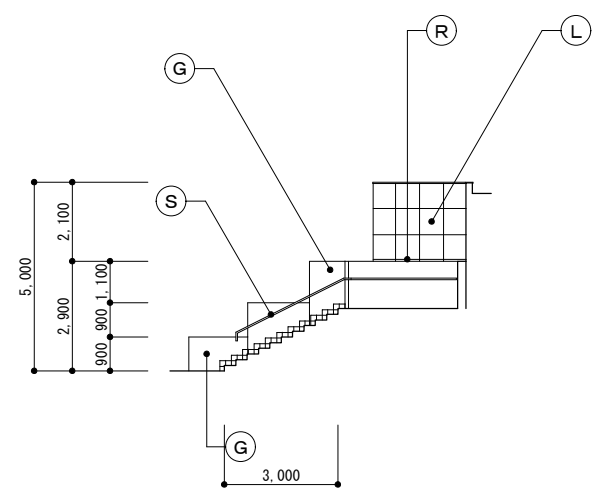
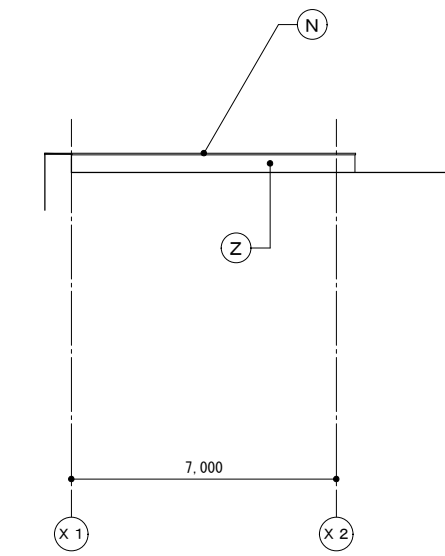
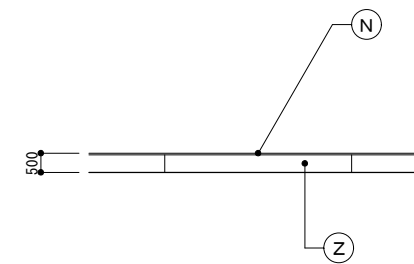
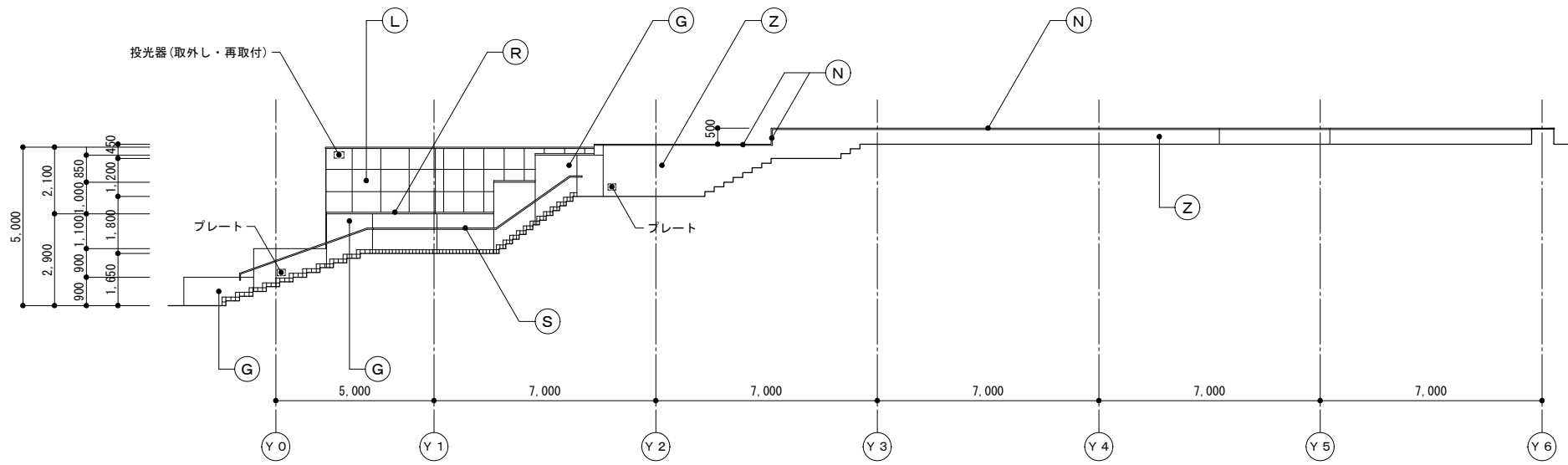


南東 立面図

凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 10x10 (新設)
(B)	目地: シーリング 10x10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 15x10 (新設)
(C)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15x10 (新設)
(D)	目地: シーリング 15x10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 15x10 (新設)
(E)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15x10 (新設)
(F)	目地: シーリング 15x10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 15x10 (新設)
(G)	せっき器質タイル(乾式工法) (撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4 (新設)
(H)	立上り: コンクリート (新設)	透湿防水シート (新設)、構造用合板 t12(二重張) (新設)
(I)	撥水性塗料塗布 (新設)	見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)
(J)	水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)	木下地 30x30、36x65 (新設)
(K)	せっき器質タイル(60x210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60x210) (新設)
(L)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122x110 (端部: 小口フタ付) (新設)
(M)	シート防水巻込み (撤去)	シート防水巻込み (新設)
(N)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等腐蝕・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(O)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(P)	スチールタラップ (撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(Q)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、二液型特殊ポリウレタン樹脂トン屋根用塗料 (新設)
(R)	せっき器質特殊レンガ (既存のまま)	-
(S)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(T)	下地コンクリート打放シ (既存のまま)	外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(U)	せっき器質タイル (二下掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二下掛) (新設)
(V)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(W)	ジョイント部: シーリング 15x10 (撤去)	ジョイント部: シーリング MS-2 35x10 (オーバーブリッジ) (新設)
(X)	ジョイント部: シーリング 15x10 (撤去)	ジョイント部: シーリング MS-2 35x10 (オーバーブリッジ) (新設)
(Y)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225 (新設)
(Z)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)	-
(1)	E X P - J ステンレスHL (既存のまま)	シーリング MS-2 15x10、10x10 (新設)
(2)	シーリング MS-2 15x10、10x10 (撤去)	シーリング MS-2 15x10、10x10 (新設)
(3)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(4)	150角磁器質タイル (撤去)	150角磁器質タイル (新設)
(5)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(6)	リシン吹付 (既存のまま)	-
(7)	せっき器質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(8)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(9)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(10)	コンクリート打放シ (撤去)	コンクリート打放シ (新設)
(11)	コンクリート打放シ E P (既存のまま)	撥水性塗料塗布 (新設)
(12)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 E P-G (新設)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 E P-G (新設)





凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せっき器質タイル(乾式工法) (撤去) カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4(新設) アスファルトルーフィング(撤去) 透湿防水シート(新設)、構造用合板 t12(二重張)(新設) 見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4(新設) 木下地 30×30、36×65(新設)	目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(E)	せっき器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(撤去) シート防水巻込み(撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小口フタ付) (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等腐蝕・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装(打放し仕上) (新設)
(I)	スチールタラップ(撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺(既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂トン屋根用塗料(新設)
(K)	せっき器質特殊レンガ(既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3(撤去) 下地コンクリート打放シ(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(M)	せっき器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(撤去) ジョイント部: シーリング 15×10(撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(既存のまま) ジョイント部: シーリング 15×10(撤去)	下地調整の上、DP塗り(新設) ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200(撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225(新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板(既存のまま)	-
(R)	E X P ・ J ステンレスHL (既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10(撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装(既存のまま)	下地調整の上、DP塗り(新設)
(T)	150角磁器質タイル(撤去)	150角磁器質タイル(新設)
(U)	吹付タイル(塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(V)	リシン吹付(既存のまま)	-
(W)	せっき器質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理(既存のまま)	下地調整の上、DP塗り(新設)
(Y)	リシン吹付(塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(Z)	コンクリート打放シ(撤去)	コンクリート打放シ(新設) 撥水性塗料塗布(新設)
(1)	コンクリート打放シ EP (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 EP-G (新設)

有限会社 佐久間設計

Architects Design Office
一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号
管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚

概図	製図	特記

工事名称

札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事

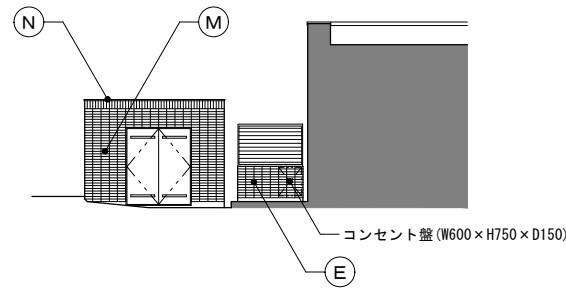
図面名称
立面図(11)

縮尺
1/200

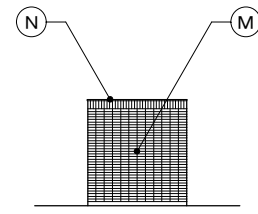
設計年月日

図面番号

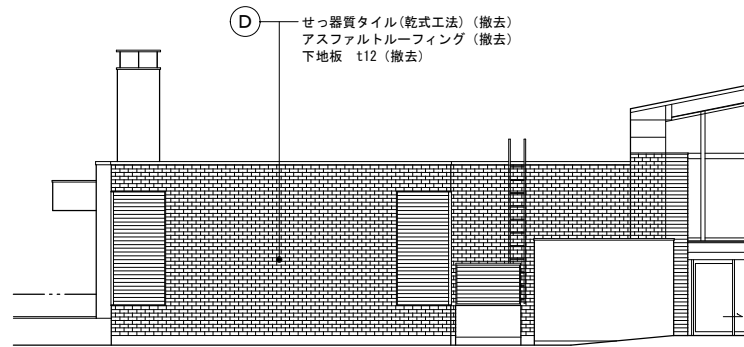
A-25



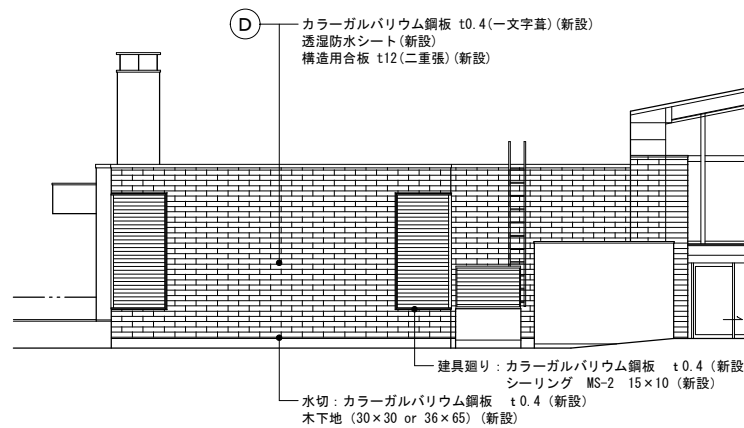
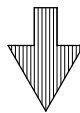
北東 立面図



北西 立面図



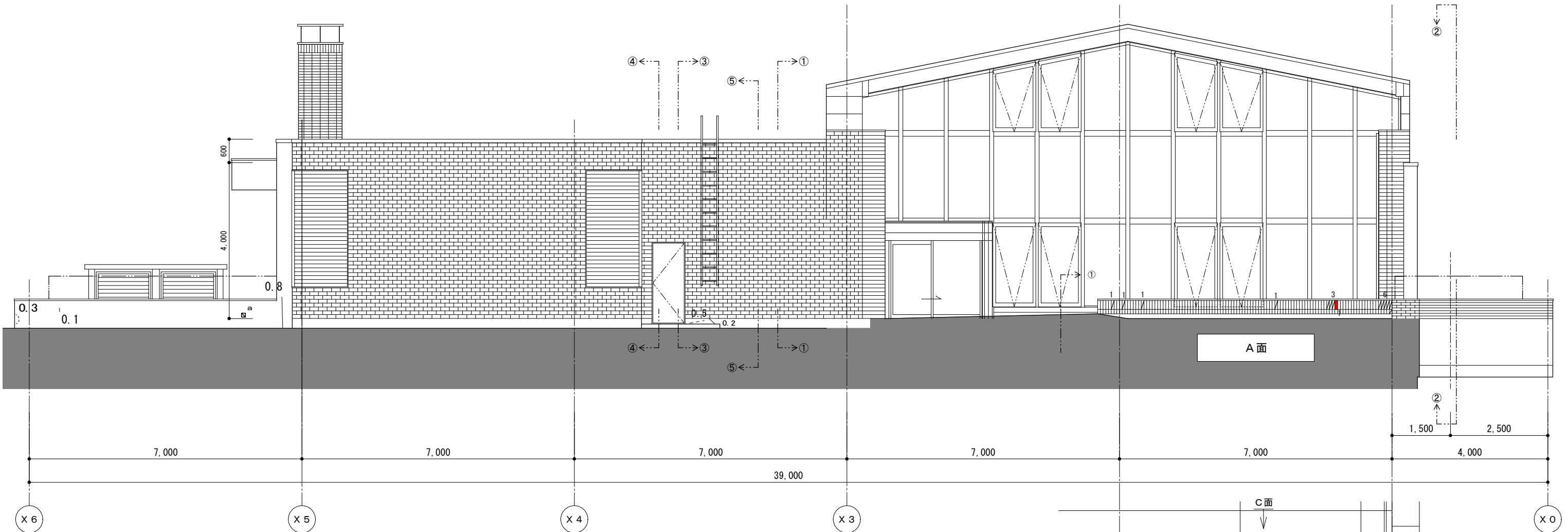
せつ器質タイル(乾式工法)部改修前 立面図



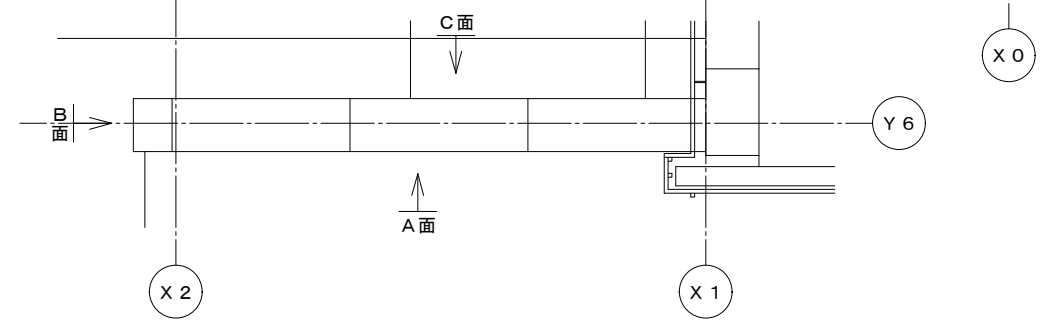
せつ器質タイル(乾式工法)部改修後 立面図

凡例

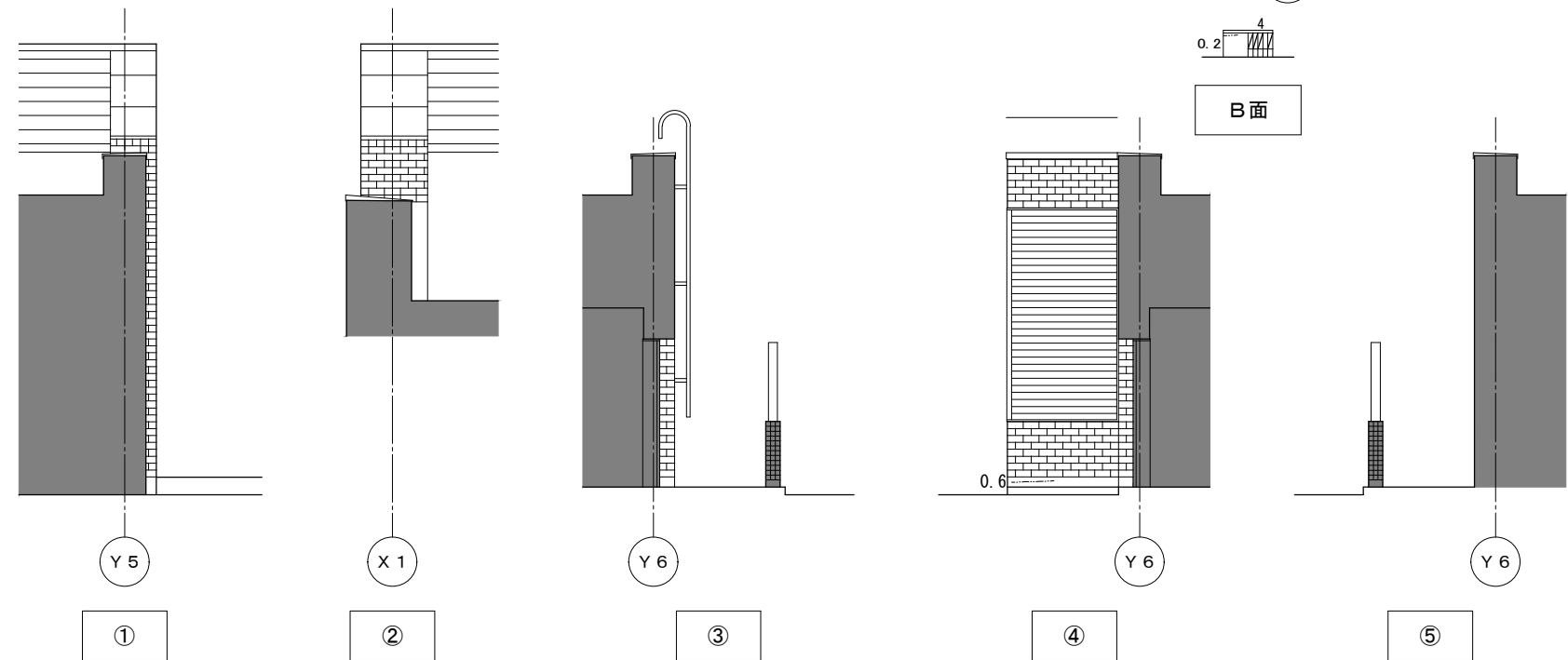
	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 10×10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法) (撤去) アスファルトルーフィング (撤去) 下地板 t12 (撤去)	カラーガルバリウム鋼板(一文字葺) t0.4(新設) 透湿防水シート(新設)、構造用合板 t12(二重張)(新設) 見切・水切: カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設) 木下地 30×30、36×65 (新設)
(E)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(60×210) (新設)
(F)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) シート防水巻込み(撤去)	アルミ製防水押え嵌合型金物 t=1.8 122×110 (端部: 小口フタ付) (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等爆裂・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(I)	スチールタラップ (撤去)	ステンレスタラップ SUS304 HL (新設)
(J)	カラー鋼板 t0.4 横葺 (既存のまま)	水洗い、下地調整の上、 二液型特殊ポリウレタン樹脂トタン屋根用塗料 (新設)
(K)	せつ器質特殊レンガ (既存のまま)	-
(L)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去) 下地コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(M)	せつ器質タイル(二丁掛) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: 磁器質タイル(二丁掛) (新設)
(N)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (撤去) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) (新設)
(O)	笠木 耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま) ジョイント部: シーリング 15×10 (撤去)	下地調整の上、DP塗り (新設) ジョイント部: シーリング MS-2 35×10 (オーバーブリッジ) (新設)
(P)	アルミ笠木 アクリル焼付塗装 W=200 (撤去)	アルミ笠木(焼付塗装) W=225 (新設)
(Q)	ボンデ鋼板・耐候性鋼板 (既存のまま)	-
(R)	EXP-J ステンレスHL (既存のまま) シーリング MS-2 15×10、10×10 (撤去)	シーリング MS-2 15×10、10×10 (新設)
(S)	手摺 φ50 DP塗装 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(T)	150角磁器質タイル (撤去)	150角磁器質タイル (新設)
(U)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(V)	リシン吹付 (既存のまま)	-
(W)	せつ器質タイル(乾式工法) (既存のまま)	-
(X)	耐候性鋼板 ウェザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(Y)	リシン吹付 (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(Z)	コンクリート打放シ (撤去)	コンクリート打放シ (新設) 撥水性塗料塗布 (新設)
(1)	コンクリート打放シ EP (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 EP-G (新設)



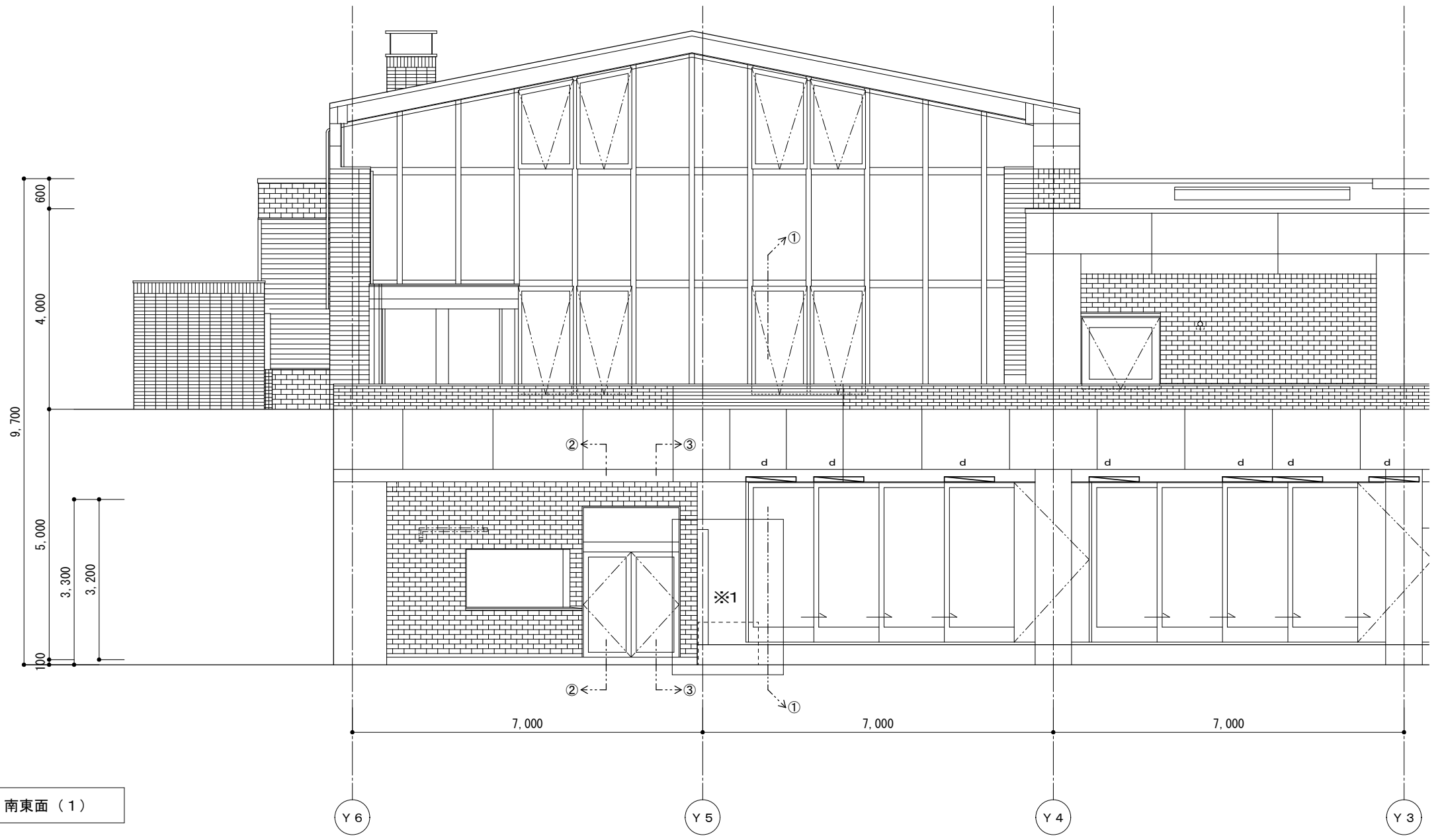
南西面



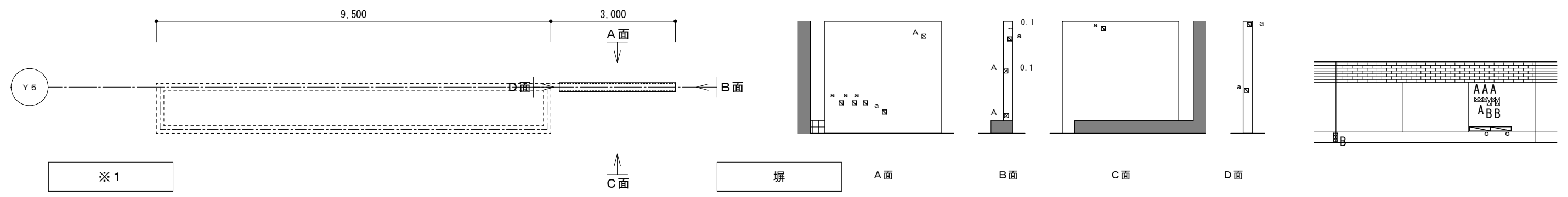
記号	現況
	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)
	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	ひび割れ(幅1.0mm以上)
	欠損部(100×100)
	欠損部(100×200)
	欠損部(100×500)
	欠損部(100×1000)
	鉄筋等燻裂(100×100)
	鉄筋等燻裂(100×200)
	鉄筋等燻裂(100×500)
	鉄筋等燻裂(100×1000)
	モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き

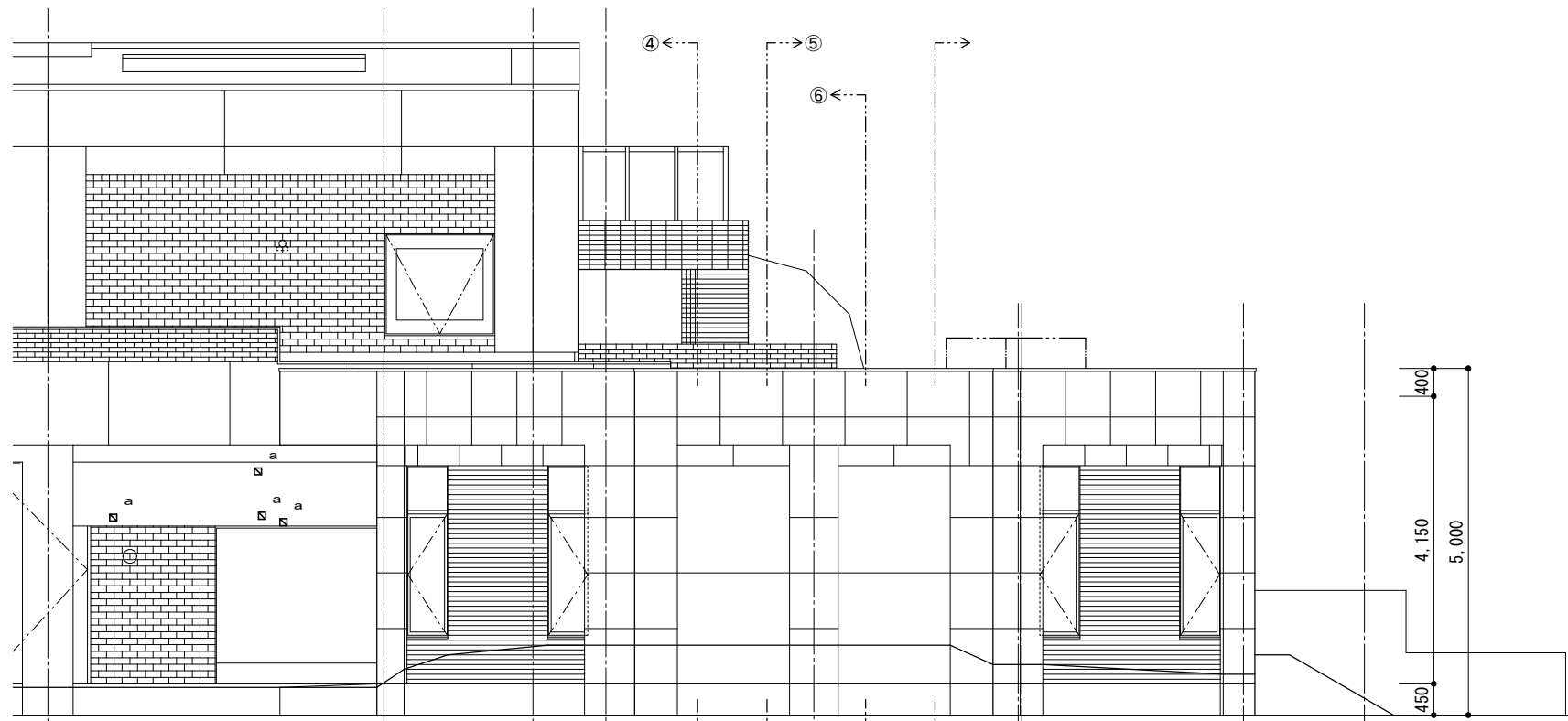


記号	現況
	m ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)
	m ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	m ひび割れ(幅1.0mm以上)
	a 欠損部(100×100)
	b 欠損部(100×200)
	c 欠損部(100×500)
	d 欠損部(100×1000)
	A 鉄筋等腐蝕(100×100)
	B 鉄筋等腐蝕(100×200)
	C 鉄筋等腐蝕(100×500)
	D 鉄筋等腐蝕(100×1000)
	m ² モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き

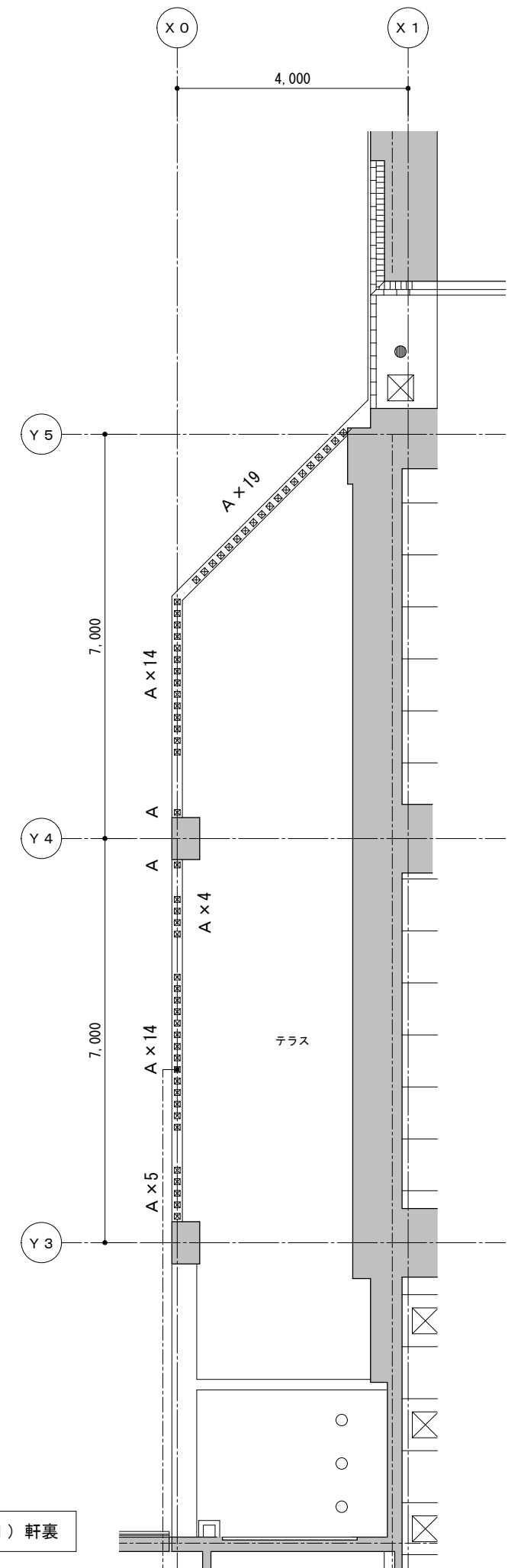
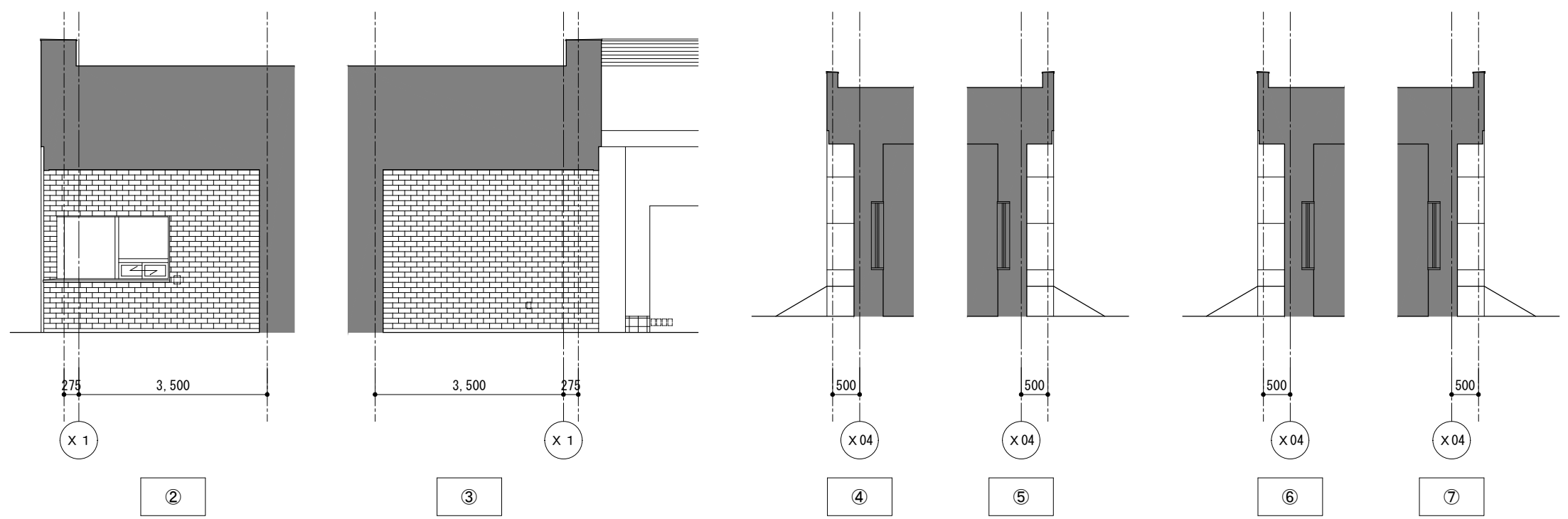
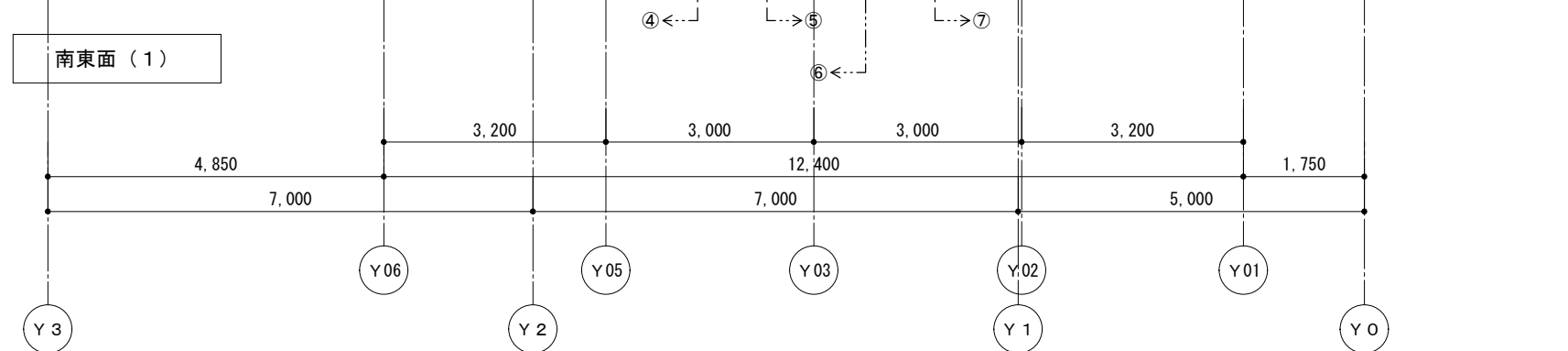


南東面(1)



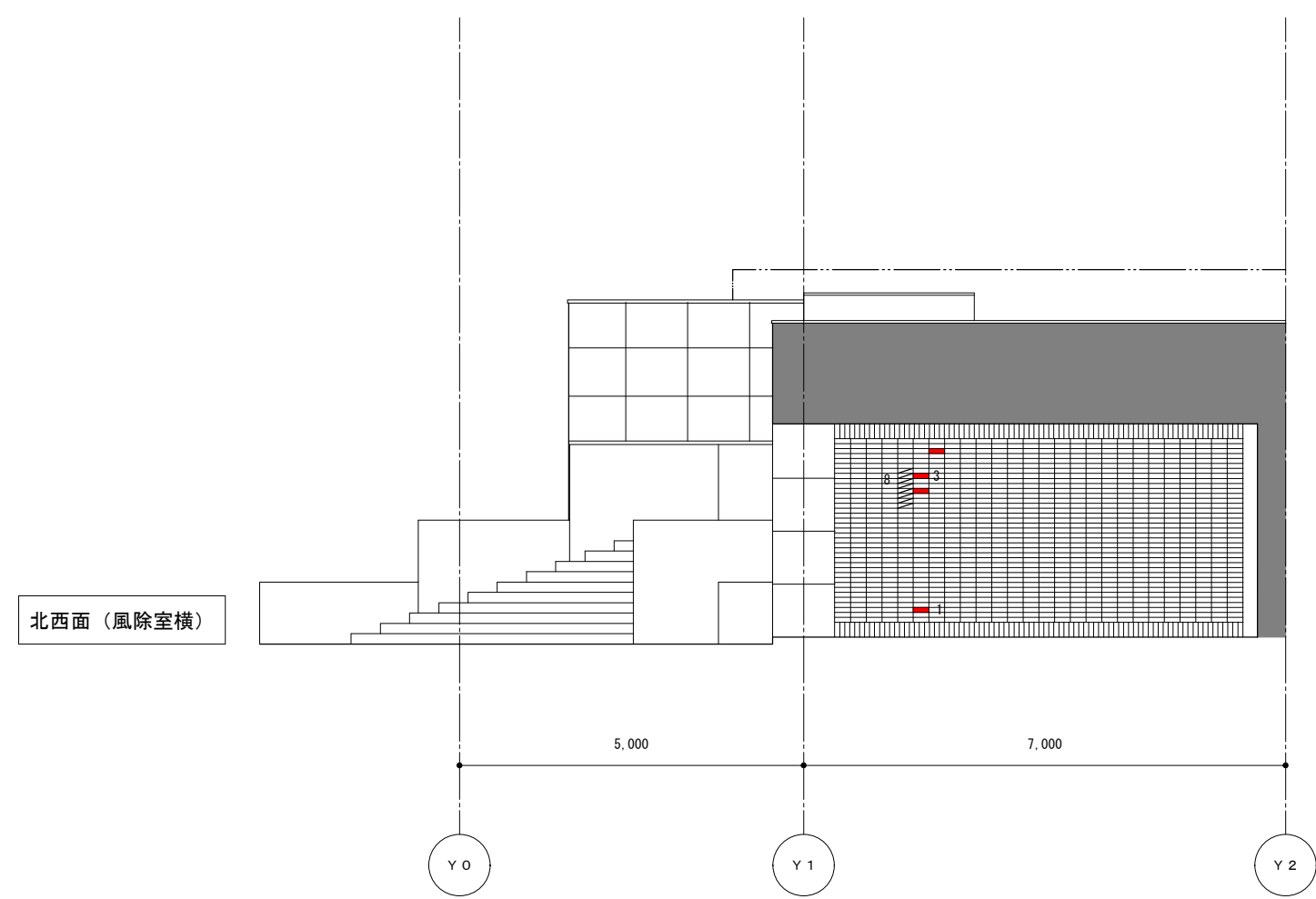
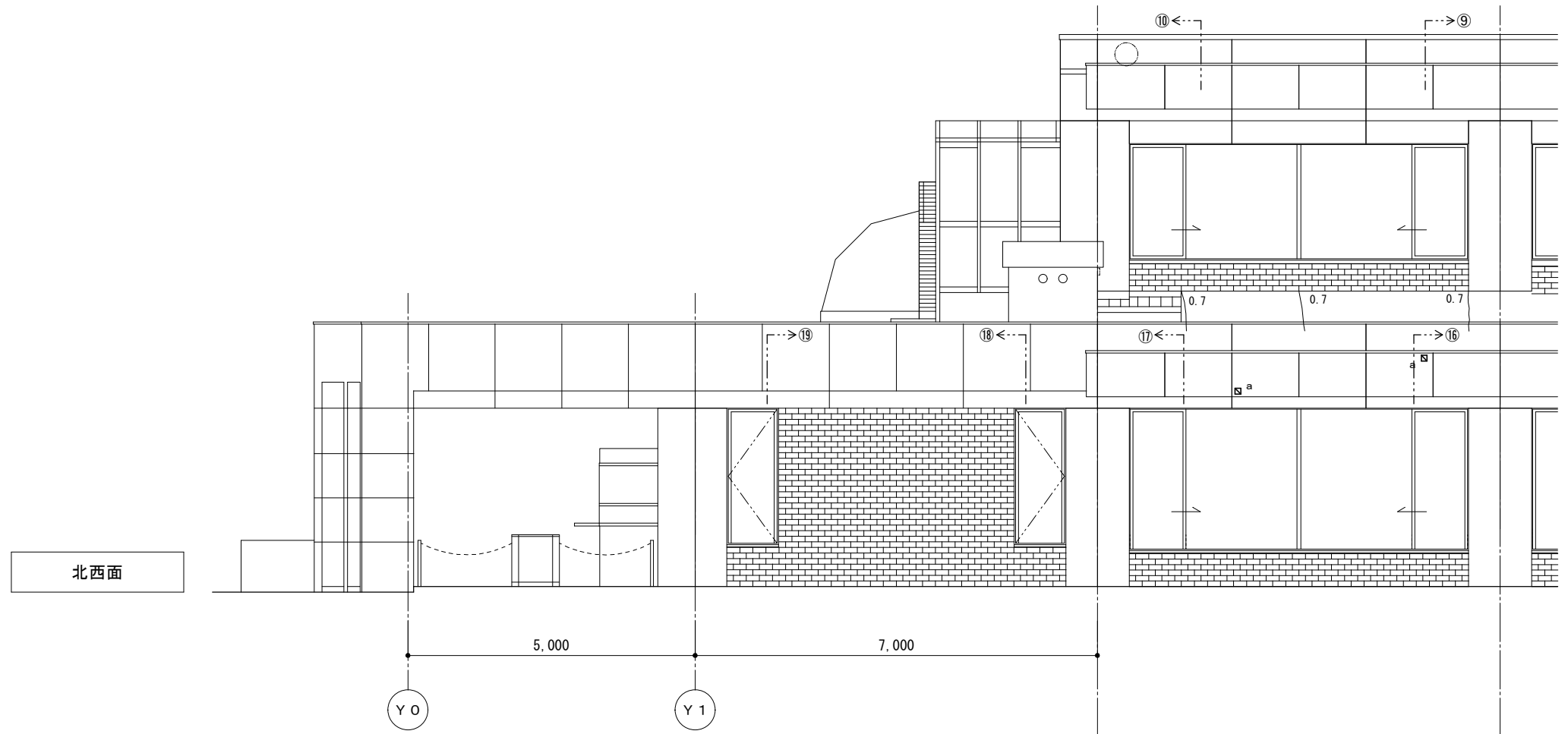


記号	現況
	m ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)
	m ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	m ひび割れ(幅1.0mm以上)
	a 欠損部(100×100)
	b 欠損部(100×200)
	c 欠損部(100×500)
	d 欠損部(100×1000)
	A 鉄筋等爆裂(100×100)
	B 鉄筋等爆裂(100×200)
	C 鉄筋等爆裂(100×500)
	D 鉄筋等爆裂(100×1000)
	m ² モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き



南東面(1) 軒裏

記号	現況
m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)
m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
m	ひび割れ(幅1.0mm以上)
a	欠損部(100×100)
b	欠損部(100×200)
c	欠損部(100×500)
d	欠損部(100×1000)
A	鉄筋等爆裂(100×100)
B	鉄筋等爆裂(100×200)
C	鉄筋等爆裂(100×500)
D	鉄筋等爆裂(100×1000)
m ²	モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き

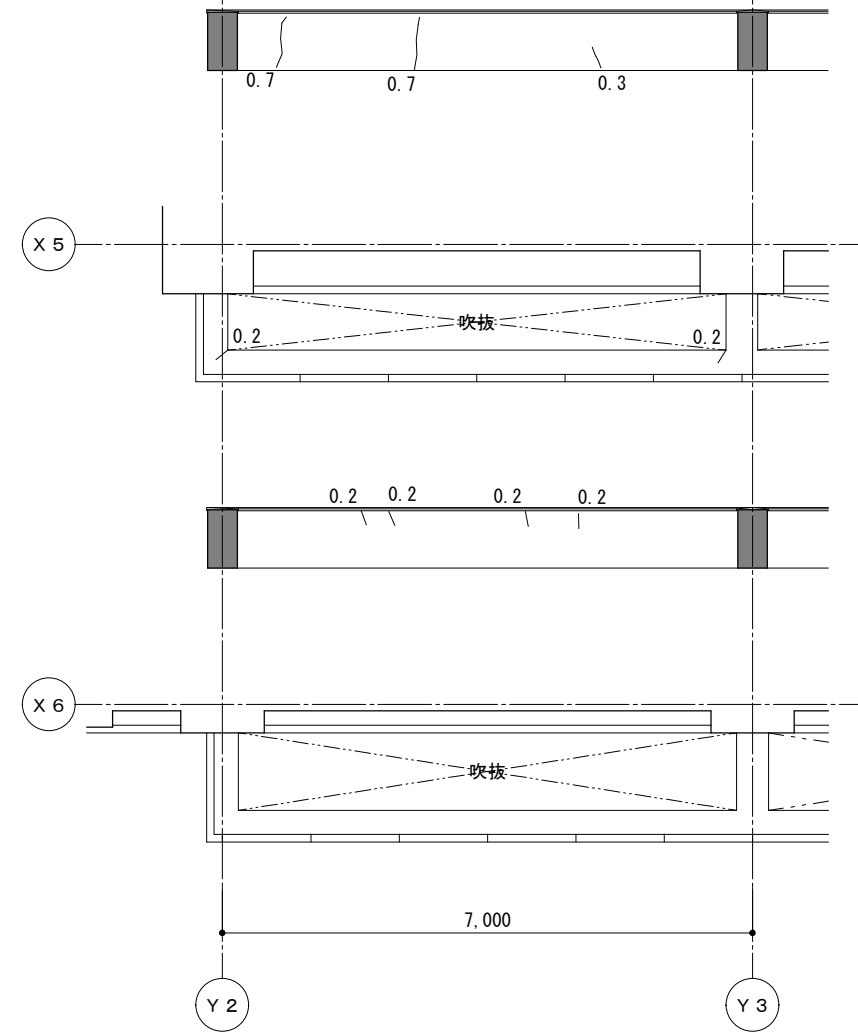


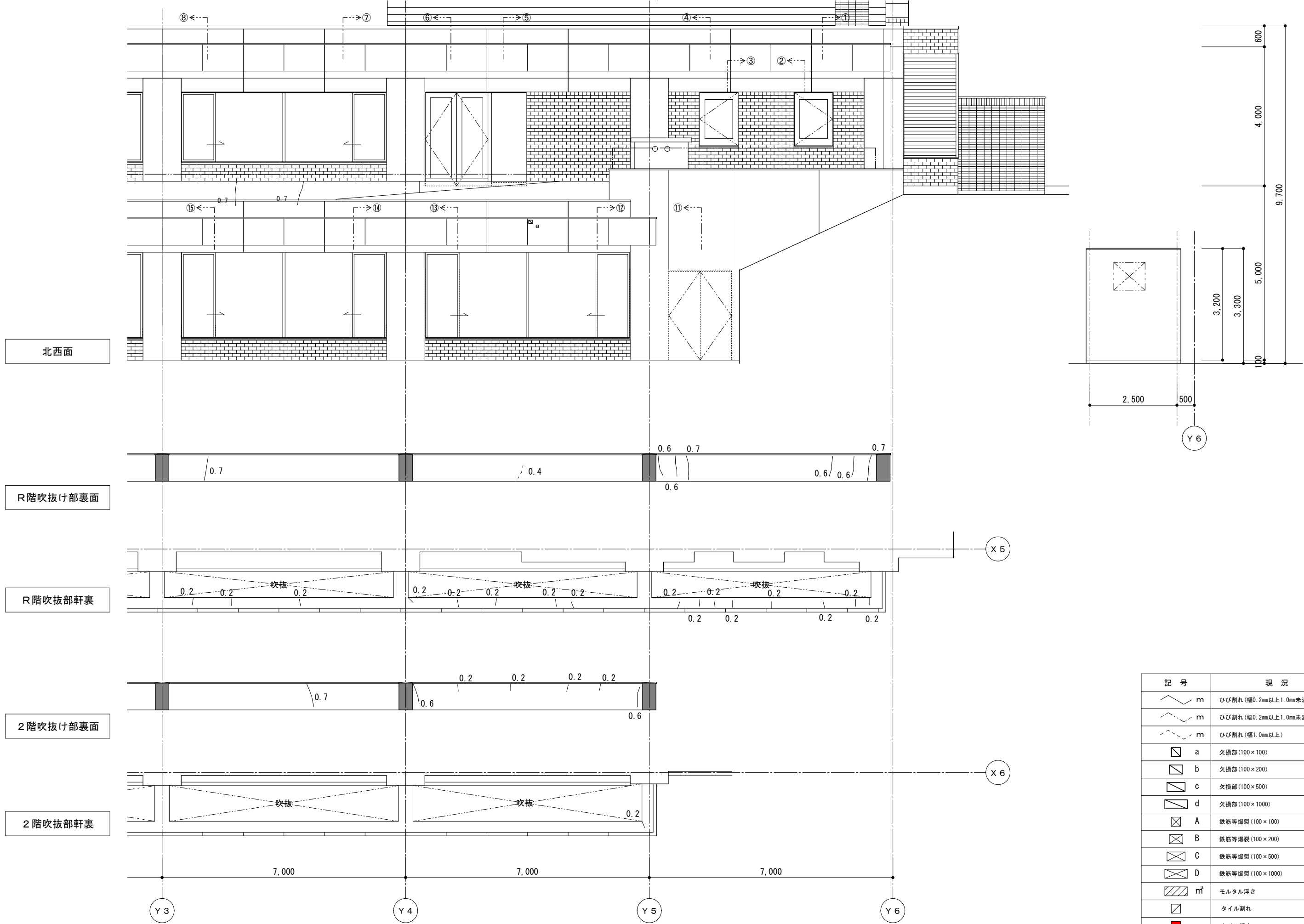
R階吹抜け部裏面

R階吹抜け部軒裏

2階吹抜け部裏面

2階吹抜け部軒裏





北西面

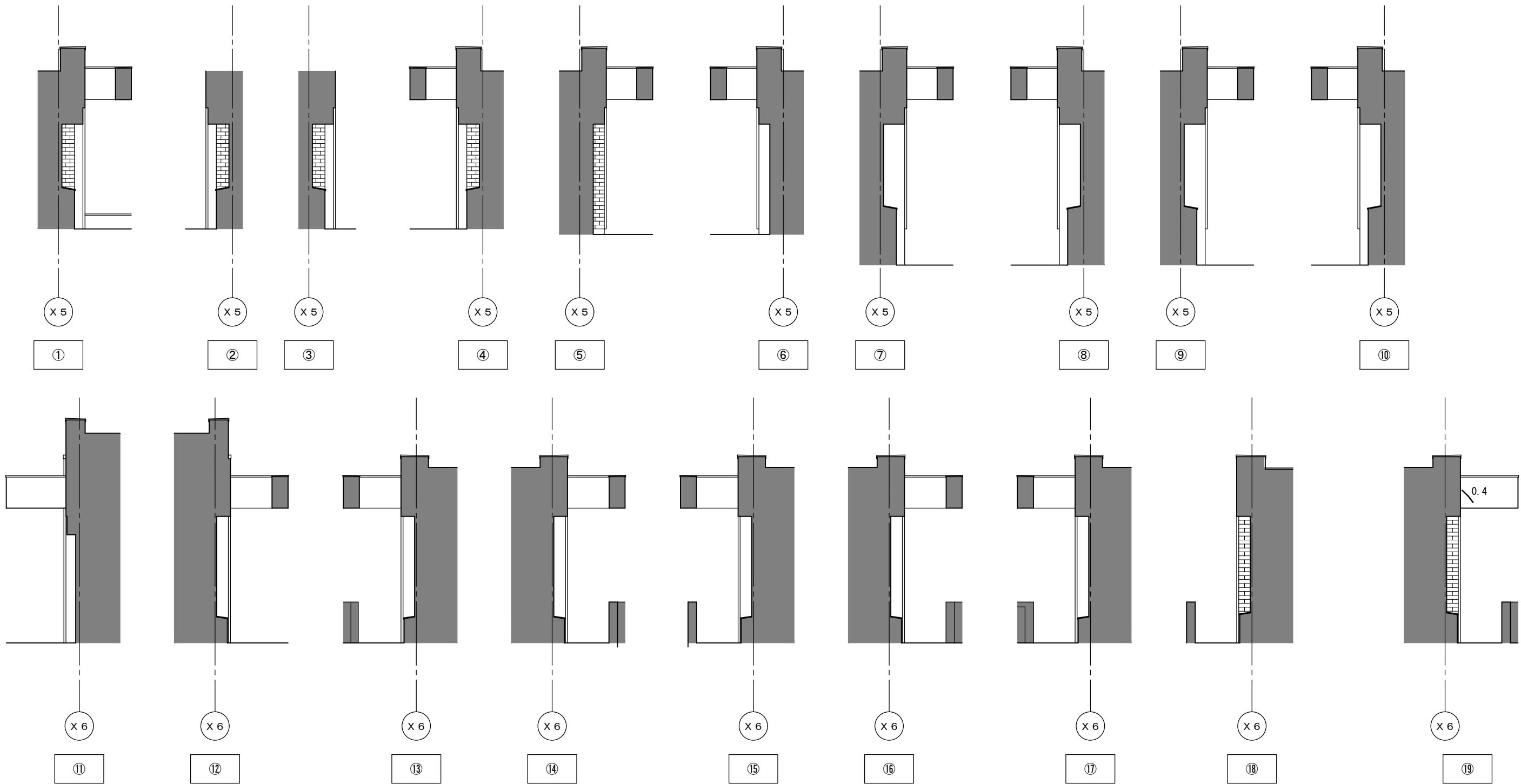
R階吹抜け部裏面

R階吹抜部軒裏

2階吹抜け部裏面

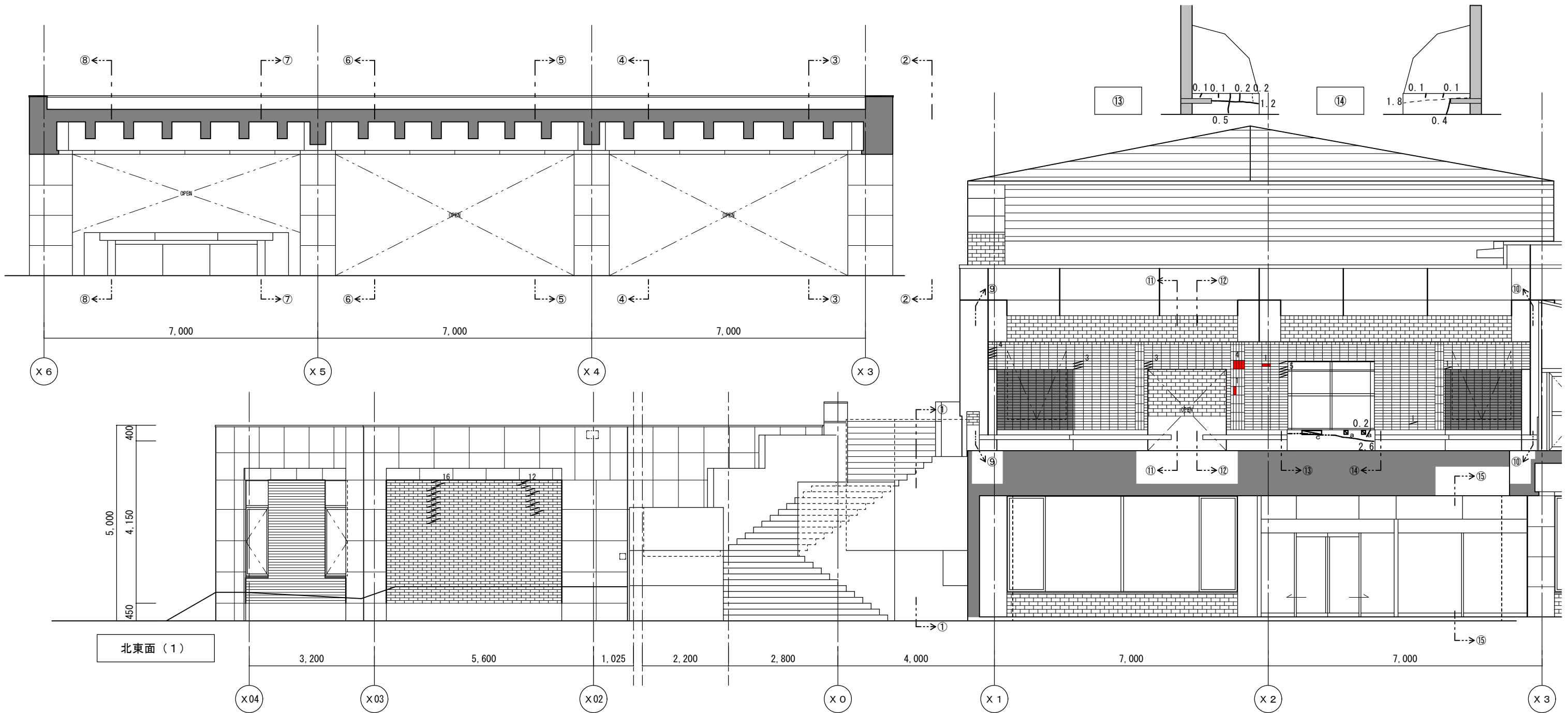
2階吹抜部軒裏

記号	現況
	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)
	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	ひび割れ(幅1.0mm以上)
	欠損部(100×100)
	欠損部(100×200)
	欠損部(100×500)
	欠損部(100×1000)
	鉄筋等爆裂(100×100)
	鉄筋等爆裂(100×200)
	鉄筋等爆裂(100×500)
	鉄筋等爆裂(100×1000)
	モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き



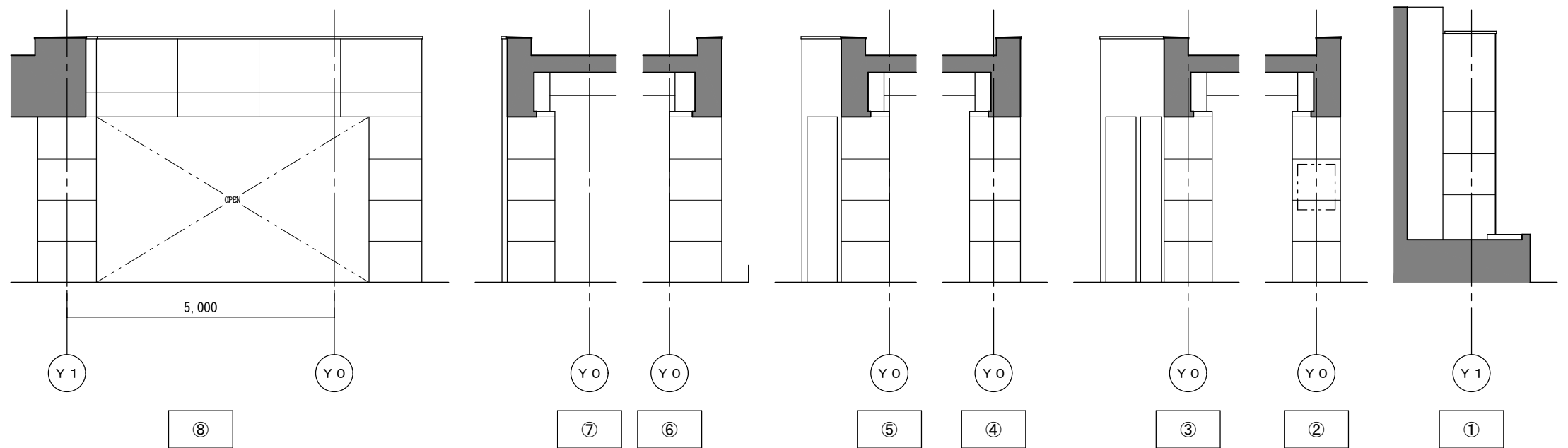
北西面 (柱型)

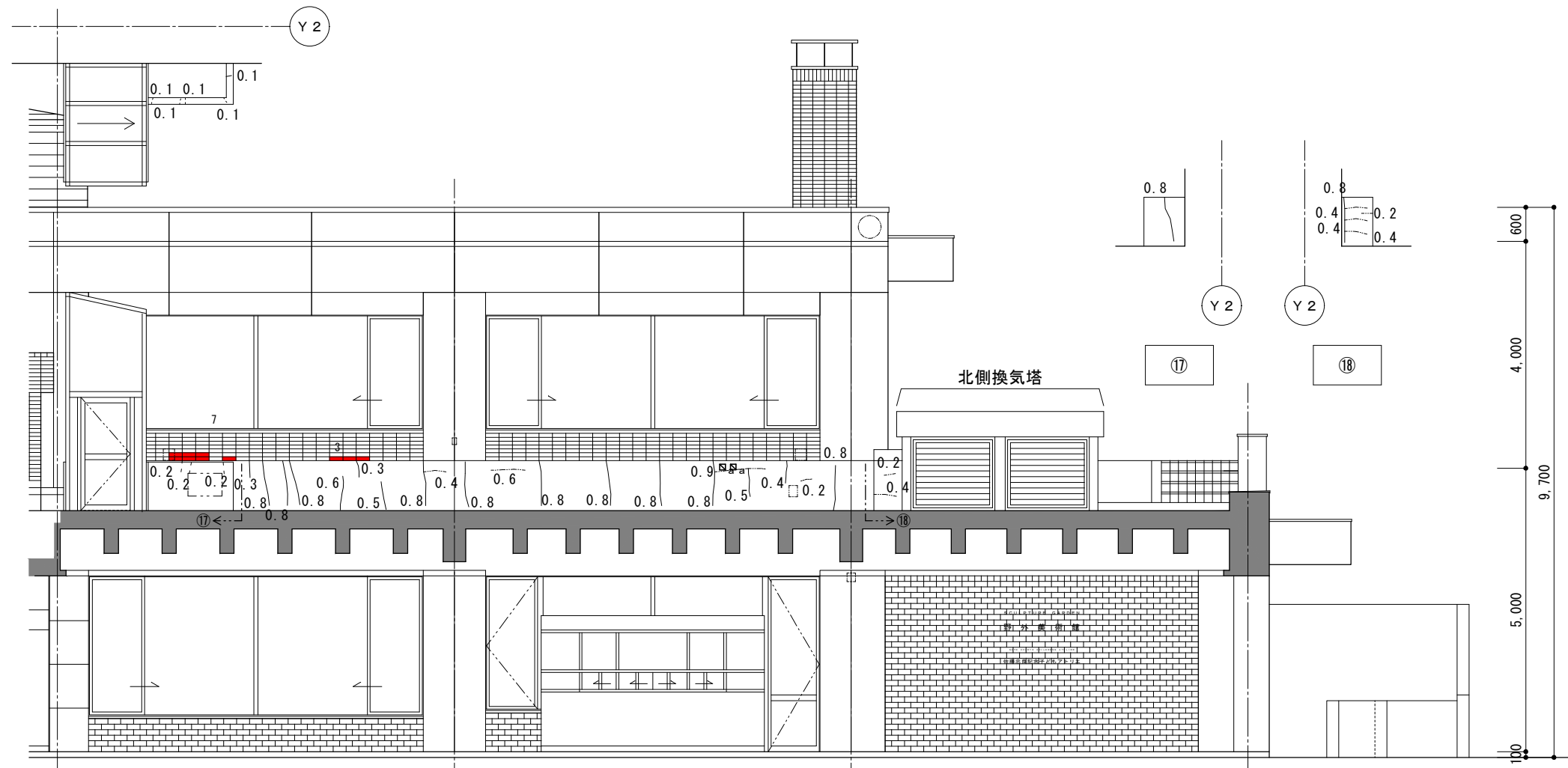
記号	現況	記号	現況
m	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満)	a	欠損部 (100×100)
m	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)	b	欠損部 (100×200)
m	ひび割れ (幅1.0mm以上)	c	欠損部 (100×500)
m	モルタル浮き	d	欠損部 (100×1000)
	タイル割れ	A	鉄筋等爆裂 (100×100)
	タイル浮き	B	鉄筋等爆裂 (100×200)
		C	鉄筋等爆裂 (100×500)
		D	鉄筋等爆裂 (100×1000)



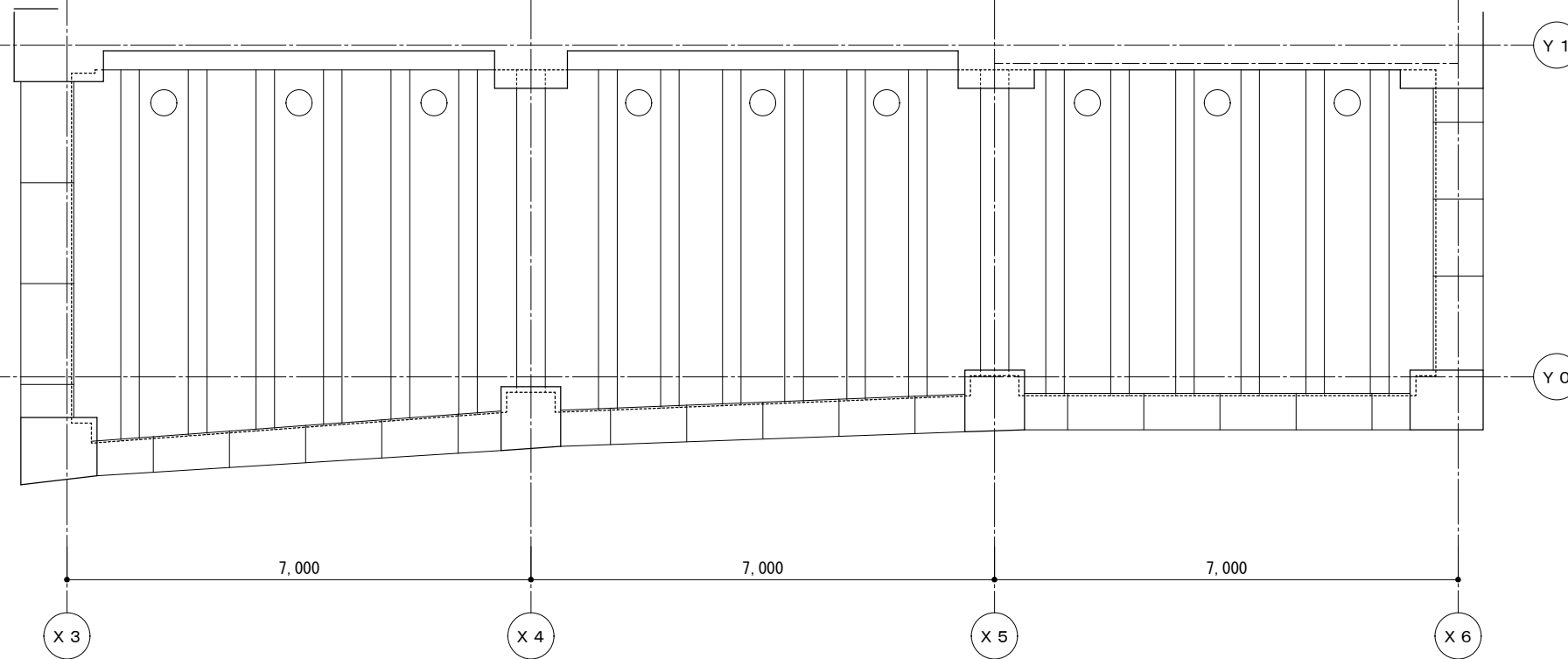
北東面 (1)

記号	現況
	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満)
	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	ひび割れ (幅1.0mm以上)
	欠損部 (100×100)
	欠損部 (100×200)
	欠損部 (100×500)
	欠損部 (100×1000)
	鉄筋等爆裂 (100×100)
	鉄筋等爆裂 (100×200)
	鉄筋等爆裂 (100×500)
	鉄筋等爆裂 (100×1000)
	モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き

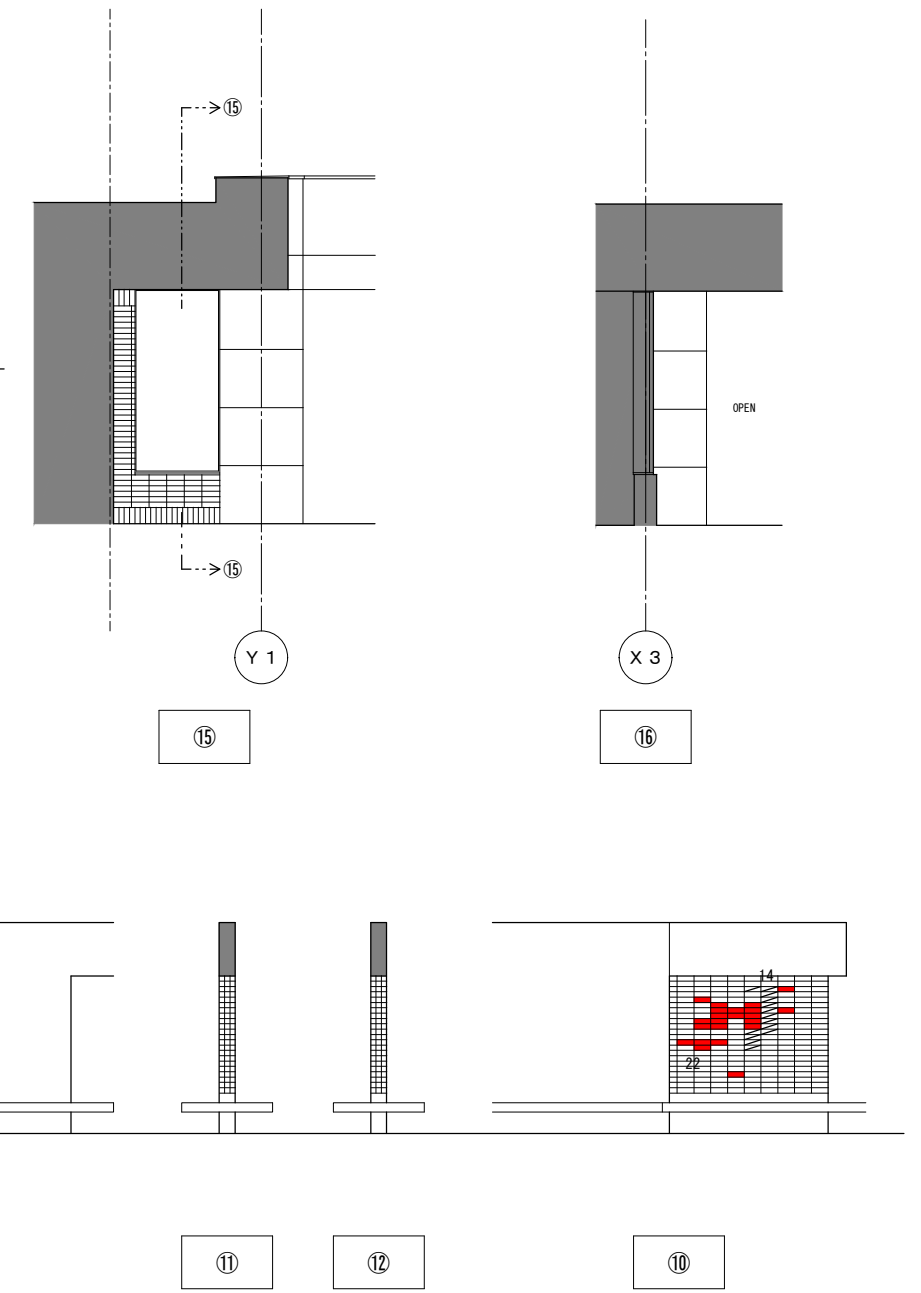




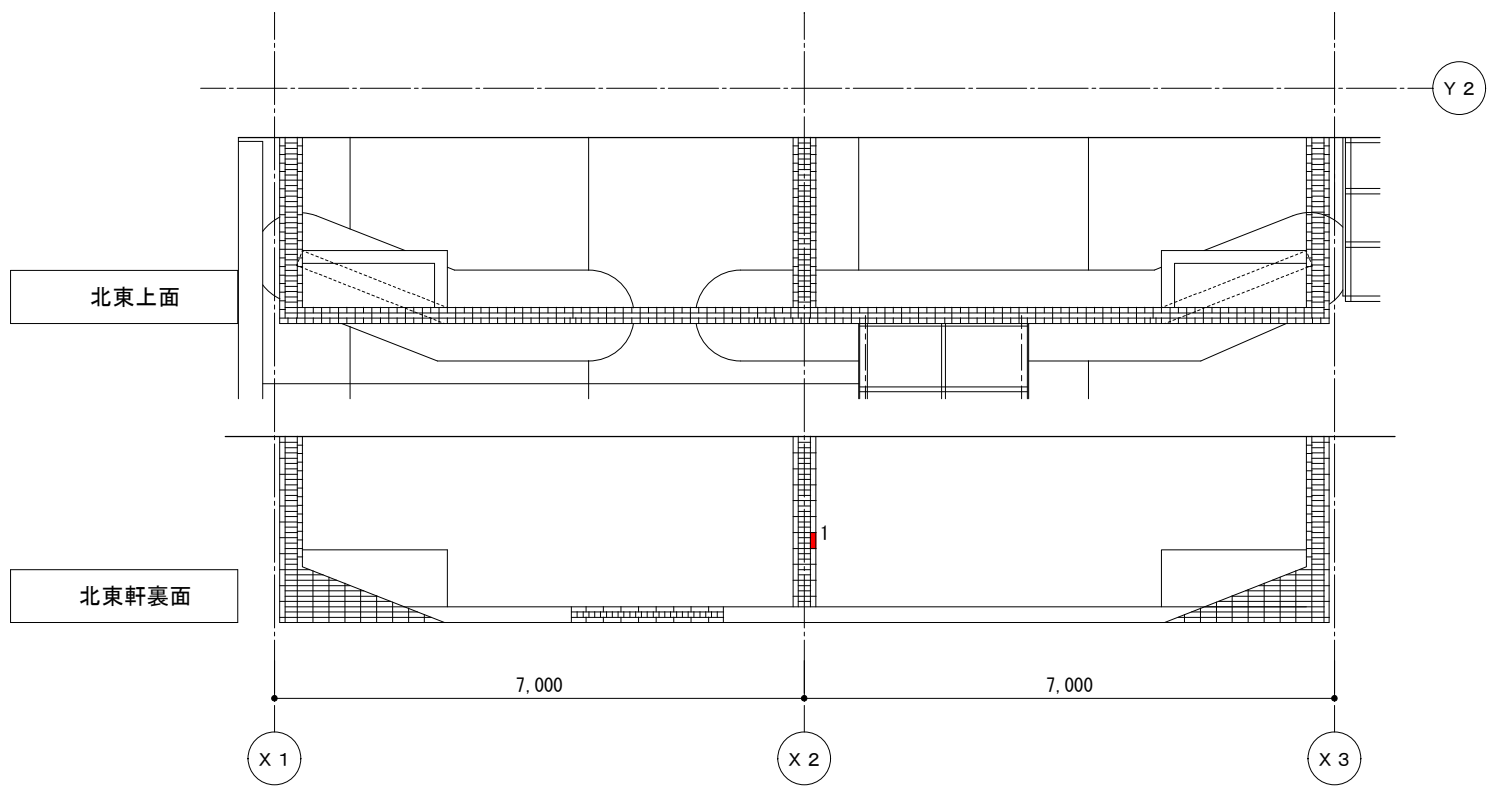
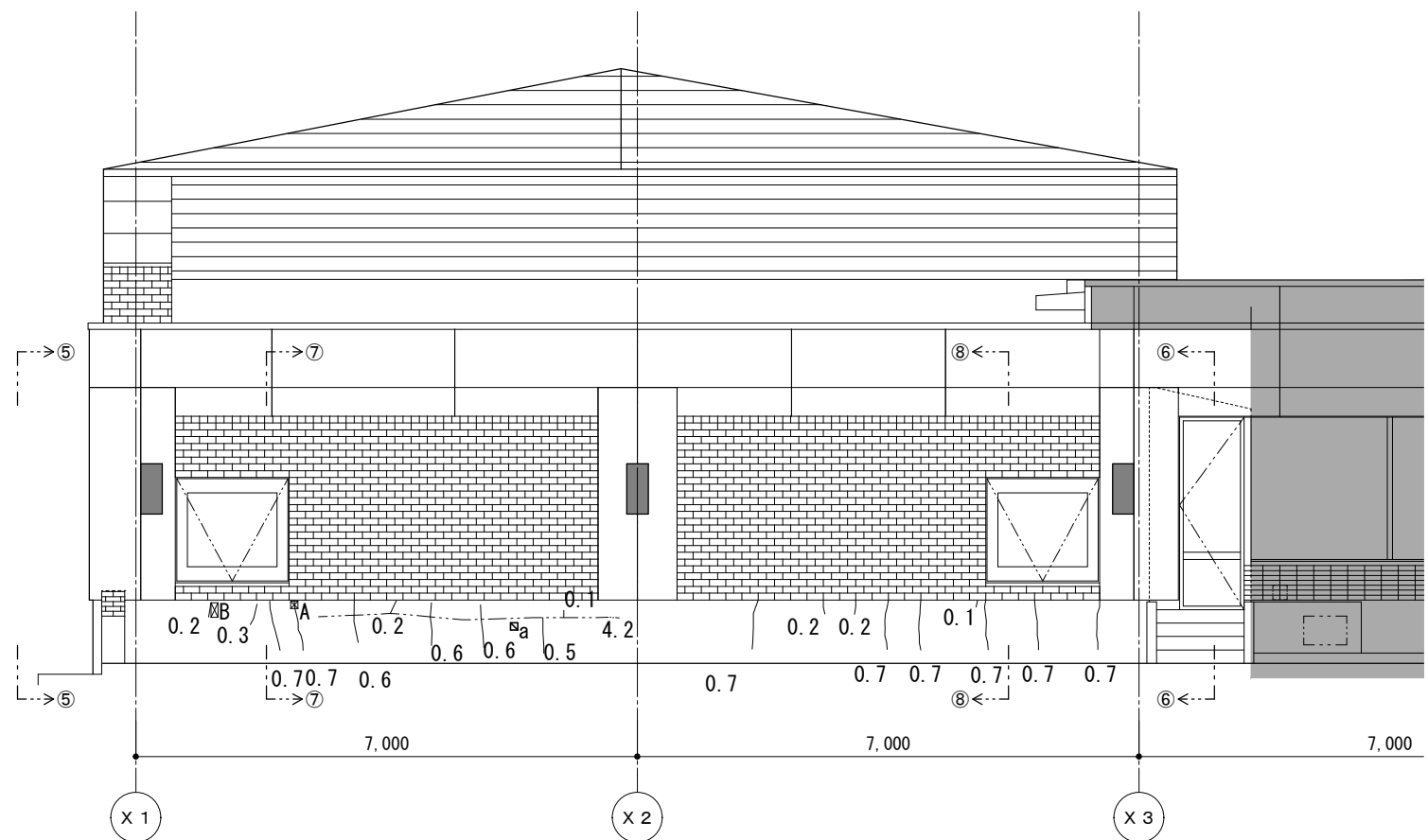
北東面 (1)



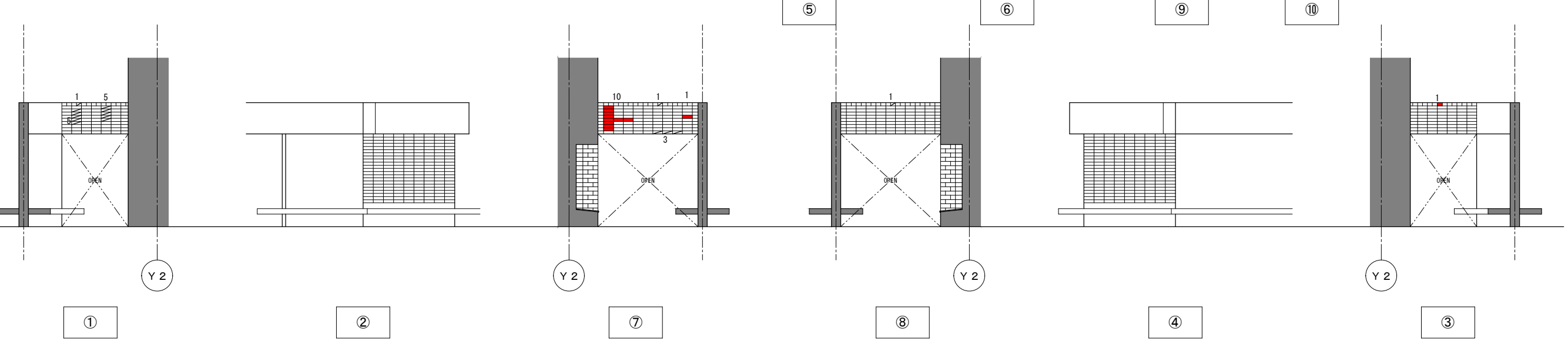
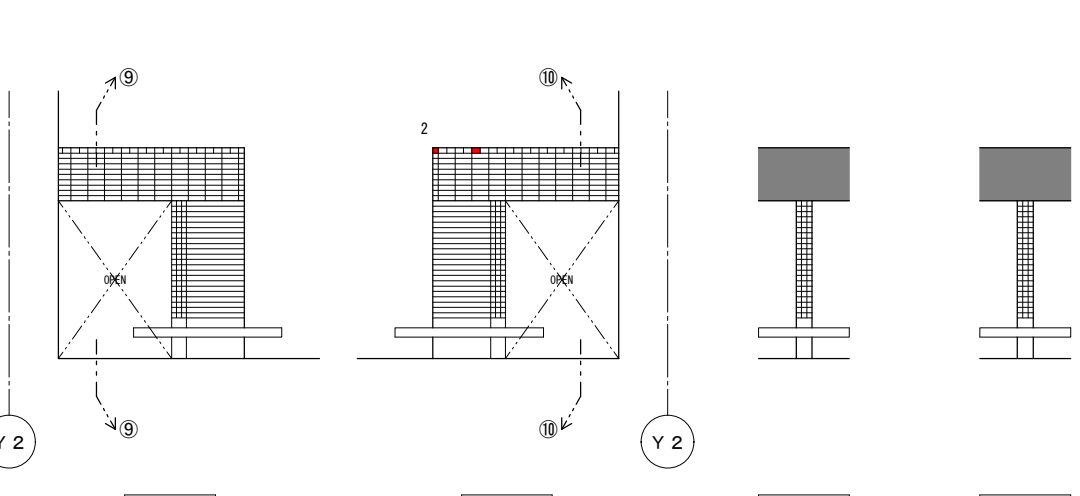
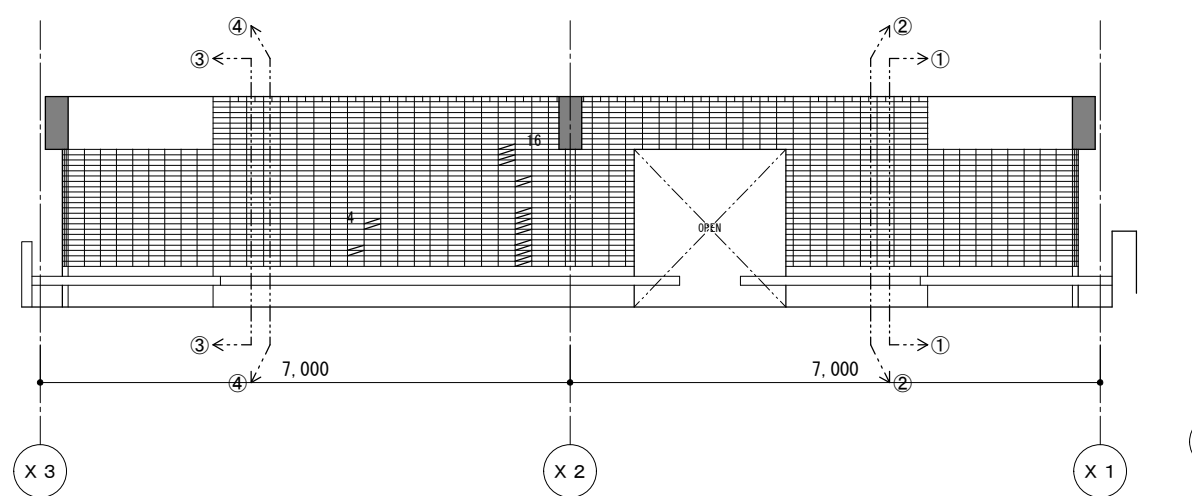
北東面 (1) 軒天



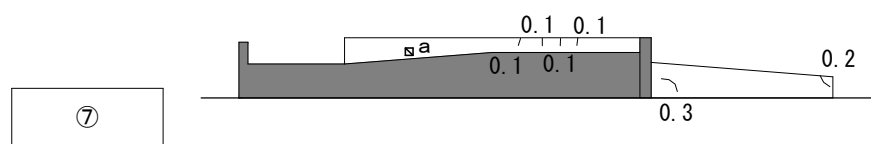
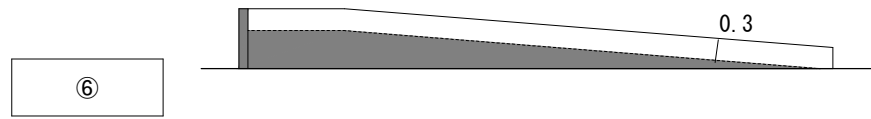
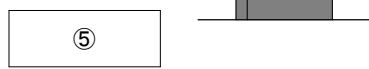
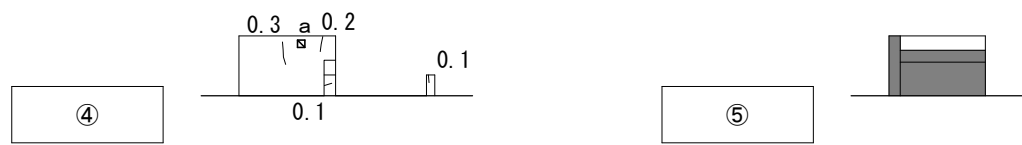
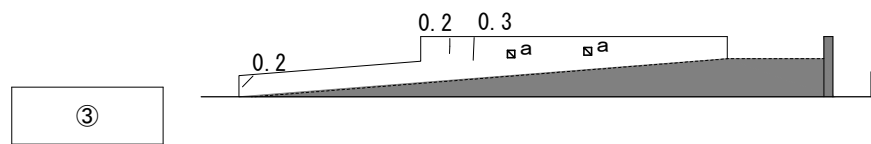
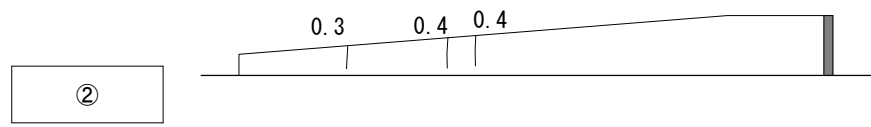
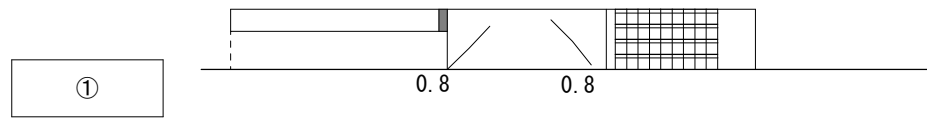
記号	現況
	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満)
	ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	ひび割れ (幅1.0mm以上)
	欠損部 (100×100)
	欠損部 (100×200)
	欠損部 (100×500)
	欠損部 (100×1000)
	鉄筋等爆裂 (100×100)
	鉄筋等爆裂 (100×200)
	鉄筋等爆裂 (100×500)
	鉄筋等爆裂 (100×1000)
	モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き



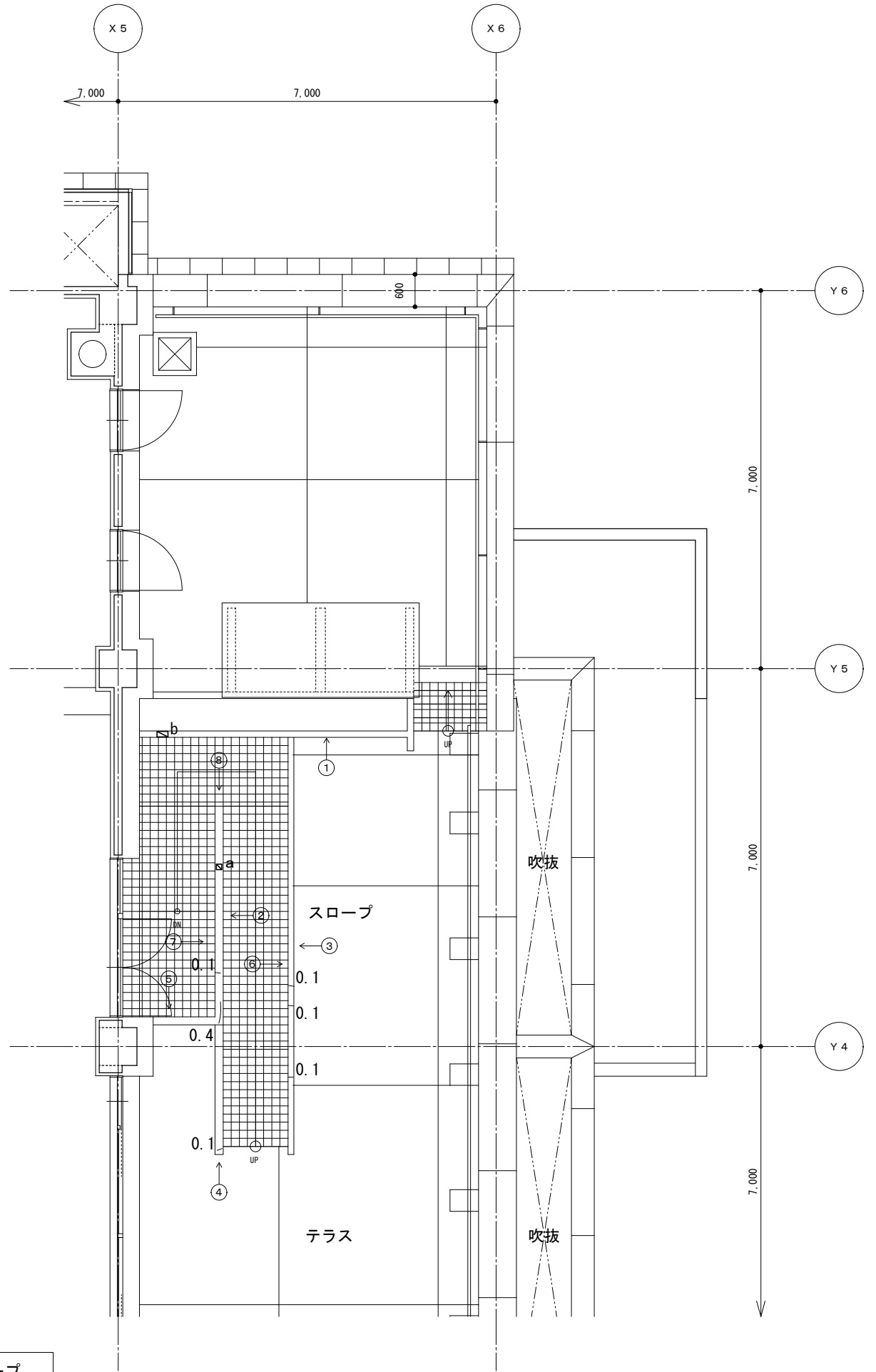
北東面 (2)



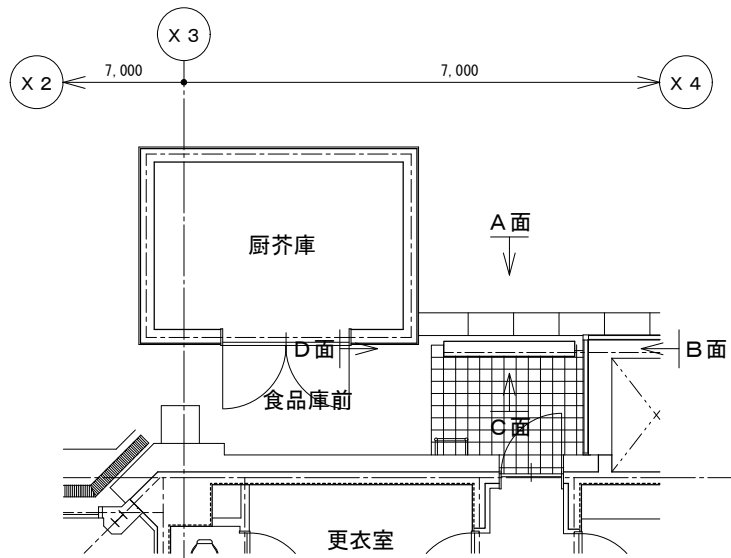
記号	現況
	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)
	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	ひび割れ(幅1.0mm以上)
	欠損部(100×100)
	欠損部(100×200)
	欠損部(100×500)
	欠損部(100×1000)
	鉄筋等爆裂(100×100)
	鉄筋等爆裂(100×200)
	鉄筋等爆裂(100×500)
	鉄筋等爆裂(100×1000)
	モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き



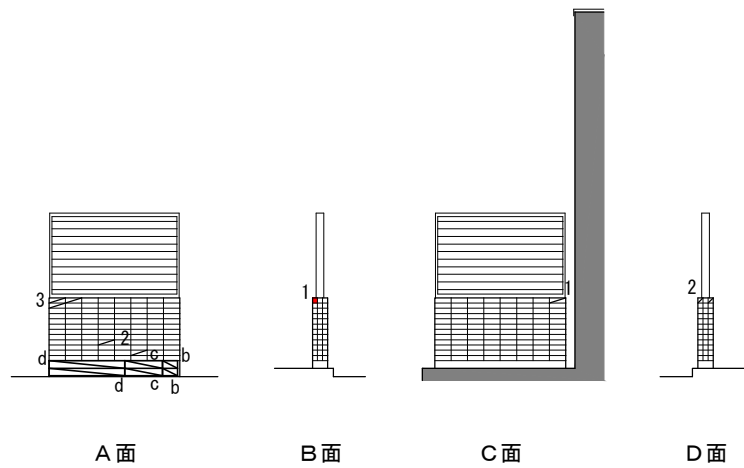
記号	現況	記号	現況
m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	a	欠損部(100×100)
m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)	b	欠損部(100×200)
m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	c	欠損部(100×500)
m	モルタル浮き	d	欠損部(100×1000)
	タイル割れ	A	鉄筋等爆裂(100×100)
	タイル浮き	B	鉄筋等爆裂(100×200)
		C	鉄筋等爆裂(100×500)
		D	鉄筋等爆裂(100×1000)



東側スロープ



食品庫前



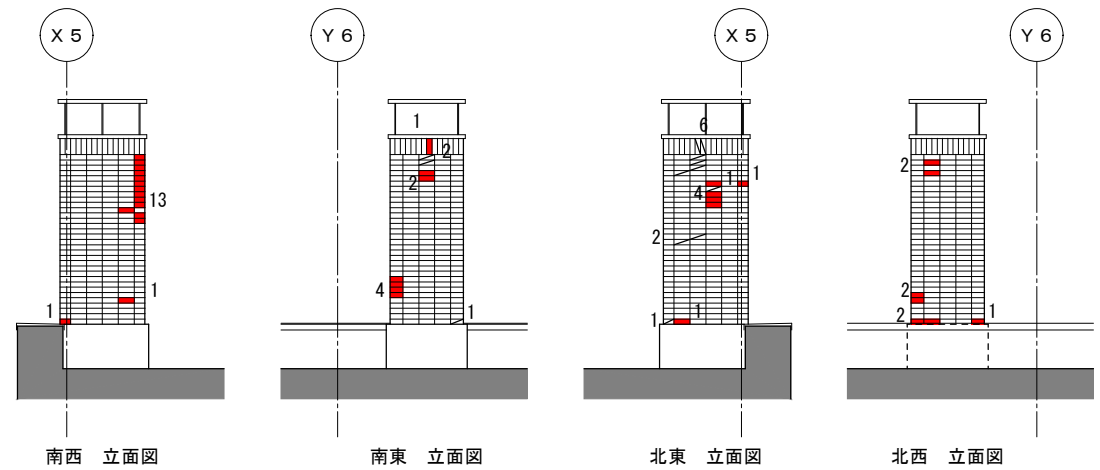
A面

B面

C面

D面

煙突

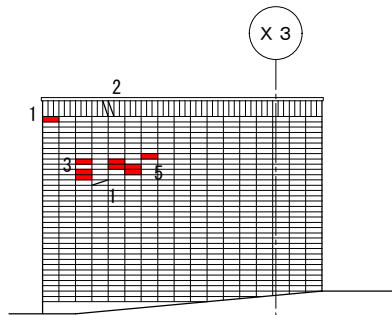


南西 立面図

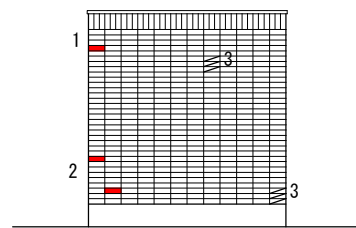
南東 立面図

北東 立面図

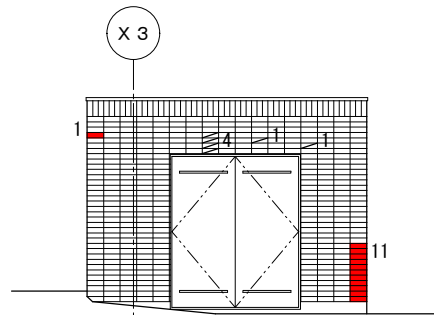
北西 立面図



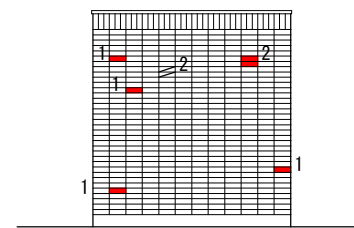
南西 立面図



南東 立面図



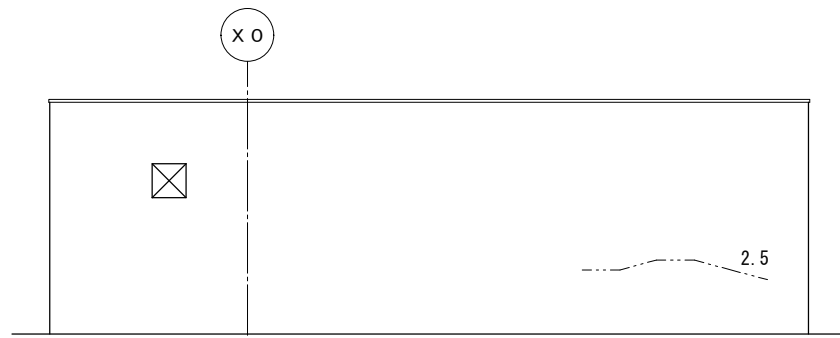
北東 立面図



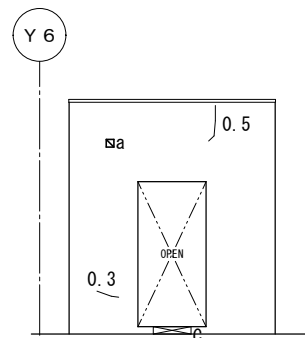
北西 立面図

厨房

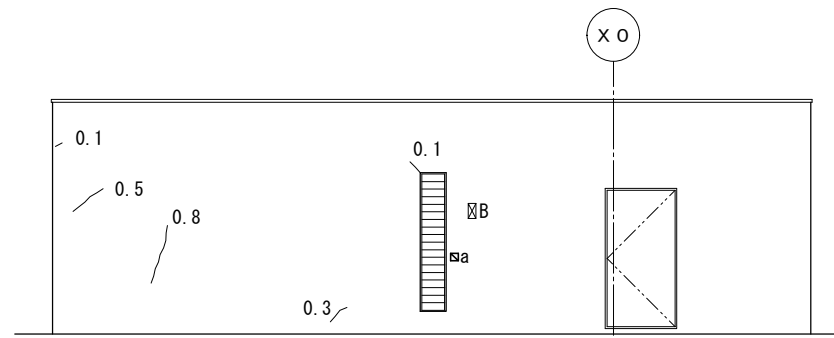
記号	現況
	m ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満)
	m ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm未満 横割れ)
	m ひび割れ (幅1.0mm以上)
	a 欠損部 (100×100)
	b 欠損部 (100×200)
	c 欠損部 (100×500)
	d 欠損部 (100×1000)
	A 鉄筋等爆裂 (100×100)
	B 鉄筋等爆裂 (100×200)
	C 鉄筋等爆裂 (100×500)
	D 鉄筋等爆裂 (100×1000)
	m ² モルタル浮き
	タイル割れ
	タイル浮き



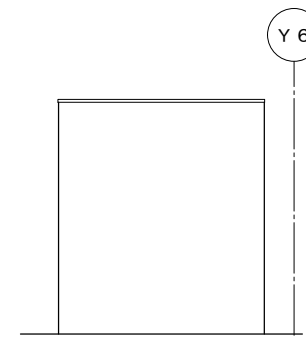
南西 立面図



南西 立面図

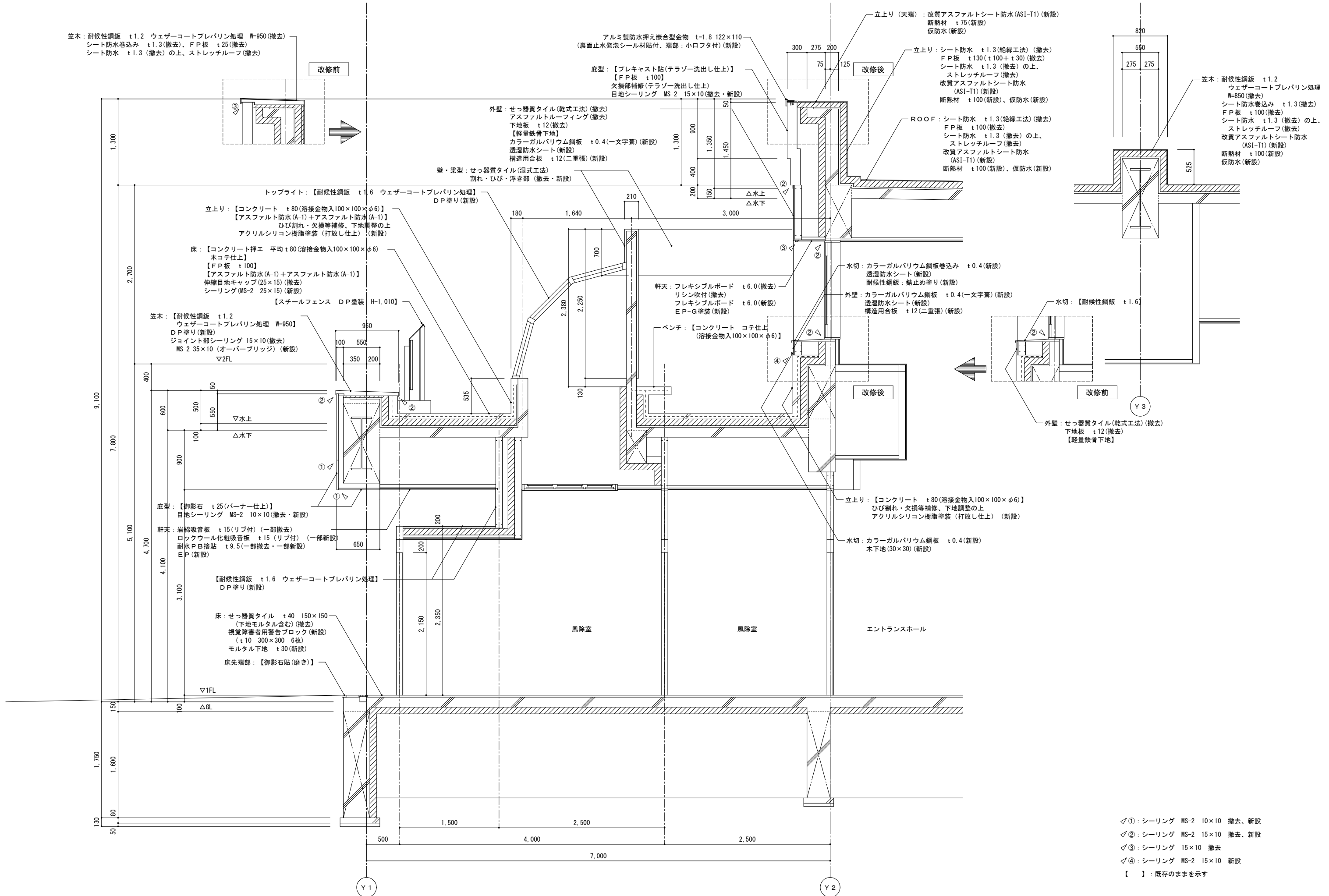


北東 立面図

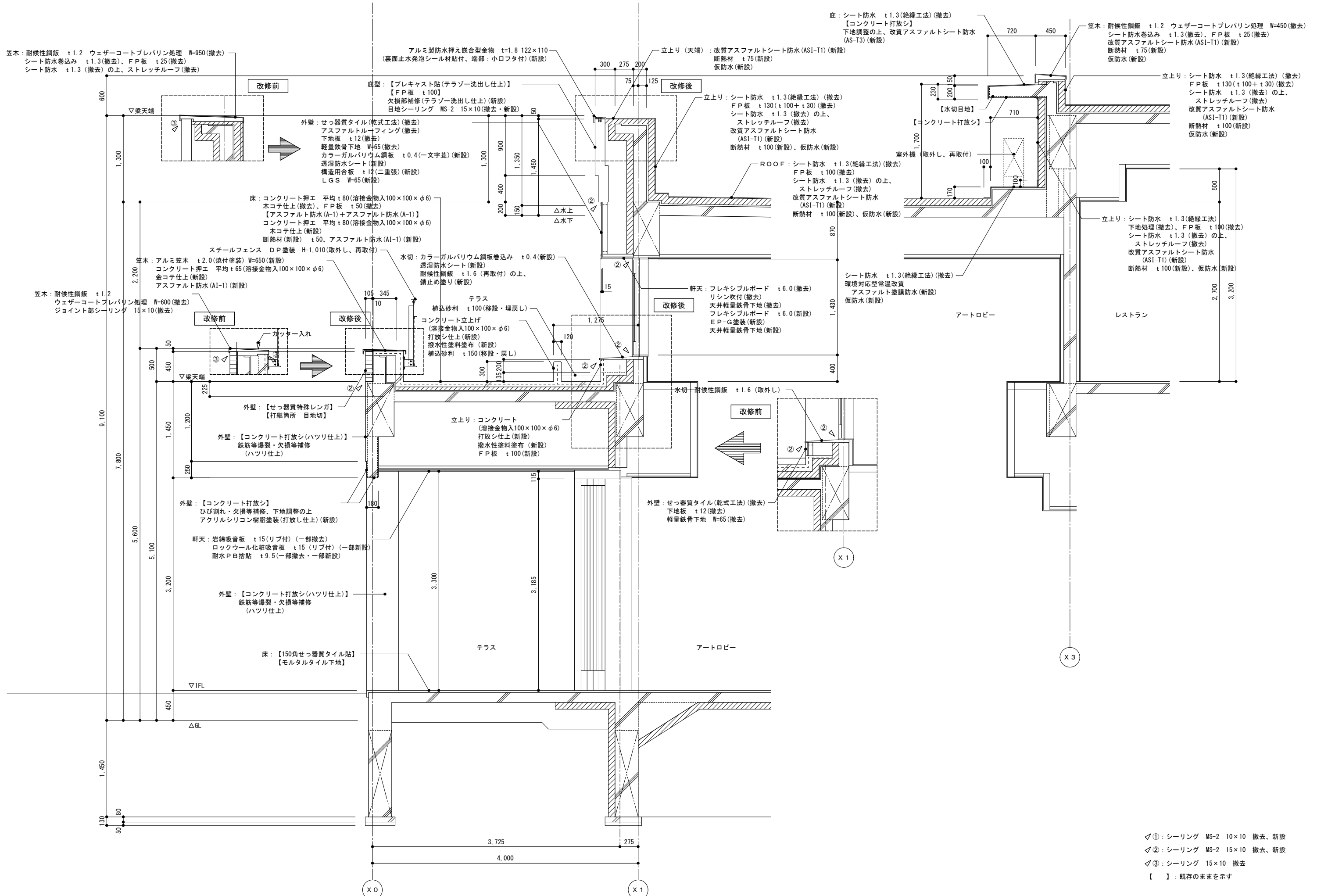


北西 立面図

プロパン庫・塵芥置場

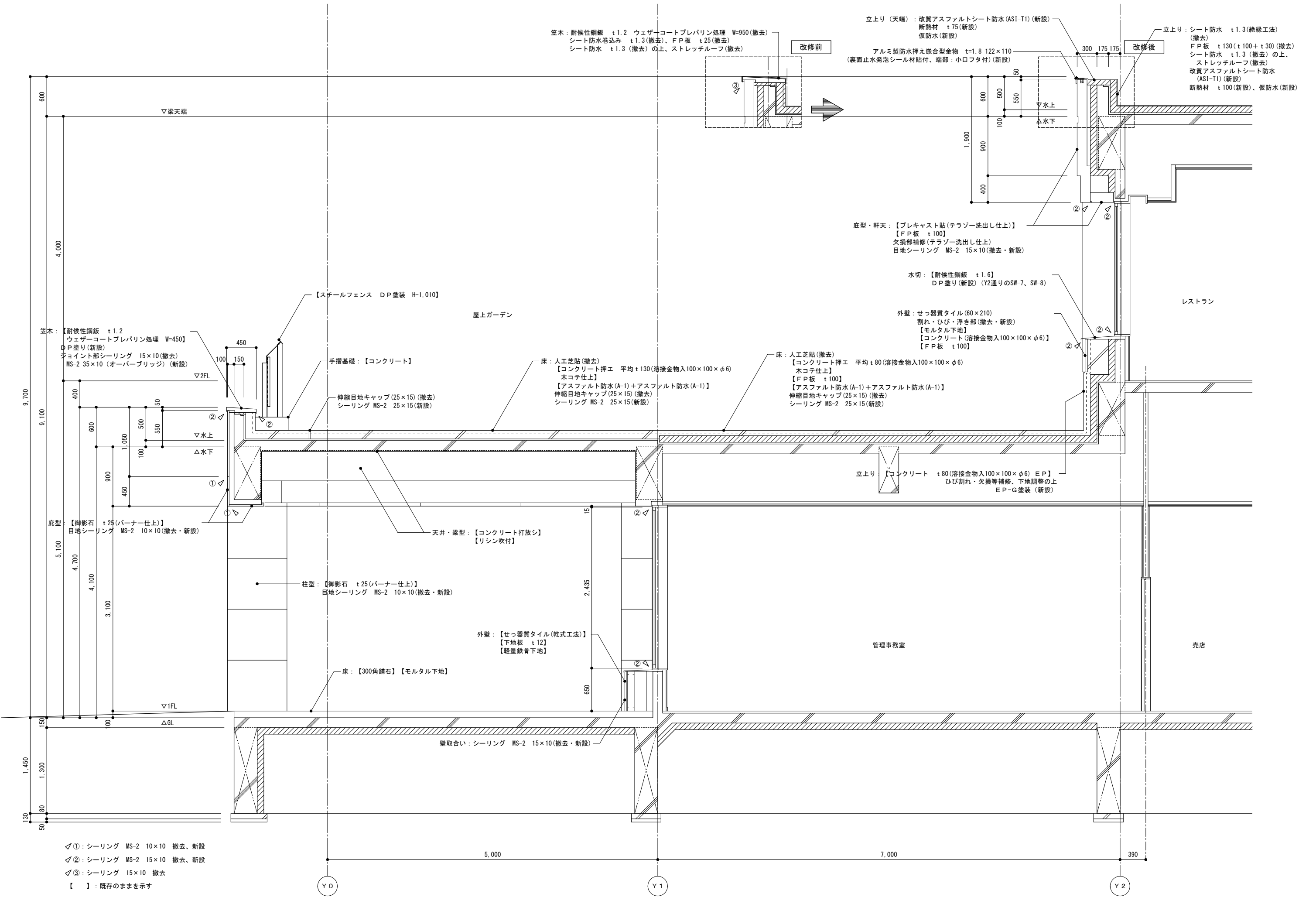


有限会社 佐久間設計 <small>Architects Design Office</small> 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一級建築士 第168408号 佐久間 清尚	棟名	製図	特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
				札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	矩計図(1)		A-39
				縮尺	1/50	区分	

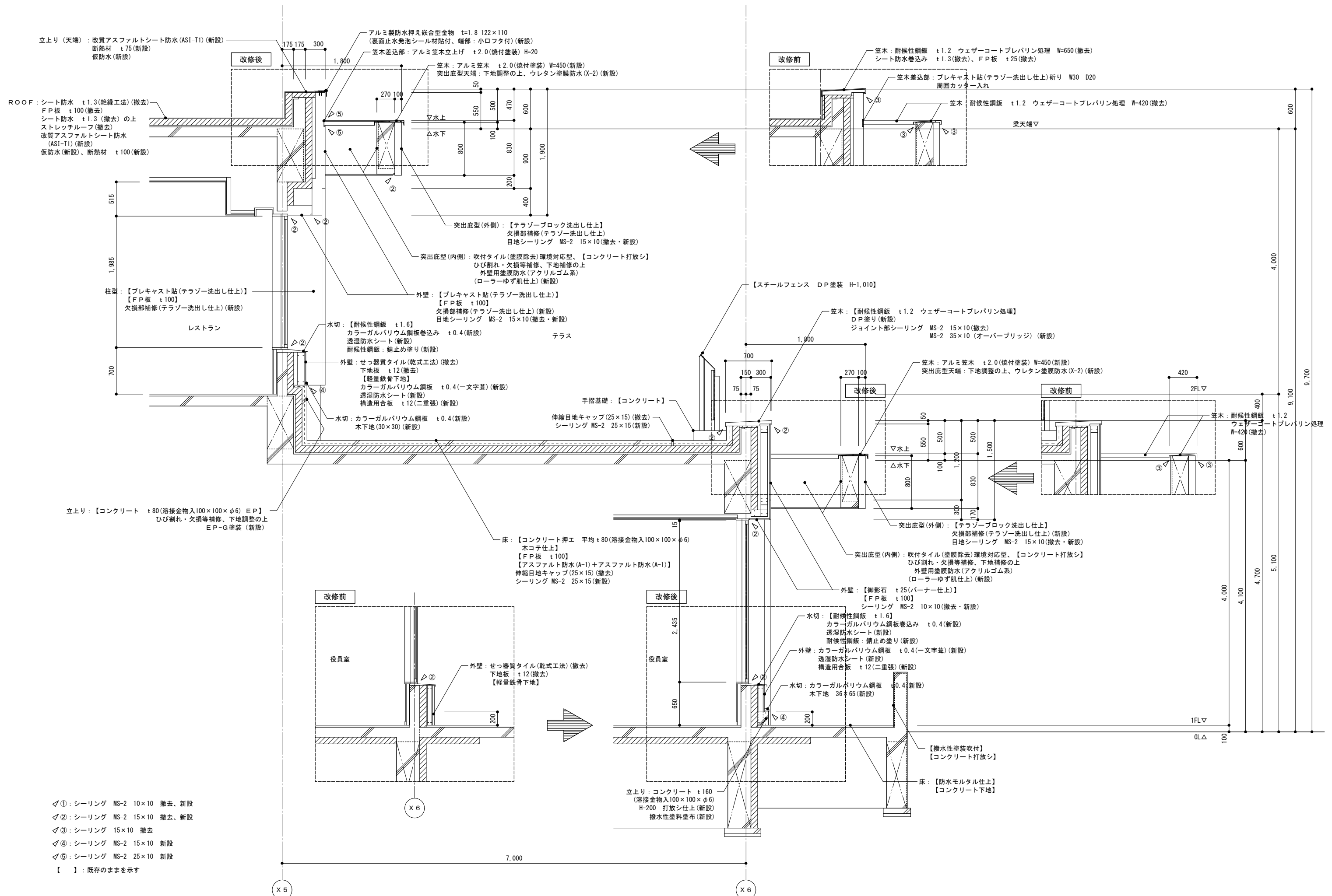


- ▽①：シーリング MS-2 10×10 撤去、新設
- ▽②：シーリング MS-2 15×10 撤去、新設
- ▽③：シーリング 15×10 撤去
- 【 】：既存のままを示す

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一級建築士 第168408号 佐久間 清尚	種別 製図 特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 矩計図(2)	設計年月日 図面番号 A-40
	縮尺 1/50	区分	Architects Design Office Sakuma AS	



有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 札幌支店 事務所 北海道知事登録(五)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	概略図	断面図	特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 矩計図(3)	設計年月日	図面番号 A-41
				縮尺 1/50	区分		



立上り (天端) : 改質アスファルトシート防水 (ASI-T1) (新設)
断熱材 t75 (新設)
仮防水 (新設)

ROOF : シート防水 t1.3 (絶縁工法) (撤去)
FP板 t100 (撤去)
シート防水 t1.3 (撤去) の上
ストレッチレーフ (撤去)
改質アスファルトシート防水 (ASI-T1) (新設)
仮防水 (新設)、断熱材 t100 (新設)

柱上 : 【プレキャスト貼 (テラゾー洗出し仕上)】
【FP板 t100】
欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) (新設)

レストラン

700

1,985

515

アルミ製防水押え嵌合金物 t=1.8 122x110 (表面止水発泡シール材貼付、端部：小口付) (新設)
笠木差込部：アルミ笠木立上げ t2.0 (焼付塗装) H=20
笠木：アルミ笠木 t2.0 (焼付塗装) W=450 (新設)
突出庇型天端：下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) (新設)

突出庇型 (外側) : 【テラゾーブロック洗出し仕上】
欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上)
目地シーリング MS-2 15x10 (撤去・新設)

突出庇型 (内側) : 吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型、【コンクリート打放シ】
ひび割れ・欠損等補修、下地補修の上
外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)

水切 : 【耐候性鋼板 t1.6】
カラーガルバリウム鋼板巻込み t0.4 (新設)
透湿防水シート (新設)
耐候性鋼板：錆止め塗 (新設)

外壁 : せつ器質タイル (乾式工法) (撤去)
下地板 t12 (撤去)
【軽量鉄骨下地】
カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (一文字葺) (新設)
構造用合板 t12 (二重張) (新設)

水切：カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)
木下地 (30x30) (新設)

テラス

【プレキャスト貼 (テラゾー洗出し仕上)】
【FP板 t100】
欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) (新設)
目地シーリング MS-2 15x10 (撤去・新設)

外壁 : 【プレキャスト貼 (テラゾー洗出し仕上)】
【FP板 t100】
欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) (新設)
目地シーリング MS-2 15x10 (撤去・新設)

【鋼鉄フェンス DP塗装 H=1,010】

手摺基礎 : 【コンクリート】

伸縮目地キャップ (25x15) (撤去)
シーリング MS-2 25x15 (新設)

水切 : 【耐候性鋼板 t1.6】
カラーガルバリウム鋼板巻込み t0.4 (新設)
透湿防水シート (新設)
耐候性鋼板：錆止め塗 (新設)

外壁 : せつ器質タイル (乾式工法) (撤去)
下地板 t12 (撤去)
【軽量鉄骨下地】
カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (一文字葺) (新設)
構造用合板 t12 (二重張) (新設)

水切：カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)
木下地 (30x30) (新設)

床 : 【コンクリート押エ 平均 t80 (溶接金物入100x100xφ6) E P】
【FP板 t100】
【アスファルト防水 (A-1) + アスファルト防水 (A-1)】
伸縮目地キャップ (25x15) (撤去)
シーリング MS-2 25x15 (新設)

木コテ仕上
【FP板 t100】
【アスファルト防水 (A-1) + アスファルト防水 (A-1)】
伸縮目地キャップ (25x15) (撤去)
シーリング MS-2 25x15 (新設)

伸縮目地キャップ (25x15) (撤去)
シーリング MS-2 25x15 (新設)

改修前

笠木：耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=650 (撤去)
シート防水巻込み t1.3 (撤去)、FP板 t25 (撤去)

笠木差込部：プレキャスト貼 (テラゾー洗出し仕上) 研り W30 D20
周囲カッター入れ

笠木：耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=420 (撤去)

梁天端▽

4,000

600

改修後

笠木：【耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理】
DP塗り (新設)
ジョイント部シーリング MS-2 15x10 (撤去)
MS-2 35x10 (オーバーブリッジ) (新設)

笠木：アルミ笠木 t2.0 (焼付塗装) W=450 (新設)
突出庇型天端：下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) (新設)

突出庇型 (外側) : 【テラゾーブロック洗出し仕上】
欠損部補修 (テラゾー洗出し仕上) (新設)
目地シーリング MS-2 15x10 (撤去・新設)

突出庇型 (内側) : 吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型、【コンクリート打放シ】
ひび割れ・欠損等補修、下地補修の上
外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)

外壁 : 【御影石 t25 (バーナー仕上)】
【FP板 t100】
シーリング MS-2 10x10 (撤去・新設)

水切 : 【耐候性鋼板 t1.6】
カラーガルバリウム鋼板巻込み t0.4 (新設)
透湿防水シート (新設)
耐候性鋼板：錆止め塗 (新設)

外壁 : カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (一文字葺) (新設)
透湿防水シート (新設)
構造用合板 t12 (二重張) (新設)

水切：カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)
木下地 36x65 (新設)

外壁 : 【御影石 t25 (バーナー仕上)】
【FP板 t100】
シーリング MS-2 10x10 (撤去・新設)

水切 : 【耐候性鋼板 t1.6】
カラーガルバリウム鋼板巻込み t0.4 (新設)
透湿防水シート (新設)
耐候性鋼板：錆止め塗 (新設)

外壁 : カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (一文字葺) (新設)
透湿防水シート (新設)
構造用合板 t12 (二重張) (新設)

水切：カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)
木下地 36x65 (新設)

外壁 : 【御影石 t25 (バーナー仕上)】
【FP板 t100】
シーリング MS-2 10x10 (撤去・新設)

水切 : 【耐候性鋼板 t1.6】
カラーガルバリウム鋼板巻込み t0.4 (新設)
透湿防水シート (新設)
耐候性鋼板：錆止め塗 (新設)

外壁 : カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (一文字葺) (新設)
透湿防水シート (新設)
構造用合板 t12 (二重張) (新設)

水切：カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (新設)
木下地 36x65 (新設)

【撥水性塗装吹付】
【コンクリート打放シ】

床 : 【防水モルタル仕上】
【コンクリート下地】

立上り：コンクリート t160 (溶接金物入100x100xφ6) H-200 打放シ仕上 (新設)
撥水性塗料塗布 (新設)

1FL▽

GL△

100

4,000

4,100

4,700

5,100

9,700

9,100

400

600

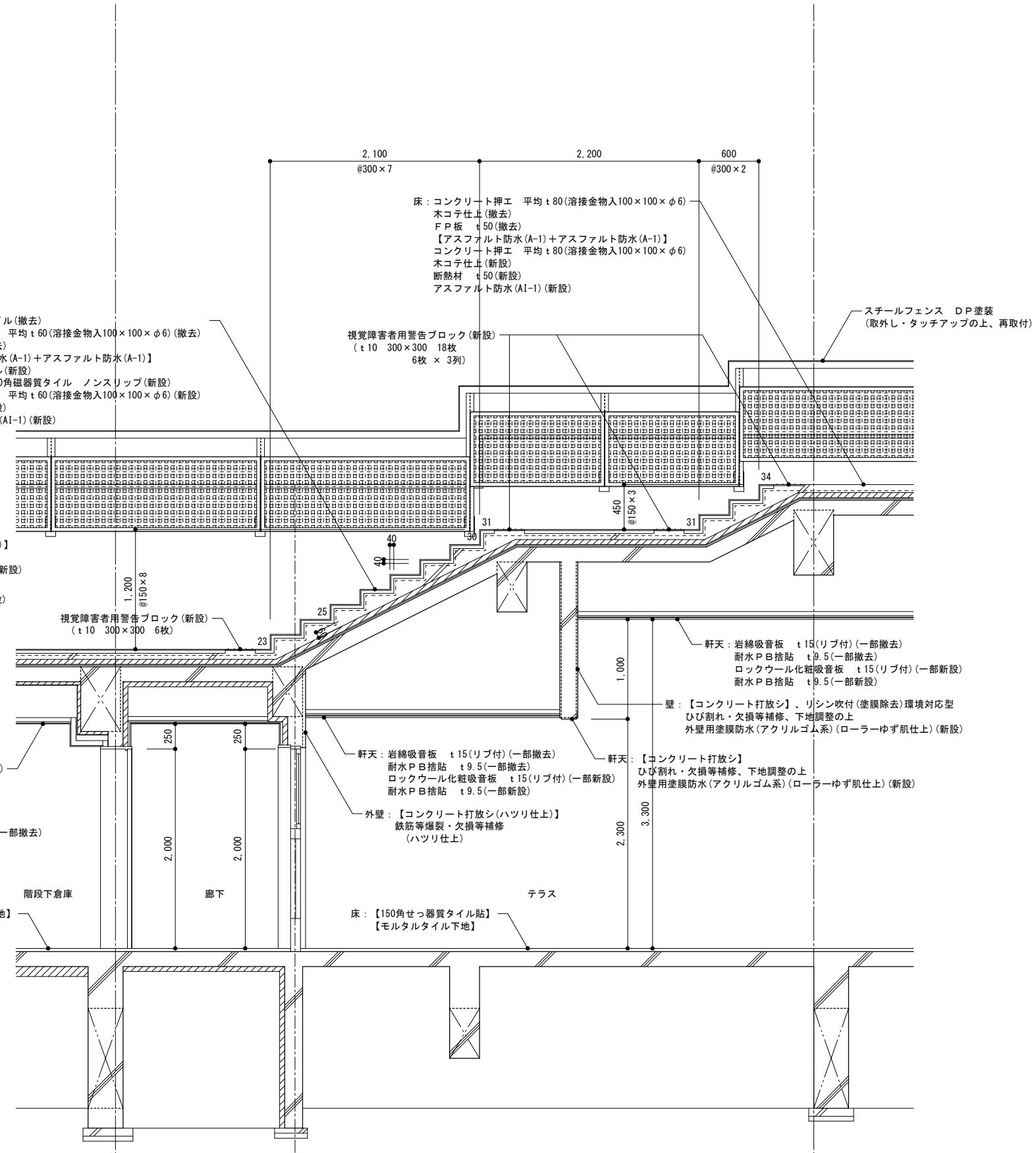
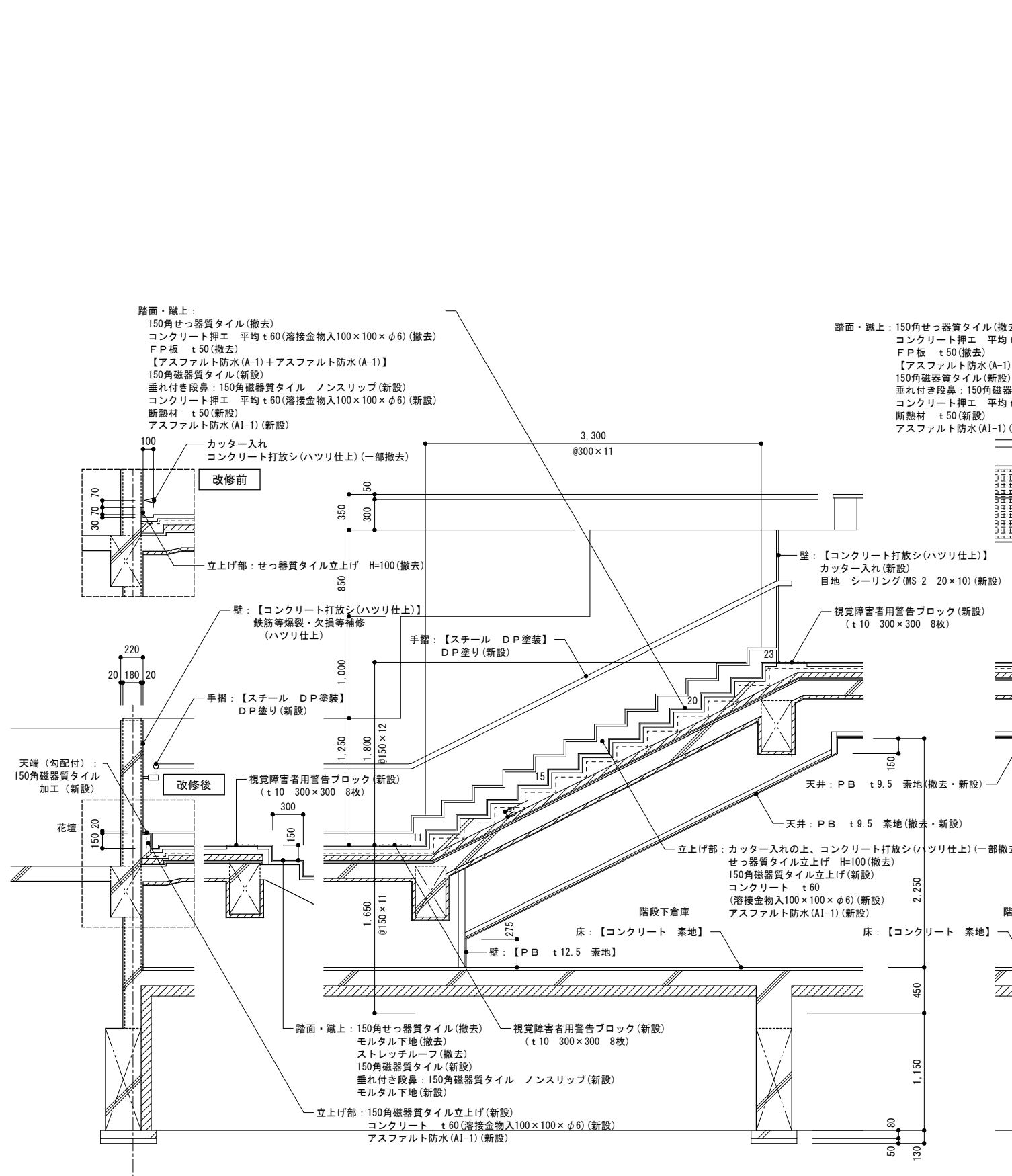
420

2FL▽

ウレタン塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)

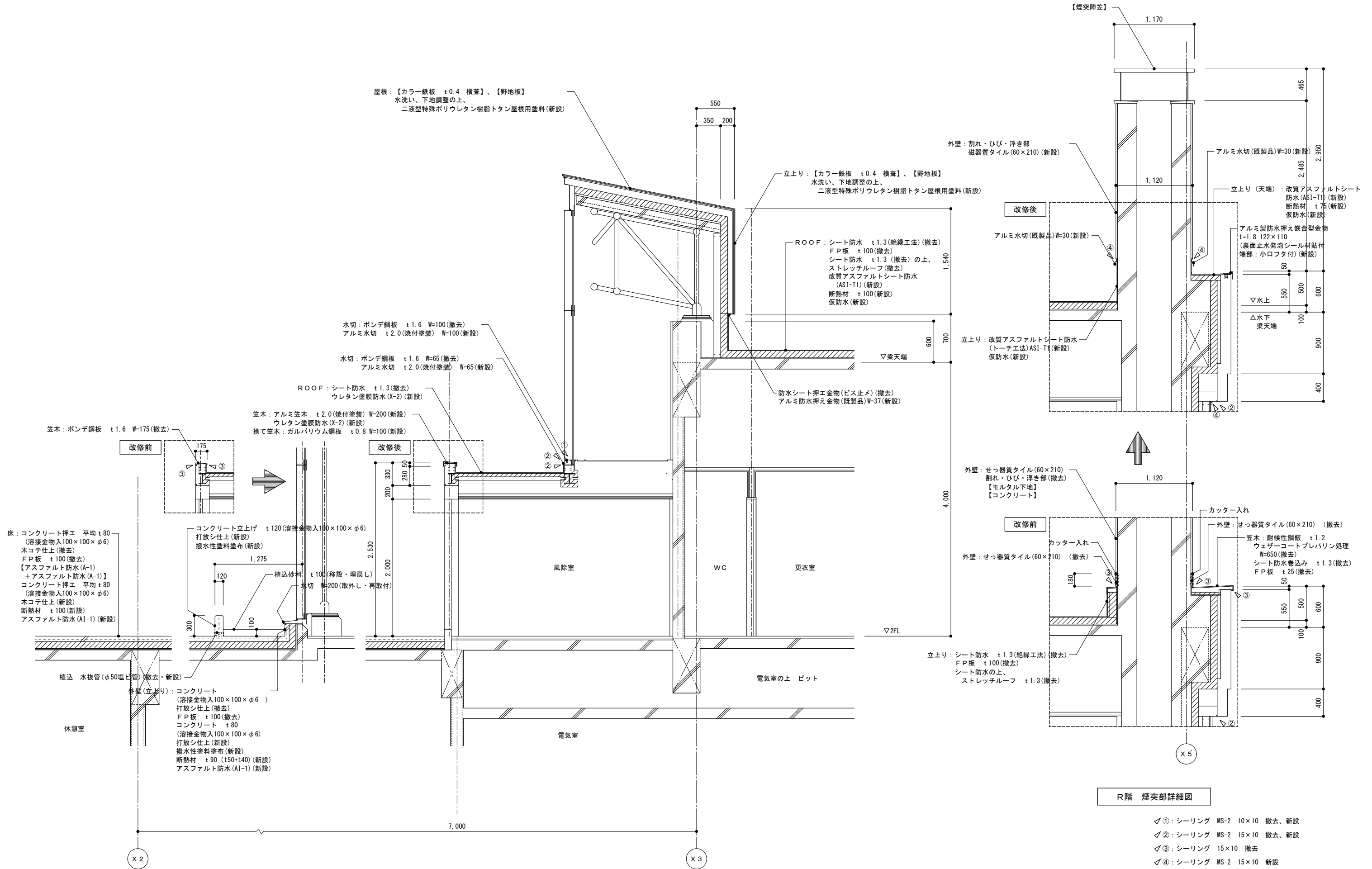
耐候性鋼板 t1.2 ウェザーコートプレバリン処理 W=420 (撤去)

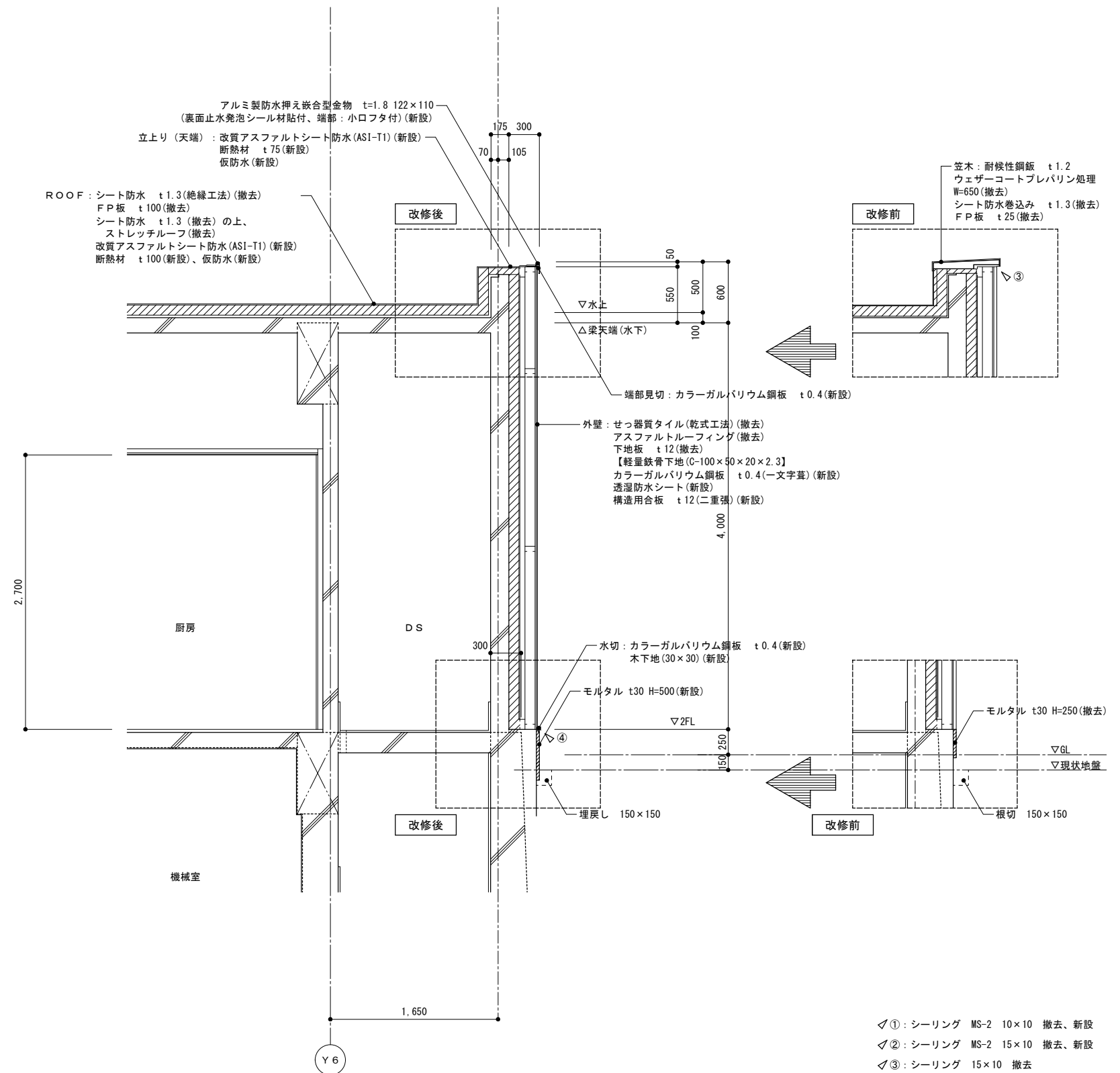
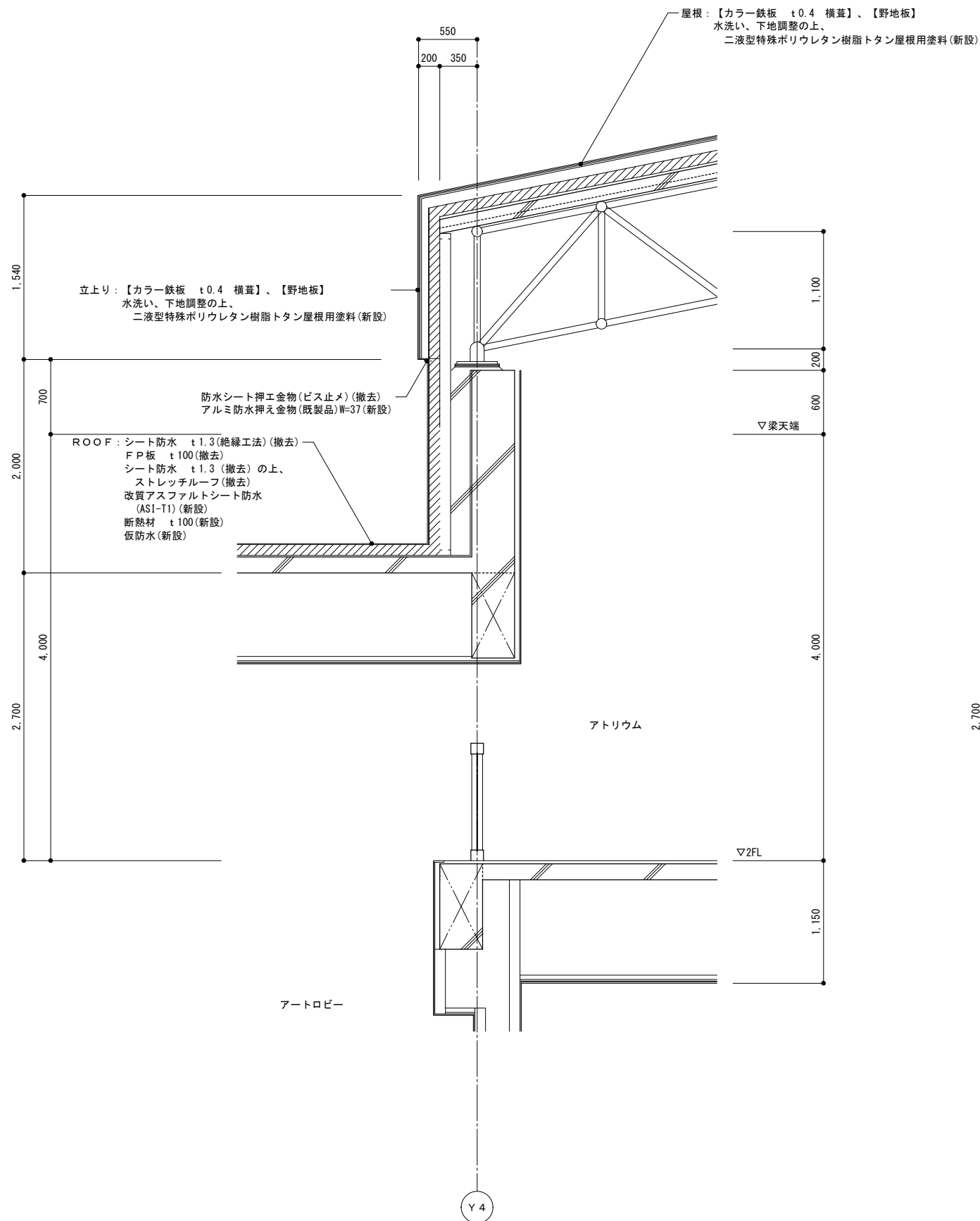
- ①：シーリング MS-2 10x10 撤去、新設
 - ②：シーリング MS-2 15x10 撤去、新設
 - ③：シーリング 15x10 撤去
 - ④：シーリング MS-2 15x10 新設
 - ⑤：シーリング MS-2 25x10 新設
- 【 】：既存のままを示す



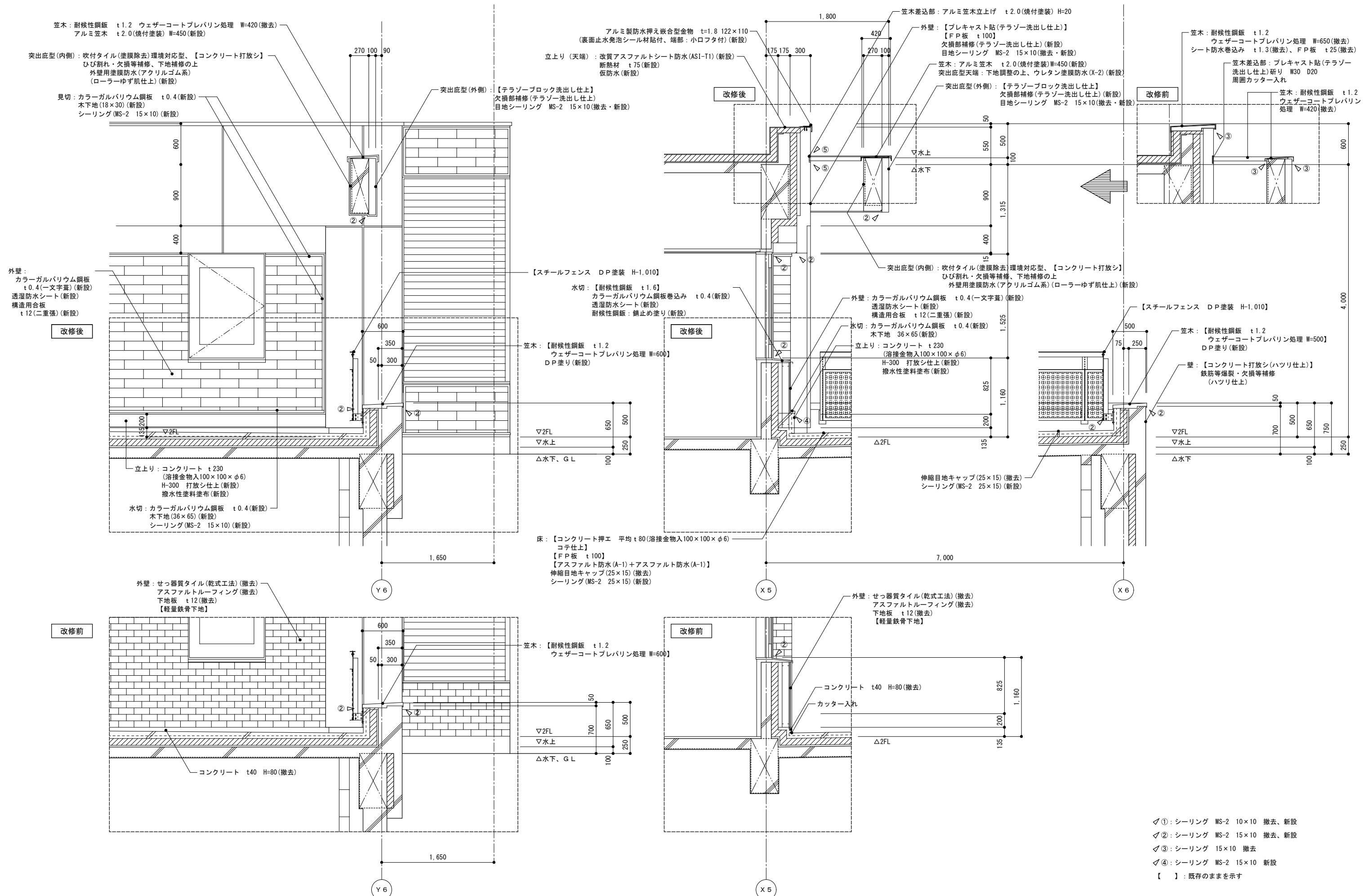
- ① : シーリング MS-2 10×10 撤去、新設
- ② : シーリング MS-2 15×10 撤去、新設
- ③ : シーリング 15×10 撤去
- ④ : シーリング MS-2 15×10 新設
- ⑤ : シーリング MS-2 20×10 新設
- [] : 既存のままを示す

有限会社 佐久間設計 <small>Architects Design Office</small> 一般建築士事務所 北海道知事登録(五)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	種別 製図 特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 矩計図(5)	設計年月日 図面番号 A-43
	縮尺 1/50	区分	縮尺 1/50	区分

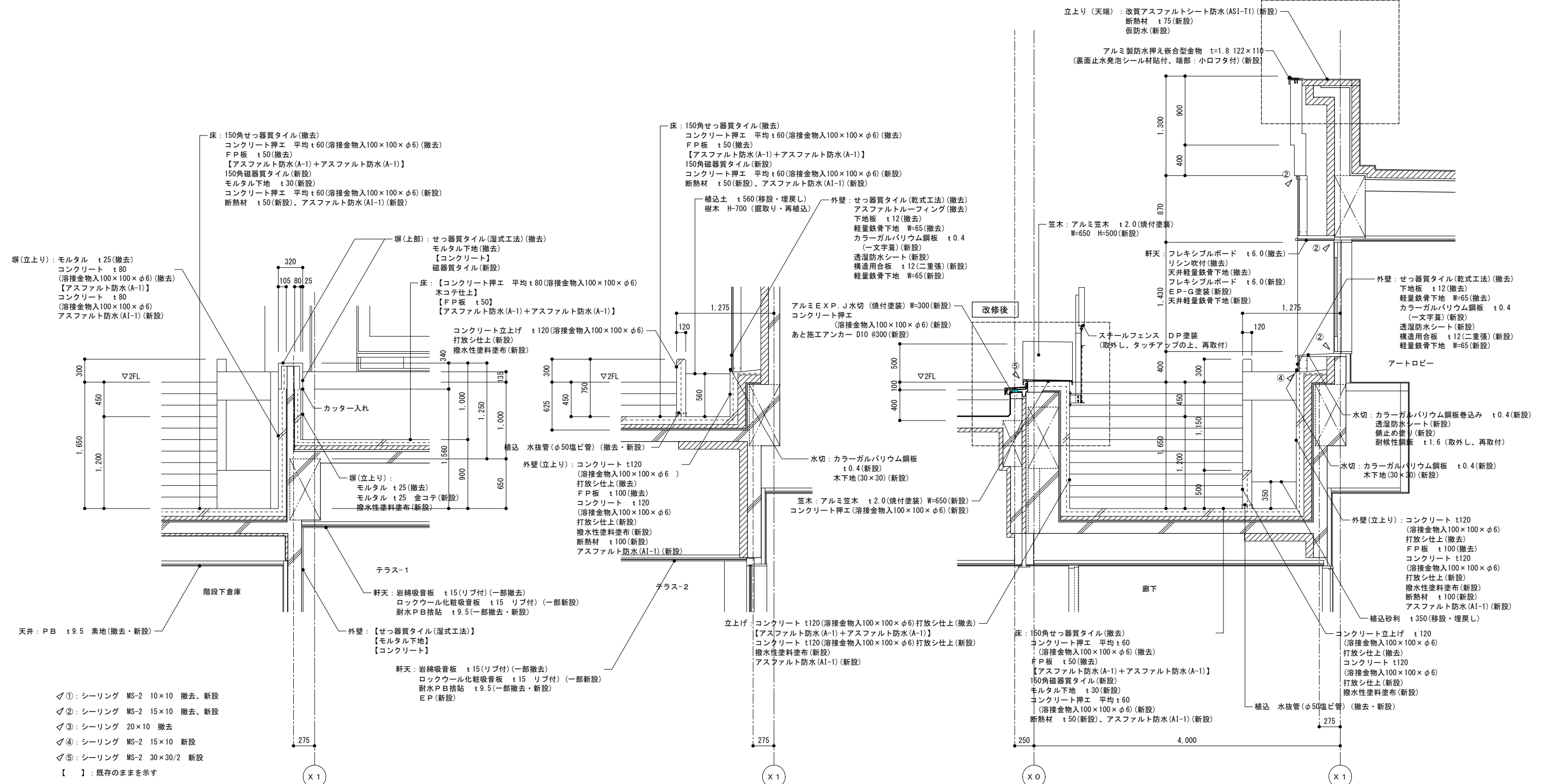
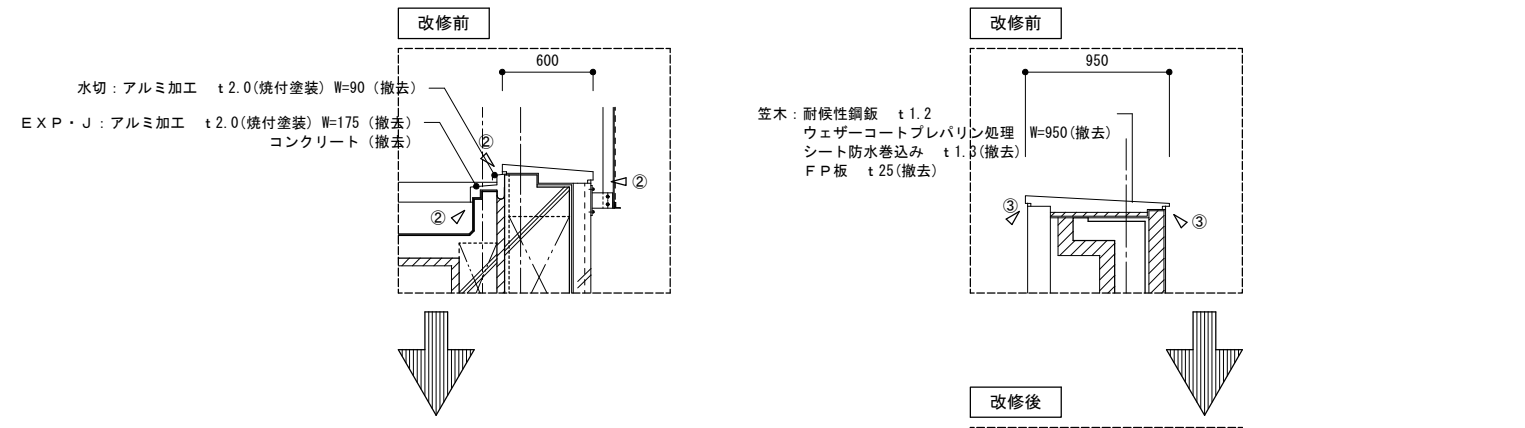




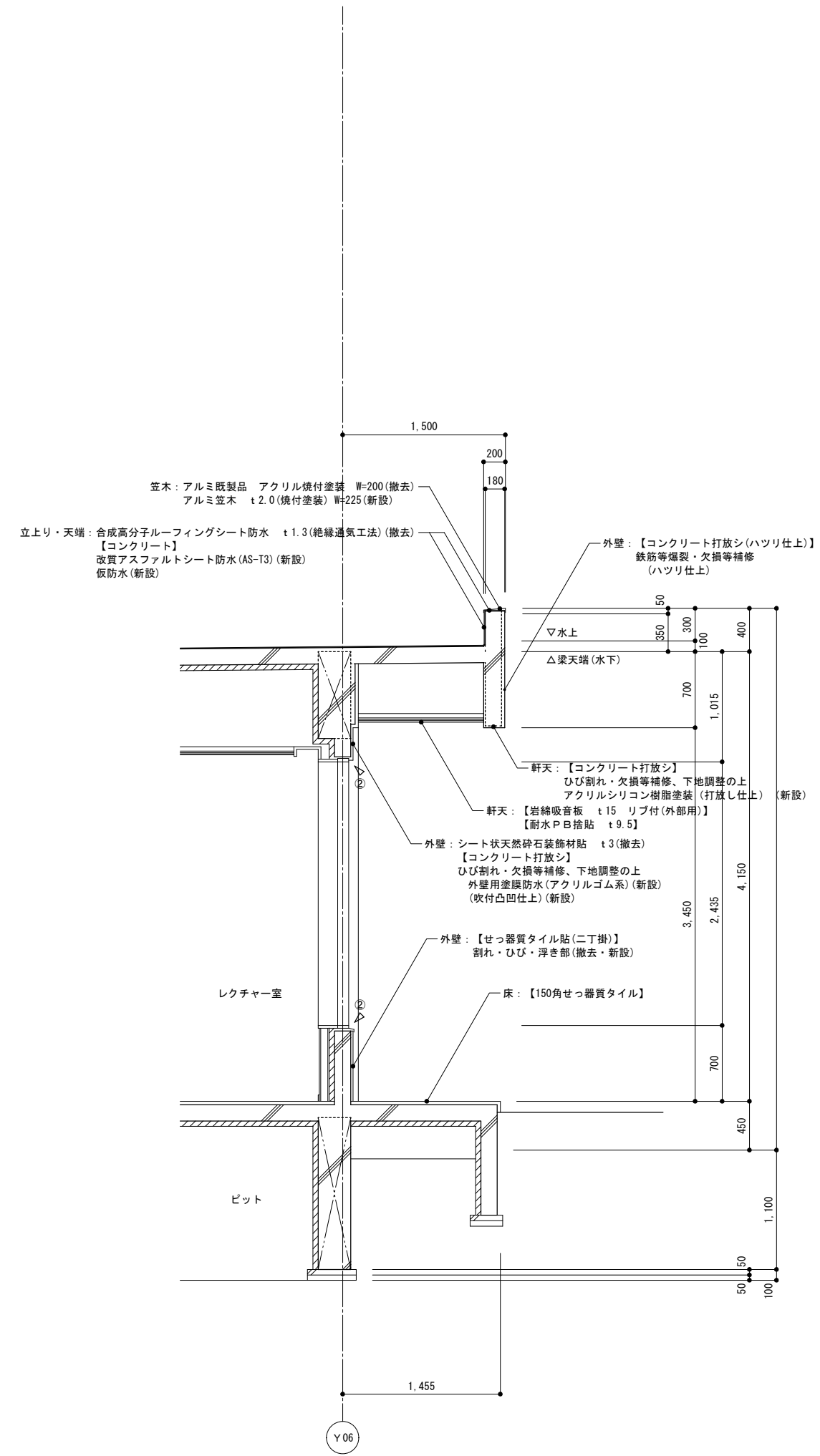
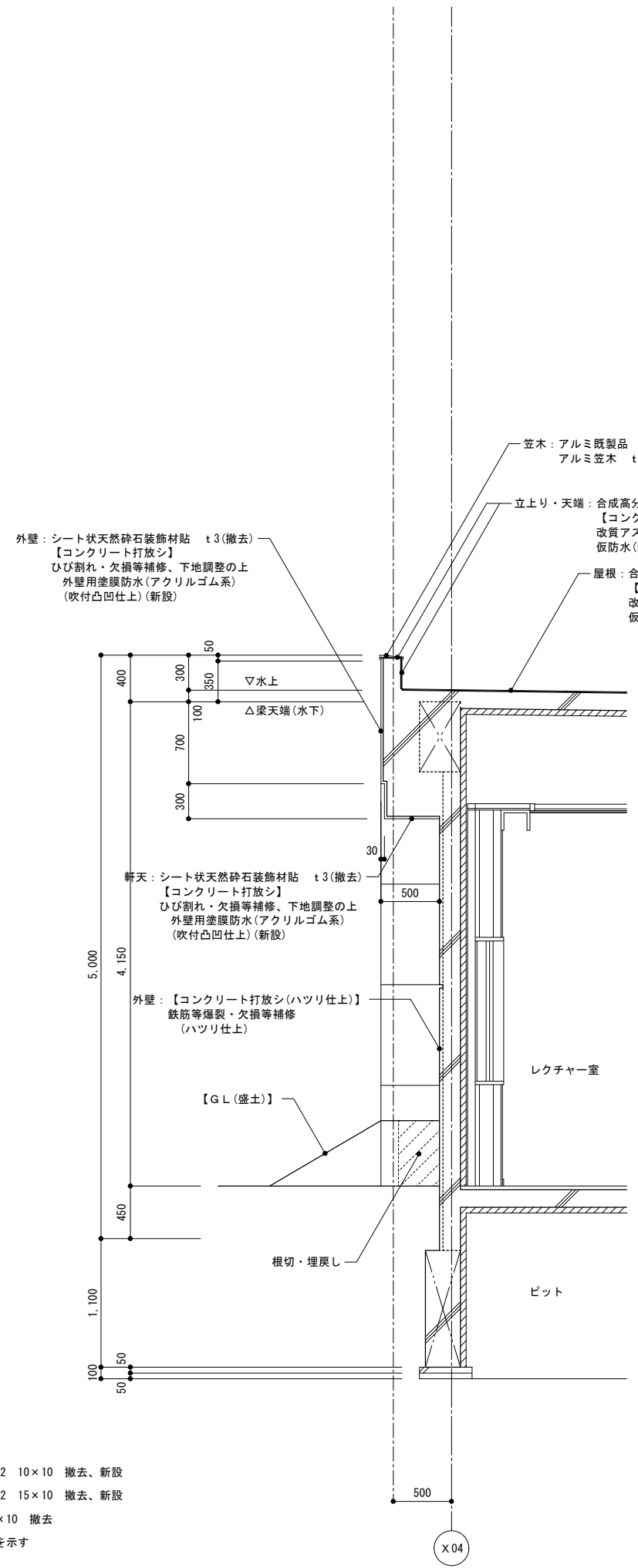
- ①：シーリング MS-2 10x10 撤去、新設
- ②：シーリング MS-2 15x10 撤去、新設
- ③：シーリング 15x10 撤去
- ④：シーリング MS-2 15x10 新設
- []：既存のままを示す



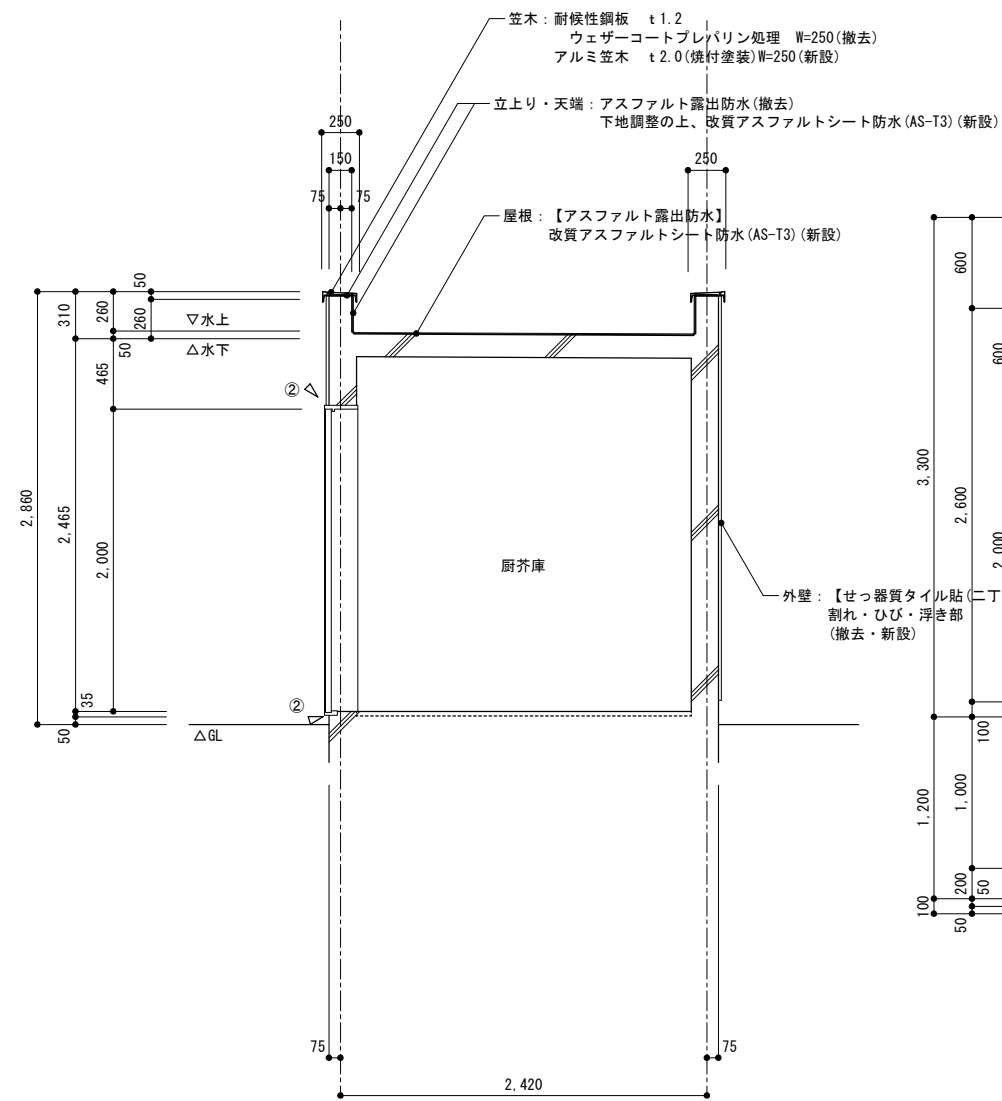
有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	棟名 製図 特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 矩計図(8)	設計年月日 図面番号 A-46
	縮尺 1/50	図面番号 A-46	縮尺 1/50	設計年月日 図面番号 A-46



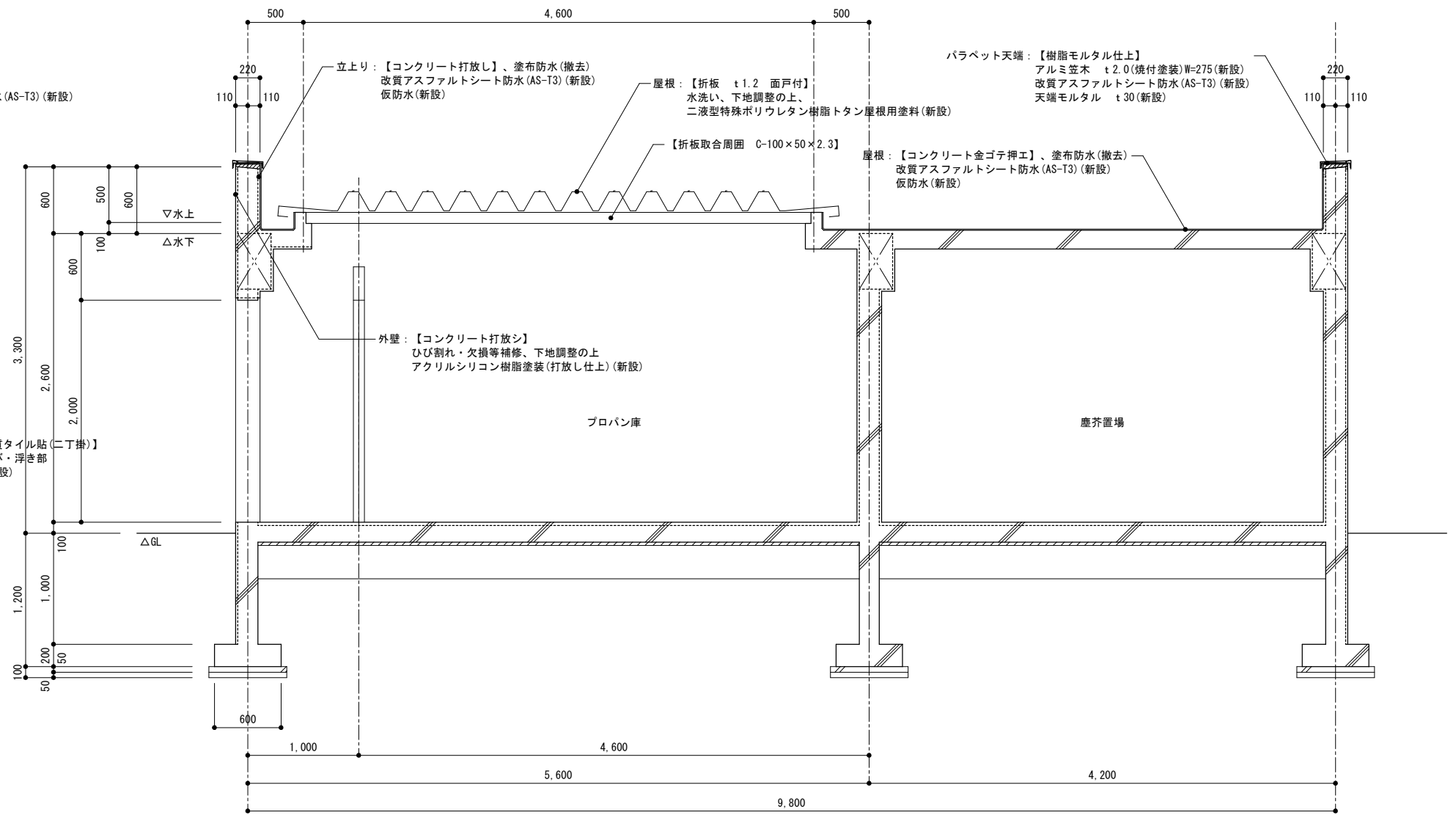
有限会社 佐久間設計 <small>Architects Design Office</small> <small>一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号</small> <small>管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚</small>		棟名 製図 特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 矩計図(9)	設計年月日	図面番号 A-47
				縮尺 1/50	区分	



- ①: シーリング MS-2 10×10 撤去、新設
- ②: シーリング MS-2 15×10 撤去、新設
- ③: シーリング 20×10 撤去
- []: 既存のままを示す



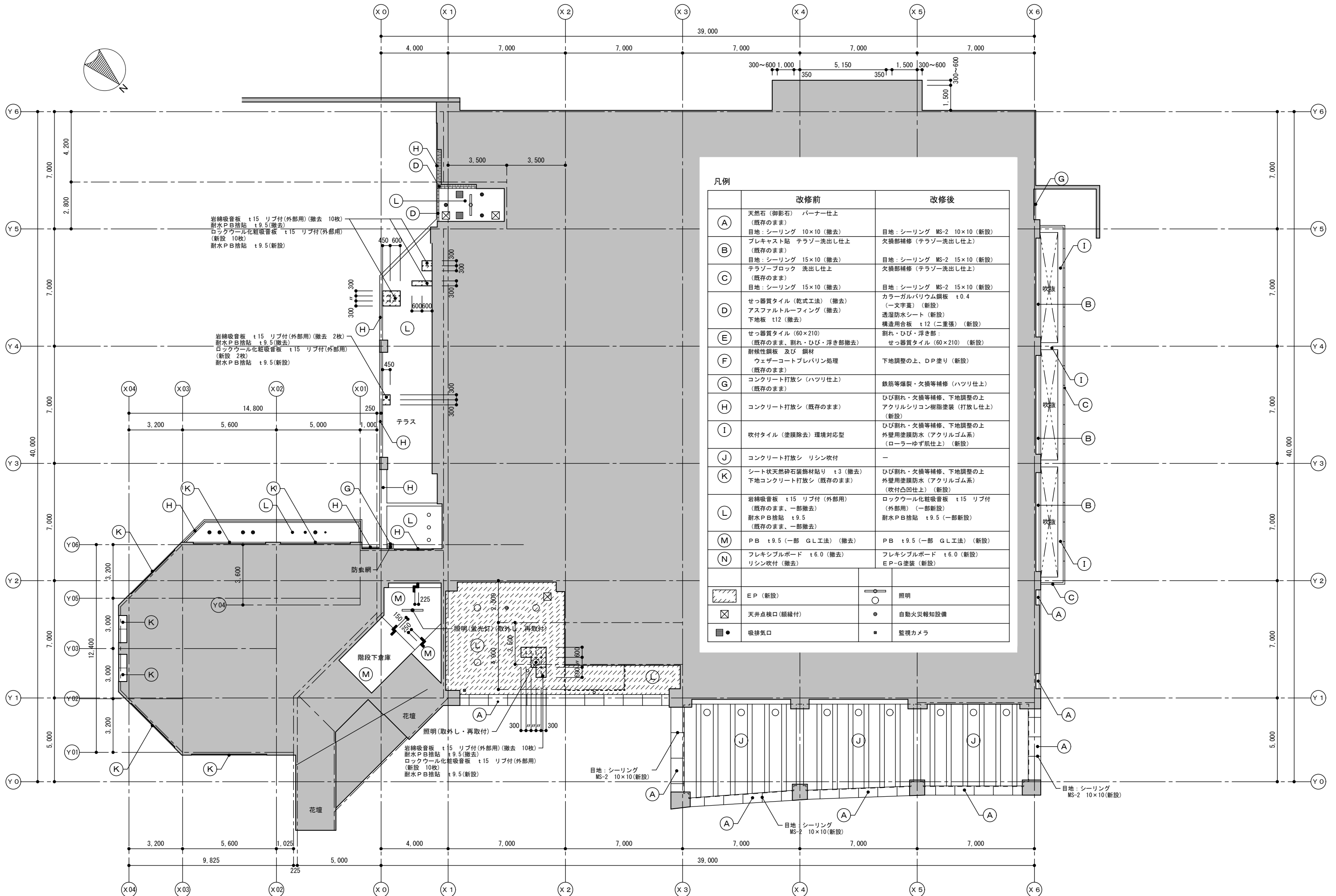
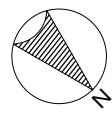
厨芥庫 矩計図



プロパン庫・塵芥置場 矩計図

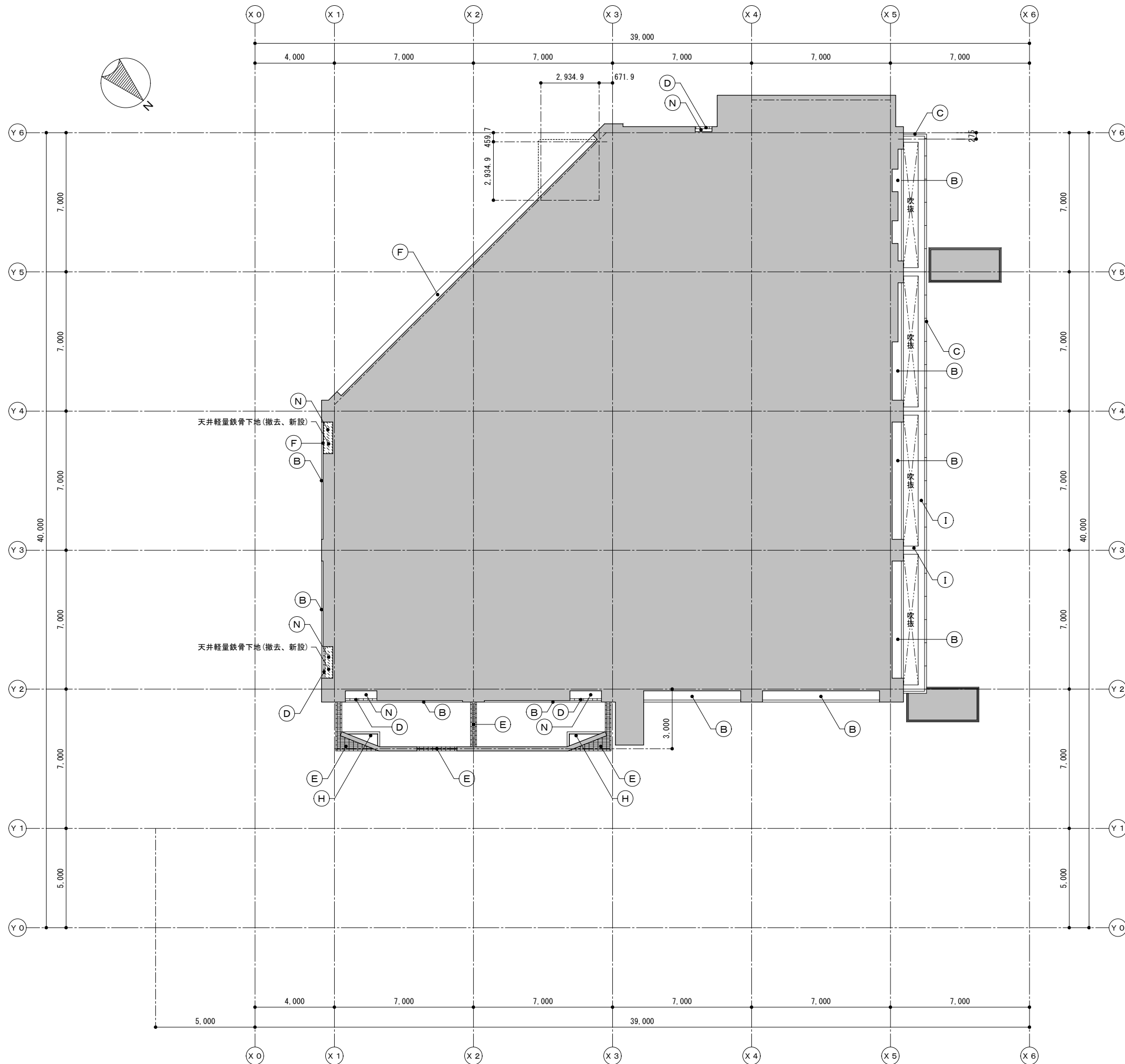
- ①: シーリング MS-2 10×10 撤去、新設
- ②: シーリング MS-2 15×10 撤去、新設
- ③: シーリング 20×10 撤去
- []: 既存のままを示す

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	概図	製図	特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
				札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	矩計図(11)		A-49
					縮尺 1/50	区分	



凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 10×10 (撤去)	目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修(テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま) 目地: シーリング 15×10 (撤去)	欠損部補修(テラゾー洗出し仕上) 目地: シーリング MS-2 15×10 (新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法) (撤去) アスファルトルーフィング(撤去) 下地板 t12 (撤去)	カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (一文字葺) (新設) 透湿防水シート (新設) 構造用合板 t12 (二重張) (新設)
(E)	せつ器質タイル (60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: せつ器質タイル (60×210) (新設)
(F)	耐候性鋼板 及び 鋼材 ウエザーコートプレパリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り (新設)
(G)	コンクリート打放シ (ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等腐蝕・欠損等補修 (ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装 (打放し仕上) (新設)
(I)	吹付タイル (塗膜除去) 環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上) (新設)
(J)	コンクリート打放シ リシン吹付	—
(K)	シート状天然砕石装飾材貼り t3 (撤去) 下地コンクリート打放シ (既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水 (アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上) (新設)
(L)	岩綿吸音板 t15 リブ付(外部用) (既存のまま、一部撤去) 耐水PB捨貼 t9.5 (既存のまま、一部撤去)	ロックウール化粧吸音板 t15 リブ付 (外部用) (一部新設) 耐水PB捨貼 t9.5 (一部新設)
(M)	PB t9.5 (一部 GL工法) (撤去)	PB t9.5 (一部 GL工法) (新設)
(N)	フレキシブルボード t6.0 (撤去) リシン吹付 (撤去)	フレキシブルボード t6.0 (新設) EP-G塗装 (新設)
	EP (新設)	照明
	天井点検口(額縁付)	自動火災報知設備
	吸排気口	監視カメラ



凡例

	改修前	改修後
(A)	天然石(御影石) パーナー仕上 (既存のまま) 目地:シーリング 10×10(撤去)	目地:シーリング MS-2 10×10(新設)
(B)	プレキャスト貼 テラゾー洗出し仕上 (既存のまま) 目地:シーリング 15×10(撤去)	欠損部補修(テラゾー洗出し仕上) 目地:シーリング MS-2 15×10(新設)
(C)	テラゾーブロック 洗出し仕上 (既存のまま) 目地:シーリング 15×10(撤去)	欠損部補修(テラゾー洗出し仕上) 目地:シーリング MS-2 15×10(新設)
(D)	せつ器質タイル(乾式工法)(撤去) アスファルトルーフィング(撤去) 下地板 t12(撤去)	カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (一文字葺)(新設) 透湿防水シート(新設) 構造用合板 t12(二重張)(新設)
(E)	せつ器質タイル(60×210) (既存のまま、割れ・ひび・浮き部撤去)	割れ・ひび・浮き部: せつ器質タイル(60×210)(新設)
(F)	耐候性鋼板 及び 鋼材 ウエザーコートプレバリン処理 (既存のまま)	下地調整の上、DP塗り(新設)
(G)	コンクリート打放シ(ハツリ仕上) (既存のまま)	鉄筋等爆裂・欠損等補修(ハツリ仕上)
(H)	コンクリート打放シ(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 アクリルシリコン樹脂塗装(打放し仕上) (新設)
(I)	吹付タイル(塗膜除去)環境対応型	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系) (ローラーゆず肌仕上)(新設)
(J)	コンクリート打放シ リシン吹付	-
(K)	シート状天然砕石装飾材貼り t3(撤去) 下地コンクリート打放シ(既存のまま)	ひび割れ・欠損等補修、下地調整の上 外壁用塗膜防水(アクリルゴム系) (吹付凸凹仕上)(新設)
(L)	岩綿吸音板 t15 リブ付(外部用) (既存のまま、一部撤去) 耐水PB捨貼 t9.5 (既存のまま、一部撤去)	ロックウール化粧吸音板 t15 リブ付 (外部用)(一部新設) 耐水PB捨貼 t9.5(一部新設)
(M)	PB t9.5(一部 GL工法)(撤去)	PB t9.5(一部 GL工法)(新設)
(N)	フレキシブルボード t6.0(撤去) リシン吹付(撤去)	フレキシブルボード t6.0(新設) EP-G塗装(新設)
	EP(新設)	照明
	天井点検口(願縁付)	自動火災報知設備
	吸排気口	監視カメラ

有限会社 佐久間設計

Architects Design Office
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号
管理建築士 一級建築士 第168408号 佐久間 清尚

種別	製図	特記

工事名称

札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事

図面名称

2階天井伏図

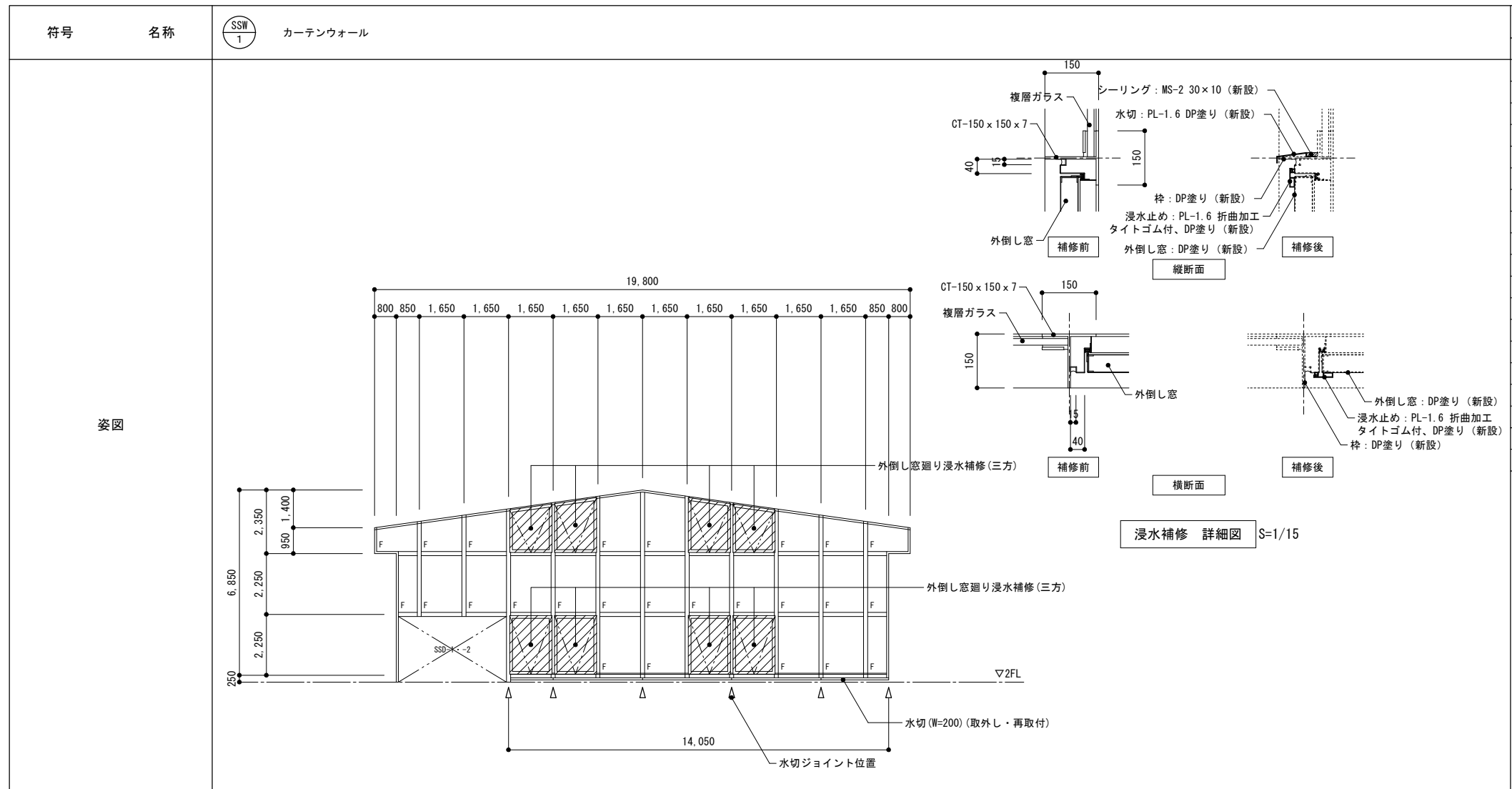
設計年月日

図面番号

A-51

縮尺 1/200

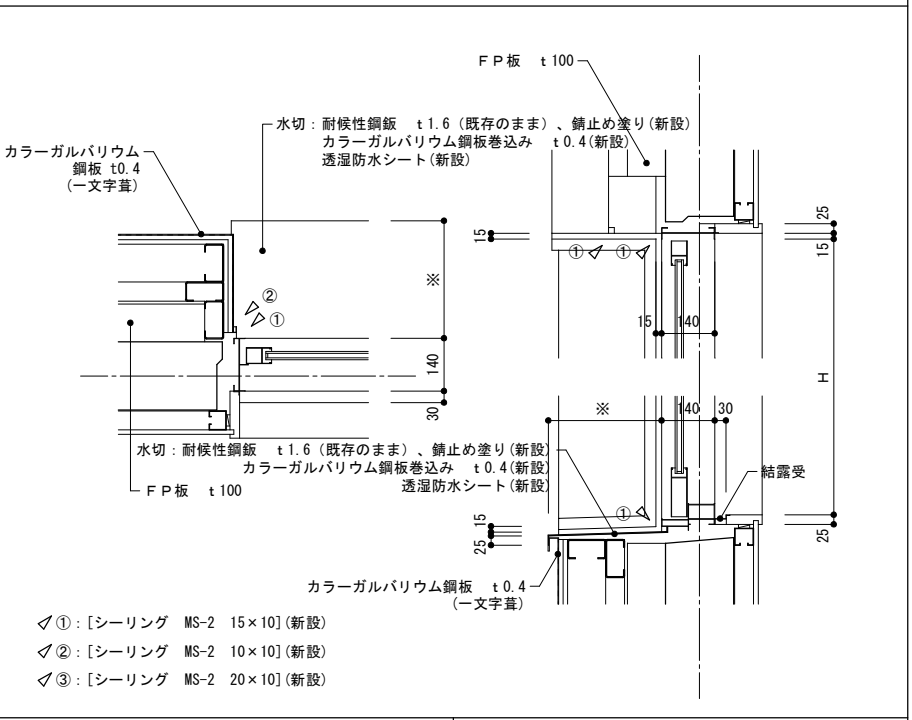
区分



記号	建具仕様	記号	ガラスの種類と記号	記号	建具金具の種類と記号
AW	アルミ製窓	FL	フロート板ガラス	FH	フローアヒンジ
AD	アルミ製扉	F	型板ガラス	PH	ピボットヒンジ
AG	アルミ製ガラリ	PG	複層ガラス	OH	オートヒンジ
SW	スチール製窓	TG	強化ガラス	DC	ドアチェック
SD	スチール製扉	PWG	網入(磨き板)ガラス	CP	シリンダー箱錠
SG	スチール製ガラリ	WG	網入型板ガラス	CH	シリンダー本錠
SS	スチール製シャッター	GB	ガラスブロック	H	空錠
SUW	ステンレス製窓			P	押板-引手
SUD	ステンレス製扉			R	レバーハンドル
WW	木製窓			G	グレモンハンドル
WD	木製扉			S	サムターン錠
F	ふすま			F	フランス落し
PW	プラスチック製窓			T	ステンレス丁番
TB	トイレブス			K	ステンレス沓摺
				DS	戸当り

※AWは断熱サッシとする。

改修内容		外倒し窓廻り浸水補修(三方) 水切(W=200)(取外し・再取付) 水切部・水切ジョイント部: シーリング(MS-2 15x10)(撤去・新設)
室名	ヶ処	風除室(2F) 1
材料	仕上	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工) ウェザーコートプレパリン処理
硝子	見込	FL-5 A6 FL-5、FL-6 A6 FL-6
金物	備考	附属金物一式、オペレーター



- ①: [シーリング MS-2 15x10](新設)
- ②: [シーリング MS-2 10x10](新設)
- ③: [シーリング MS-2 20x10](新設)

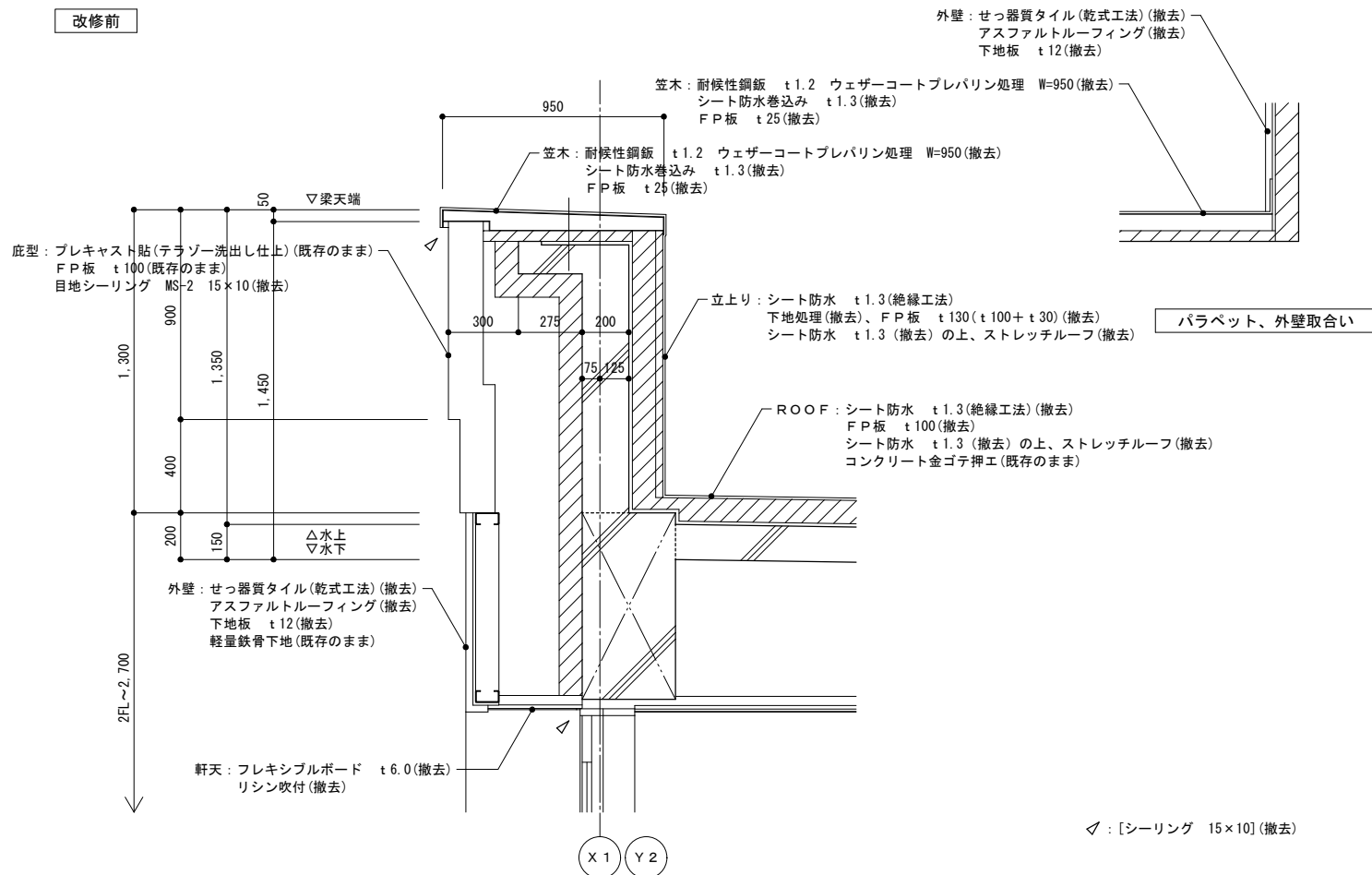
符号	名称	SSD 1	SSD 2	SSD 3	SSD 4
符号	名称	片引キオートドア(袖付)	F I Xスクリーン	F I X窓付両引キオートドア	F I X窓付両開キ戸
姿図					
改修内容		既存のまま	既存のまま	シーリング打替え: (タテ) MS-2 15x10 外部面ガラス止めシーリング打替え: SR-1 10x10 DP塗替え、パネル部DP塗替え	シーリング打替え: (三方) MS-2 15x10 外部面ガラス止めシーリング打替え: SR-1 10x10 建具調整、DP塗替え、フランス落し交換
室名	ヶ処	風除室(2F) 1	風除室(2F) 1	風除室(1F) 1	風除室(サービス通用スペース) 1
材料	仕上	ボンデ鋼板 t1.6 (折曲加工)	ボンデ鋼板 t1.6 (折曲加工)	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	耐候性鋼材 t1.6 (折曲加工)
硝子	見込	FL-5 150	FL-5 150	A: FL-8、B: FL-6、C: TG、その他: FL-5	FL-5 100
金物	備考	附属金物一式、CH、熱線スイッチ ドアエンジン式、ガイドレール(ヒーター付)		附属金物一式、熱線スイッチ、ドアエンジン式、ガイドレール(ヒーター付)	FL、押棒、CH、K、DS
備考		発泡ウレタン充填	発泡ウレタン充填	パネル部: t1.6耐候性鋼材(折曲加工) ウェザーコートプレパリン処理	踏込板: t1.2 SUS HL(両面)

符号	名称	SW 1 F I X窓付片引き窓		SW 2 F I X窓付片開き窓		SW 3 片開き窓		SW 4 F I X窓付引違イ窓	
姿図									
改修内容		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 20×10、MS-2 15×10 (水切ジョイント部)MS-2 15×10 L=500 1か所、外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 建具調整、エアタイトゴム交換、DP塗替え		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 20×10、MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 建具調整、エアタイトゴム交換、DP塗替え		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 (水切)MS-2 25×10、MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10、建具調整 エアタイトゴム交換、DP塗替え、重量窓用調整器交換		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 (水切)MS-2 25×10、MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 DP塗替え	
室名	ヶ処	管理事務室、役員室、会議室	5	管理事務室	1	管理事務室	2	管理事務室	1
材料	仕上	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理
硝子	見込	FL-5 A6 FL-5	140	FL-5 A6 FL-5	100	FL-5 A6 FL-5	100	FL-3 A6 FL-3	140
金物		吊車運動3点締り、締めハンドル、引手、ステンレスゴム押エ、ストッパー、AT使用		W：G調整器、T2枚吊、ステンレスゴム押エ、AT使用 D：G調整器、T3枚吊、ステンレスゴム押エ、AT使用		G調整器、T2枚吊、ステンレスゴム押エ、AT使用		吊車運動3点締り、締めハンドル、引手、ステンレスゴム押エ、ストッパー、サッシ溝切レール、ガラス用本締錠、AT使用	
備考		オートロビー網戸付：引手両側、水切 W=310(4ヶ所)、W=410(1か所)		水切 W=410		水切 W=310		水切 W=270	
符号	名称	SW 5 F I X窓		SW 6 F I X窓		SW 7 F I X窓付片引き窓		SW 8 F I X窓付片引き窓、F I X窓付片開き窓	
姿図									
改修内容		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 DP塗替え		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 DP塗替え		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 20×10、MS-2 15×10 (水切ジョイント部)MS-2 15×10 L=500 1か所、外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 建具調整、エアタイトゴム交換、DP塗替え		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10、(水切)MS-2 20×10、MS-2 15×10 (水切ジョイント部)MS-2 15×10 L=500 1か所、外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 建具調整、エアタイトゴム交換、DP塗替え	
室名	ヶ処	管理事務室	1	オートロビー	1	レストラン	3	レストラン	1
材料	仕上	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理
硝子	見込	FL-5 A6 FL-5	100	FL-8 A12 FL-8	100	FL-5 A6 FL-5、FIX部：FL-6 A6 FL-6	140	FL-5 A6 FL-5、FIX部：FL-6 A6 FL-6	140
金物						吊車運動3点締り、締めハンドル、引手、ステンレスゴム押エ、ストッパー、AT使用		D：G調整器、T3枚吊、ステンレスゴム押エ、AT使用、押棒 W：吊車運動3点締り、締めハンドル、引手、ステンレスゴム押エ、ストッパー、AT使用	
備考						水切 W=410(1ヶ所)、W=510(2か所)		水切 W=510	
符号	名称	SW 9 F I X窓付両開き窓		SW 10 片開き窓		SW 11 内倒し窓		SW 12 引違イ窓付 F I X窓	
姿図									
改修内容		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 DP塗替え		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 (水切)MS-2 20×10、MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 DP塗替え		シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 (水切)MS-2 20×10、MS-2 15×10 外表面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 DP塗替え		既存のまま	
室名	ヶ処	レストラン	1	厨房	2	オートロビー	4	チケット売場	1
材料	仕上	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザークートプレバリン処理
硝子	見込	FL-5 A6 FL-5 FIX部：FL-6 A6 FL-6	100	FL-5 A6 FL-5	100	FL-5 A6 FL-5	100	FL-5 A6 FL-5(曲面)	100
金物		FH、押棒、本締錠、F、気密機 蹴込板(t1.2 SUS HL両面)、AT使用		締めハンドル調整器、T3枚吊、ステンレスゴム押エ AT使用、網戸		G、内倒し下番3枚吊、ステータンバー、AT使用 オペレーター、網戸		サッシ溝切レール、ガラス用本締錠、引手(ガラス加工)	
備考									

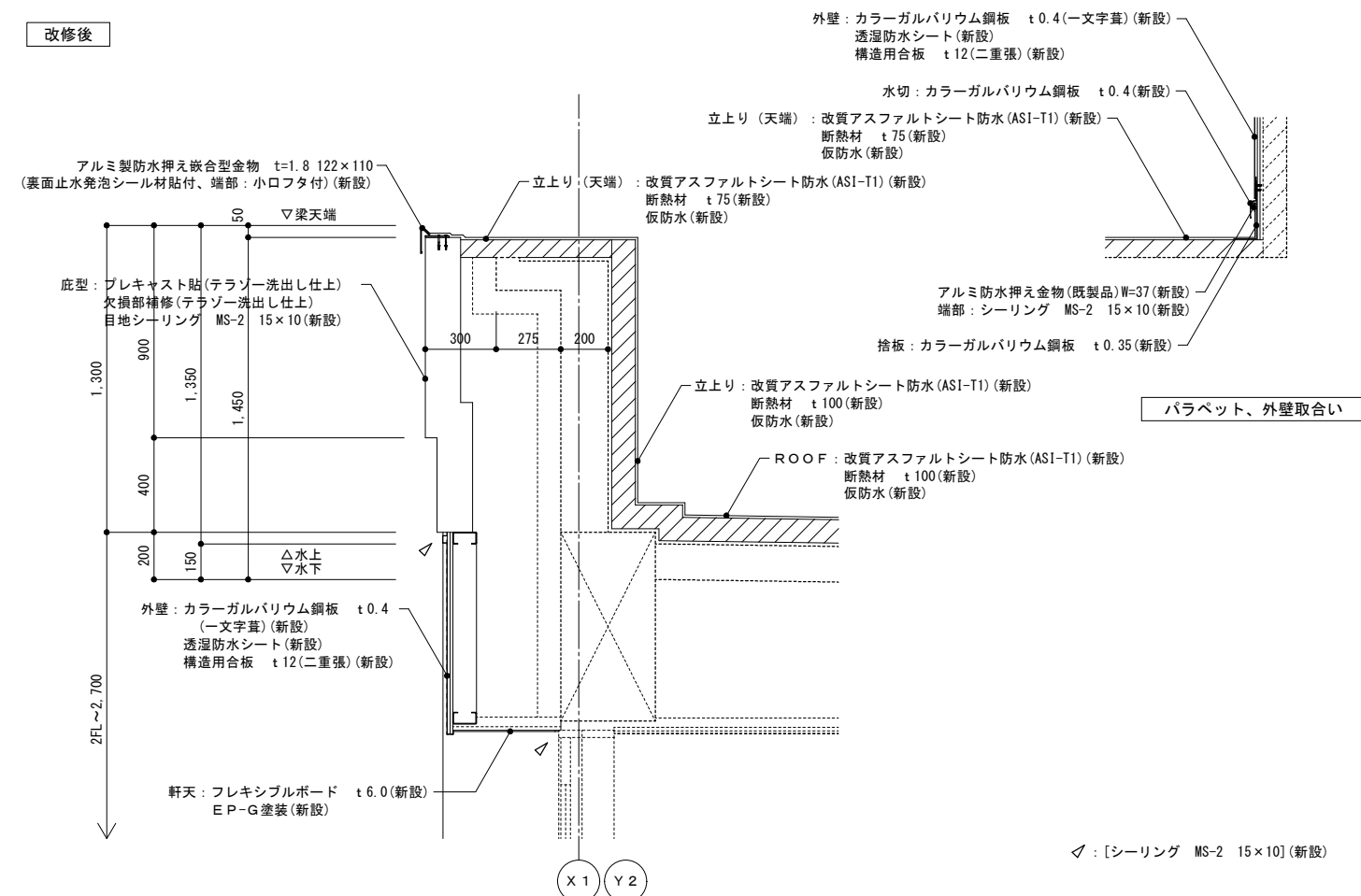
符号	名称	片引き窓(戸袋付)							
姿図									
改修内容	シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 DP塗替え								
室名	ヶ処	アートロビー	2						
材料	仕上	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)	ウェザーコートプレバリン処理						
硝子	見込	FL-6 A6 FL-6	380						
金物	掘込引手、溝切レール、特殊戸車、CH、ストッパー、片開キ戸～戸袋用丁番、戸袋用締錠(ケースハンドル) 網戸付(引戸1枚分)								
備考	片開キ戸-断熱タイプ ウレタン充填								
符号	名称	片引き窓(戸袋付)		F1X窓付片開キ窓		F1X窓付片開キ窓		F1X窓付出し窓	
姿図									
改修内容	シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10 建具調整、DP塗替え								
室名	ヶ処	レクチャー室	1	レクチャー室	1	レクチャー室	4	廊下	1
材料	仕上	アルミ	焼付塗装	アルミ	焼付塗装	アルミ	焼付塗装	アルミ	焼付塗装
硝子	見込	FL-6 A6 FL-6	枠：520、扉：60	A：FL-5 A6 FL-5 B：FL-3 A6 FL-3	100	A：FL-5 A6 F-4 B：FL-3 A6 F-4	100	A：FL-5 A6 FL-5 B：FL-3 A6 FL-3	100
金物	掘込引手、SUS引戸レール、特殊戸車、引戸錠 AT、結露受、網戸(引窓1枚分)								
備考	片引き窓框、戸袋、枠-ウレタン充填								
符号	名称	両開キ戸		片開キ戸		片開キ戸		両開キ戸	
姿図									
改修内容	シーリング打替え：(三方)MS-2 15×10 DP塗替え								
室名	ヶ処	機械室	1	厨房	1	プロバン庫	1		1
材料	仕上	耐候性鋼材 t1.6 (折曲加工)	OP塗装	スチール t1.6	非被変性*リウタン樹脂塗料	スチール t1.6	非被変性*リウタン樹脂塗料	スチール t1.6	非被変性*リウタン樹脂塗料
硝子	見込		ドア見込 40		ドア見込 40		ドア見込 40		ドア見込 40
金物	G、PH(中吊付)、CH、DC、K、DS、F、AT使用 ステンレスゴム押エ								
備考	ウレタン充填(断熱タイプ)								

符号	名称	SG 1 スチール製 ガラリ		SG 2 スチール製 ガラリ		SG 3 スチール製 ガラリ		SG 4 スチール製 ガラリ		SG 5 スチール製 ガラリ	
姿図											
改修内容		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10 DP塗替え		DP塗替え		DP塗替え		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10 DP塗替え		DP塗替え	
室名	ヶ処	DS	2	テラス	4	テラス	4	プロバン庫	1	厨房通用口	1
材料	仕上	耐候性鋼材 t1.6 (折曲加工)	ウエザークート ^{レバ} リン処理	耐候性鋼材 t1.6 (折曲加工)	ウエザークート ^{レバ} リン処理	耐候性鋼材 t1.6 (折曲加工)	ウエザークート ^{レバ} リン処理	耐候性鋼材 t1.6 (折曲加工)	ウエザークート ^{レバ} リン処理	耐候性鋼材 t1.6 (折曲加工)	ウエザークート ^{レバ} リン処理
硝子	見込		70		70		70		70		100
金物		水切、内側ステンレス鋼二重(メッシュ)		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式	
備考		ダクト取付用アングル付									
符号	名称	AD 1 アルミ製 F1X窓付片開キ戸					SF 13 トップライト				
姿図											
改修内容		シーリング打替え：(四方)MS-2 15×10 外部面ガラス止めシーリング打替え：SR-1 10×10					既存のまま				
室名	ヶ処	テラス			1	テラス			1		
材料	仕上	アルミ			電解着色	耐候性鋼材 t1.6(折曲加工)			ウエザークート ^{レバ} リン処理		
硝子	見込	A: FL-5、その他: PWG-6.8			70	WG-6.8 A6 FL-5			100		
金物		附属金物一式、R、CH、DC					附属金物一式				
備考											
符号	名称										
姿図											
改修内容											
室名	ヶ処										
材料	仕上										
硝子	見込										
金物											
備考											

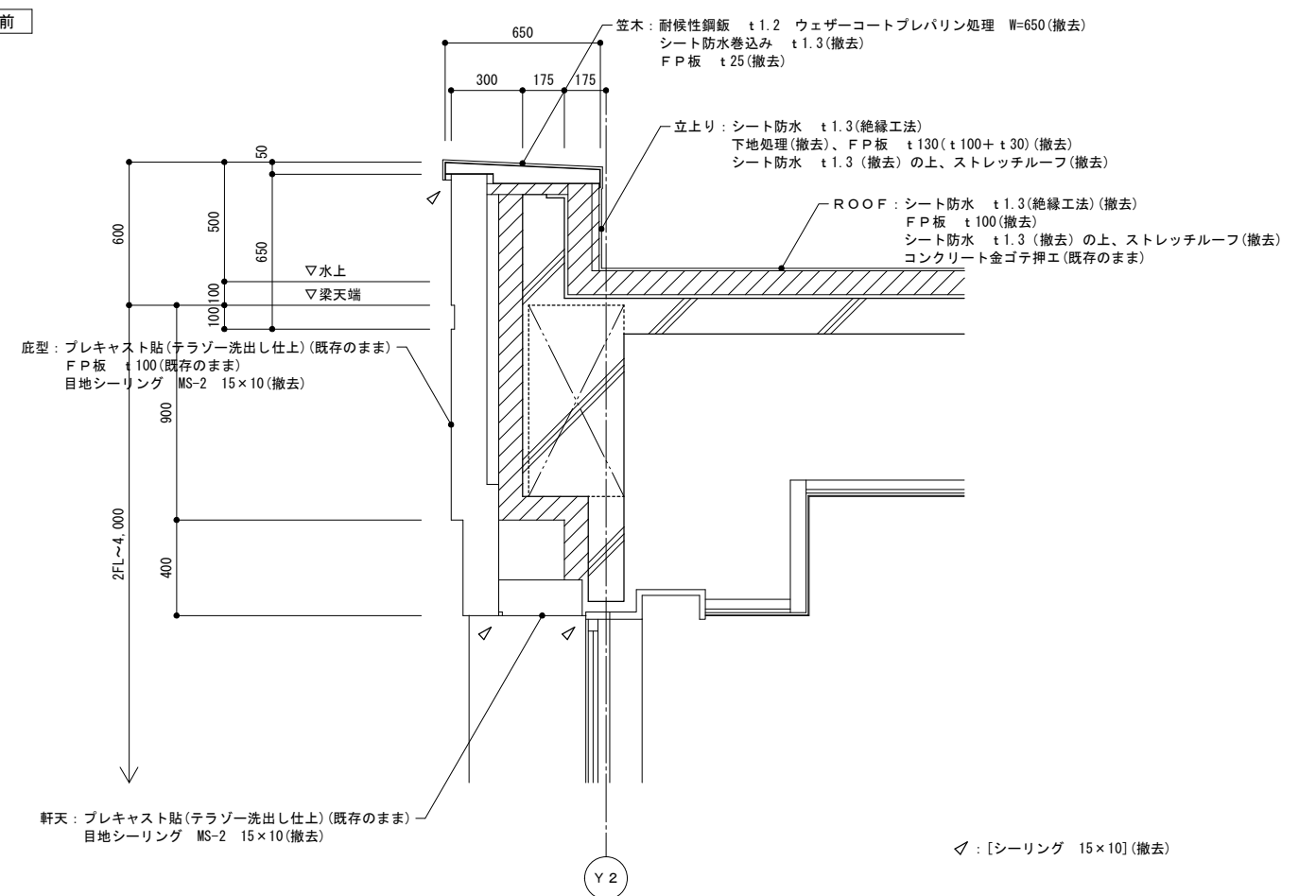
改修前



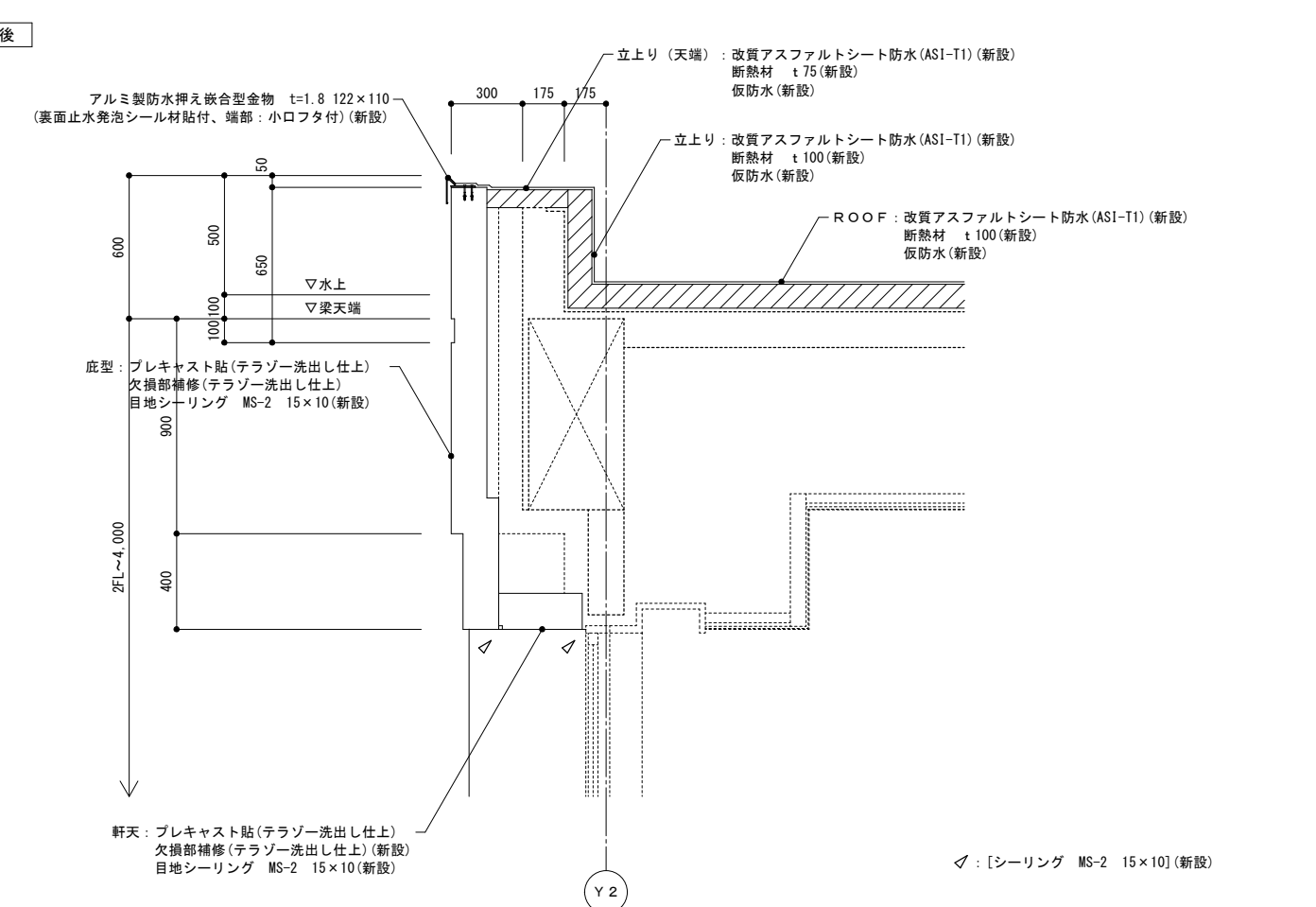
改修後



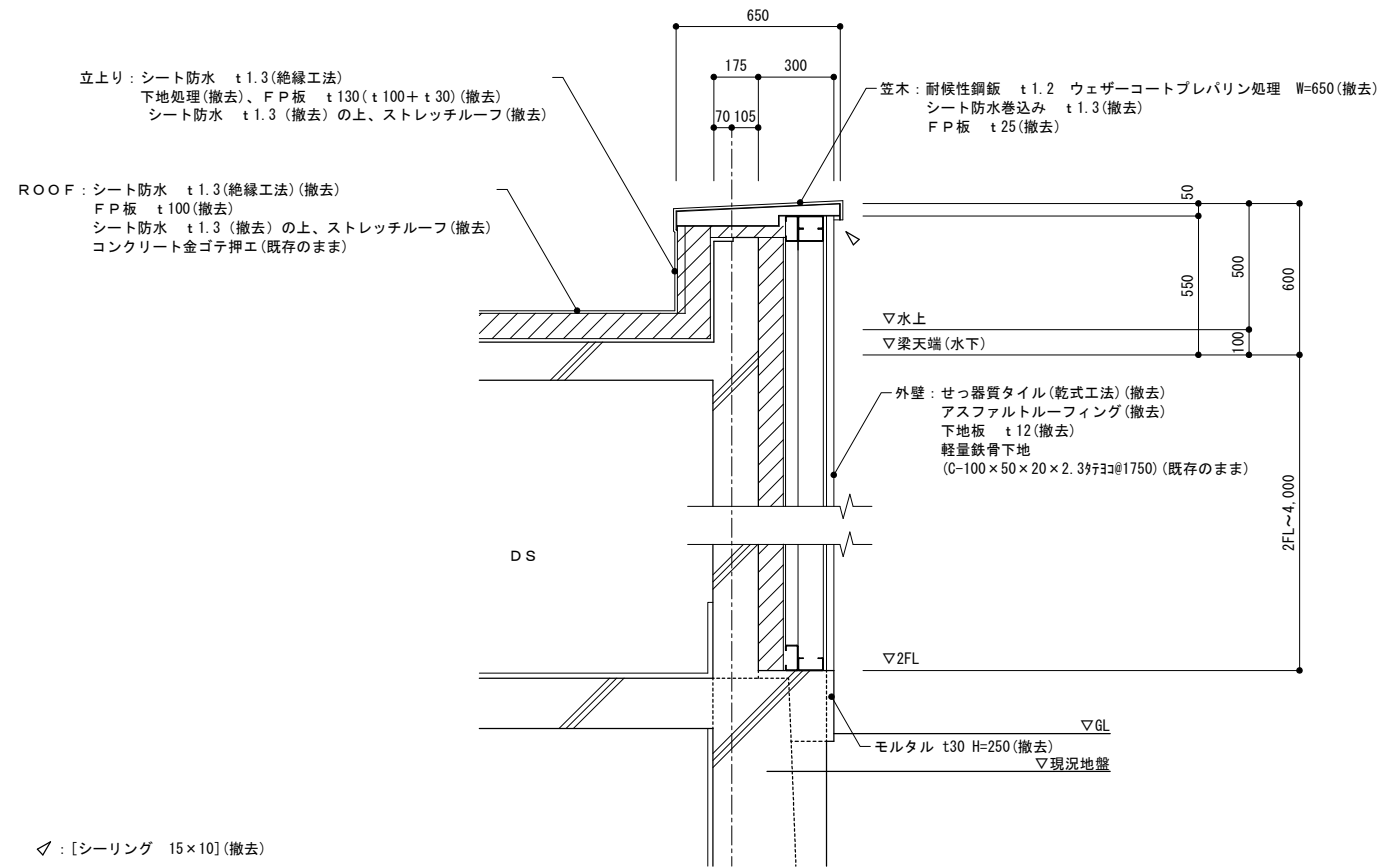
改修前



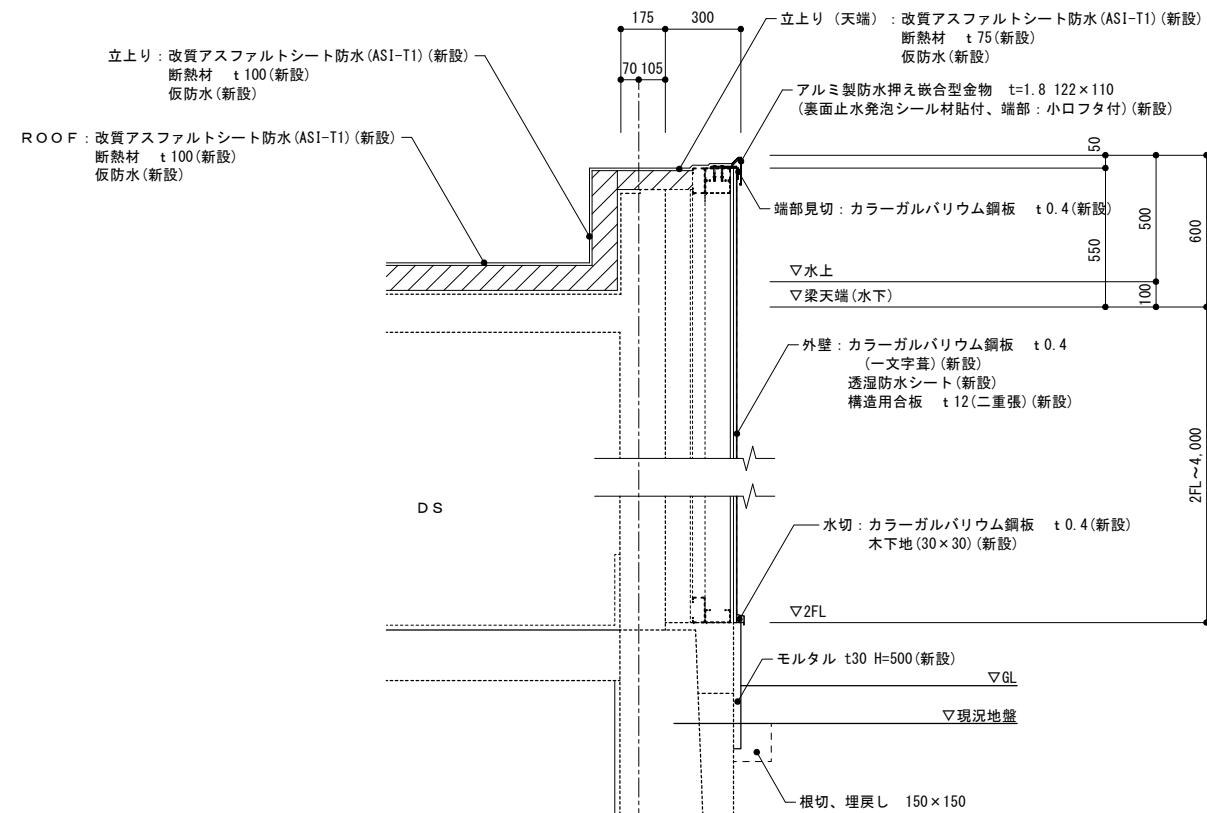
改修後



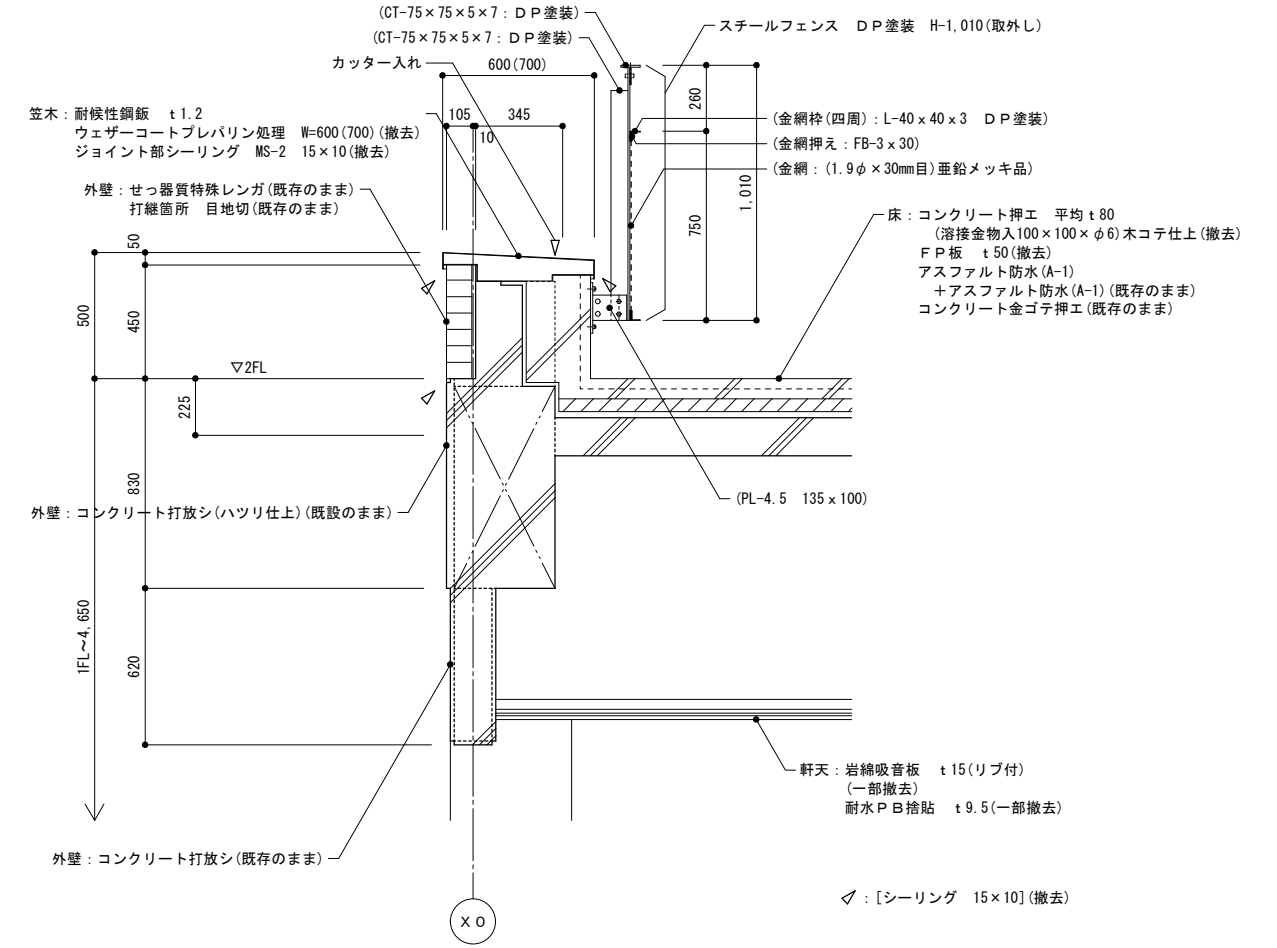
改修前



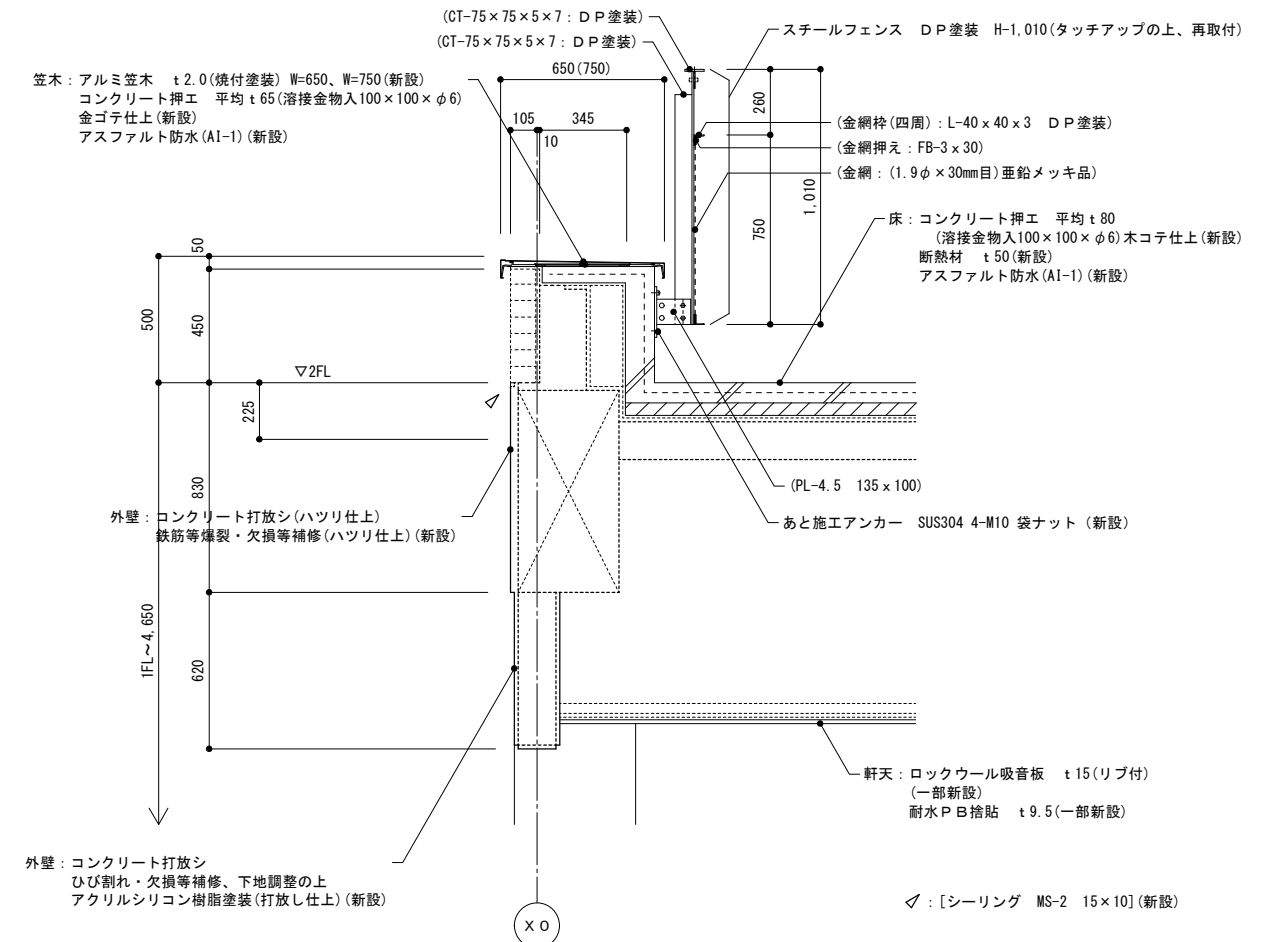
改修後

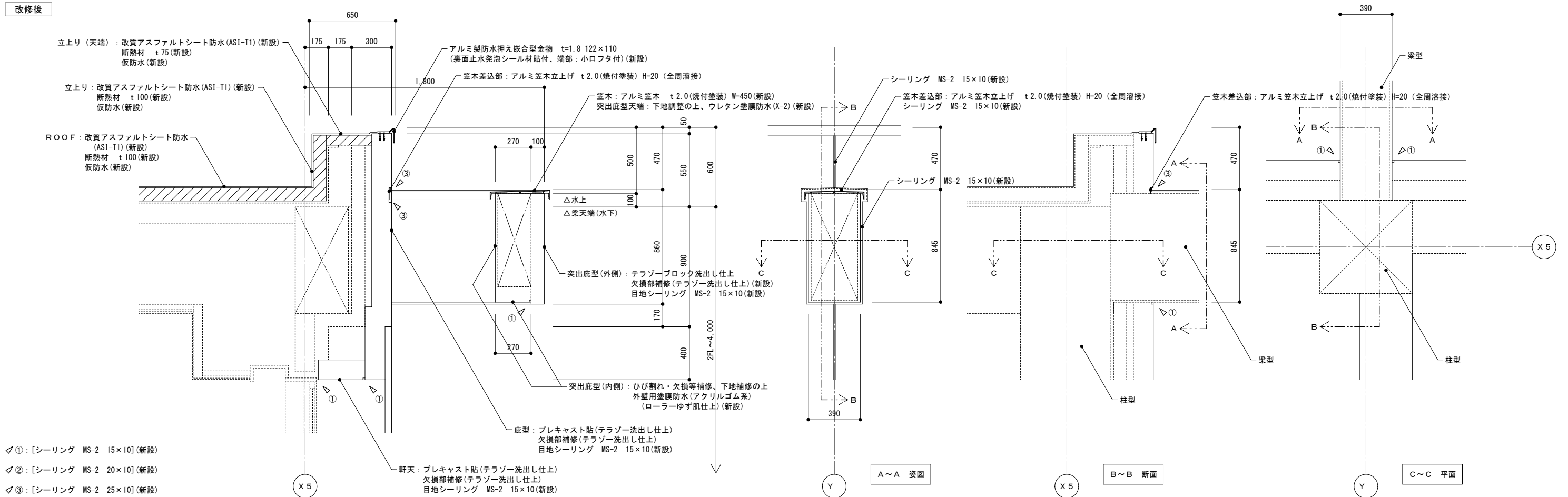
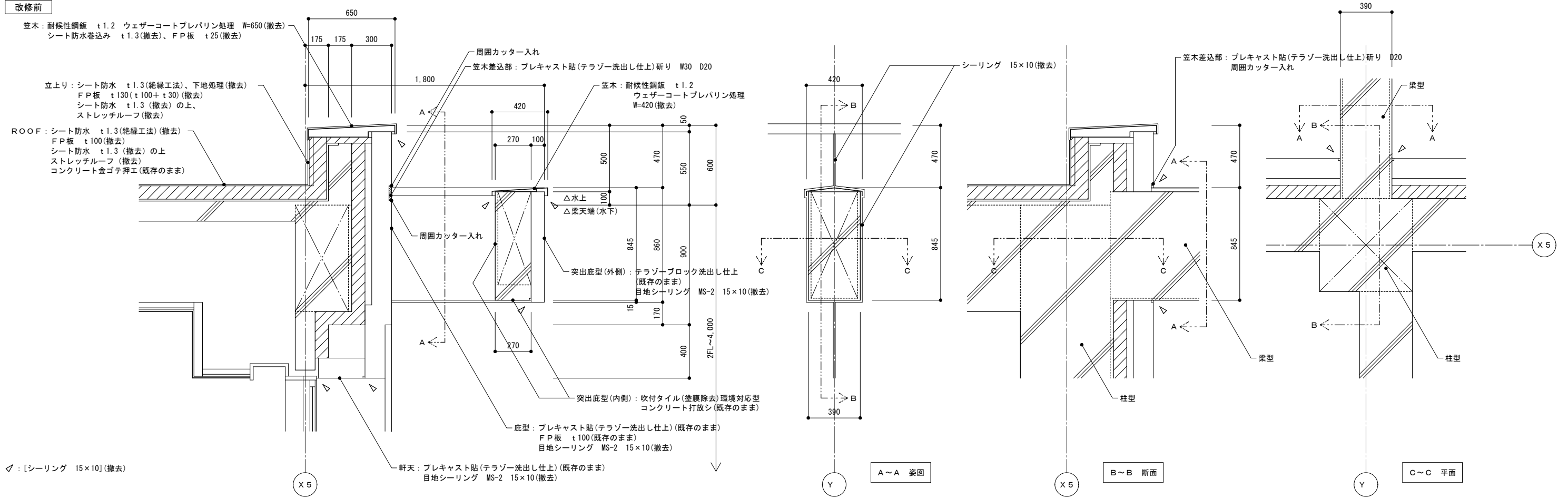


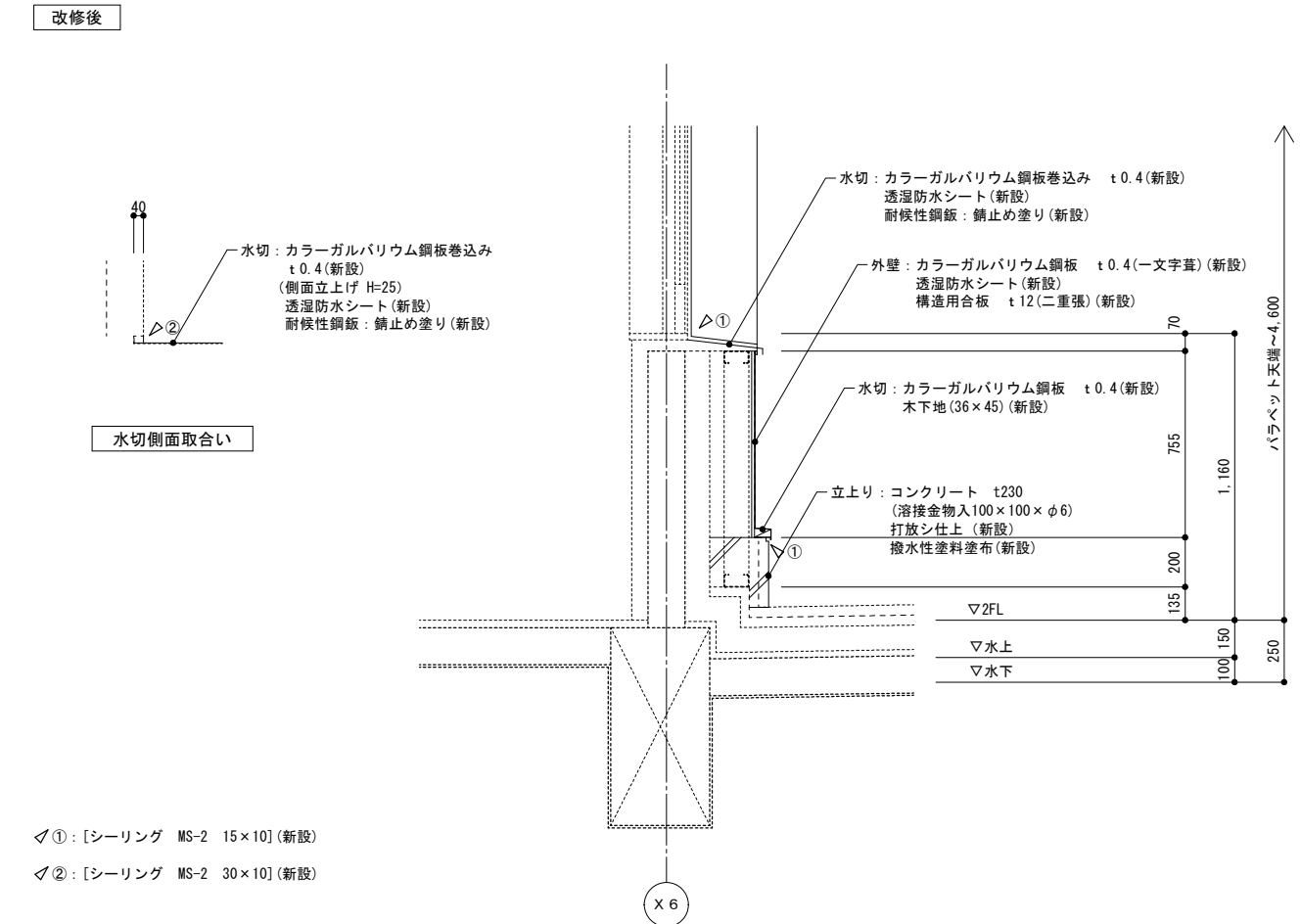
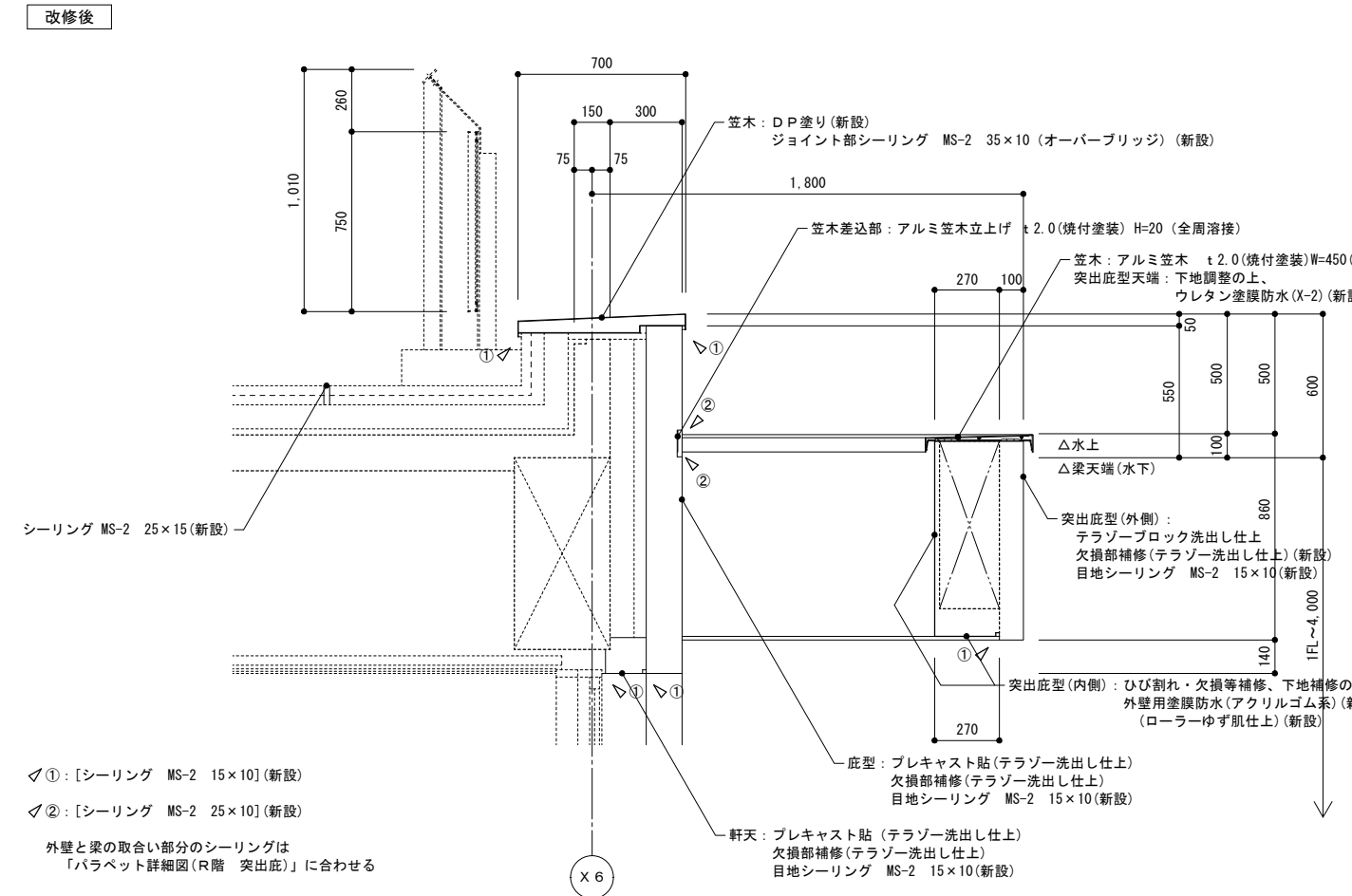
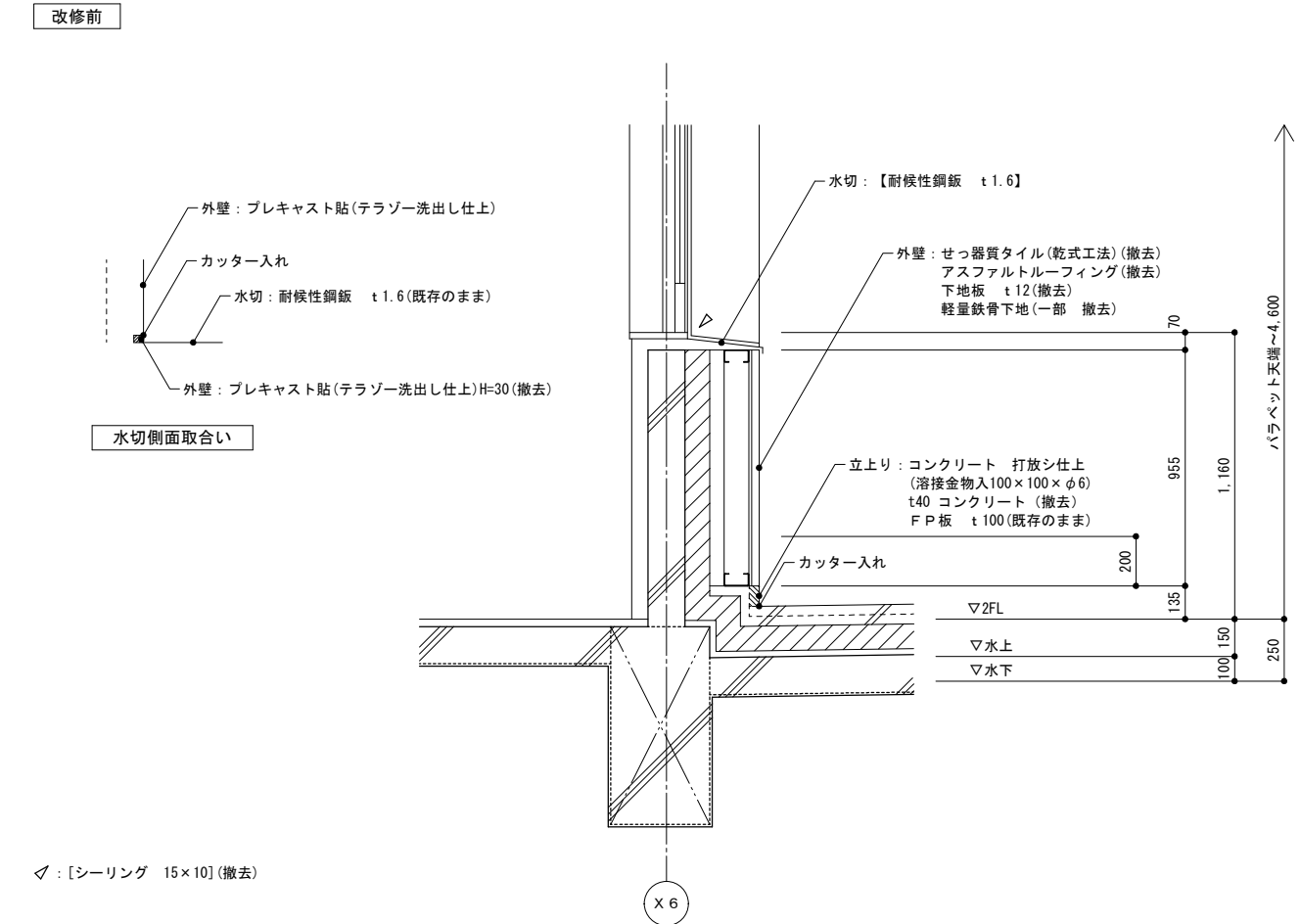
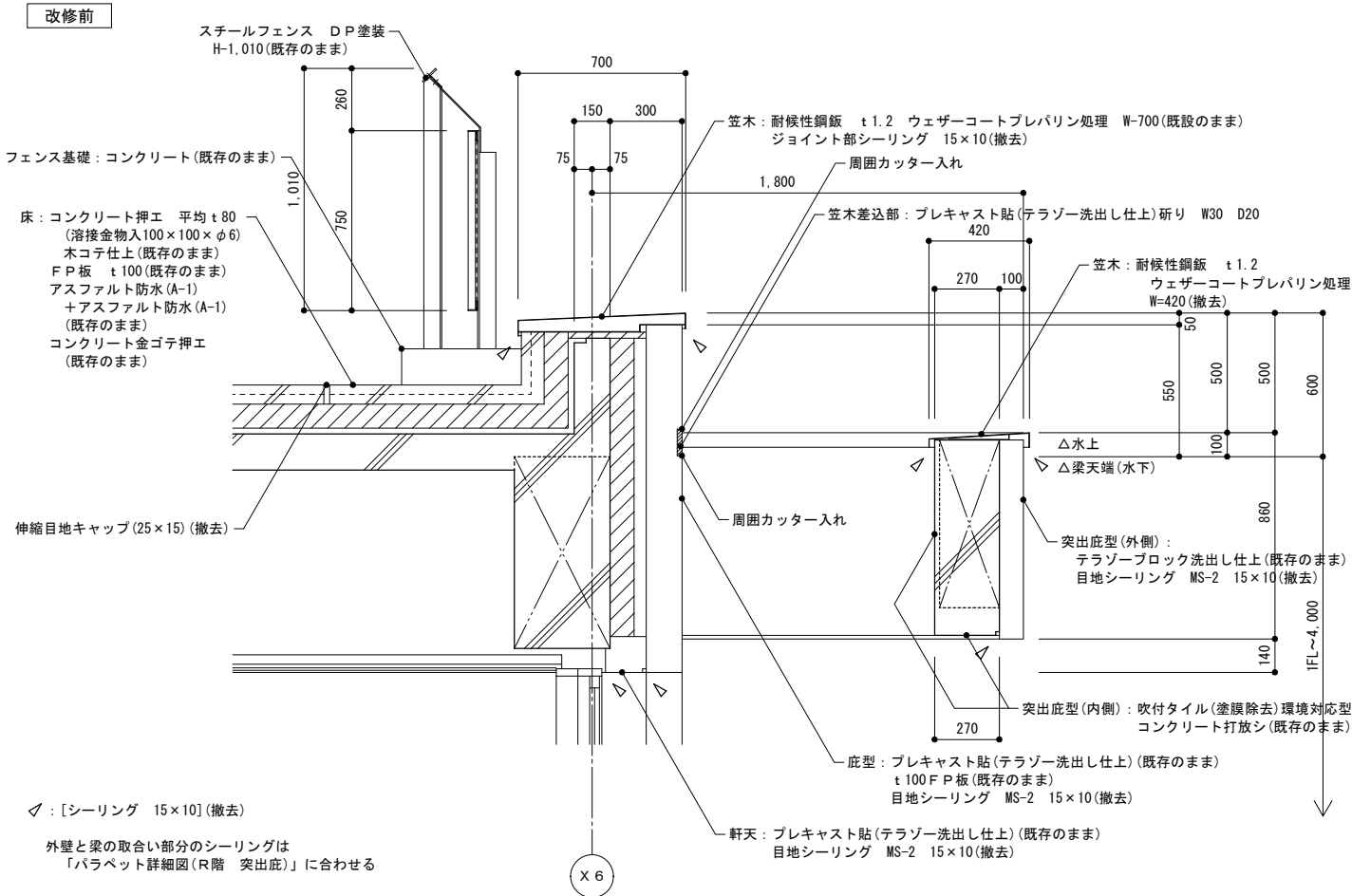
改修前



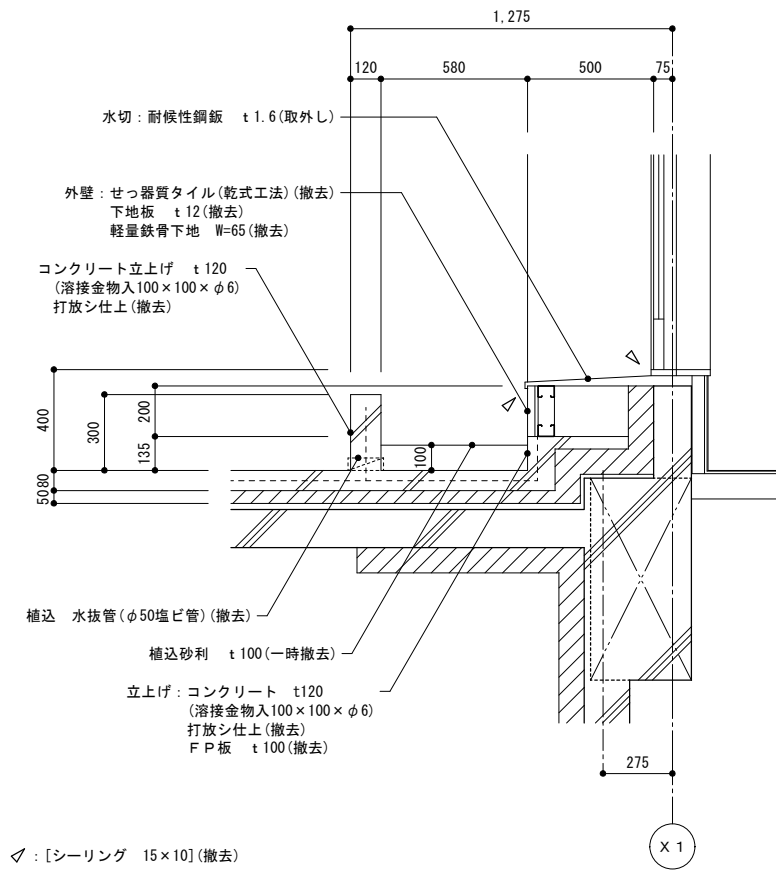
改修後



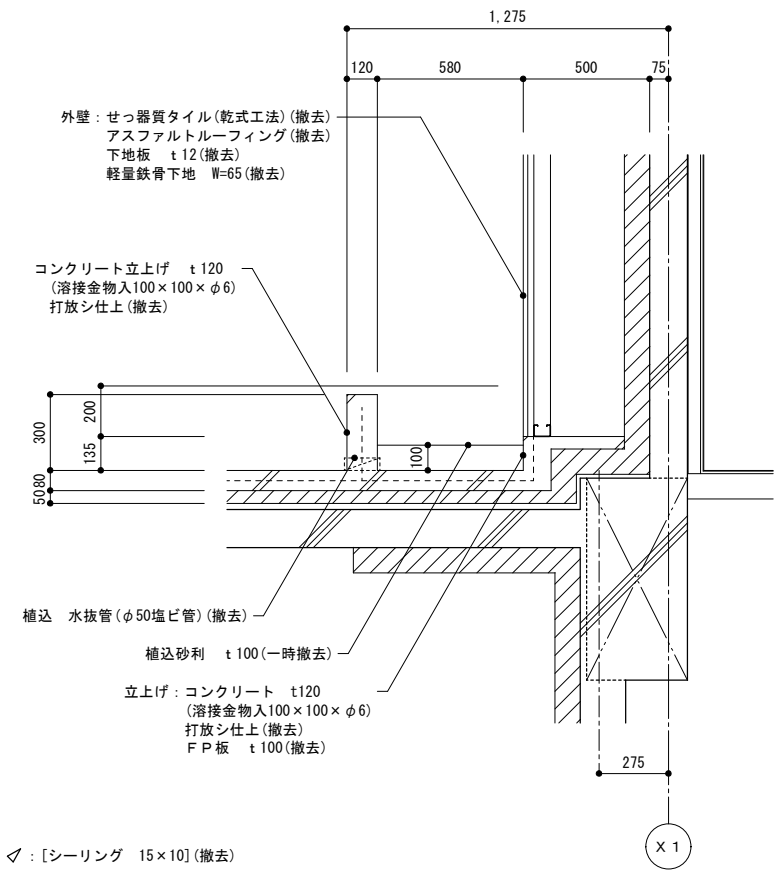




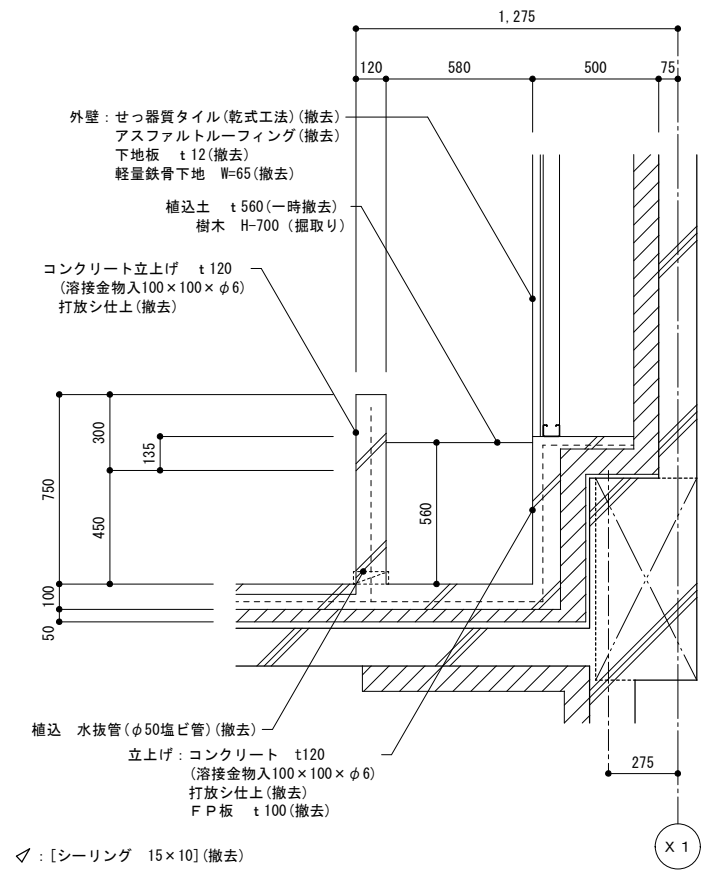
改修前



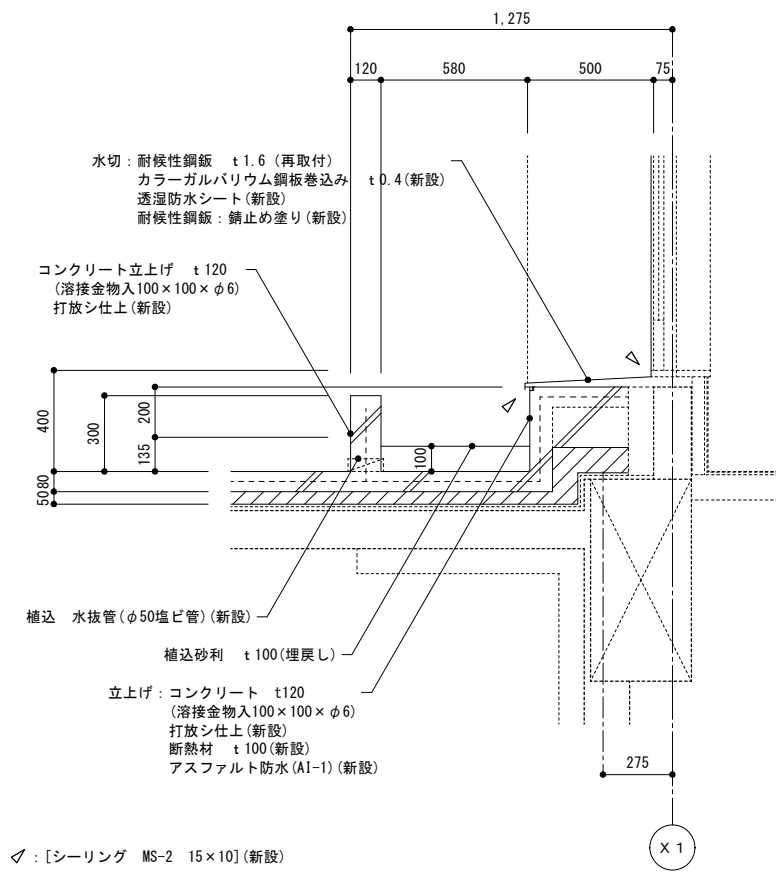
改修前



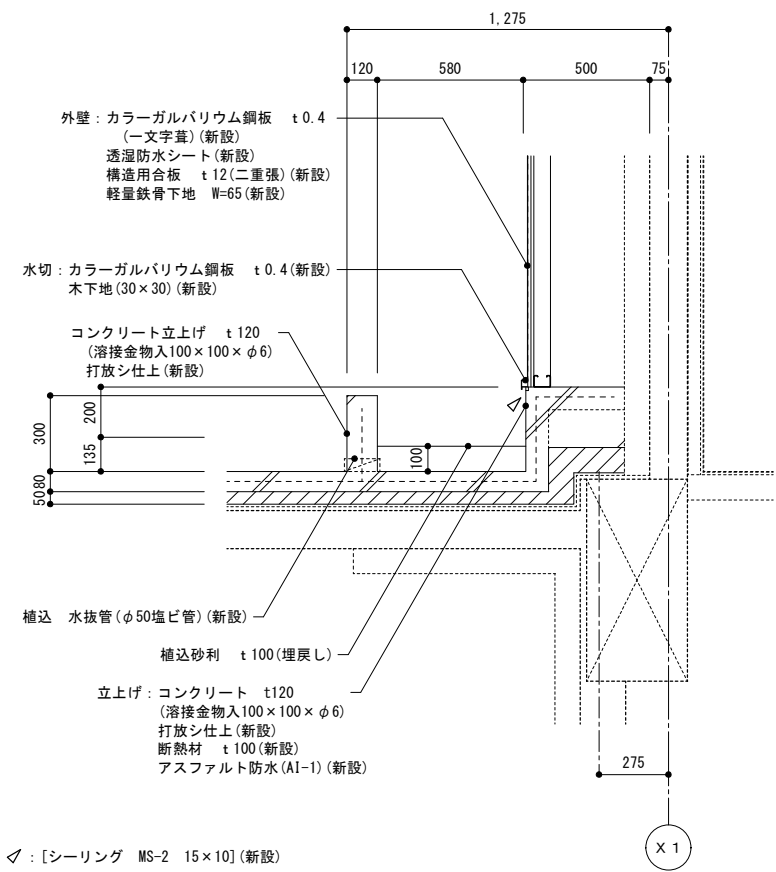
改修前



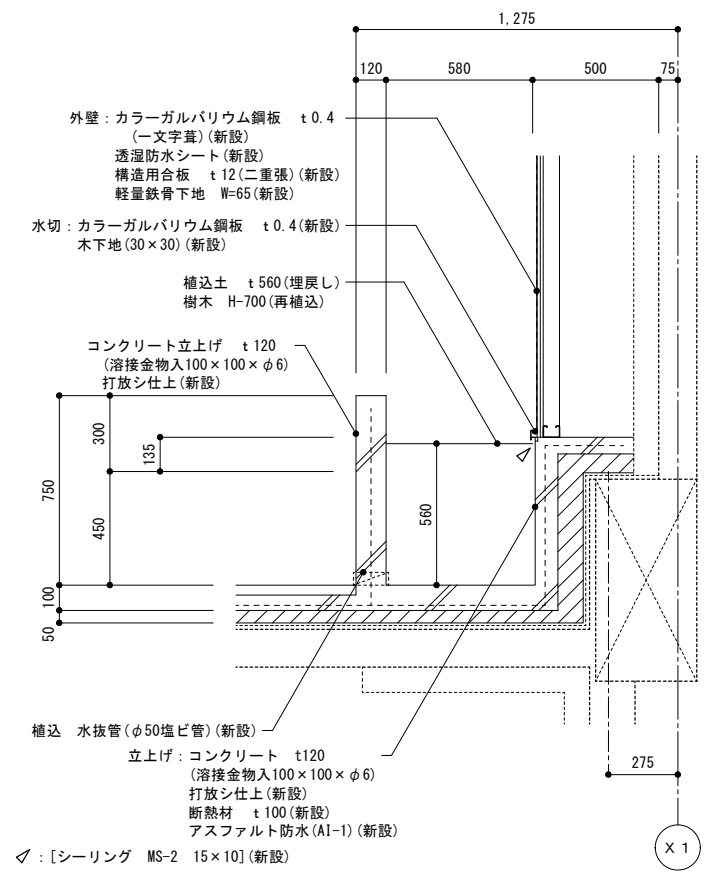
改修後



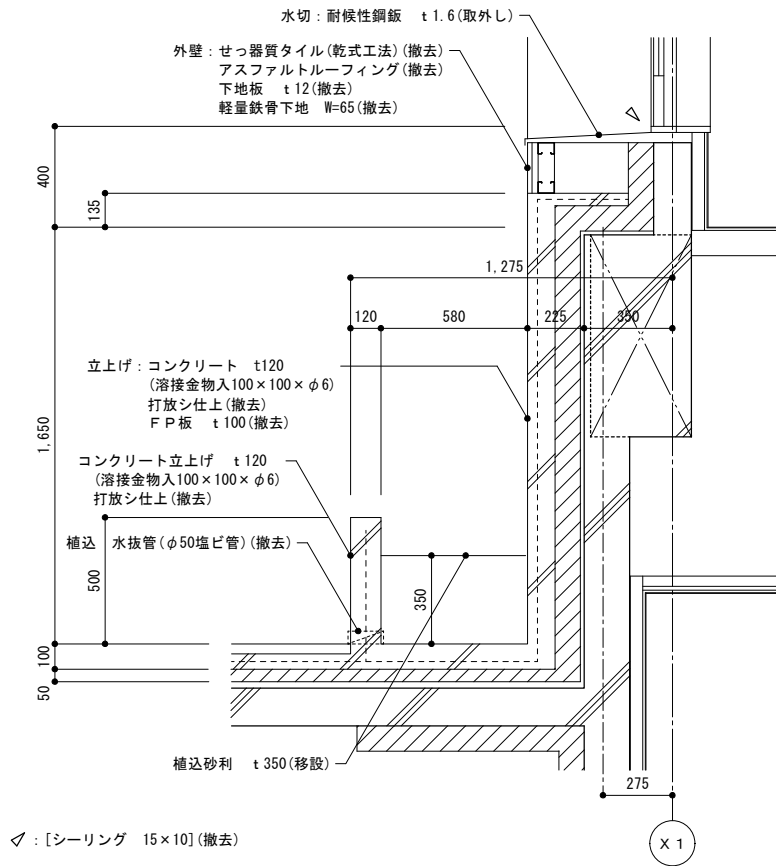
改修後



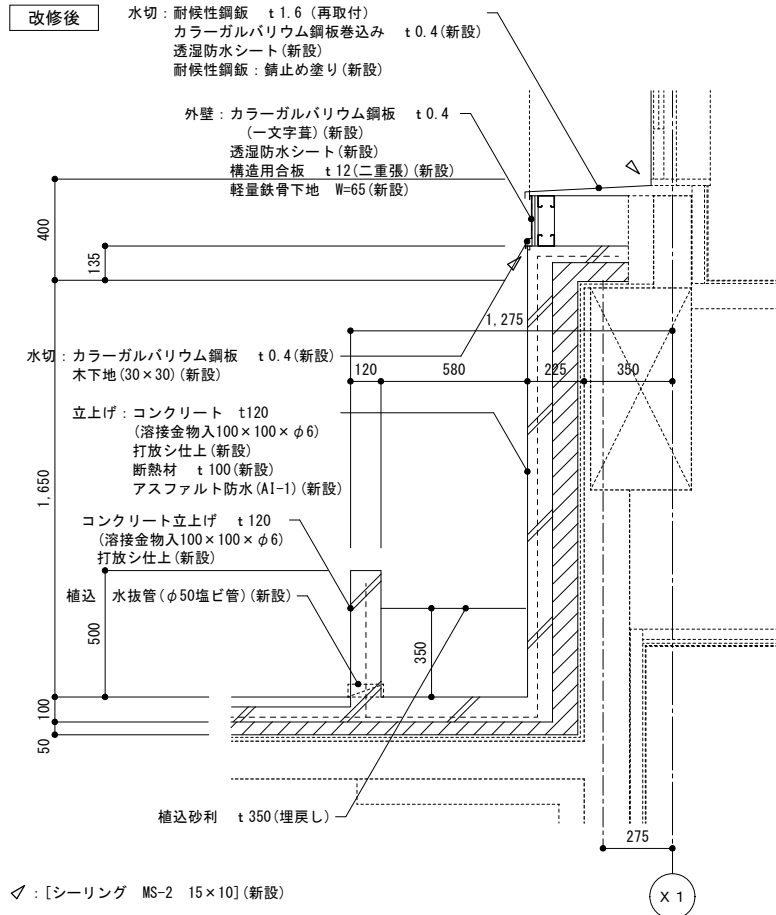
改修後



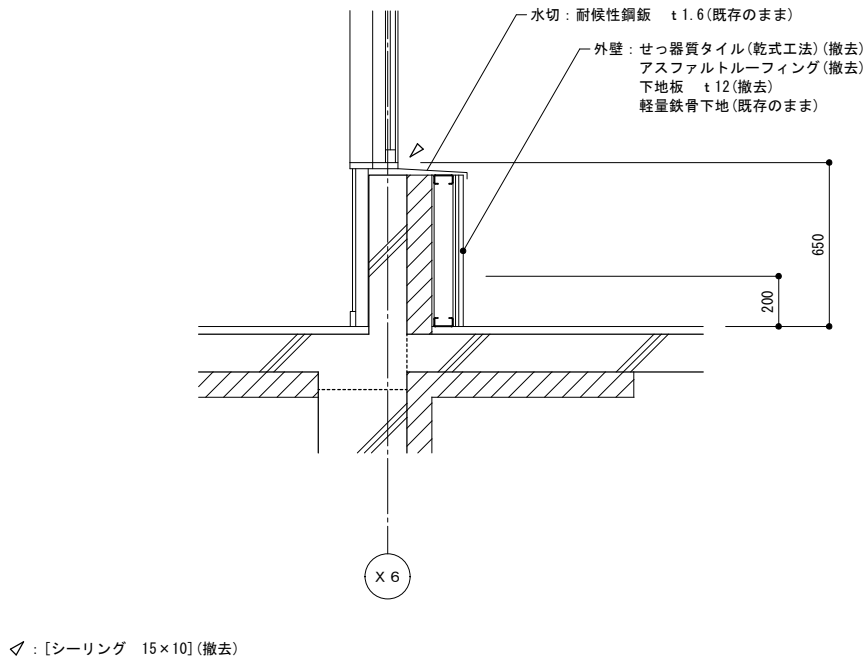
改修前



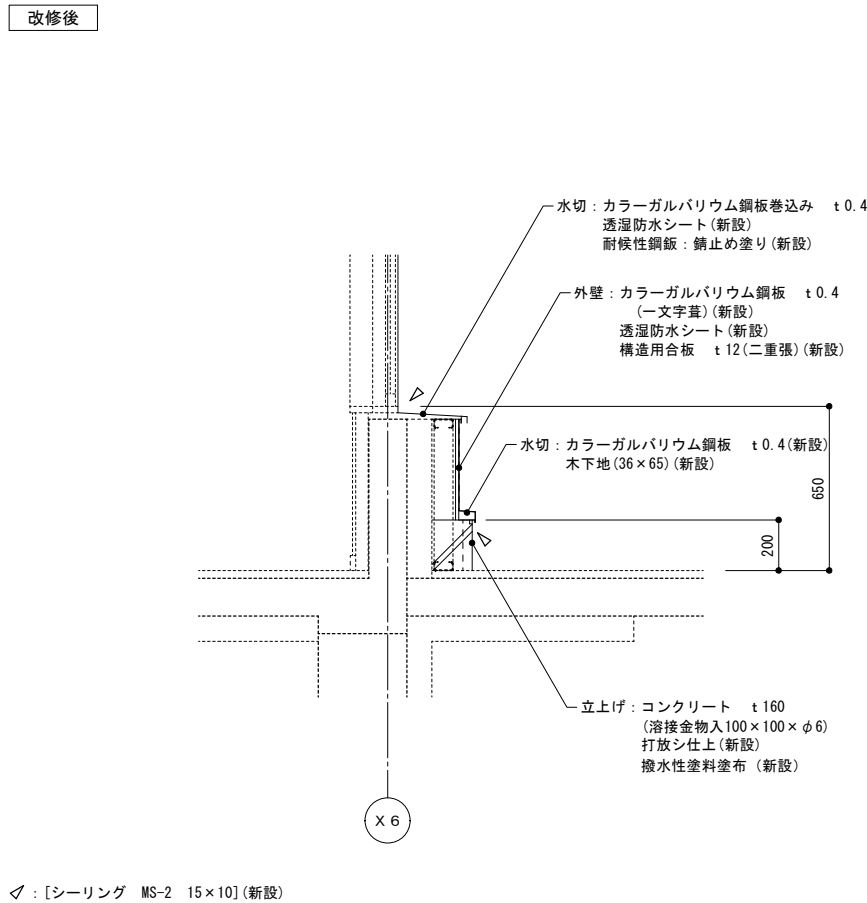
改修後



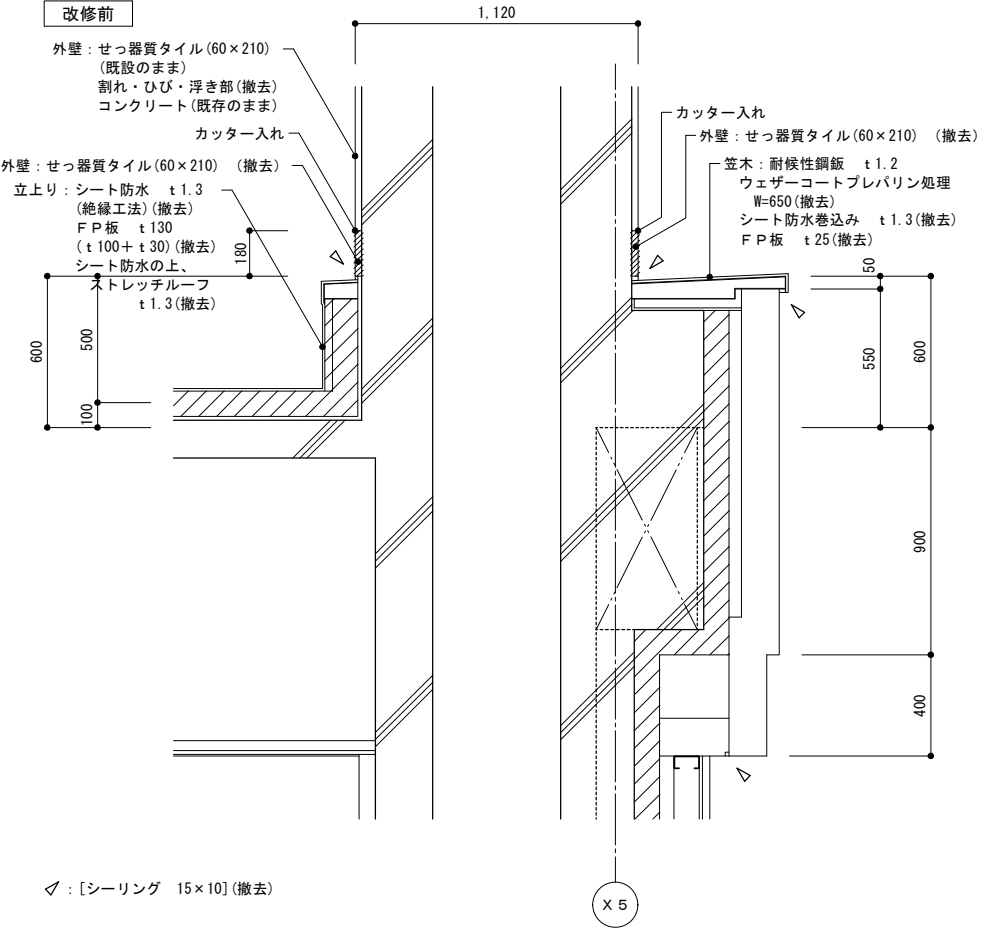
改修前



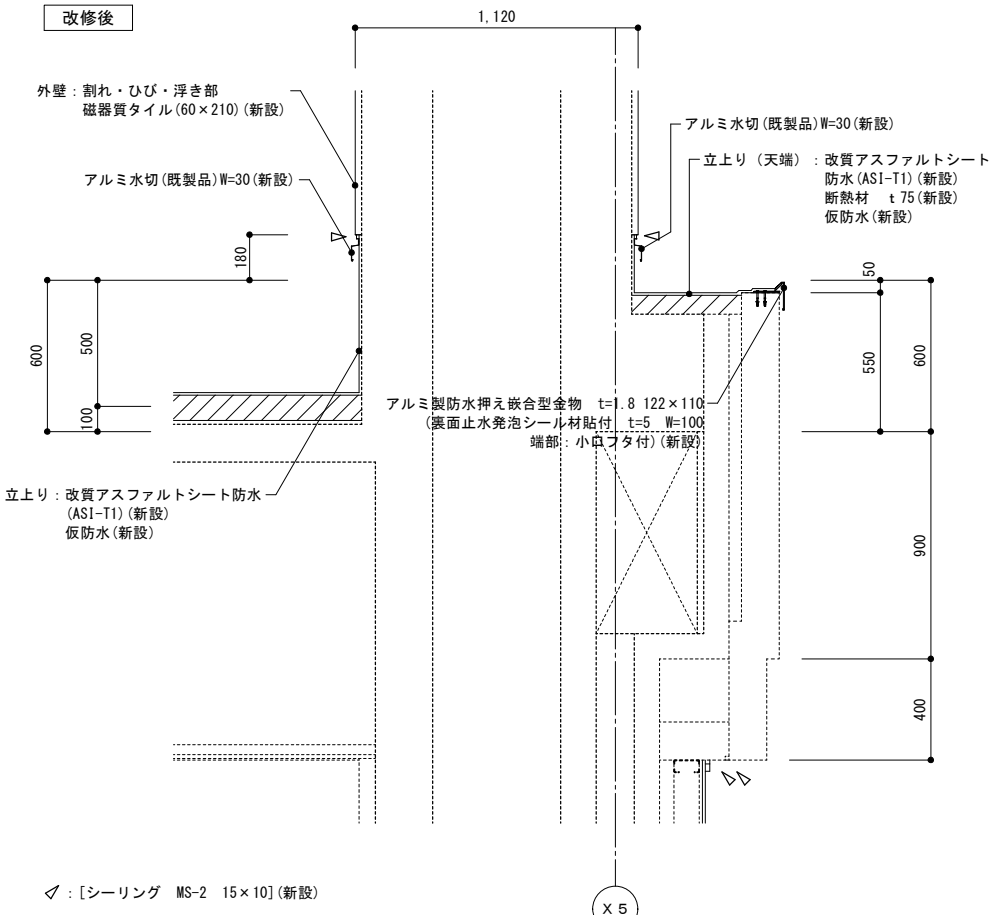
改修後



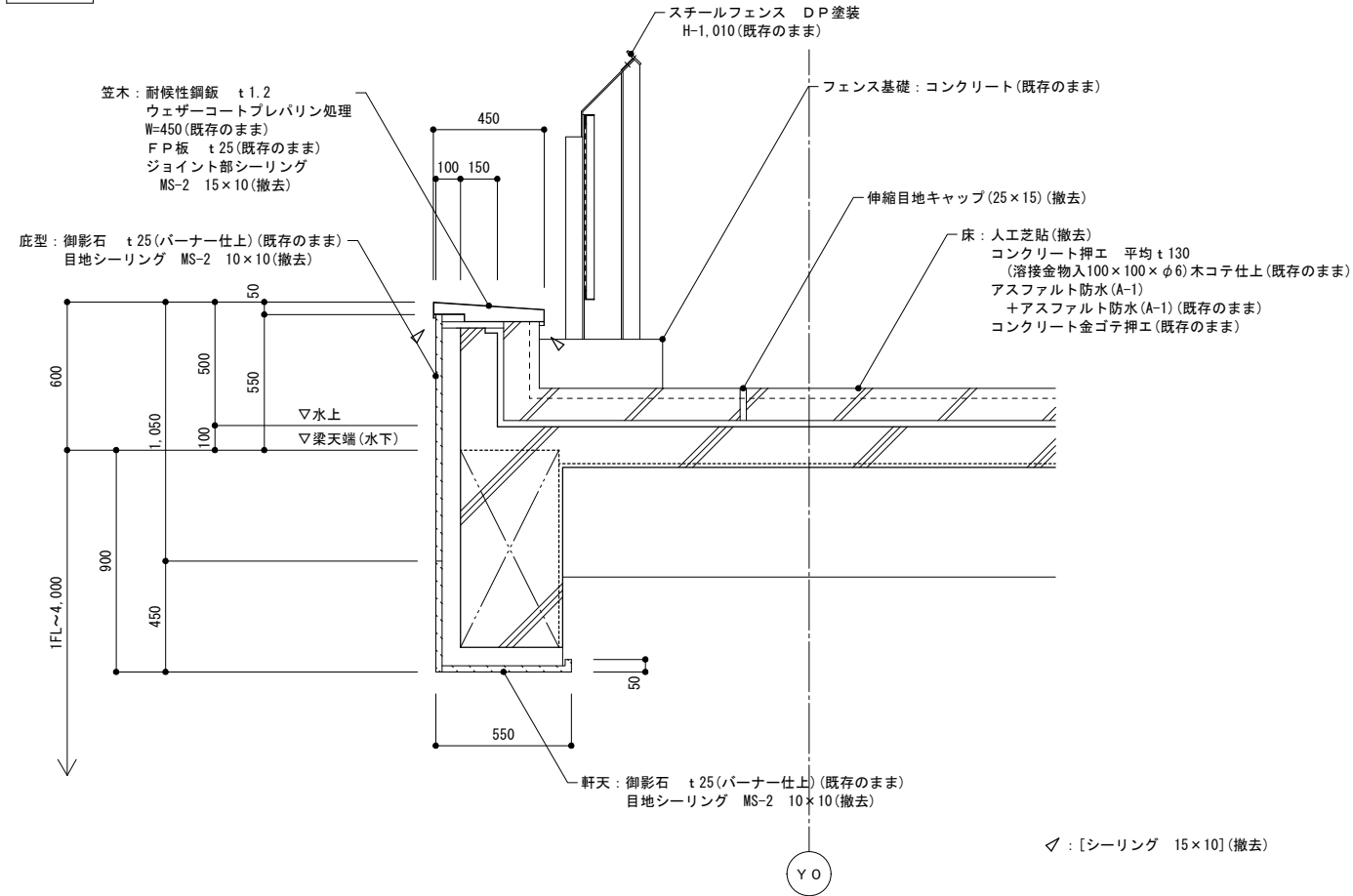
改修前



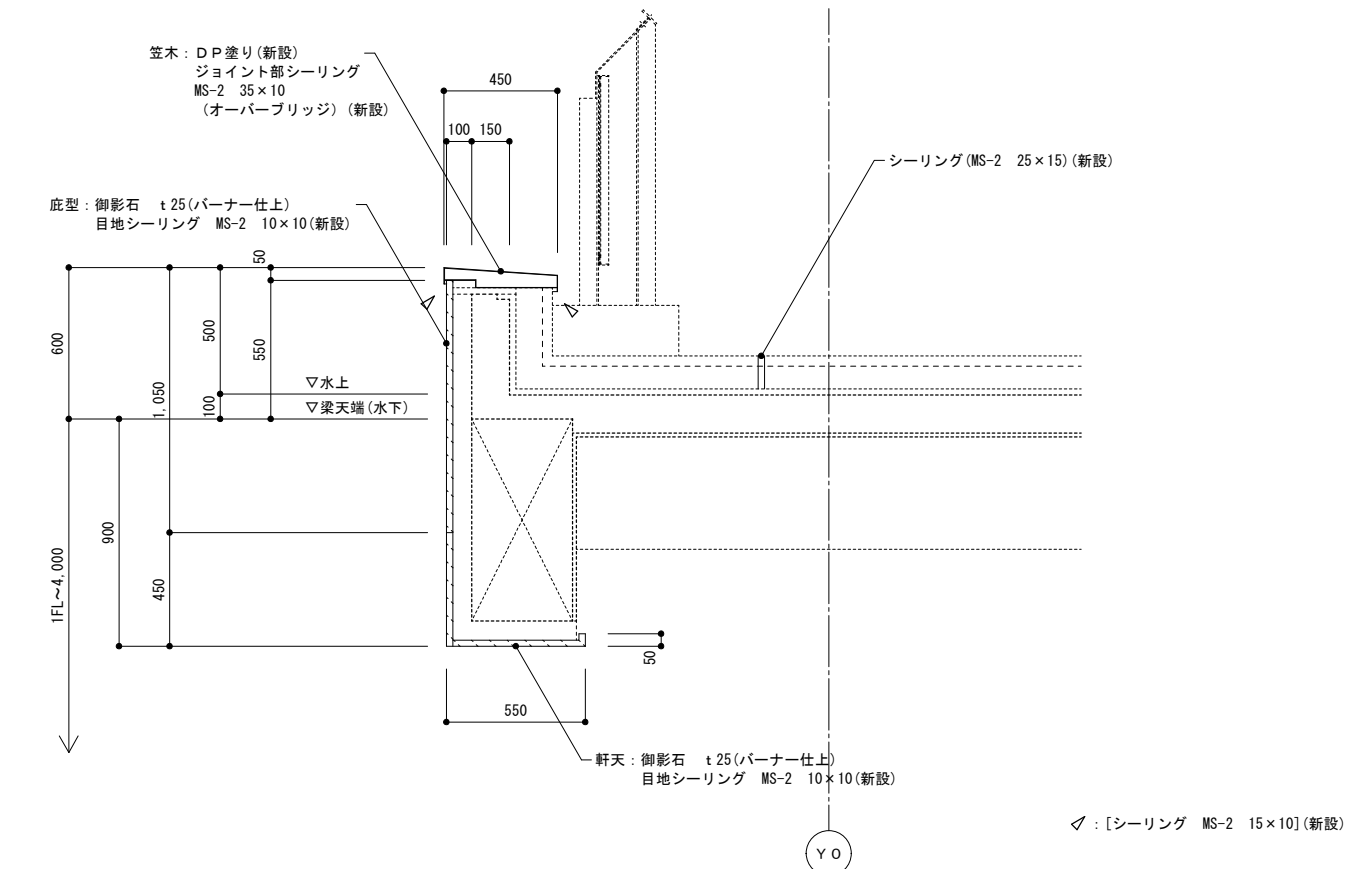
改修後



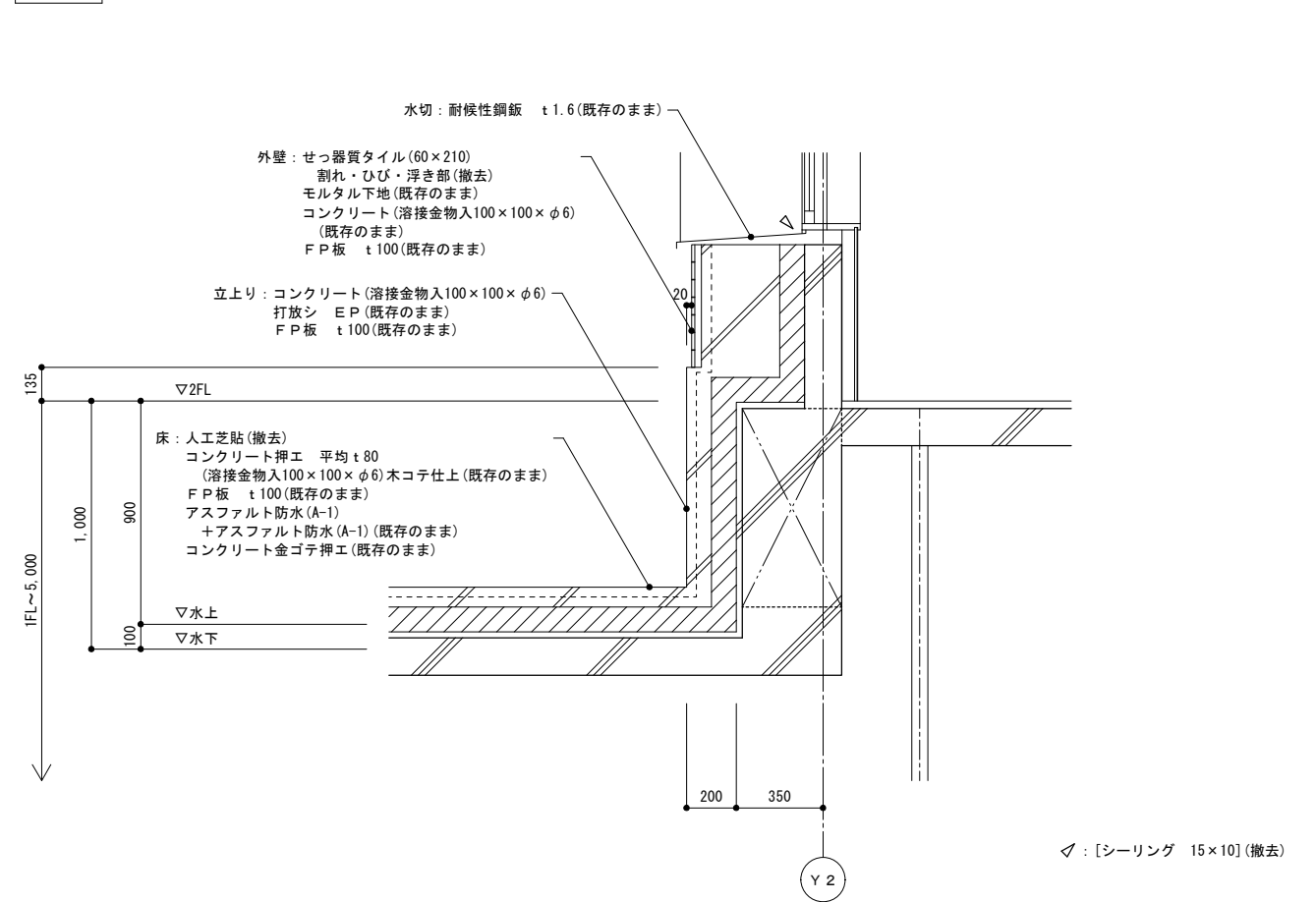
改修前



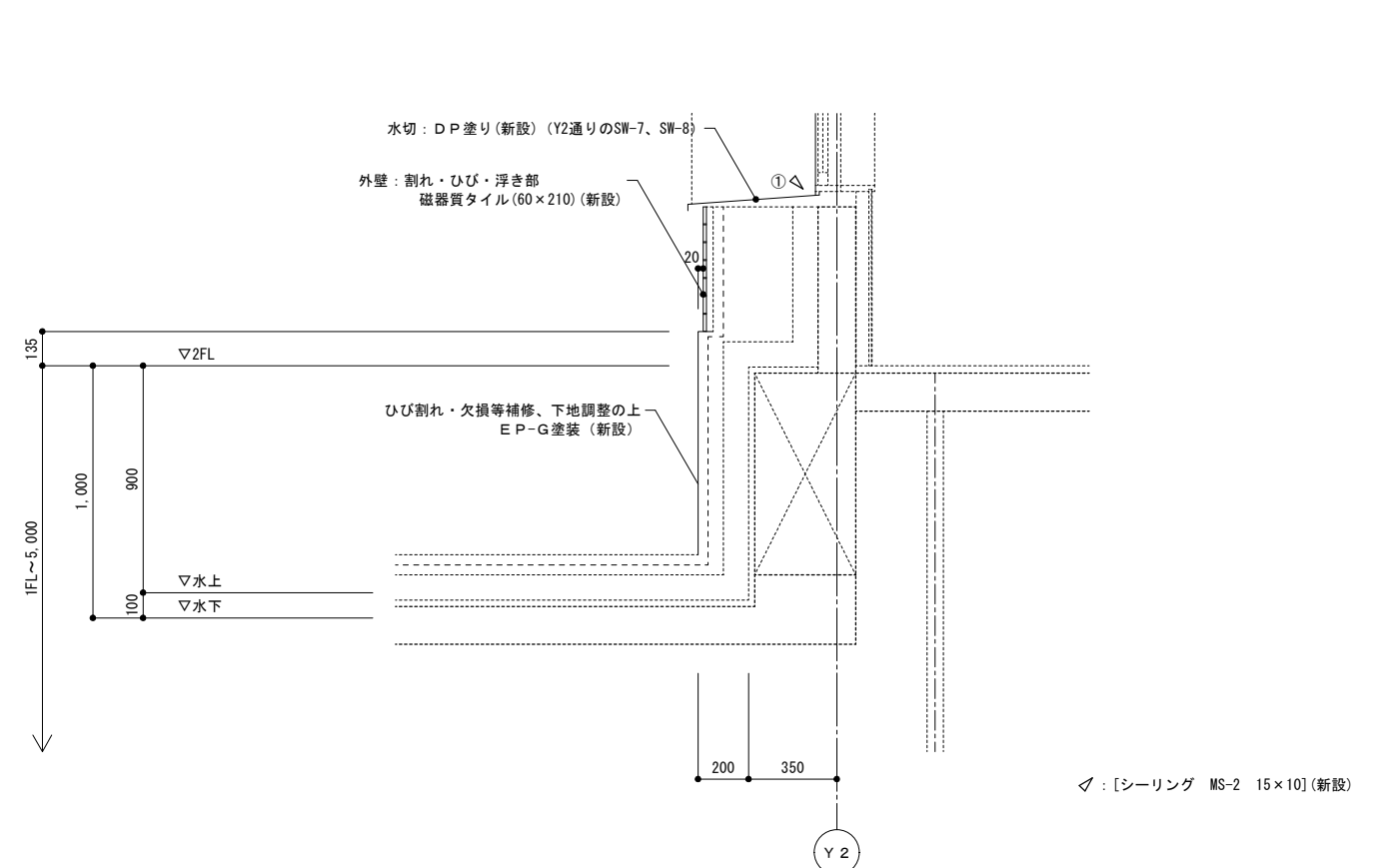
改修後



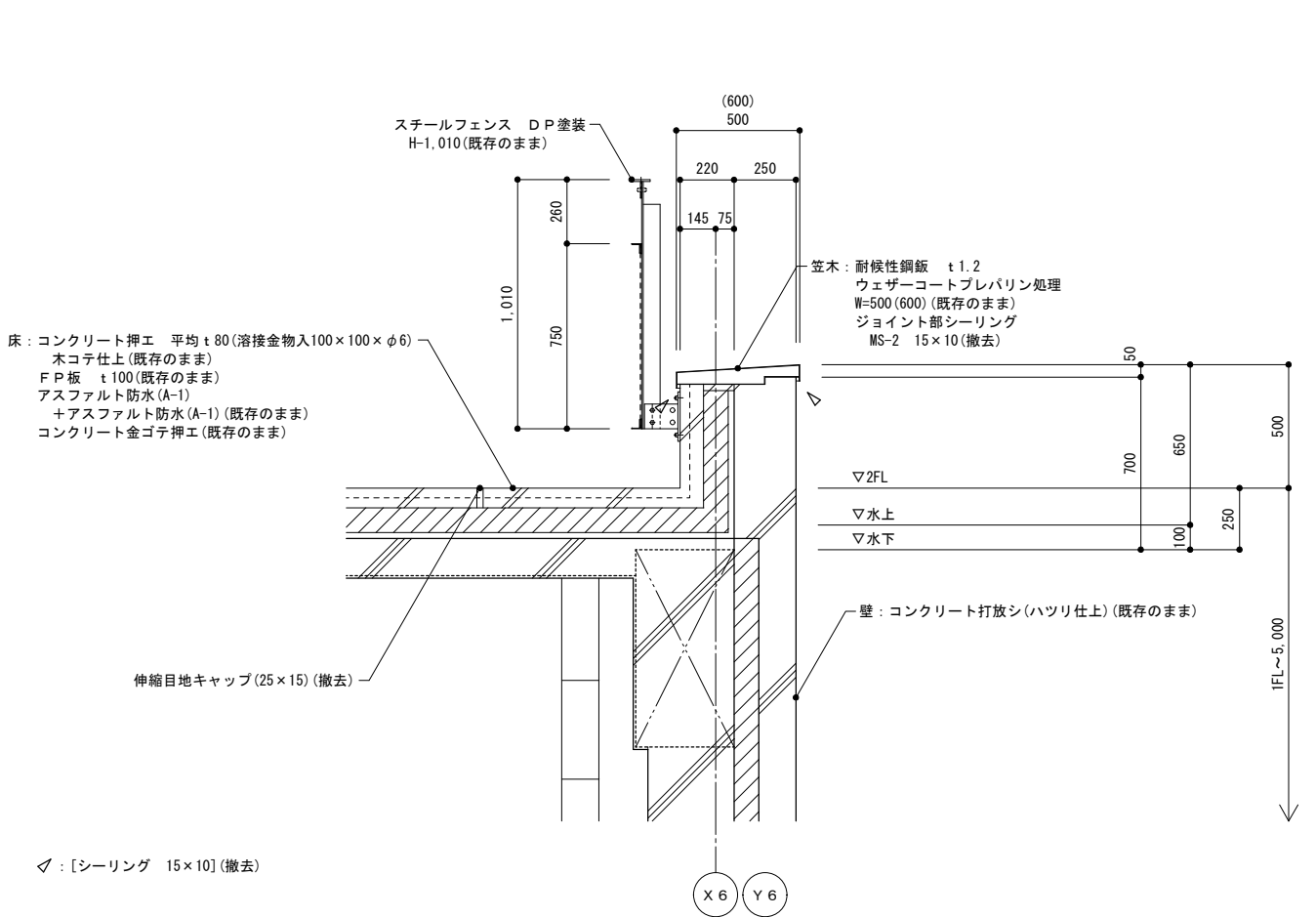
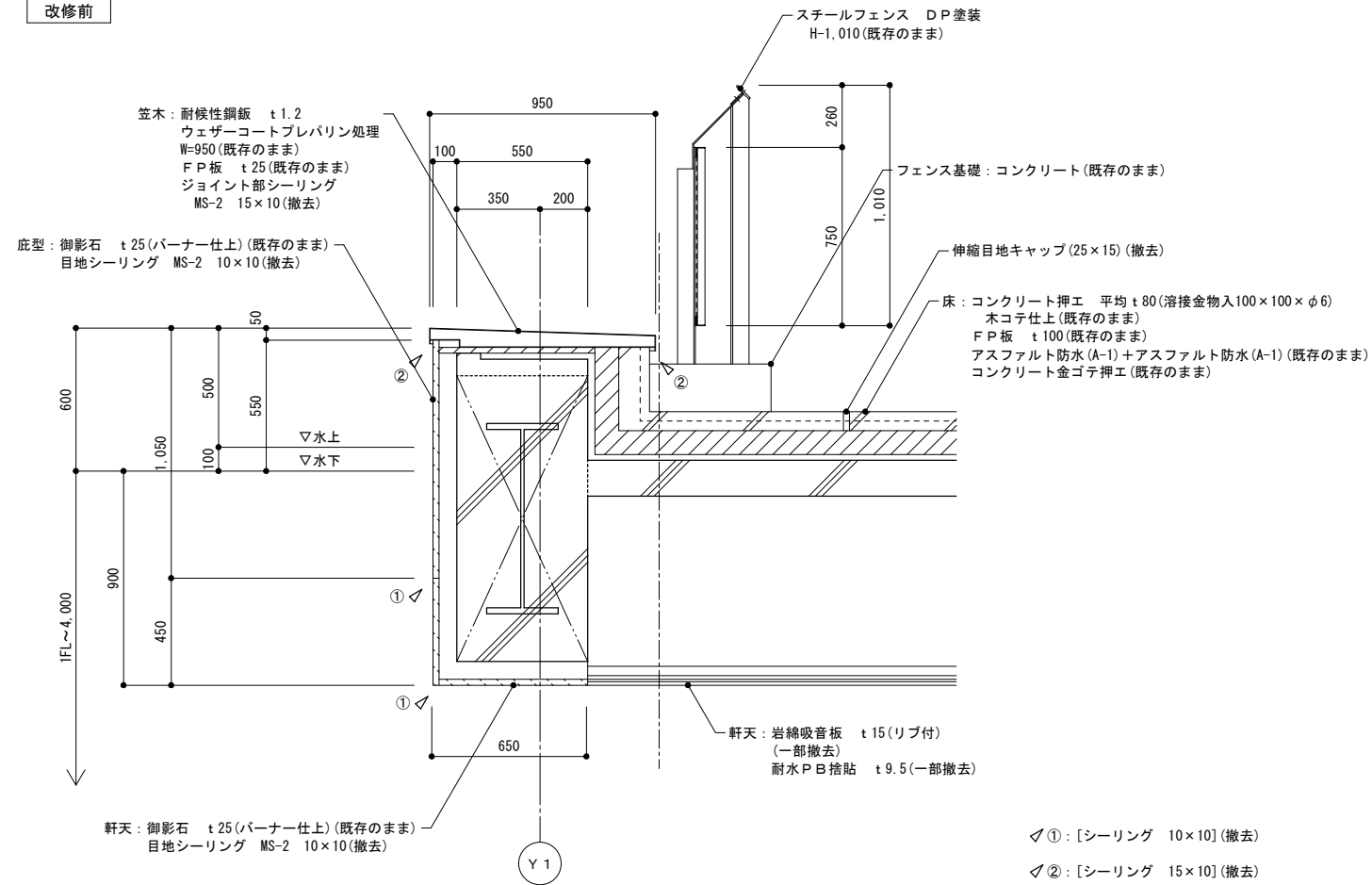
改修前



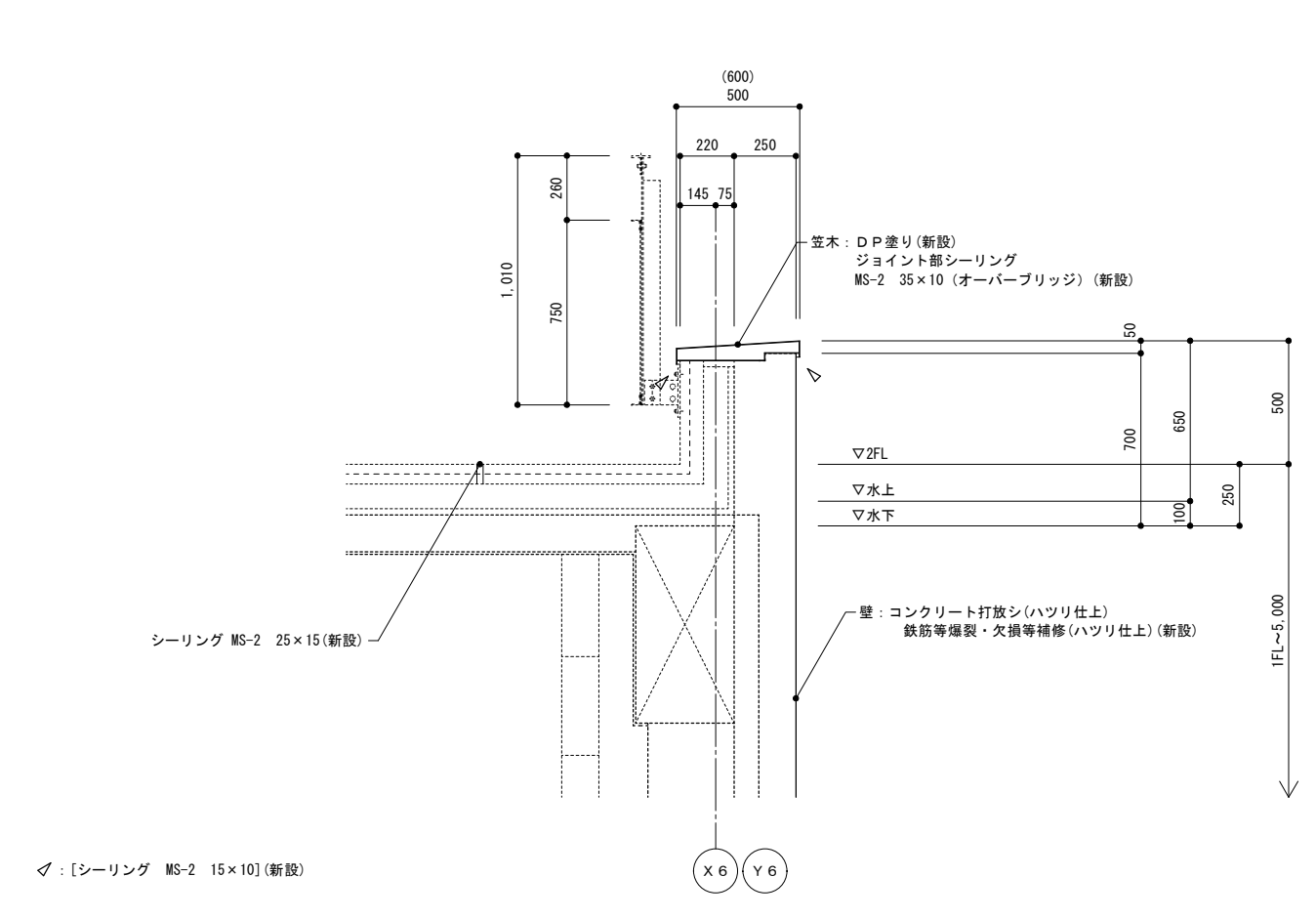
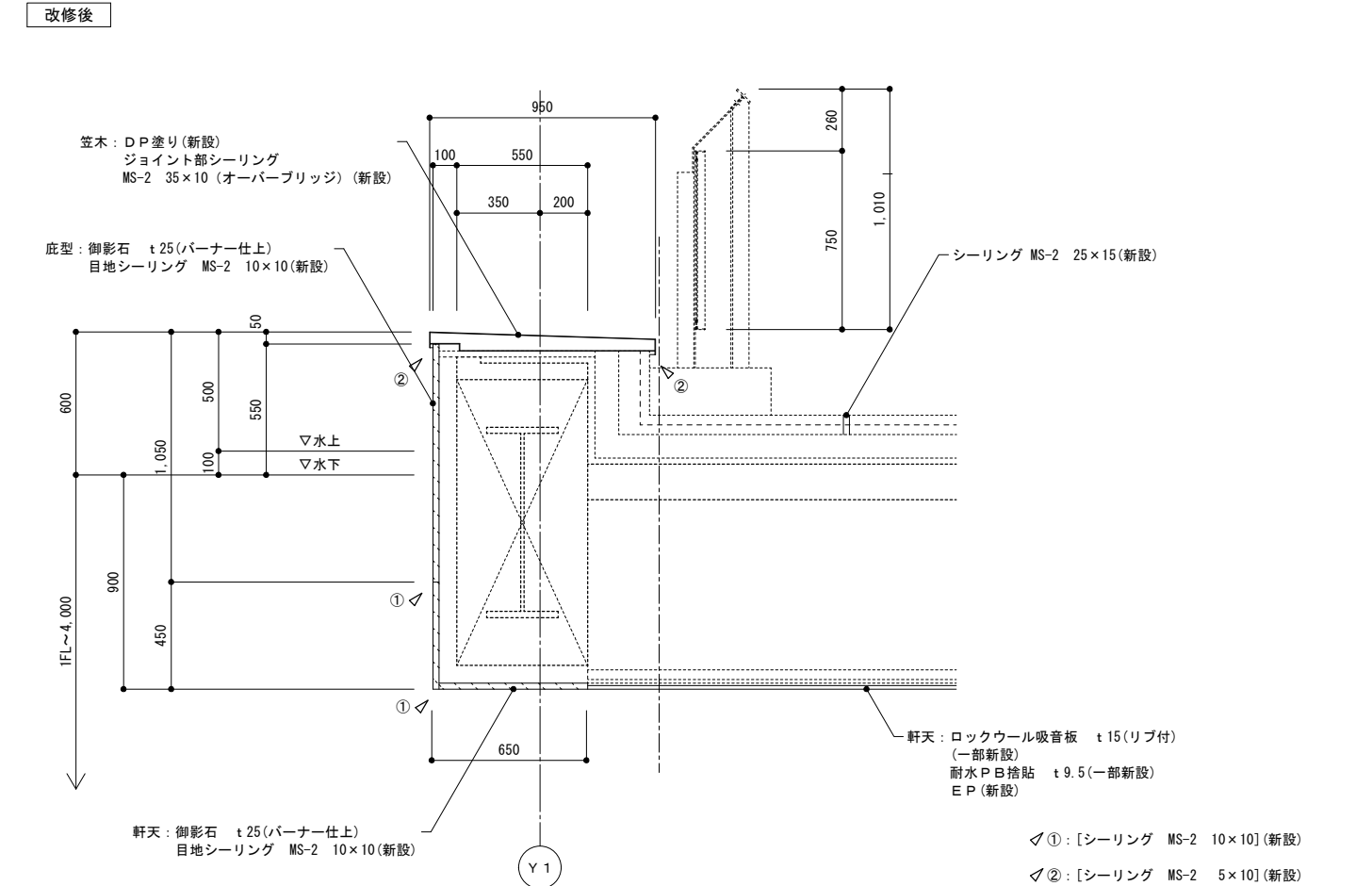
改修後



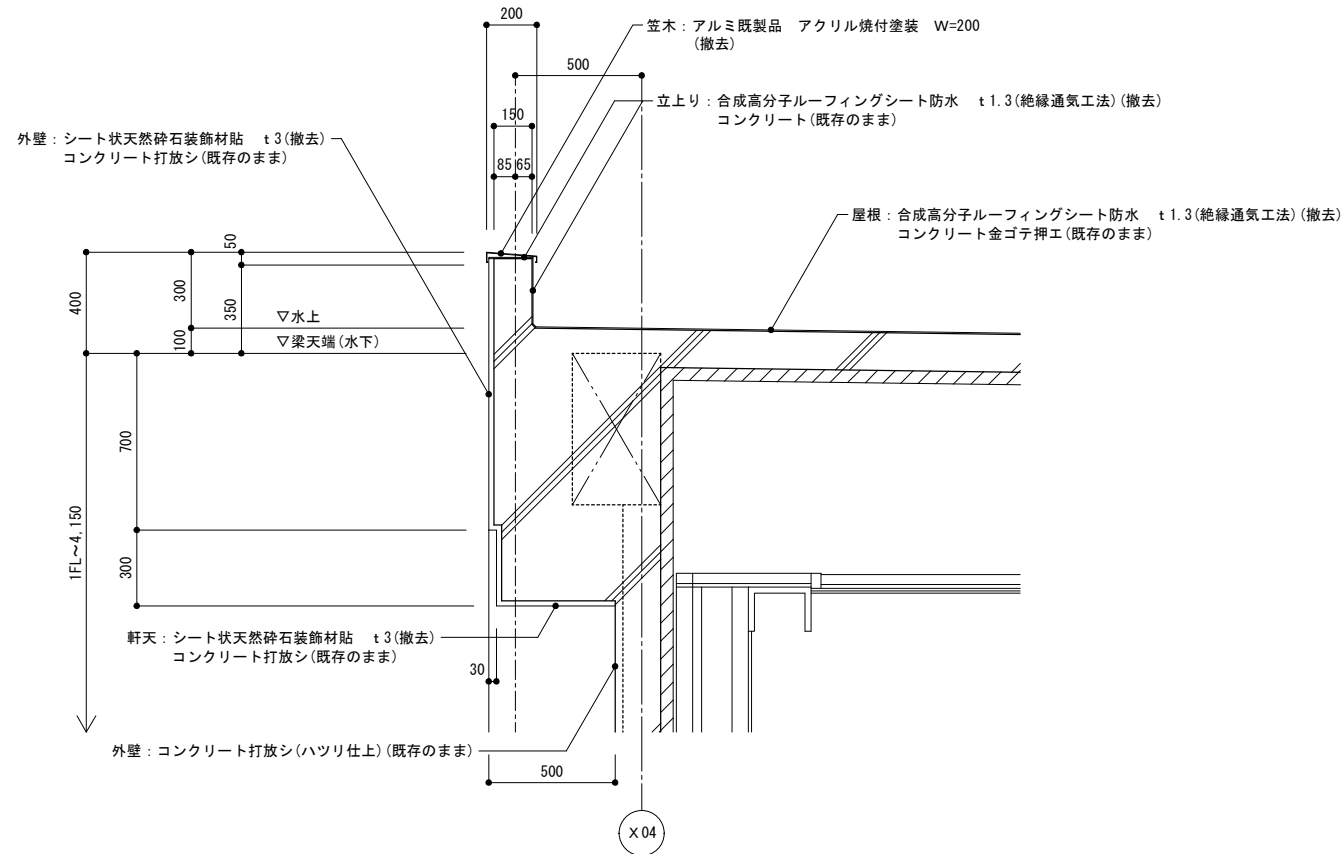
改修前



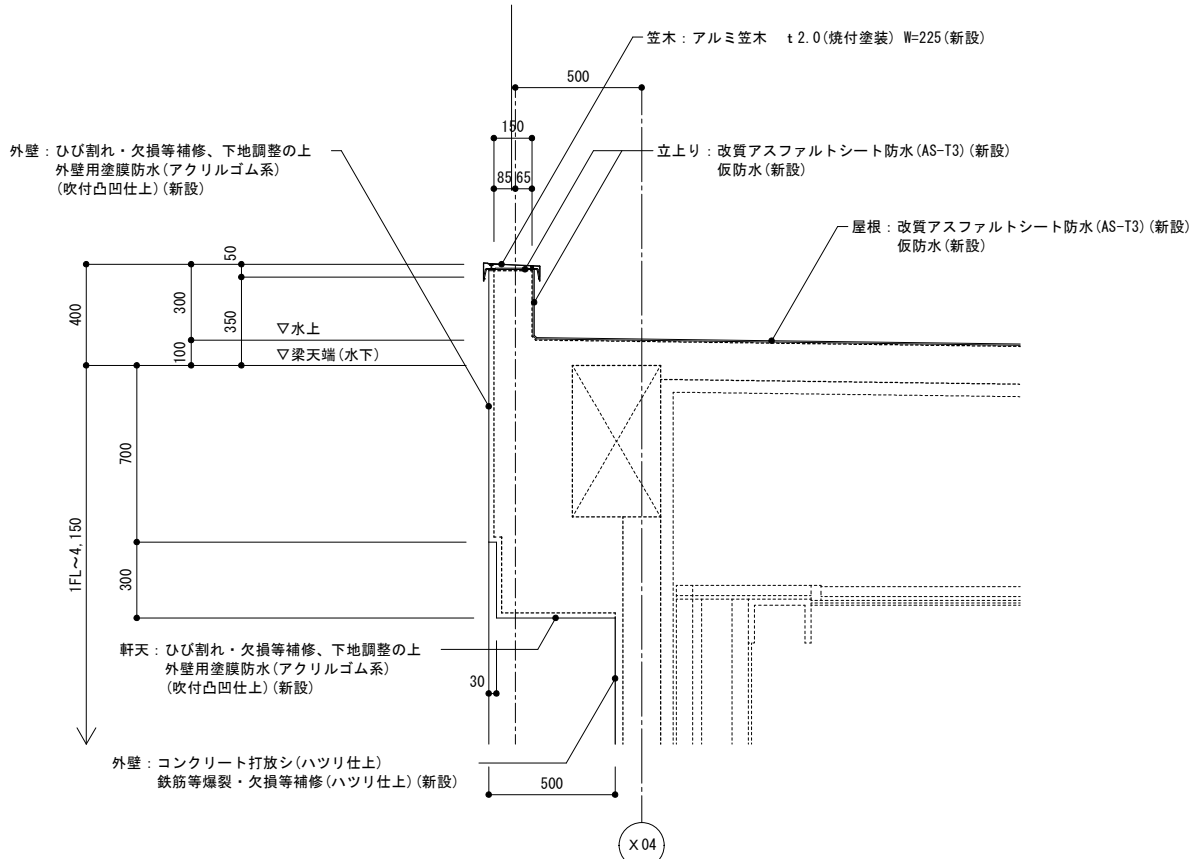
改修後



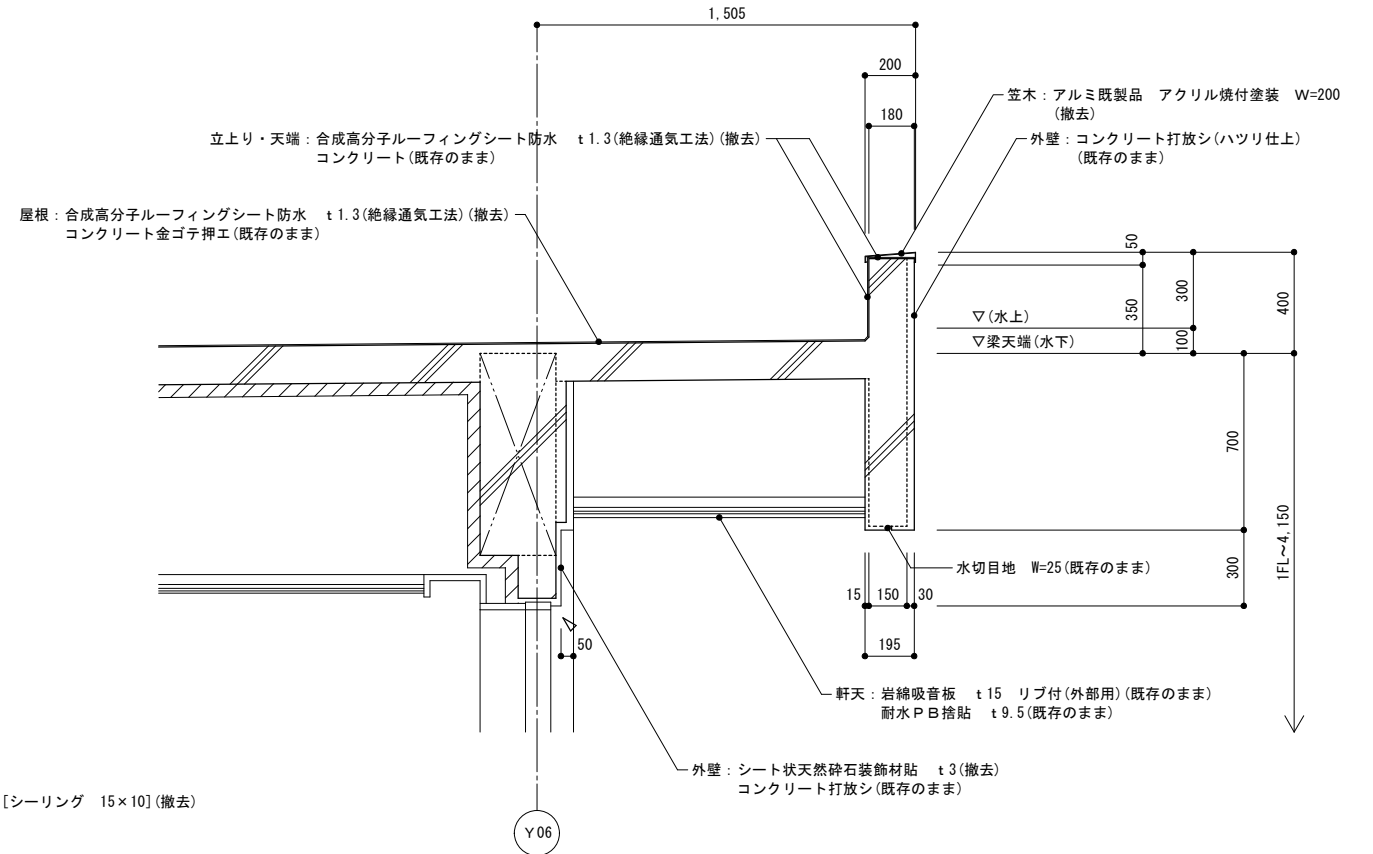
改修前



改修後

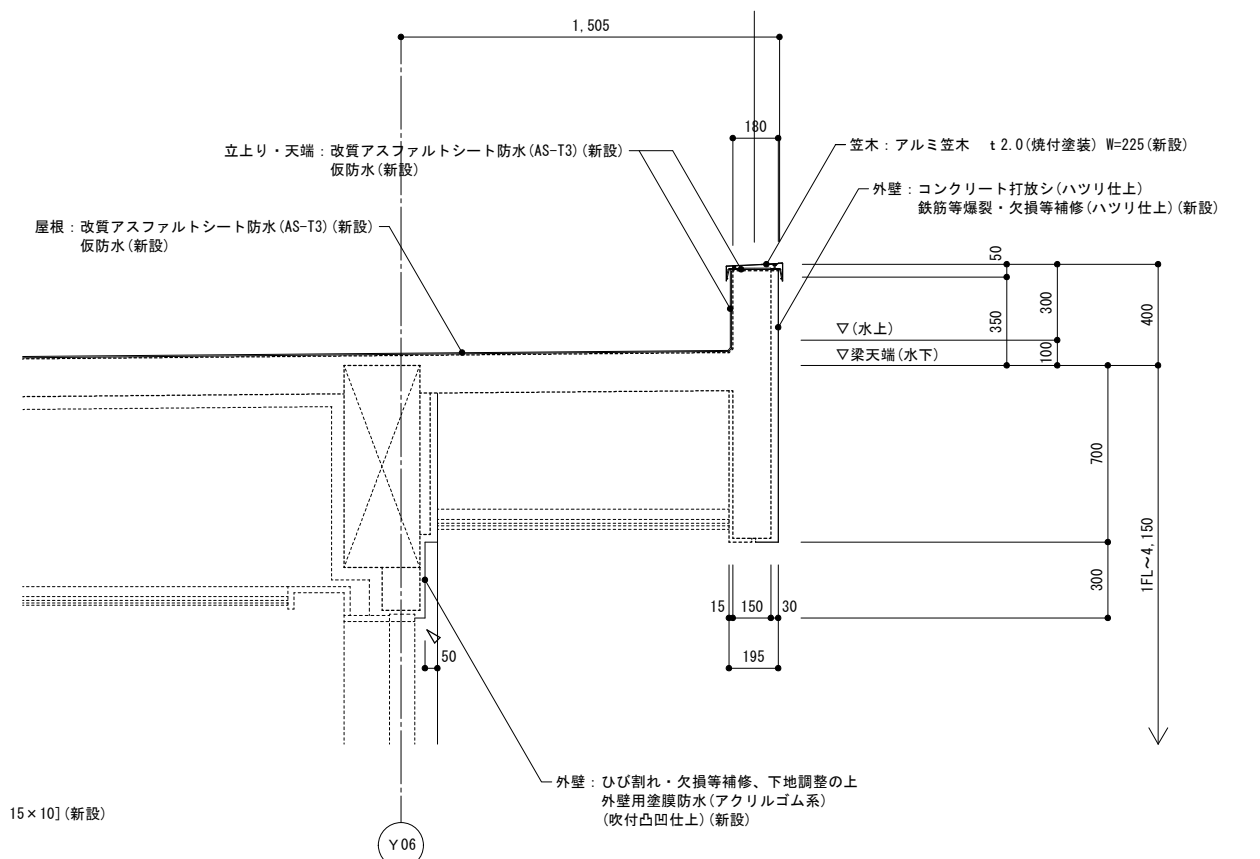


改修前



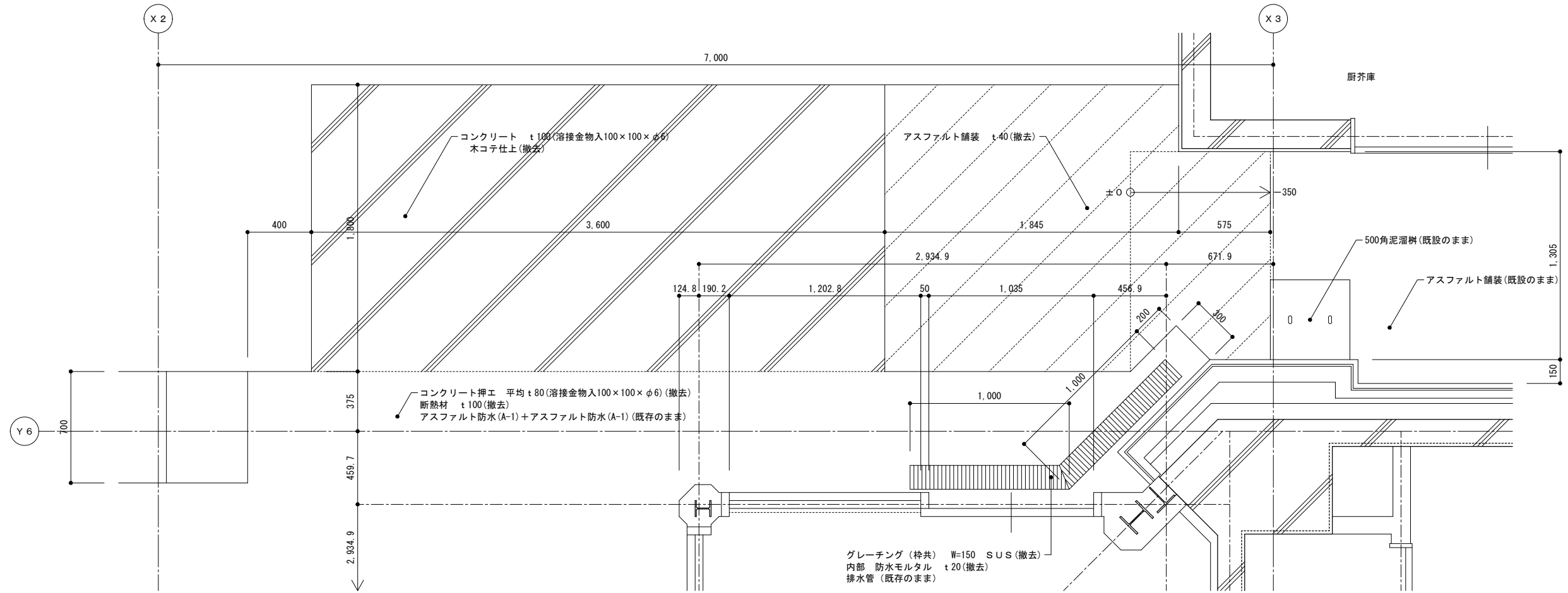
▽: [シーリング 15×10] (撤去)

改修後

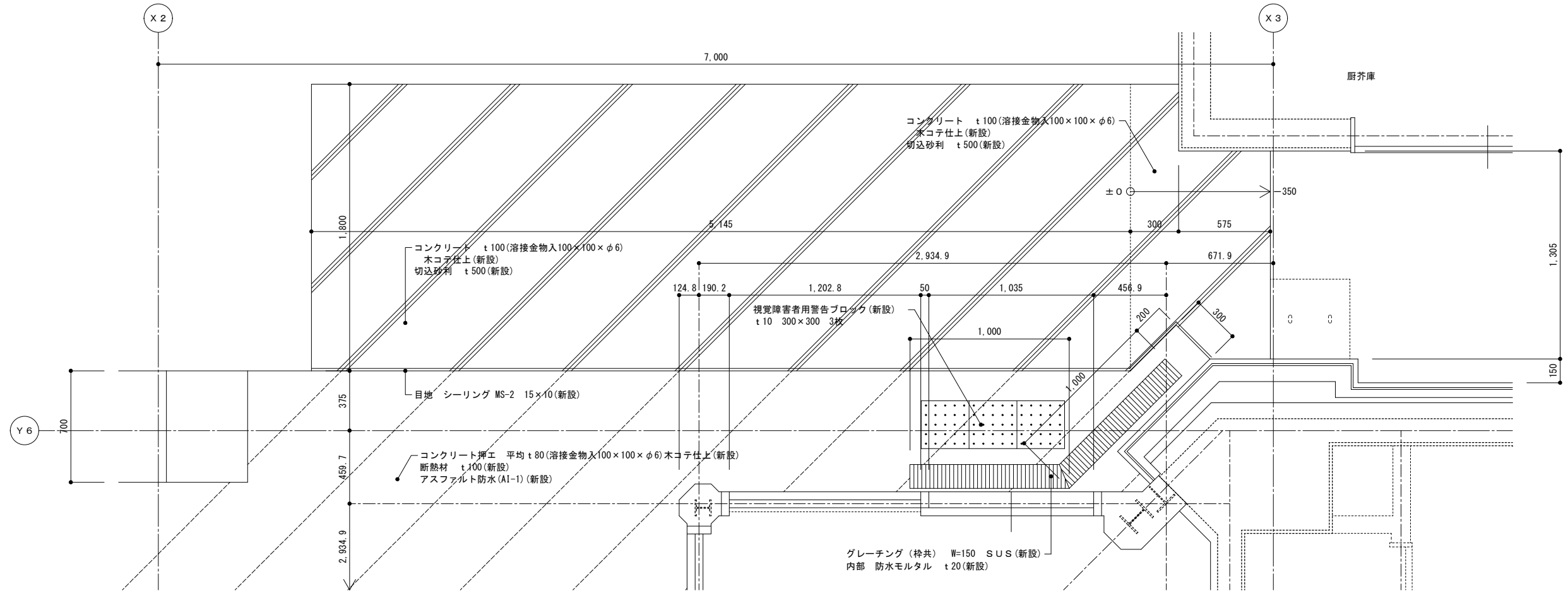


▽: [シーリング MS-2 15×10] (新設)

改修前



改修後

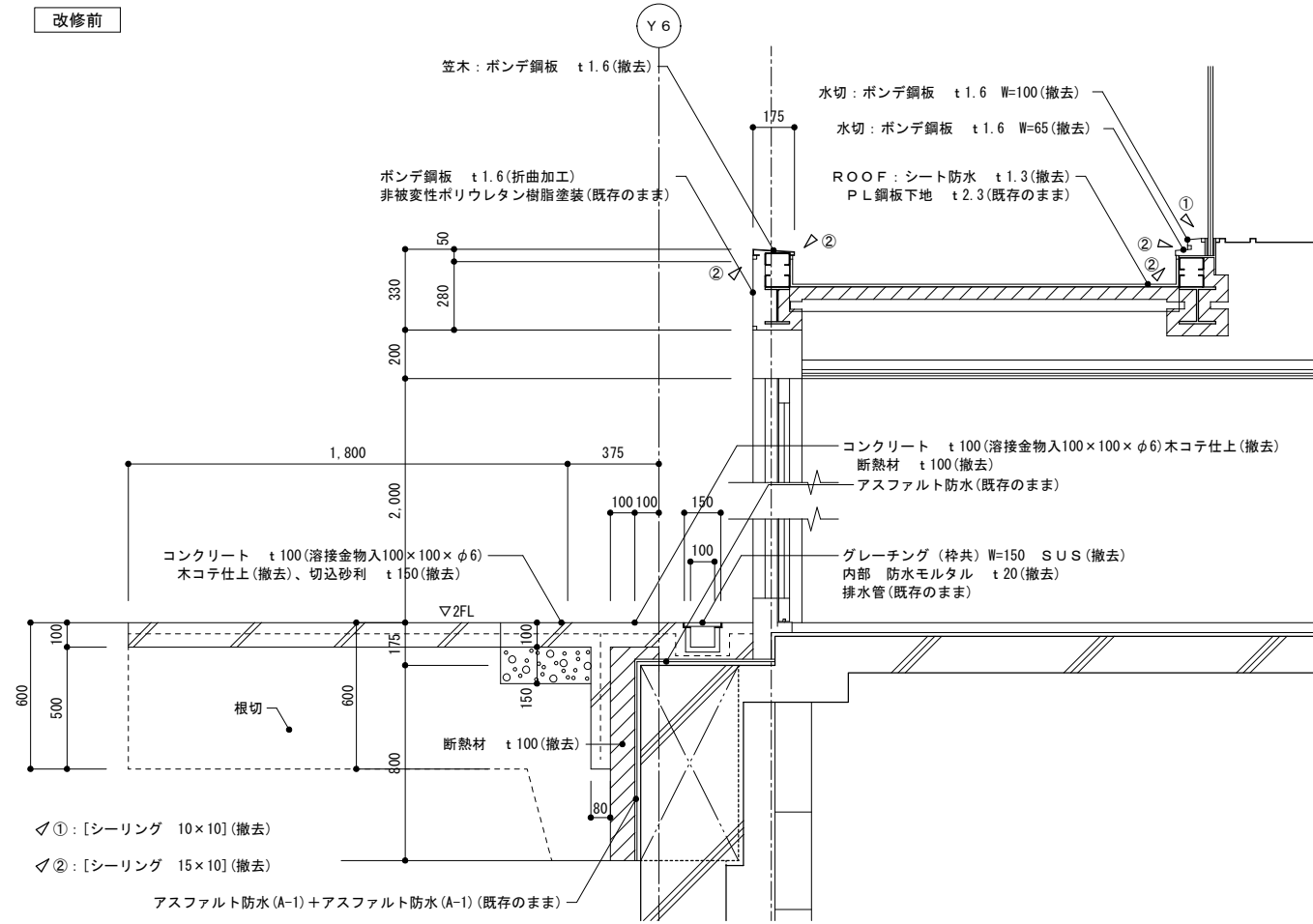


概図	製図	特記

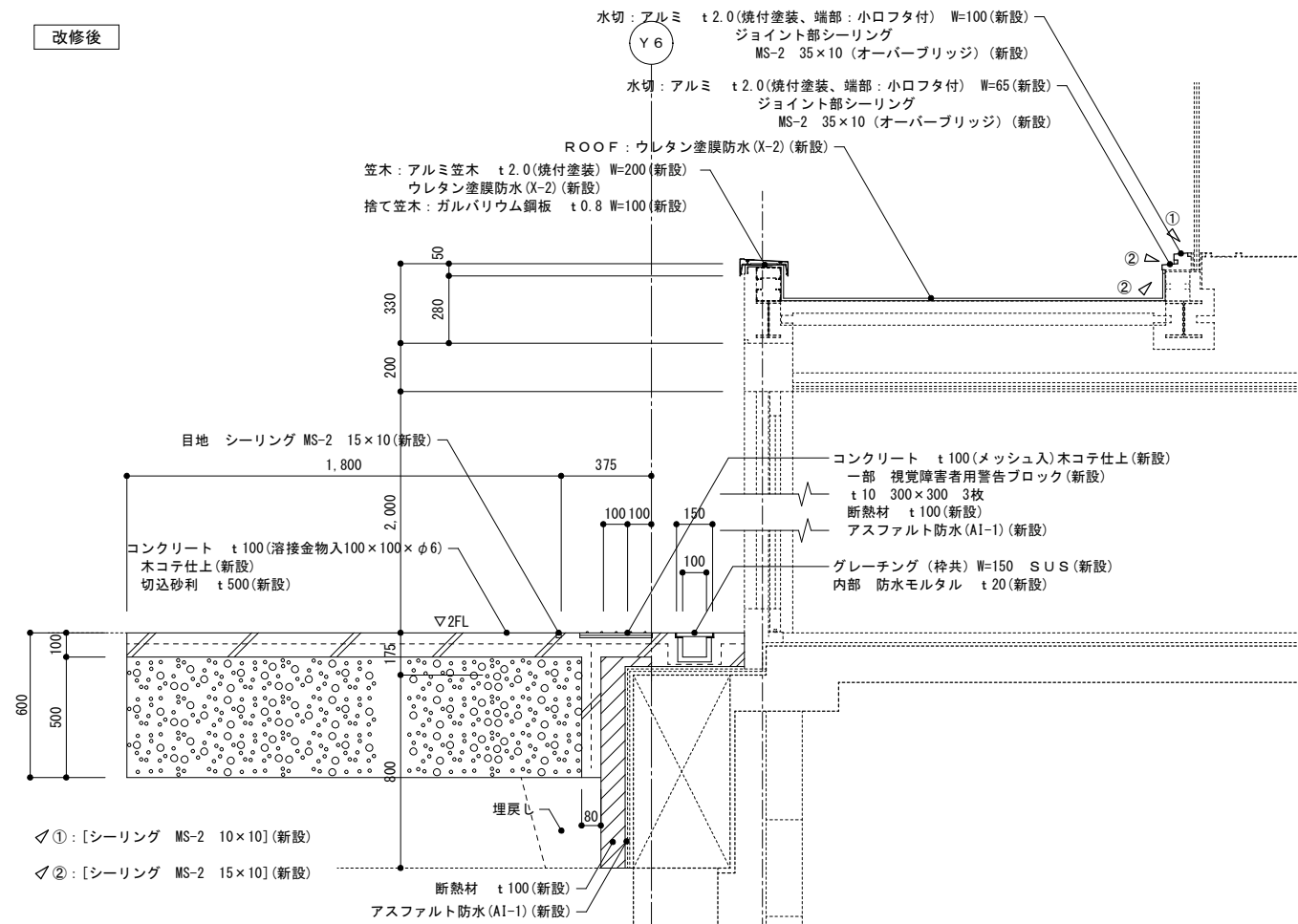
工事名称	札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事
図面名称	部分詳細図(10)
縮尺	1/30

設計年月日		図面番号	A-65
区分		縮尺	1/30

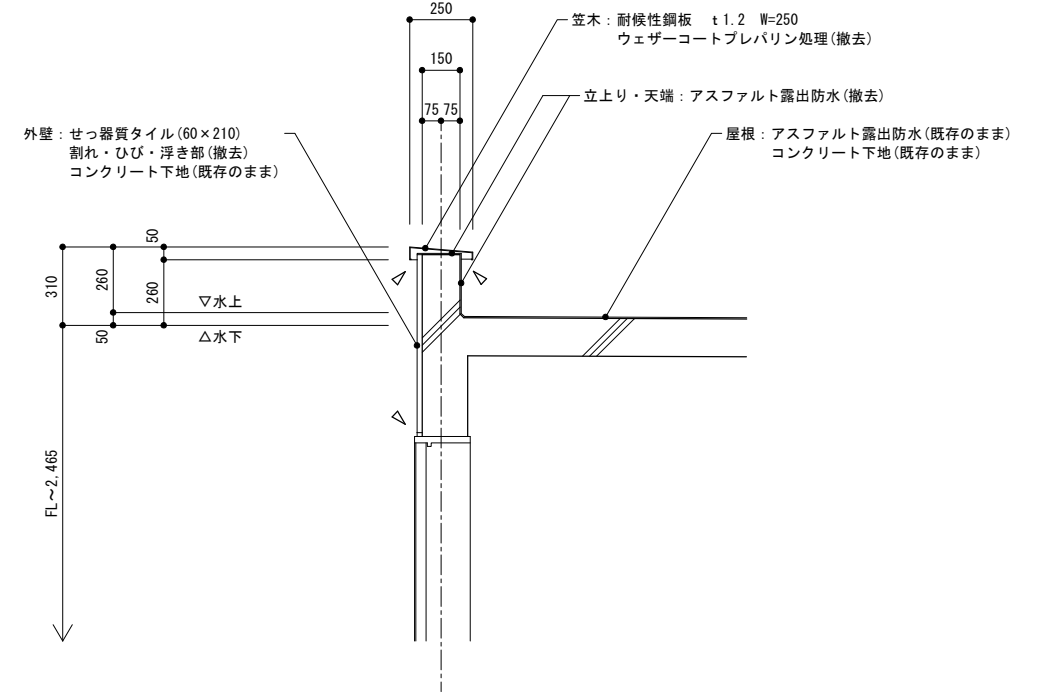
改修前



改修後

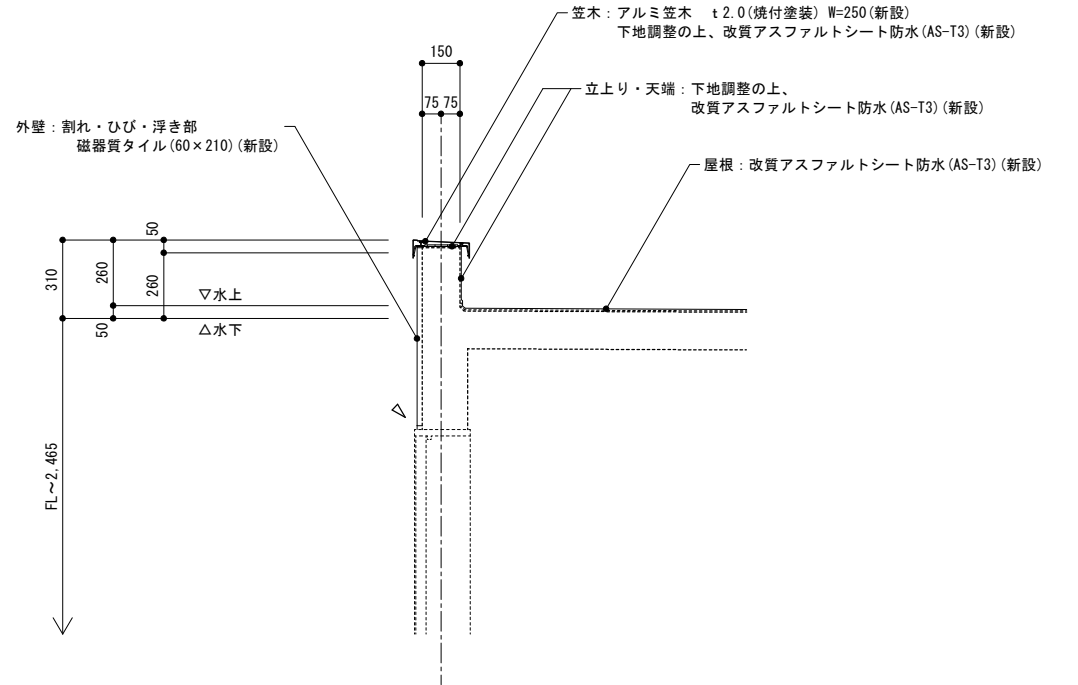


改修前

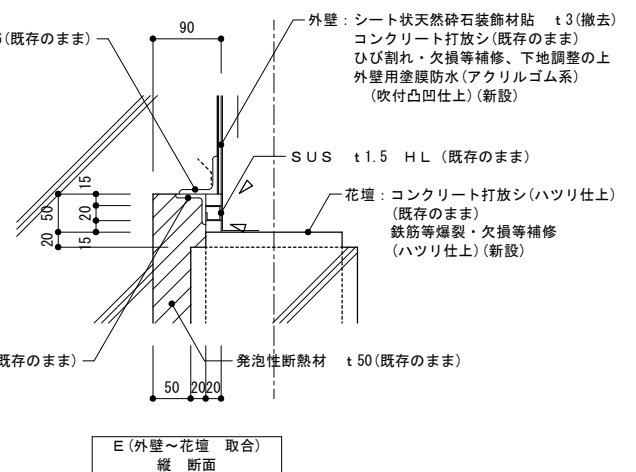
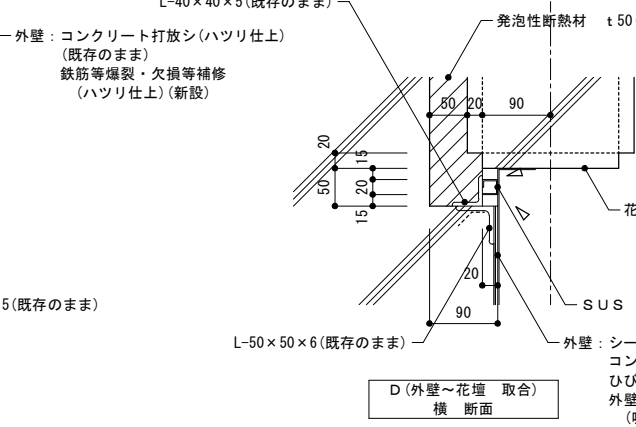
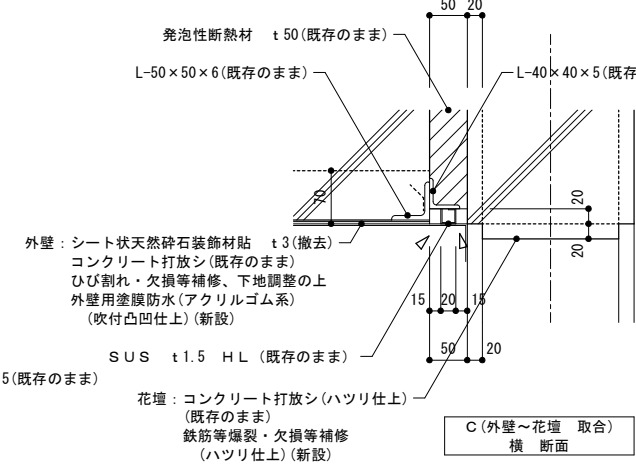
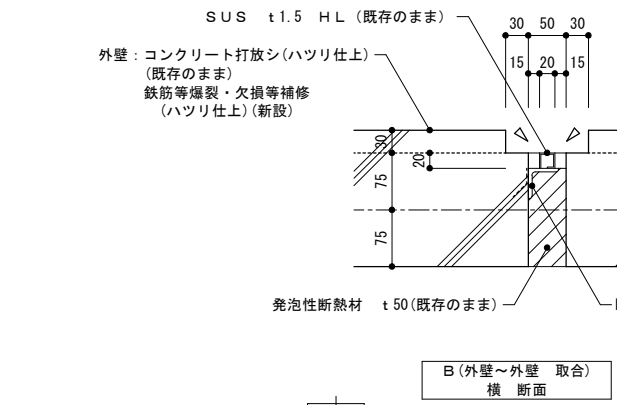
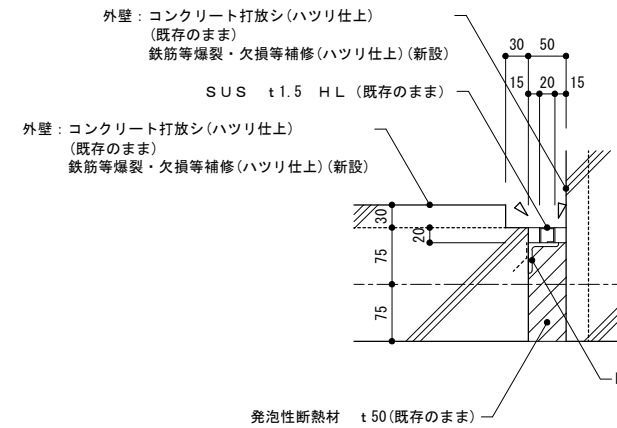
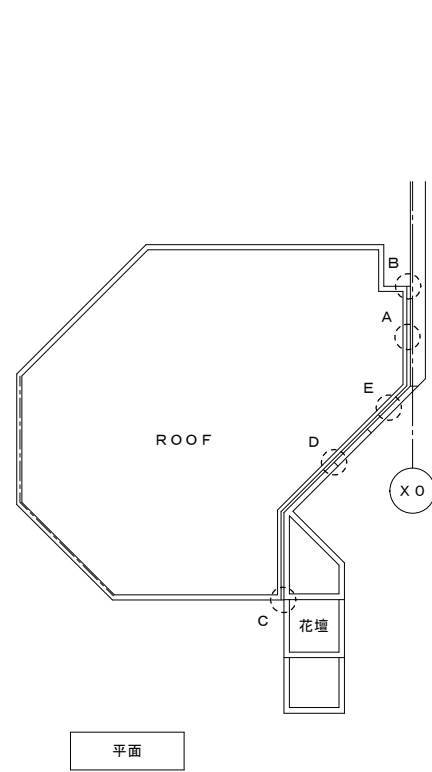


①: [シーリング 15×10](撤去)

改修後



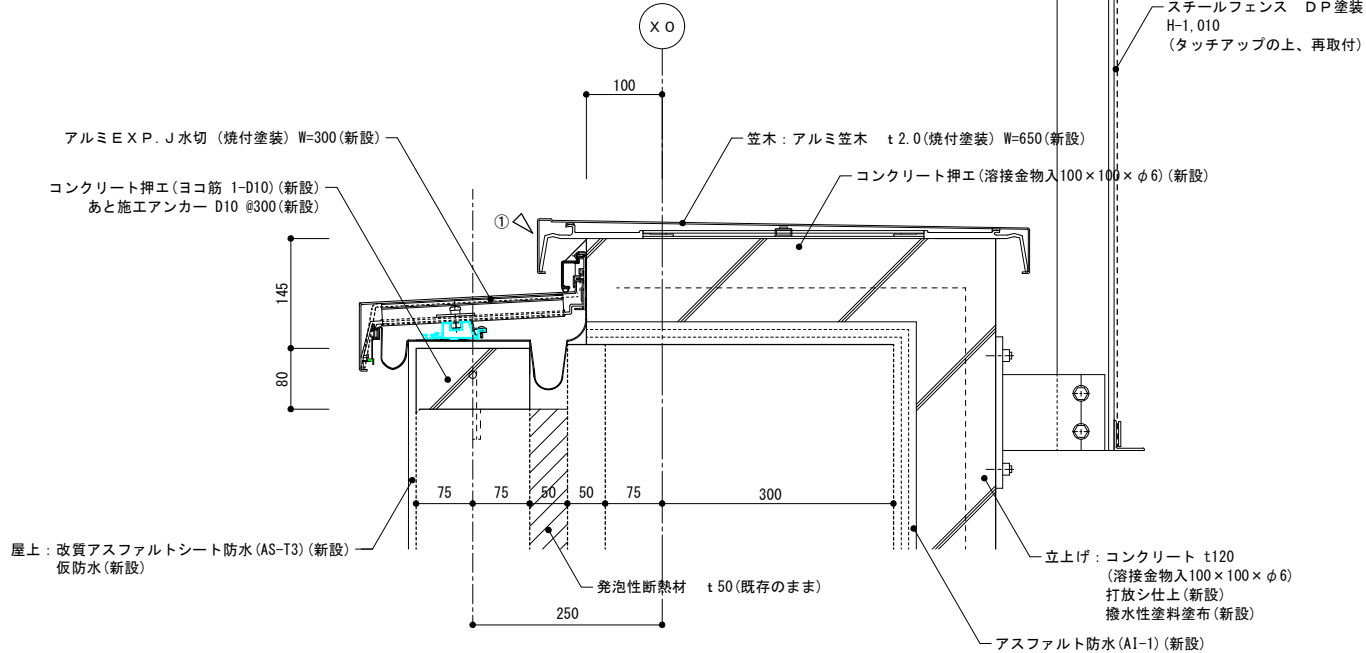
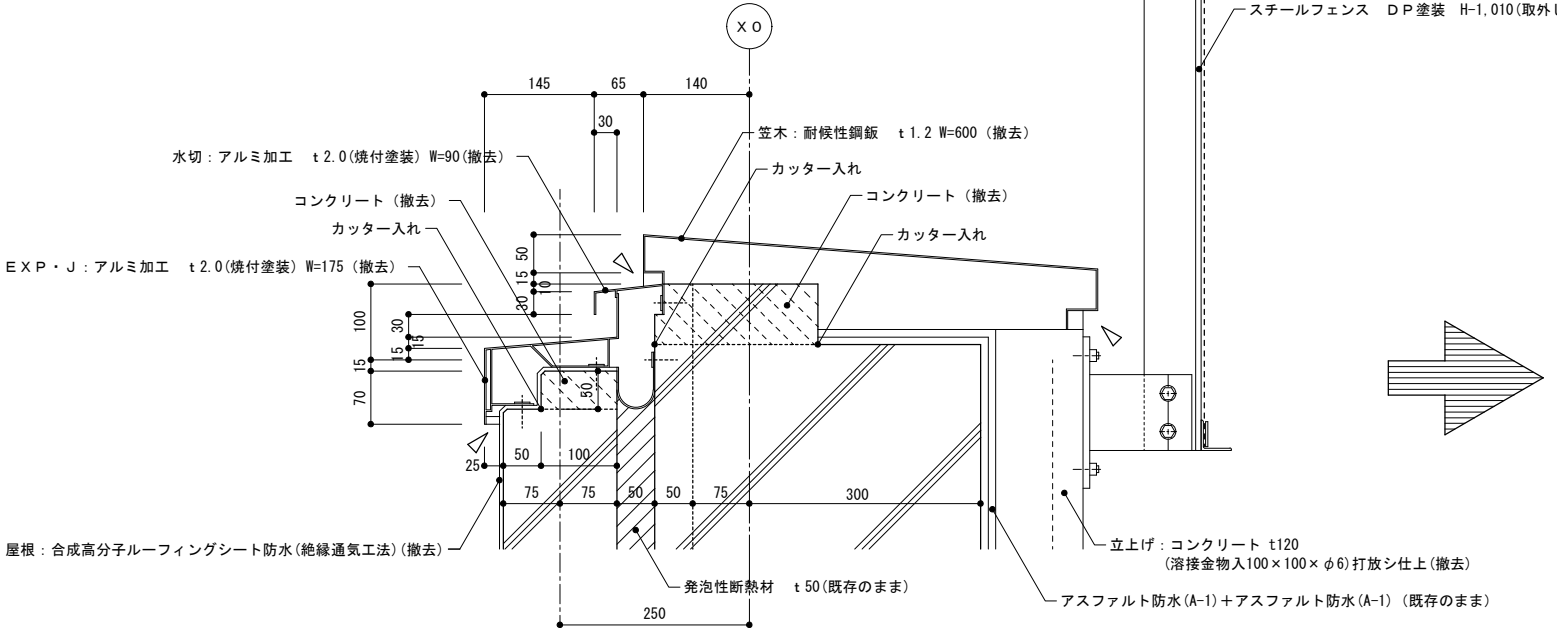
①: [シーリング MS-2 15×10](新設)



シーリング MS-2 15×10 (新設)
(既存シーリング撤去)

改修前

改修後



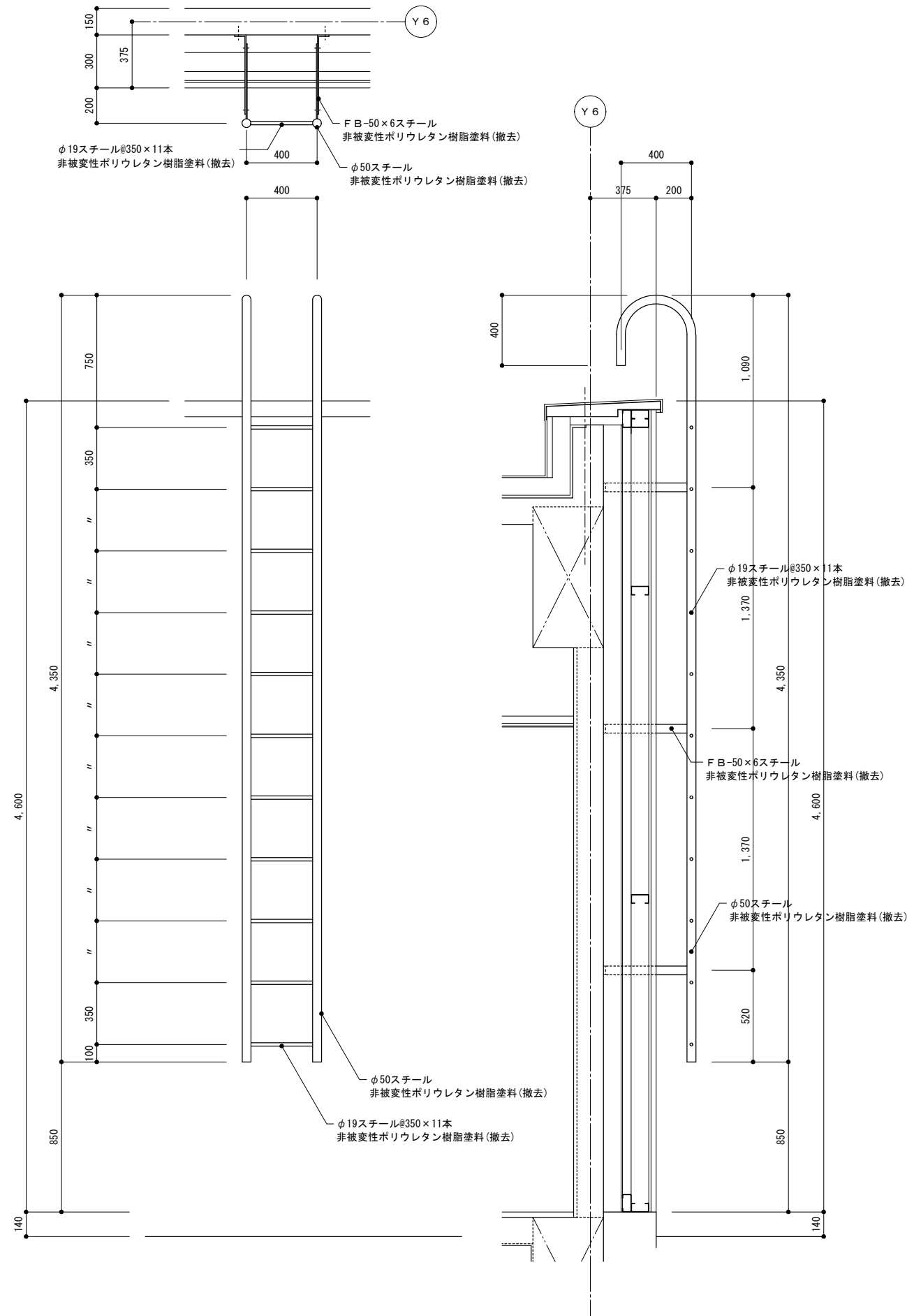
シーリング 15×10 (撤去)

A(笠木～笠木 取合)
縦断面

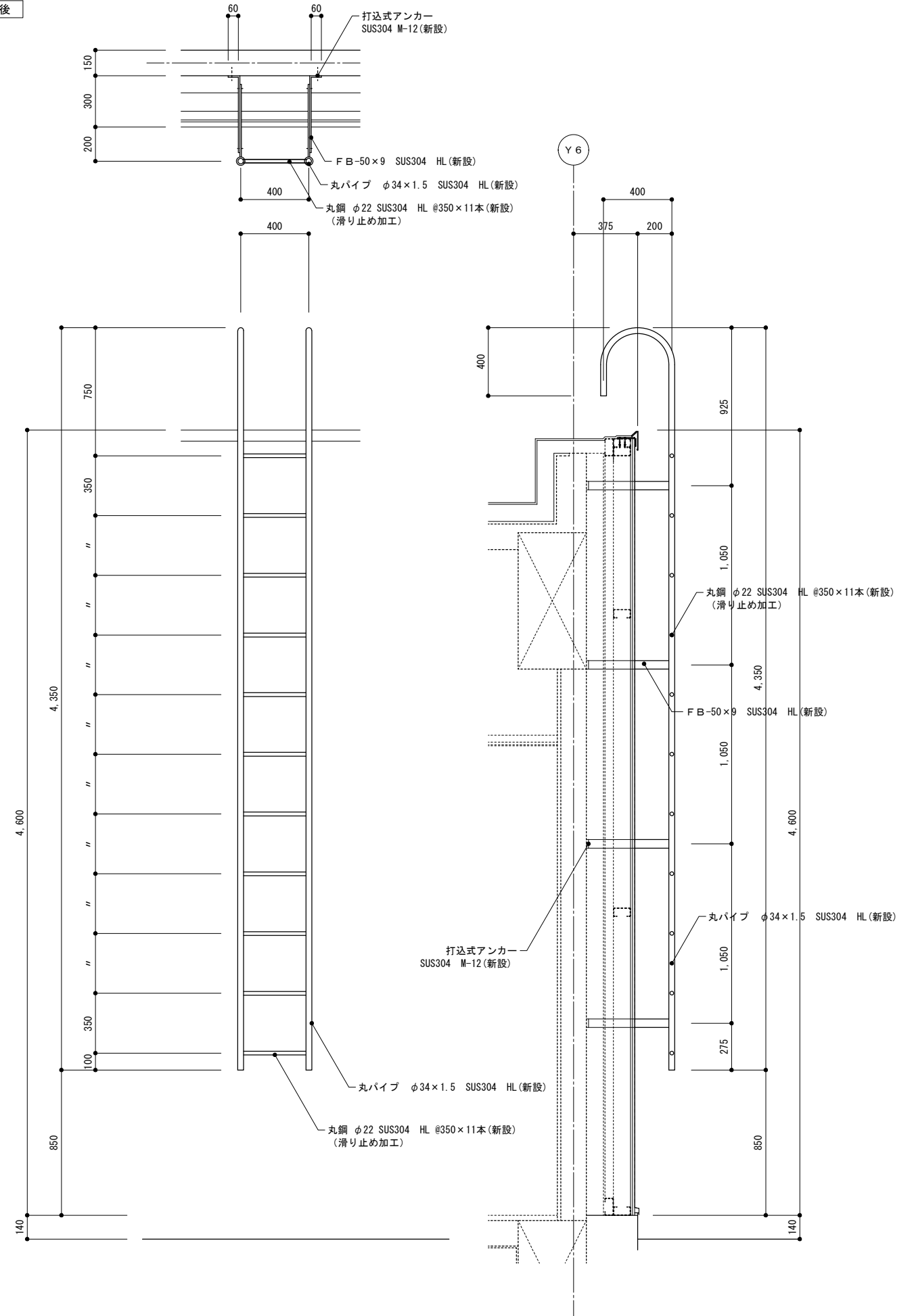
①：シーリング MS-2 30×30/2 (新設)

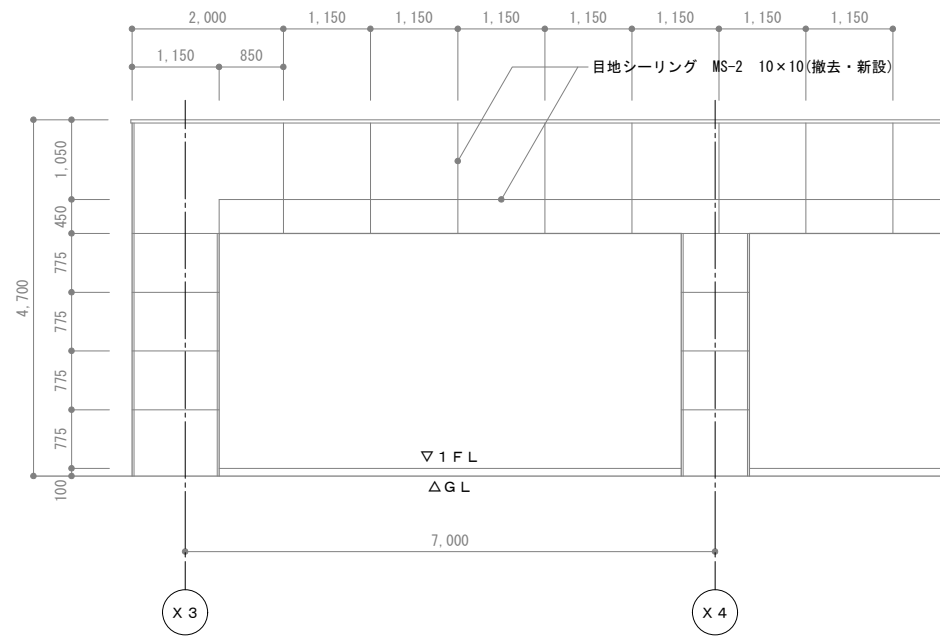
有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	図面名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面番号 A-67
	図面名称 部分詳細図(12)	設計年月日 1/10、1/300

改修前

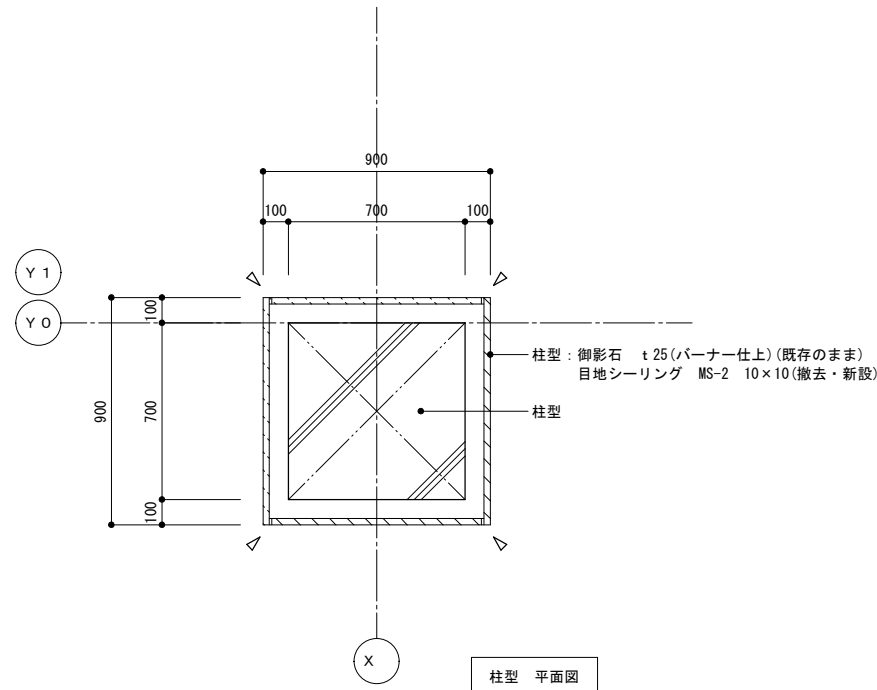


改修後

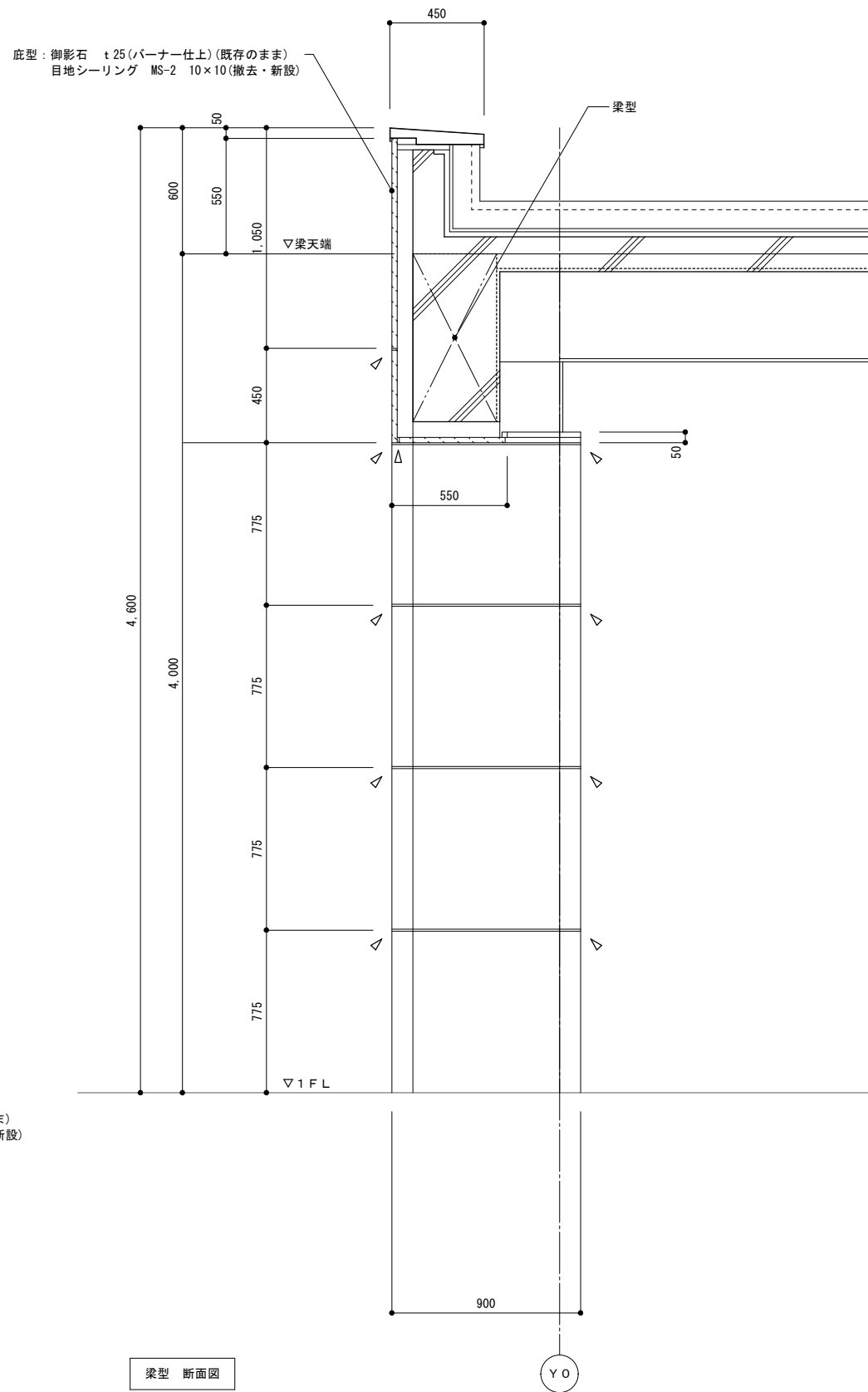




正面 立面図



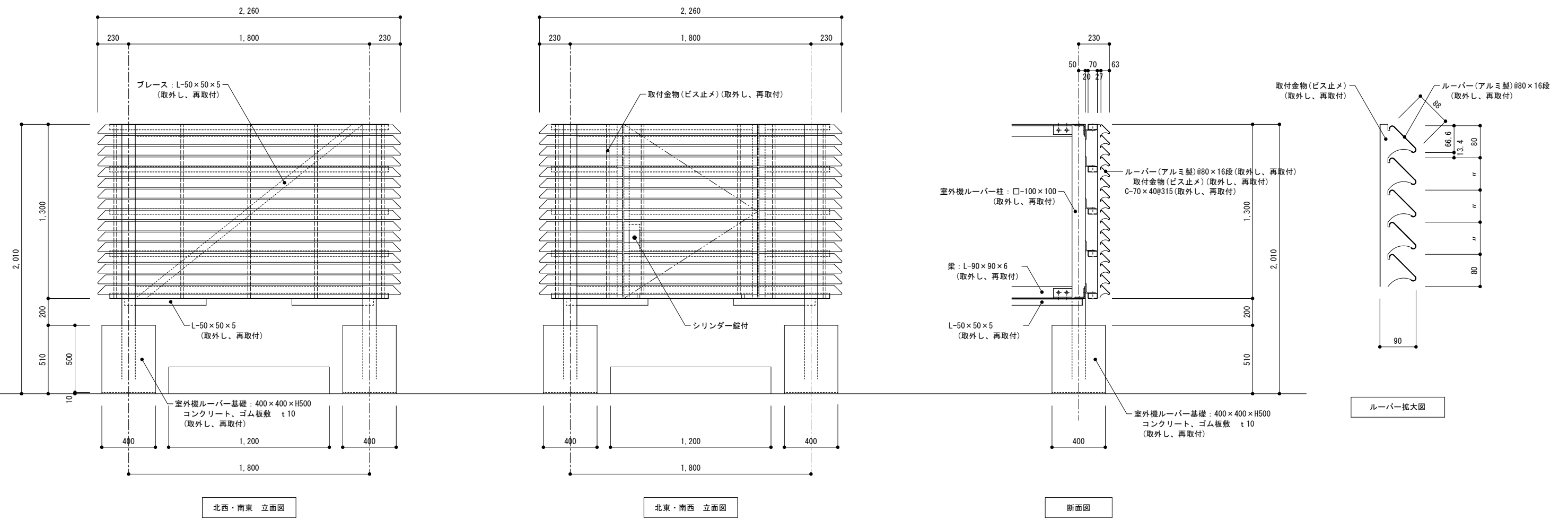
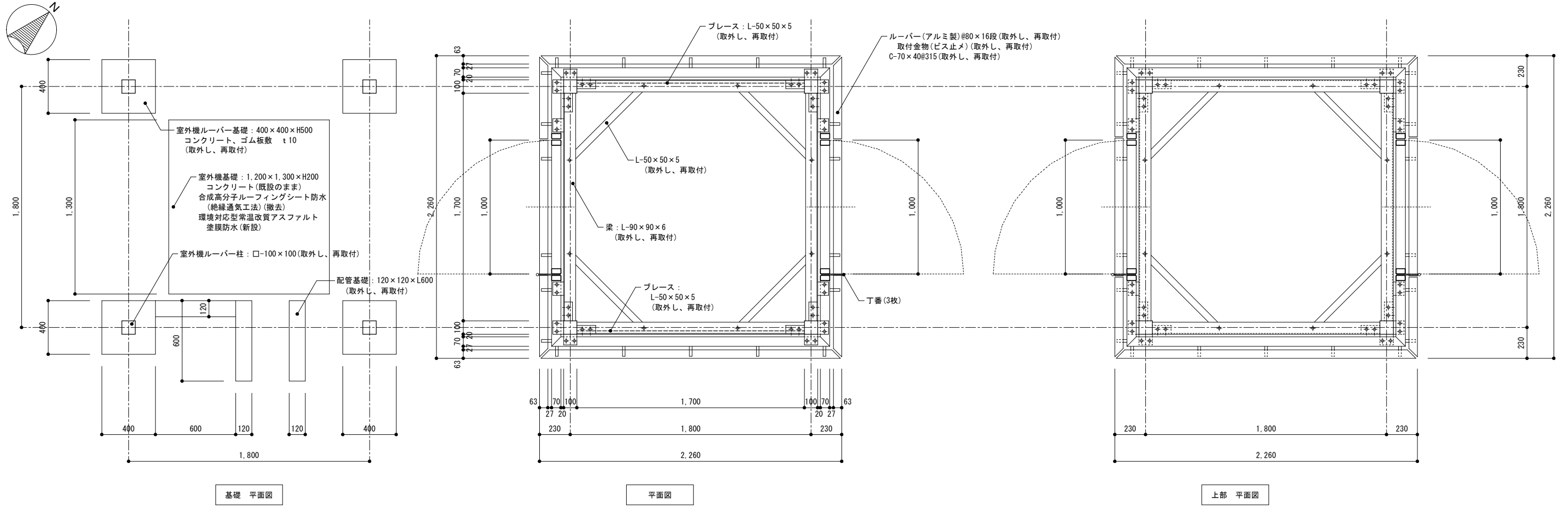
柱型 平面図



梁型 断面図

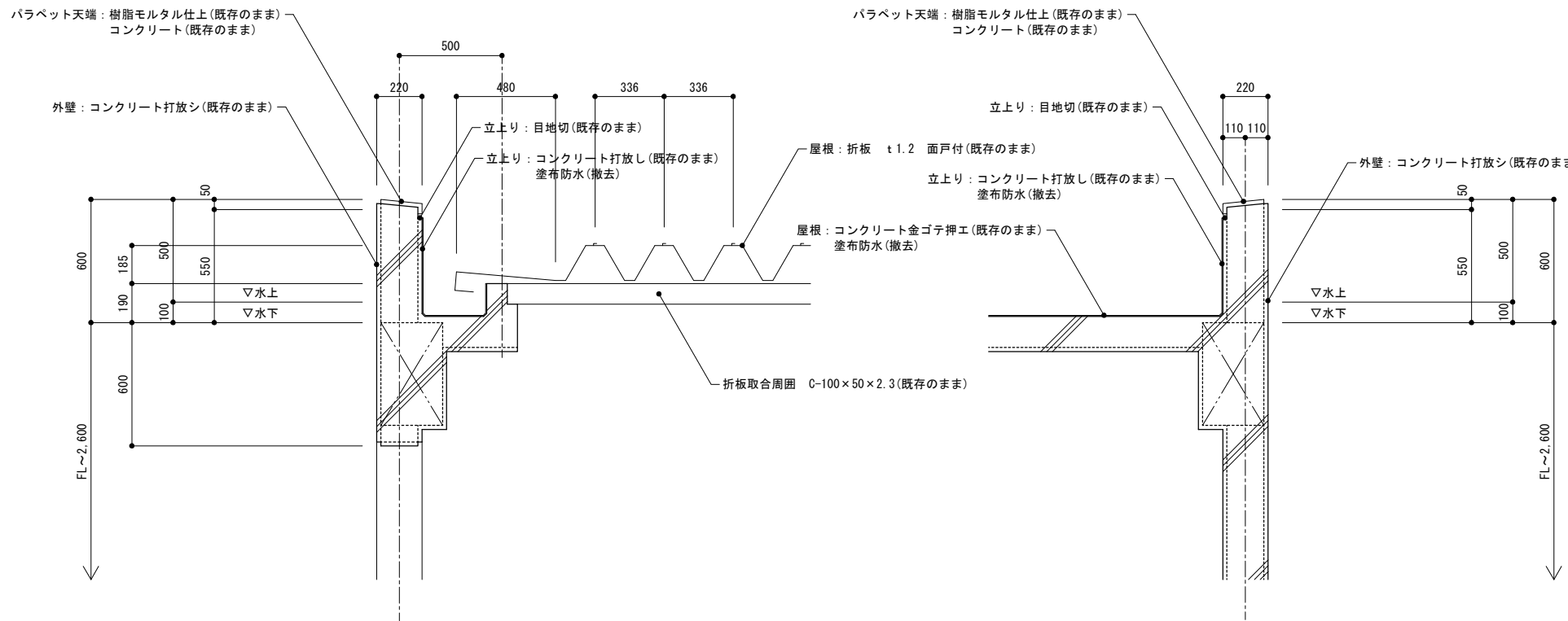
∠ : [シーリング MS-2 10x10] (撤去・新設)

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	概図	製図	特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
				札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	部分詳細図(14)		A-69
					縮尺	区分	
					1/30		

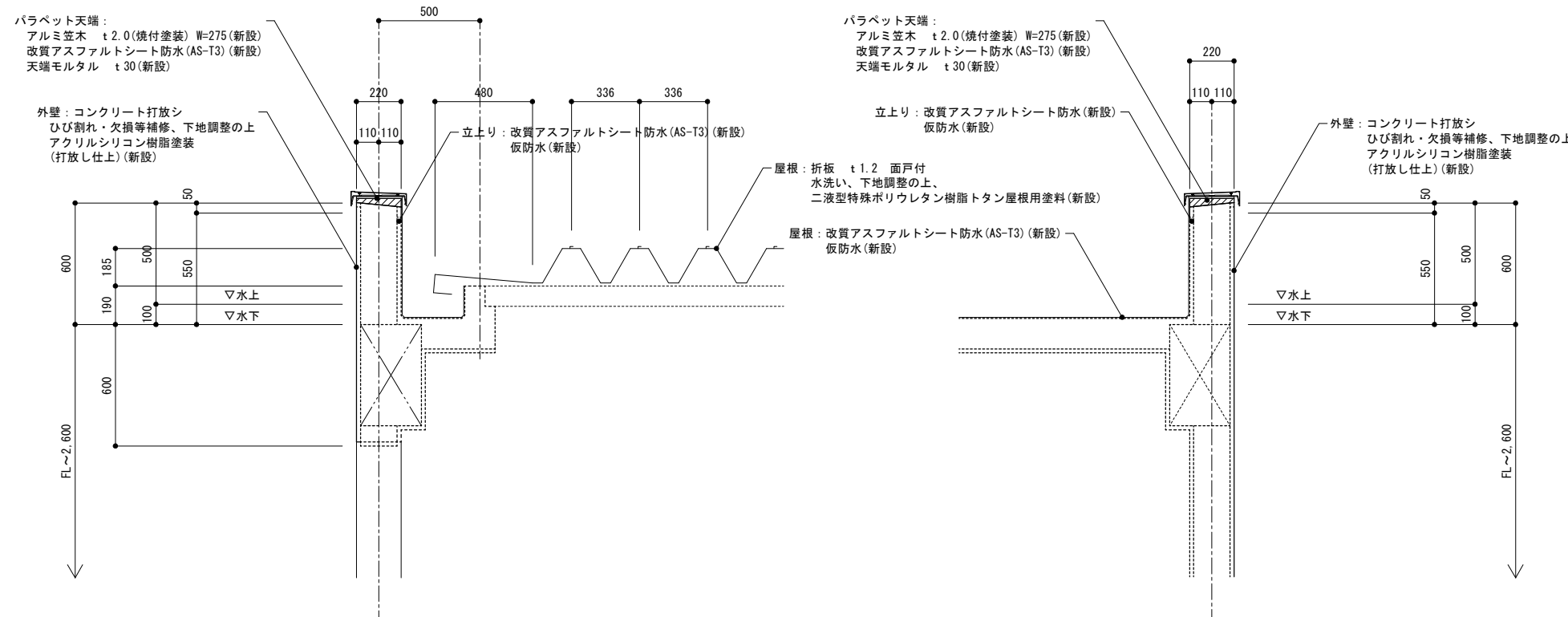


有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石) 第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	概図	製図	特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
				札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	部分詳細図(15)		A-70
					縮尺	区分	
					1/30		

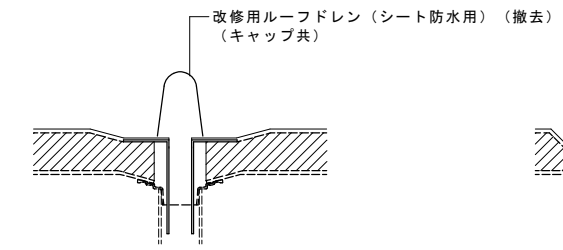
改修前



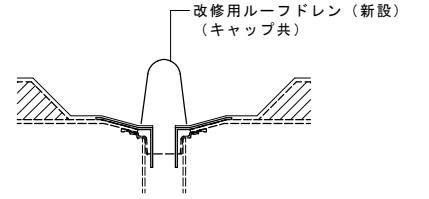
改修後



改修前

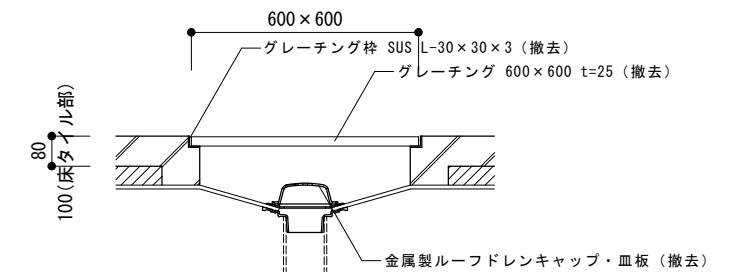


改修後

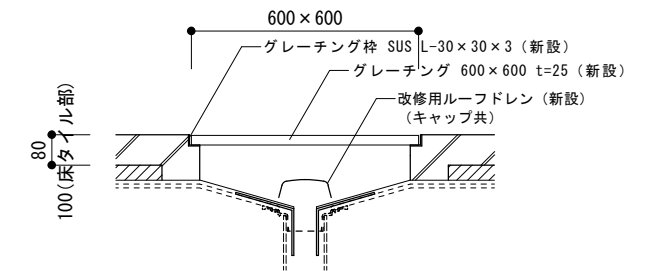


ルーフドレン詳細図(通路、階段)

改修前

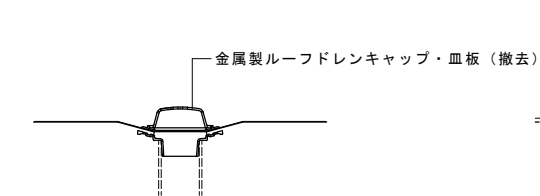


改修後

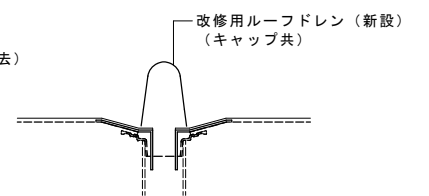


ルーフドレン詳細図(厨芥庫、プロパン庫・塵芥置場、風除室、レクチャー室棟)

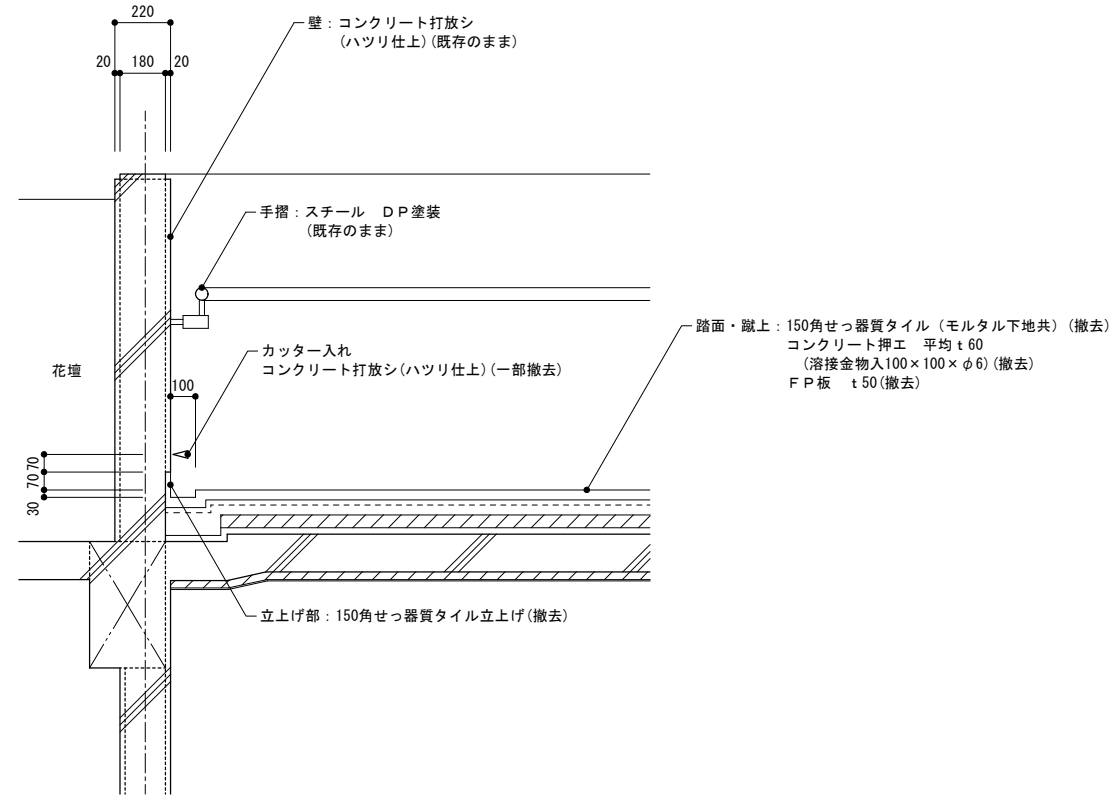
改修前



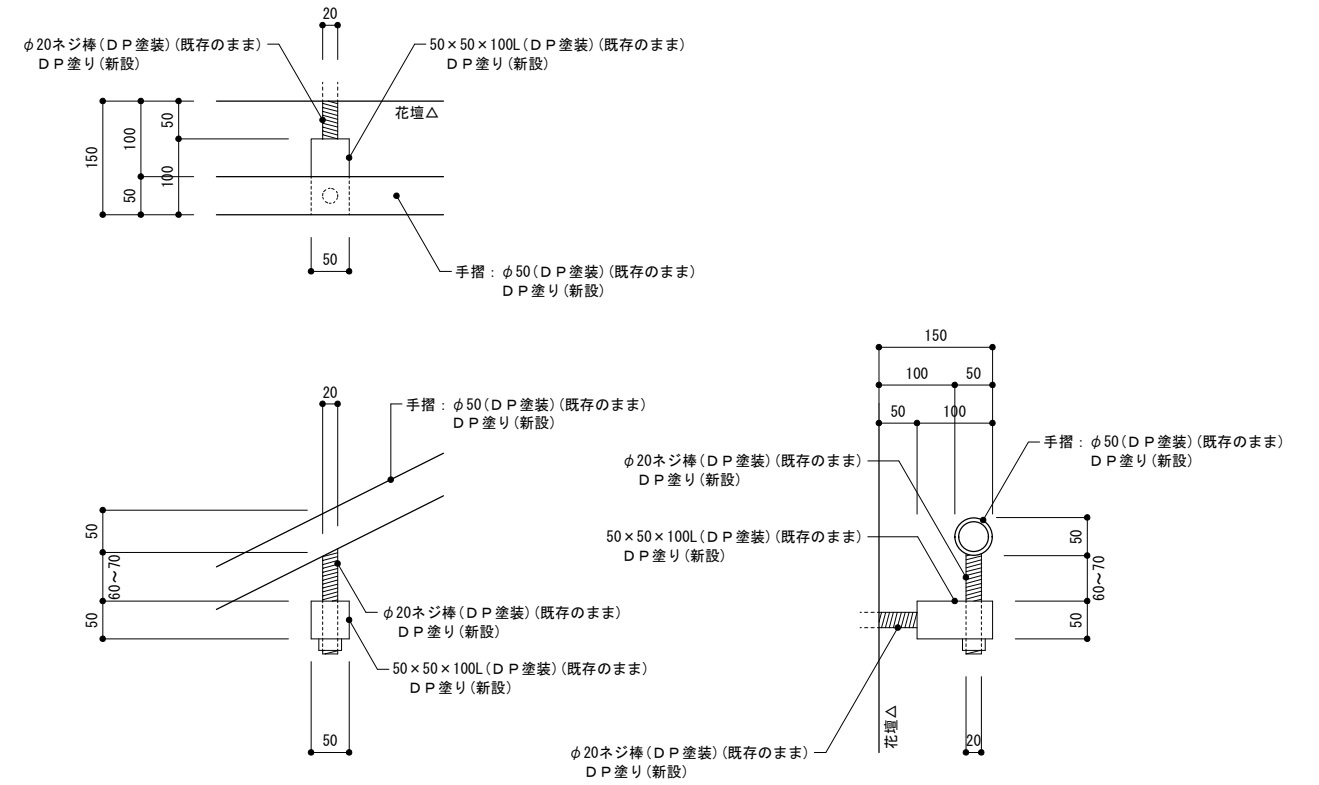
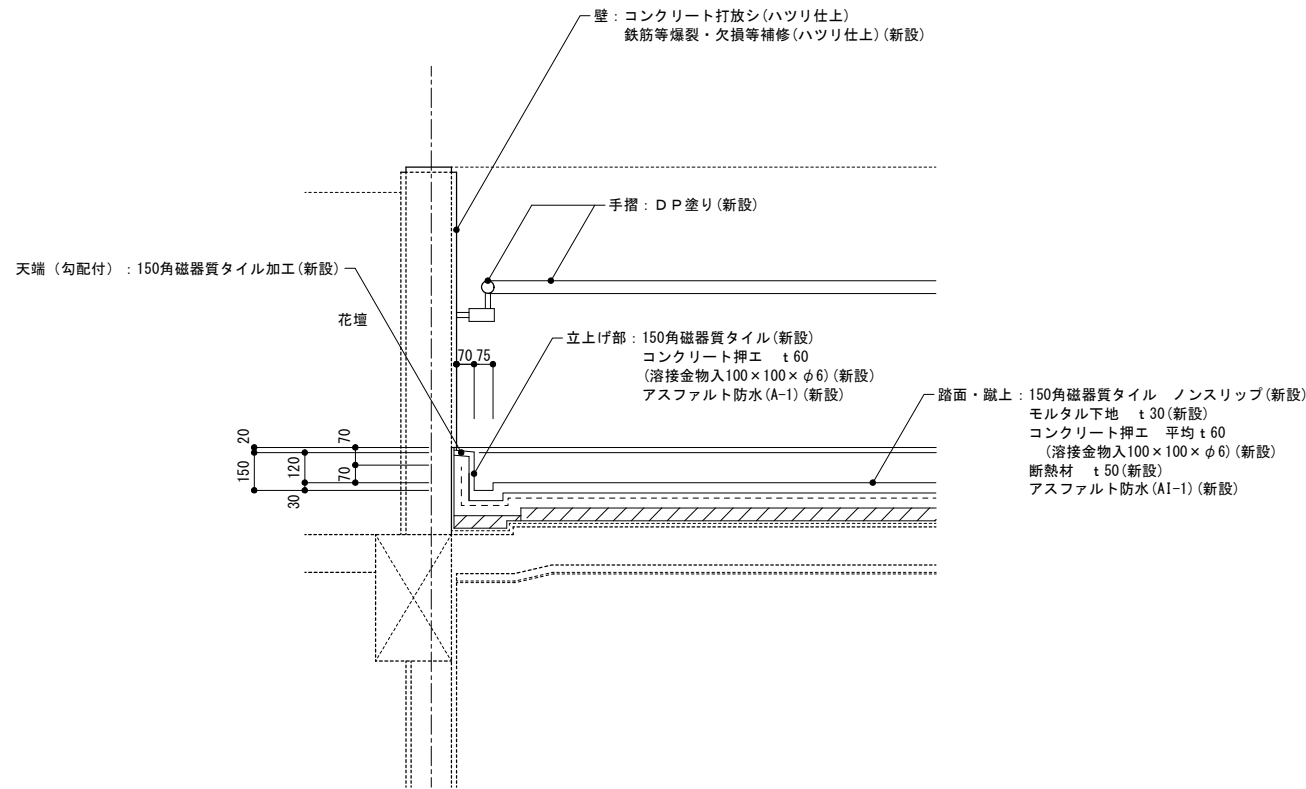
改修後



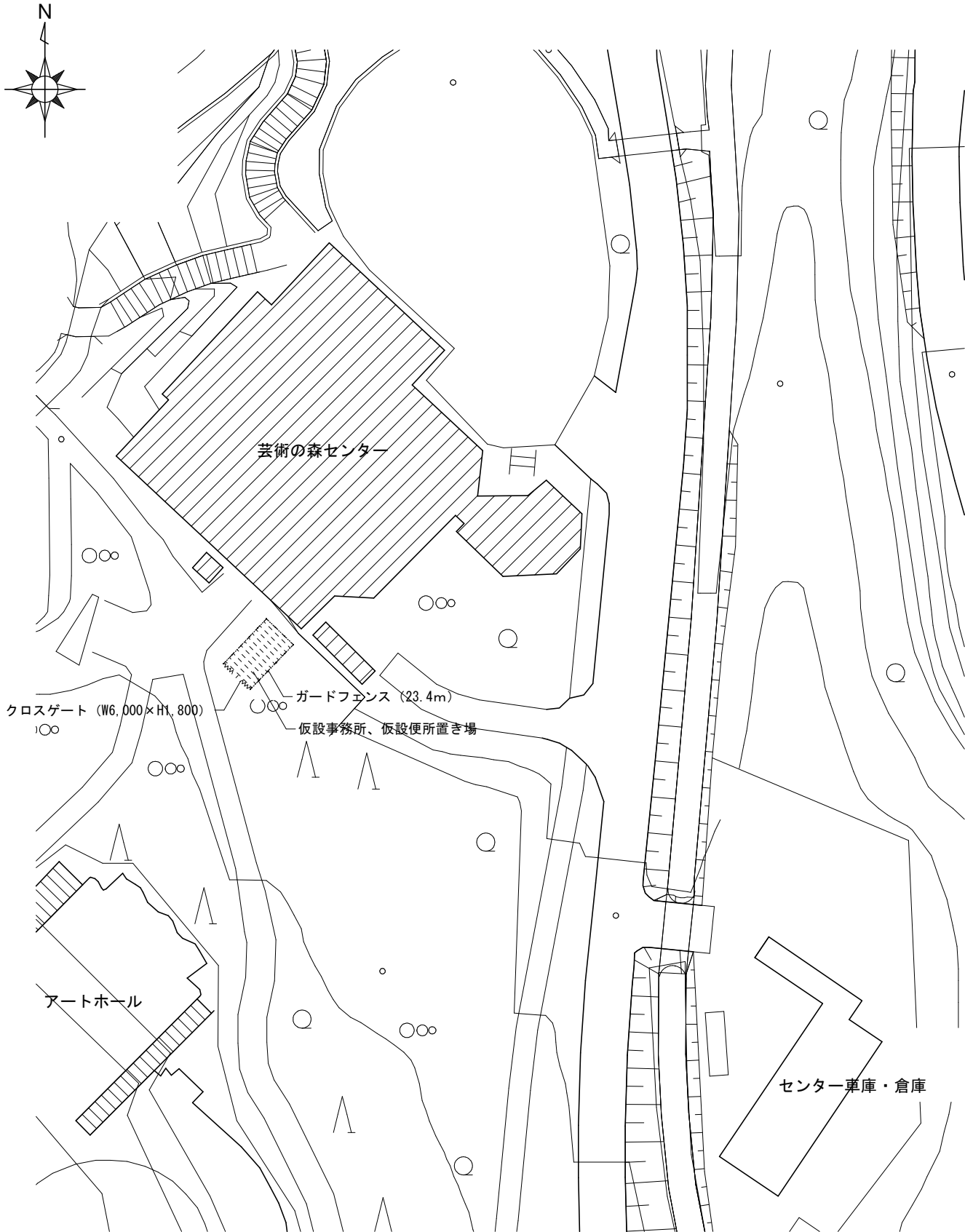
改修前



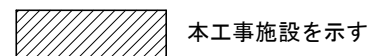
改修後



<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 出隅納まり</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 入隅納まり</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 水切納まり</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 水切納まり</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 上部見切り納まり</p>
<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 建具廻り上部</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 建具廻り下部</p> <p>▽: [シーリング MS-2 15x10]</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 建具廻り垂直部</p> <p>▽①: [シーリング MS-2 15x10] ▽②: [シーリング MS-2 10x10]</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 建具水切廻り</p> <p>▽: [シーリング MS-2 20x10]</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 一字葺き 建具水切廻り(側面)</p>
<p>カラーガルバリウム鋼板 プレキャスト貼、コンクリート打放し部 建具水切廻り(側面)</p> <p>【改修前】</p> <p>【改修後】</p> <p>▽: [シーリング MS-2 30x10]</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 天井、軒天~外壁 納まり</p> <p>▽: [シーリング MS-2 15x10]</p>	<p>カラーガルバリウム鋼板 軒天~外壁 納まり</p>		



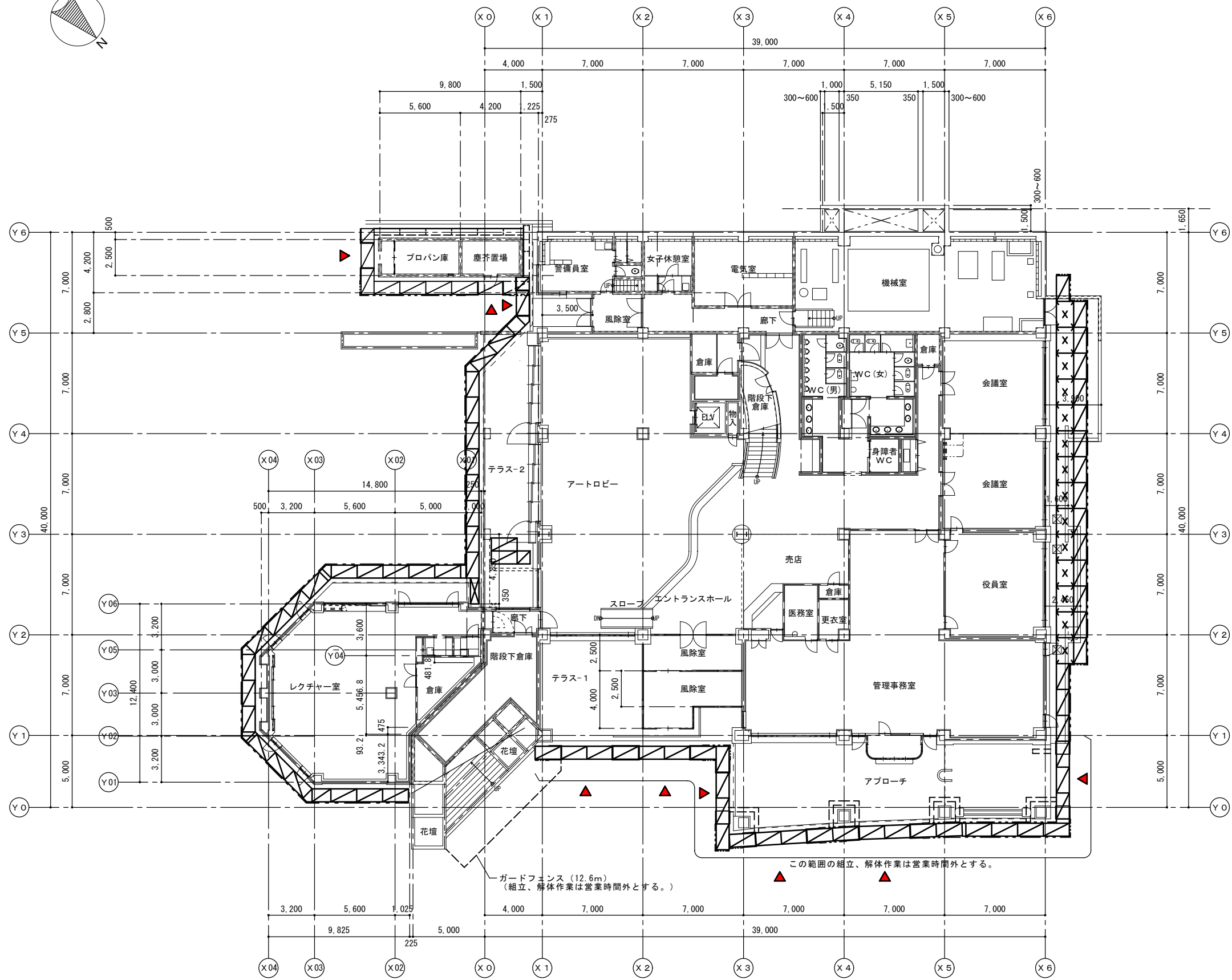
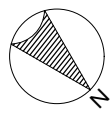
配置図 1/800



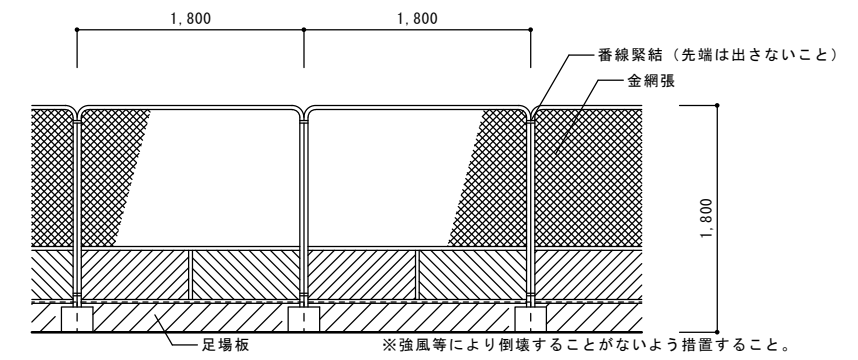
【注記】
 仮設事務所、仮設便所置き場は仮設物撤去後に現況復旧すること。(現状：芝張り)
 工事車両置き場は施設管理者と十分な協議の上、決定すること。(第4駐車場を想定)

■ 外壁改修工事（剥離剤併用手工具の工法）の作業方法（アスベスト含有：上塗材含有、下地調整材有）

- 適用範囲** ※ 樹脂系塗材の除去にかかわる一連の作業は非飛散性7μm以下の除去作業として取り扱う。
 樹脂系仕上塗材外壁のうち、次の外壁について適用する。
 樹脂系仕上塗材及び下地調整材に7μm以下の含有し、除去作業に電動工具を使用しない場合
- 事前調査（共通）**
 (1) 石綿含有建材の事前調査は、発注者より提供する7μm以下の調査票及び既存設計図書等の文書により確認するとともに目視でも実施すること。
 なお、調査の結果、石綿の含有が判別できない建材が新たに発見された場合は、監督員へ報告し対応について協議すること。
 (2) 事前調査は、建築物石綿含有建材調査者など一定の要件を満たすものが行うこと。
 (3) 事前調査の結果は、記録として工事完了から3年間保存するとともに、周辺住民及び作業員に見やすい場所に掲示すること。また、発注者へは別途記録をもとに作成した書面をもって報告すること。
 (4) 事前調査等の結果は、あらかじめ電子届又は紙面により都道府県等（大防法）及び労働基準監督署（石綿則）に届け出ること。
- 仮設作業室（上塗材含有；隔離養生なし）**
 (1) 足場組立時の壁つなぎの穿孔作業は以下の手順を参考に行うこと。
 ① 必要最小限の面積に環境配慮型塗膜剥離剤（ジカロキ、ナカレの含有していないもの）を塗布し、湿潤化する。
 ② 湿潤状態を維持しながらスレーバ等の手工具を用いて塗材を剥がし取り、二重の廃棄物袋に密封する。
 ③ 除去面に飛散防止剤を塗布後、高性能真空掃除機を併用して粉じんの飛散を抑制しながら穿孔する。
 (2) 仮設作業室は、足場を組む床面等を合板等で補強し、足場側面に防炎シートを張ること。
 なお、床面等の補強に用いる合板は舗装面等の整地において足場を組む際は不要とする。
 また、周囲建物の隣接状況等によっては、粉じん等の飛散防止措置を講ずる事が望ましいため、必要に応じて防炎シート等の変更を検討すること。
 (3) 床面にはグラスファイバー（厚0.15mm以上）を敷き、必要に応じて床面からの立上げも検討すること。
 (4) 出入口には、保護衣等に付着した粉じんを外部に持ち出さない措置を講じる。（高性能真空掃除機を用いて保護衣等の表面も吸引すること。）
- 保護具（足場壁つなぎ穿孔、仕上塗材の剥離時及び外壁補修による軽微なほつり作業時）**
 (1) 呼吸用保護具： 取換え式防じんマスク、または使い捨て防じんマスクとする。
 (2) 保護衣： 保護衣または専用の作業服
- 外壁改修方法（上塗材含有、下地調整材有）**
5-1 樹脂系塗材の除去
 (1) 環境配慮型塗膜剥離剤（ジカロキ、ナカレの含有していないもの）を塗布し、湿潤化する。
 (2) 湿潤状態を維持しながらスレーバ等の手工具を用いて塗材を剥がし取り、二重の廃棄物袋に密封する。
 (3) 除去後は目視により樹脂系塗材の取り残しがないか十分に確認すること。なお、取り残しの確認は、石綿含有建材調査者又は当該作業に係る石綿作業主任者など一定の知識を有する者が行うこと。
5-2 樹脂系塗材除去後の外壁補修
 (1) 散水し湿潤化後、電動ドリル及び電動ドリルによる電動工具作業のほかは、ケレンハンマー、カネ等による手ばらしとする。
 (2) 作業中も湿潤状態を保ち、できるだけ粉じんの発生を抑えるよう丁寧に作業する。
- 仮設作業室撤去の手順（隔離養生なし）**
 (1) 作業室内を高性能真空掃除機を用いて清掃する。
 (2) 仮設作業室を撤去する。
- 産業廃棄物処理（樹脂系塗材）（共通）**
樹脂系塗材
 (1) 非飛散性7μm以下として処分する
 (2) 参考受入先： 角山開発(株)、(株)協和環境サービス
- 届出等（共通）**
 7μm以下の仕上塗材及び下地調整材は届け出対象外の建材であるが、大気汚染防止法、石綿障害予防規則、札幌市特定粉じん排出等作業における飛散防止対策マニュアル(最新版)に基づいた、石綿飛散防止措置を講じる等、適切な作業計画を作成のうえ施工を行うこと。



仮設計画図 (1階平面図)



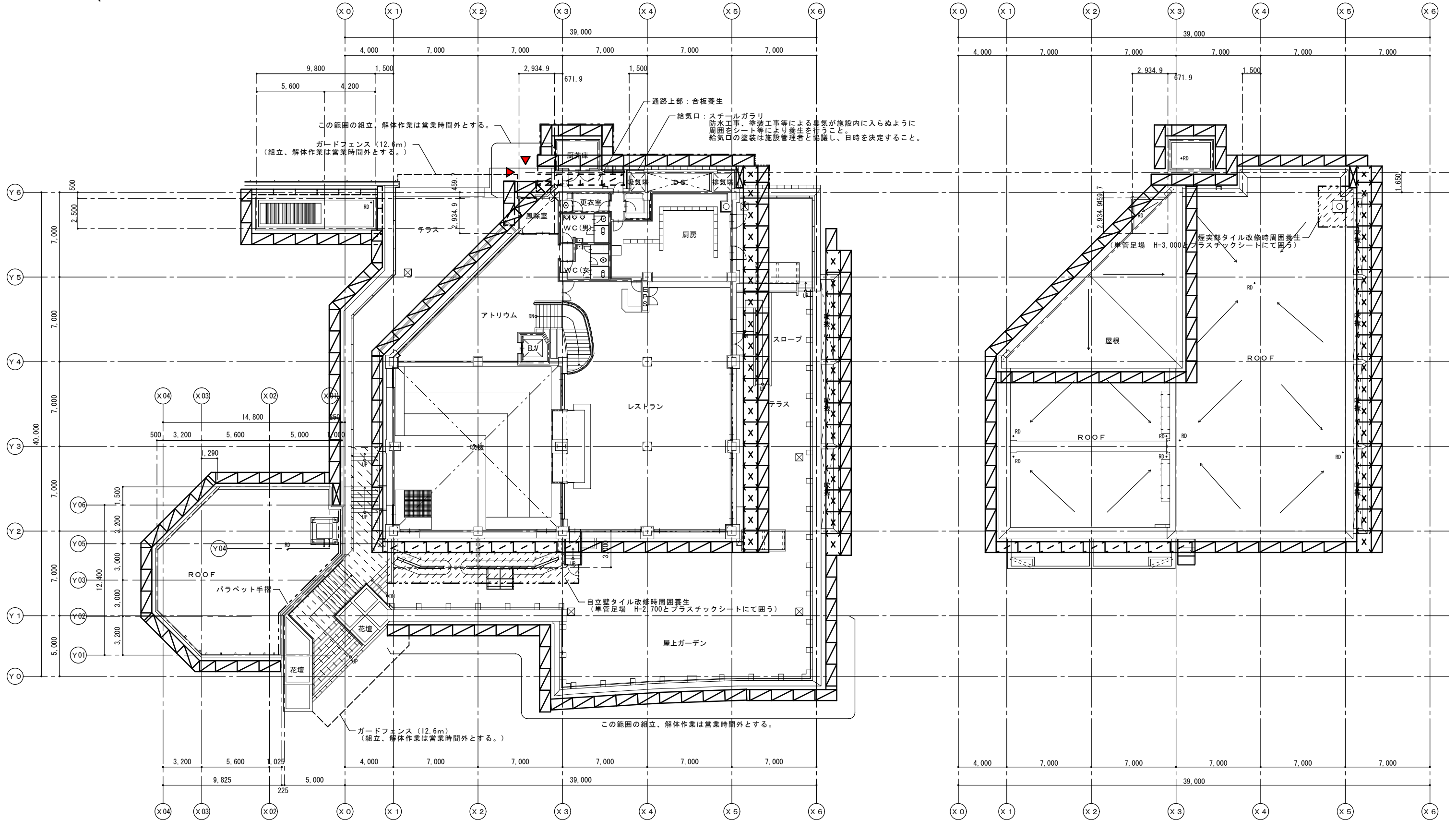
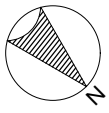
ガードフェンス詳細図 S=1/60

【 凡 例 】

	外部枠組本足場 (手すり先行方式) W=900
	外周: 防炎シート張り (I類)
	最上部: 安全手すり H=1,200
	外部枠組本足場 (手すり先行方式) W=600
	外部単管本足場 W=1,200
	外部単管本足場 W=900
	外部単管一側足場 外周: 防炎シート張り (I類)
	外部脚立足場
	パラベット手摺
	金網式養生枠 H=1,800
	ガードフェンス H=1,800
	出入口養生 (合板養生 (L型3方))

【 特記事項 】

1. 資材搬出入等工事車両出入の際は、施設管理者及び監督員と協議し、施設利用者、近隣住民の安全に十分配慮すること。又、施設利用者等の動線と交錯する場合は適宜、交通誘導員を配置すること。
2. 資材搬入時は、施設管理者及び監督員と打ち合わせをおこなうこと。
3. 工事資材搬入路等において車両等の出入りの場合、適宜、交通誘導員を配置すること。
4. 工事工程については施設管理者及び監督員、監理者と十分協議すること。
5. 工事に先立ち、工程表、施工計画書等を作成し監督員、監理者に提出し、承認を受けること。
6. 仮設事務所、資材置き場、作業員駐車場に関して、施設管理者及び監督員と十分協議すること。
7. 必要に応じてカラーコーン等で区画を行うこと。
8. 資材等を落下させる事がないように十分注意すること。
9. 仮囲い、外部足場の外側など、金物等を鋭利な状態で突出させないよう注意すること。
10. 外部足場への侵入防止措置を取ること。
11. 工事に使用した部分は完了時に原状復旧すること。
12. 作業経路及び搬入経路雨崩については養生・整理整頓を入念に行うこと。
13. 足場は既設防水層を傷めないこと。
14. 災害防止の為、足場に防炎シートを設置の事。
15. 作業経路及び搬入経路部分については養生・整理整頓を入念におこなうこと。
16. 騒音、振動、臭気等発生する作業を行う場合は周知を徹底すること。
17. 施設利用者の安全等最善の注意を払うこと。
18. クレーン、重機等を使用する場合、交通誘導警備員を置き、鉄板敷き等により転倒防止対策を行うこと。
19. 荷上げ等にクレーン等を使用する場合、営業時間外におこなうこと。

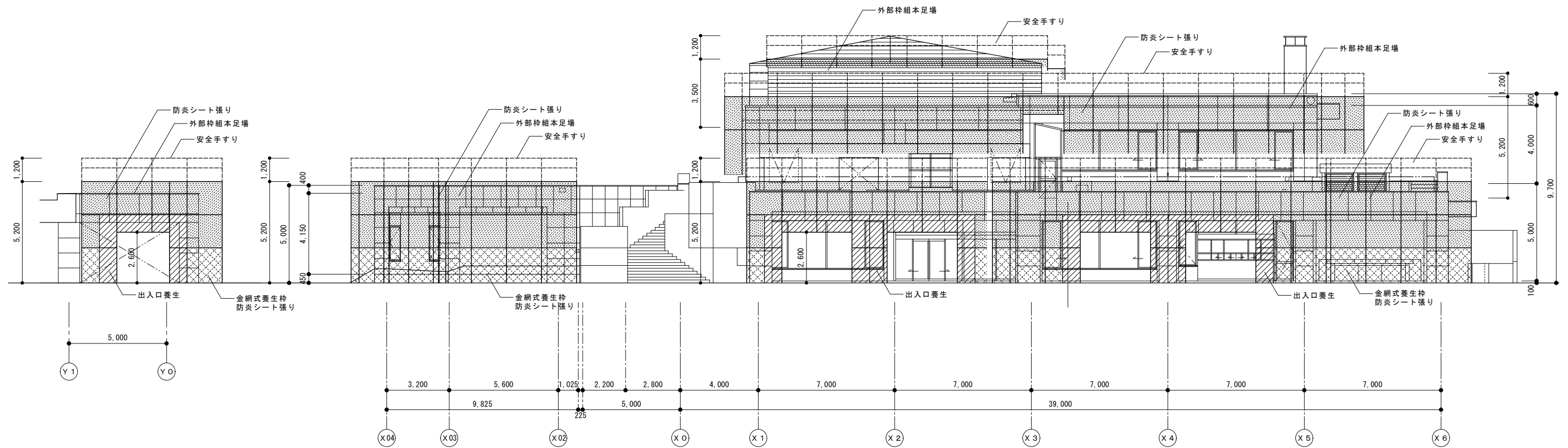


仮設計画図 (2階平面図)

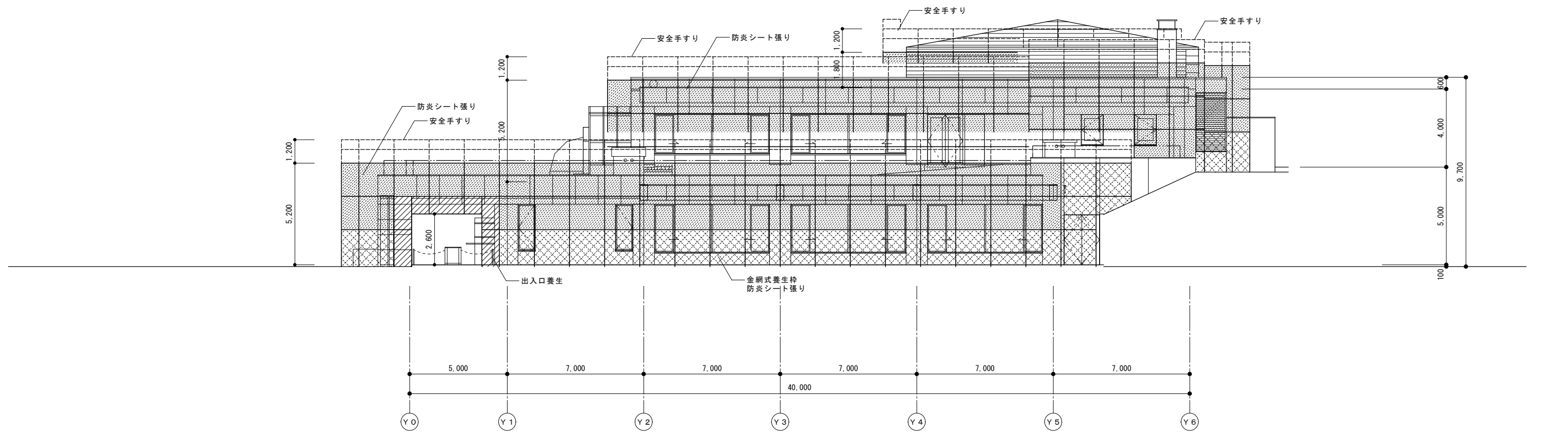
仮設計画図 (R階平面図)

※タイルのモルタル下地撤去時
 単管足場 (H=2,200) とプラスチックシートにて上部及び側面を囲う。
 ※採暖養生部分 (11月1日から)
 単管足場 (H=2,200) とシートにて上部及び側面を囲う。
 ヒーター 2台 最低温度は5℃を下回らないように養生をおこなうこと。

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録 (石) 第5207号 管理建築士 一級建築士 第168408号 佐久間 清尚	特記 	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 仮設計画図 (3) (参考) 縮尺 1/300	設計年月日 図面番号 A-76
--	------------	------------------------------	---------------------------------------	---------------------------

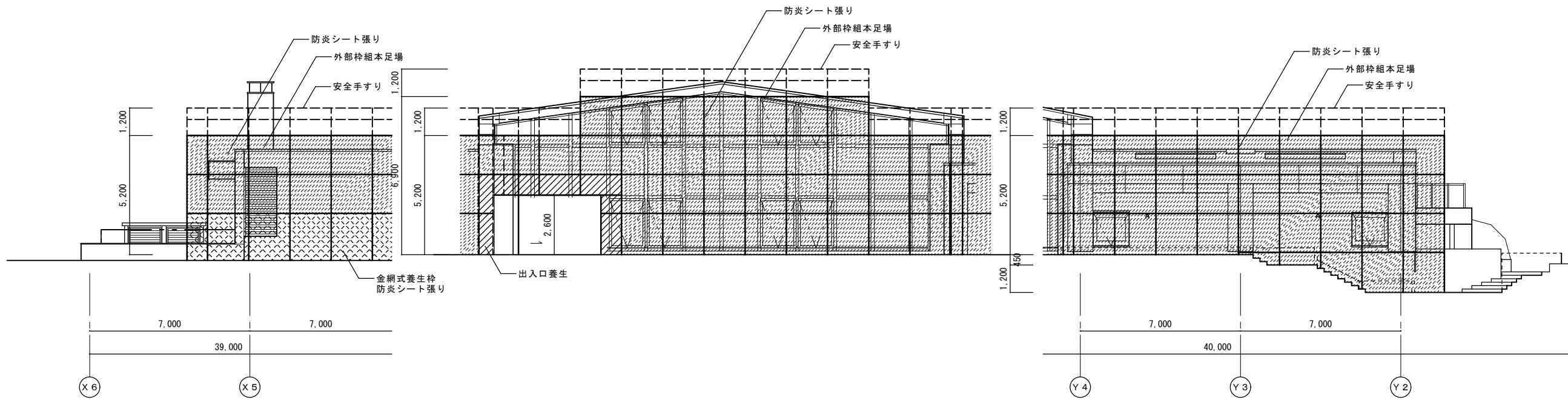


北東 立面図



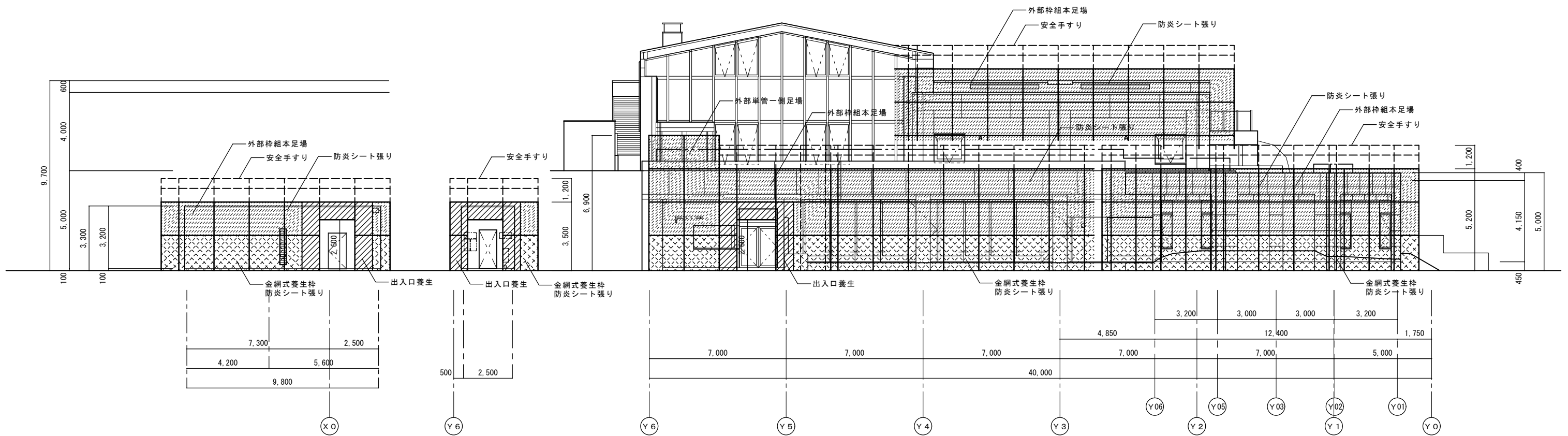
北西 立面図

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office 一般建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 管理建築士 一般建築士 第168408号 佐久間 清尚	概図	製図	特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
				札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	仮設計画図(4)(参考)		A-77
					縮尺 1/200	区分	



南西 立面図

南東 立面図



プロパン庫・塵芥置場 立面図

有限会社 佐久間設計 <small>Architects Design Office</small> 一級建築士事務所 北海道知事登録(五)第5207号 管理建築士 一級建築士 第168408号 佐久間 清尚	棟図 断面図 平面図 特記	工事名称 札幌芸術の森芸術の森センター外部改修工事	図面名称 仮設計画図(5)(参考)	設計年月日	図面番号 A-78
	縮尺 1/200	区分	縮尺 1/200	区分	縮尺 1/200